HITACHI

JP1 Cloud Service ジョブ管理・システム管理 サービスポータル 利用ガイド

JCSM03-0260-01

前書き

■ 対象製品

●プラットフォーム共通サービス - Base

SD-527318003 JP1 Cloud Service/Platform Common Service - Base 01-01 以降

●ジョブ管理 - スタンダード

SD-527318103 JP1 Cloud Service/Job Management - Standard 02-00 以降

●ジョブ管理 - エンタープライズ

SD-527318163 JP1 Cloud Service/Job Management - Enterprise 02-00 以降

●システム管理 - スタンダード 小規模版

SD-5273182G3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard (Lite Edition) 02-40 以降

●システム管理 - スタンダード 15 か月保存

SD-5273181L3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard 15 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - スタンダード 24 か月保存

SD-5273181M3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard 24 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - スタンダード 36 か月保存

SD-5273181N3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard 36 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - エンタープライズ 小規模版

SD-5273182J3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise (Lite Edition) 02-40 以降

●システム管理 - エンタープライズ 15 か月保存

SD-5273181S3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise 15 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - エンタープライズ 24 か月保存

SD-5273181T3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise 24 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - エンタープライズ 36 か月保存

SD-5273181U3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise 36 Months Data Retention 02-00 以降

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には，外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上，必要な手続きをお取りください。

なお，不明な場合は，弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

記載の会社名，製品名などは，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

本サービスポータルでは，下記のソフトウェアを利用しています。

1．Apache ライセンス

本製品には Apache Software Foundation（https://www.apache.org/）が開発したソフトウェアが含まれています。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation（https://www.apache.org/）.

■ マイクロソフト製品のスクリーンショットの使用について

マイクロソフトの許可を得て使用しています。

■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは，マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	正式名称
Excel	Microsoft(R) Excel
Internet Explorer	Windows(R) Internet Explorer(R)

■ 発行

2026 年 10 月　JCSM03-0260-01

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2021, 2026, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容(JCSM03-0260-01)　JP1 Cloud Service　02-60

追加・変更内容	変更個所
上位ユニット属性継承機能の変更についての説明を追加した。	1.2，1.3.6，2.5，3.3，3.3.6，11.1，11.2，11.2.5
マネージャー表示色の変更についての説明を追加した。	1.2，1.3.6，2.5，3.3，3.3.1，3.3.8，11.1，11.2，11.2.7
管理設定，通知先情報についての説明を追加した。	1.2，1.3.18，2.1.1，2.5，7.2.1，7.2.2，7.2.3，11.1，11.2，11.2.35，15，16.4
サポートサービス連携について V02-50 以前の機能として記載を追加した。	1.2，1.3.17，2.1.1，2.5，11.1，11.2，11.2.34，14.1
接続ホストの切り替えについて，自動選択に関する説明を追加した。	5.1，16.6
お客様環境が OCI 環境である場合の記載を追加した。	4.1，24.2
JP1 ユーザーについて，ユーザー数と資源グループ数に関する説明を追加した。	7.1.1
ジョブ管理エージェントからジョブ実行エージェントに表記を変更した。	7.2.1，7.2.2，7.2.3
機能概要の表にサービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）で REST API が利用可能な機能を追加した。	1.2
連携サービス，改良版請求・ダウンロード機能について追加した。	18.2，18.3.4，19.1.1，22
構成情報一覧で表示可能な情報を追加した。	21.1.1
章タイトルのサービスポータル概要に（ジョブ管理・システム管理操作画面）と（環境設定・確認画面）をそれぞれ記載を追加した。	1，18
プラットフォームの提供ファイル一覧で提供するファイルについて説明を追加した。	3.2.1
アラームが発行した JP1 イベントの確認方法を追加した。	6.1.3

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは，JP1 Cloud Service で提供するサービスポータルの機能および操作について説明したものです。JP1 Cloud Service で提供するサービスポータルには「サービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）」と「サービスポータル（環境設定・確認画面）」の 2 種類があります。

■ 対象読者

このマニュアルは次の方にお読みいただくことを前提に説明しています。

- サービスポータルの利用方法や操作方法について知りたい方
- サービスポータルを利用してシステムを運用しようと考えている方，または運用するために設計する方
- サービスポータルを利用してシステムを運用する方

■ マニュアルの構成

このマニュアルは，次に示す編，章と付録から構成されています。

第 1 編　ジョブ管理・システム管理操作画面編

第 1 章　サービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）概要
サービスポータルの概要について説明しています。

第 2 章　ユーザー認証と操作権限
サービスポータルのユーザー認証と操作権限について説明しています。

第 3 章　プラットフォーム
プラットフォームのメニューで提供する機能について説明しています。

第 4 章　ネットワーク
ネットワークのメニューで提供する機能について説明しています。

第 5 章　接続ホストの表示，切り替え
接続ホストの表示，切り替えの機能について説明しています。

第 6 章　利用状況
利用状況のメニューで提供する機能について説明しています。

第 7 章　JP1 管理基盤
JP1 管理基盤のメニューで提供する機能について説明しています。

第 8 章　ジョブ管理

ジョブ管理（V01-12 以前はスケジューラー）のメニューで提供する機能について説明しています。

第 9 章　ファイル

ファイルのメニューで提供する機能について説明しています。

第 10 章　専用ストレージ

専用ストレージのメニューで提供する機能について説明しています。

第 11 章　タスク

タスクのメニューで提供する機能について説明しています。

第 12 章　ユーザー管理

ユーザー管理のメニューで提供する機能について説明しています。

第 13 章　ログ管理

ログ管理のメニューで提供する機能について説明しています。

第 14 章　サポートサービス連携

サポートサービス連携のメニューで提供する機能について説明しています。

第 15 章　管理設定

管理設定のメニューで提供する機能について説明しています。

第 16 章　その他，共通

サービスポータルのその他の共通機能について説明しています。

第 17 章　注意事項・制限事項

サービスポータルの注意事項・制限事項について説明しています。

第 2 編　環境設定・確認画面編（V02-50 以降）

第 18 章　サービスポータル（環境設定・確認画面）概要

サービスポータルの概要について説明しています。

第 19 章　ユーザー認証

サービスポータルのユーザー認証について説明しています。

第 20 章　JP1 Cloud Service テナント新規作成

テナント新規作成のメニューで提供する機能について説明しています。

第 21 章　構成情報

構成情報のメニューで提供する機能について説明しています。

第 22 章　連携サービス

連携サービスのメニューで提供する機能について説明しています。

第 23 章　その他，共通

サービスポータルのその他の共通機能について説明しています。

第 24 章　注意事項・制限事項

サービスポータルの注意事項・制限事項について説明しています。

付録 A　設定パラメータ・ツール

JP1 の設定パラメータシートおよび設定作業をサポートするためのツールについて説明しています。

付録 B　各バージョンの変更内容

各バージョンの変更内容について説明しています。

付録 C　このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明しています。

付録 D　用語解説

このマニュアルで使用する用語について説明しています。

目次

前書き　2
変更内容　4
はじめに　5

第 1 編　ジョブ管理・システム管理操作画面編

1　サービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）概要　16
1.1　利用可能な Web ブラウザー　17
1.2　機能概要　18
1.3　利用方法の概要　22
1.3.1　サービスポータルへのログイン　22
1.3.2　チームの作成　23
1.3.3　ポータルのユーザーの作成　25
1.3.4　メンテナンスの表示・日時変更（V02-10 以降）　26
1.3.5　ファイルの取得　27
1.3.6　マネージャーの操作　28
1.3.7　ネットワークの操作　29
1.3.8　API キーの取得（V02-00 以降）　29
1.3.9　利用状況の表示　30
1.3.10　JP1 ユーザーの操作　31
1.3.11　ホスト情報の操作（V02-00 以降）　31
1.3.12　hosts 情報の操作（V01-12 以前）　32
1.3.13　実行エージェントの操作　33
1.3.14　ログの表示・取得　33
1.3.15　ユーザーファイルの操作（V01-12 以降）　34
1.3.16　管理者向けログの取得　35
1.3.17　サポートサービス連携情報の表示・変更（V02-00～V02-50）　35
1.3.18　通知先情報の表示・変更（V02-60 以降）　36
1.3.19　タスクの表示　36

2　ユーザー認証と操作権限　37
2.1　ログインとログアウト　38
2.1.1　ログイン手順　38
2.1.2　ログアウト手順　40
2.2　サービスポータルのユーザー　41

2.2.1 ユーザー ID について 41
2.2.2 パスワードについて 41
2.2.3 ユーザーのロックアウトについて 41
2.3 ログインユーザーの情報表示 42
2.4 ログインユーザーのパスワード変更 44
2.5 提供する機能とユーザーの権限の関係 45

3 プラットフォーム 55
3.1 メンテナンス一覧（V02-10 以降） 56
3.1.1 一覧表示 56
3.1.2 詳細表示 57
3.1.3 日時変更 59
3.2 提供ファイル一覧 62
3.2.1 一覧表示 62
3.3 マネージャー一覧 63
3.3.1 一覧表示 63
3.3.2 詳細表示 64
3.3.3 ジョブ定義のエクスポート 65
3.3.4 ジョブ定義のインポート 67
3.3.5 ローカル日時の変更（V02-50 以降） 70
3.3.6 上位ユニット属性継承機能の変更（V02-60 以降） 72
3.3.7 SAP ライブラリの配置（V02-40 以降） 74
3.3.8 表示色の変更（V02-60 以降） 76

4 ネットワーク 79
4.1 ルート一覧 80
4.1.1 一覧表示 80
4.1.2 追加 81
4.1.3 削除 82
4.2 API キー一覧（V02-00 以降） 83
4.2.1 一覧表示 83
4.2.2 新規作成 84
4.2.3 削除 85

5 接続ホストの表示，切り替え 86
5.1 切り替え 87
5.2 詳細表示 88

6 利用状況 89
6.1 メトリクス 90

6.1.1 メトリクス表示 90
6.1.2 アラームの表示（V01-11 以降） 91
6.1.3 アラームの設定（V01-11 以降） 93
6.2 ライセンス（V02-00 以降） 97
6.2.1 ライセンス表示 97

7 JP1 管理基盤 99
7.1 JP1 ユーザー一覧 100
7.1.1 一覧表示 100
7.1.2 新規作成 101
7.1.3 編集 103
7.1.4 削除 104
7.1.5 パスワード変更 105
7.2 ホスト情報一覧（V02-00 以降） 107
7.2.1 一覧表示 107
7.2.2 新規登録 108
7.2.3 編集 112
7.2.4 削除 115
7.3 hosts 情報一覧（V01-12 以前） 117
7.3.1 一覧表示 117
7.3.2 新規登録 117

8 ジョブ管理 119
8.1 実行エージェント一覧 120
8.1.1 一覧表示 120
8.1.2 新規作成 122
8.1.3 編集 127
8.1.4 削除 132

9 ファイル 133
9.1 ログ一覧 134
9.1.1 一覧表示 134
9.1.2 詳細表示（V01-11 以降） 135
9.1.3 エクスポート 135
9.2 提供ファイル一覧 140
9.2.1 一覧表示 140
9.2.2 エージェントセットアップ支援ツール 140

10 専用ストレージ 142
10.1 ユーザーファイル一覧（V01-12 以降） 143

10.1.1 一覧表示 143
10.1.2 アップロード 145
10.1.3 ダウンロード 146
10.1.4 削除 146
10.1.5 ディレクトリ作成 147
10.1.6 コピー 148
10.1.7 移動・名前変更 150
10.1.8 権限変更 151
10.1.9 コマンド文生成（V02-40 以降） 153

11 タスク 161
11.1 タスク一覧 162
11.2 タスク詳細（実行履歴の参照） 166
11.2.1 メンテナンス日時変更（V02-10 以降） 170
11.2.2 ジョブ定義エクスポート 171
11.2.3 ジョブ定義インポート 172
11.2.4 ローカル日時変更（V02-50 以降） 173
11.2.5 上位ユニット属性継承機能変更（V02-60 以降） 173
11.2.6 SAP ライブラリ配置（V02-40 以降） 174
11.2.7 表示色変更（V02-60 以降） 175
11.2.8 ルート追加 175
11.2.9 ルート削除（V02-50 以降） 176
11.2.10 アラーム設定（V01-11 以降） 176
11.2.11 JP1 ユーザー作成 177
11.2.12 JP1 ユーザー編集 178
11.2.13 JP1 ユーザー削除（V02-10 以降） 179
11.2.14 JP1 ユーザーパスワード変更（V02-10 以降） 179
11.2.15 ホスト情報登録（V02-00 以降） 180
11.2.16 ホスト情報編集（V02-00 以降） 181
11.2.17 ホスト情報削除（V02-30 以降） 182
11.2.18 hosts 情報登録（V01-12 以前） 182
11.2.19 実行エージェント作成 183
11.2.20 実行エージェント編集 184
11.2.21 実行エージェント削除（V02-30 以降） 185
11.2.22 ログエクスポート 186
11.2.23 ユーザーファイルアップロード（V01-12 以降） 187
11.2.24 ユーザーファイル削除（V02-40 以降） 187
11.2.25 ユーザーファイル用ディレクトリ作成（V01-12 以降） 188
11.2.26 ユーザーファイルコピー（V01-12 以降） 189

11.2.27 ユーザーファイル移動・名前変更（V01-12 以降） 189
11.2.28 ユーザーファイル権限変更（V01-12 以降） 190
11.2.29 ユーザー作成 191
11.2.30 ユーザー編集 192
11.2.31 チーム作成 193
11.2.32 チーム編集 193
11.2.33 チームメンバー変更 194
11.2.34 連携情報変更（V02-00～V02-50） 195
11.2.35 通知先情報変更（V02-60 以降） 196
11.3 タスクの保持期間 197

12 ユーザー管理 198
12.1 ユーザー一覧 199
12.1.1 一覧表示 199
12.1.2 詳細表示 200
12.1.3 新規作成 201
12.1.4 編集 205
12.1.5 削除 208
12.1.6 ロック解除 208
12.1.7 パスワードのリセット 209
12.1.8 チームメンバーの変更 210
12.1.9 ユーザー管理ポリシーに関する注意事項 210
12.2 チーム一覧 211
12.2.1 一覧表示 211
12.2.2 新規作成 212
12.2.3 編集 213
12.2.4 メンバーの変更 214
12.2.5 削除 215

13 ログ管理 216
13.1 ログ一覧 217
13.1.1 一覧表示 217
13.1.2 エクスポート 217

14 サポートサービス連携 220
14.1 連携情報一覧（V02-00～V02-50） 221
14.1.1 一覧表示 221
14.1.2 変更 223

15 管理設定　225
15.1 通知先情報一覧（V02-60 以降）　226
15.1.1 一覧表示　226
15.1.2 変更　228

16 その他，共通　230
16.1 お知らせ　231
16.2 用語集　232
16.3 フィードバックの送信（V01-11 以降）　233
16.4 一覧画面での共通機能について　234
16.5 表示言語について　235
16.6 ユーザー環境情報の保存　236

17 注意事項・制限事項　237
17.1 注意事項　238
17.1.1 一括操作時のタスク生成について　238
17.1.2 タスクの実行について　238
17.1.3 インターネット接続・利用時の通信エラーについて（V02-00 以降）　238
17.2 制限事項　239

第 2 編　環境設定・確認画面編（V02-50 以降）

18 サービスポータル（環境設定・確認画面）概要　240
18.1 利用可能な Web ブラウザーとワンタイムコード生成アプリケーション　241
18.2 機能概要　242
18.3 利用方法の概要　243
18.3.1 サービスポータルへのログイン　243
18.3.2 JP1 Cloud Service テナント新規作成　244
18.3.3 構成情報の表示　245
18.3.4 連携サービスの表示　245

19 ユーザー認証　246
19.1 ログインとログアウト　247
19.1.1 ログイン手順　247
19.1.2 ログアウト手順　248
19.2 ログインユーザーの情報表示　249
19.3 ログインユーザーのパスワード変更　250

20 JP1 Cloud Service テナント新規作成　251
20.1 テナント新規作成の開始　252

20.2 Transit Gateway 接続作業 254
20.2.1 サービスの Transit Gateway を使用する場合 254
20.2.2 お客様の Transit Gateway を使用する場合 256
20.3 疎通作業 259

21 構成情報 262
21.1 構成情報一覧 263
21.1.1 一覧表示 263

22 連携サービス 266
22.1 改良版請求・ダウンロード一覧 267
22.1.1 改良版請求・ダウンロード 267

23 その他，共通 268
23.1 テーマ 269
23.2 言語 270
23.3 通知 271
23.4 個人 272
23.5 一覧画面での共通機能について 273

24 注意事項・制限事項 274
24.1 注意事項 275
24.1.1 JP1 Cloud Service テナント作成のタイミングについて 275
24.2 制限事項 276

付録 277
付録 A 設定パラメータ・ツール 278
付録 A.1 設定パラメータシート 278
付録 A.2 JP1 パラメータユーティリティ 280
付録 B 各バージョンの変更内容 283
付録 B.1 02-60 の変更内容 283
付録 B.2 02-50 の変更内容 283
付録 B.3 02-40 の変更内容 284
付録 B.4 02-30 の変更内容 284
付録 B.5 02-20 の変更内容 284
付録 B.6 02-10 の変更内容 284
付録 B.7 02-01 の変更内容 285
付録 B.8 02-00 の変更内容 285
付録 B.9 01-12 の変更内容 285
付録 B.10 01-11 の変更内容 285

付録 B.11　01-10 の変更内容　286
付録 B.12　01-01 の変更内容　286
付録 C　このマニュアルの参考情報　287
付録 C.1　製品名の表記　287
付録 D　用語解説　288

索引　290

1 サービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）概要

サービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）の概要について説明します。サービスポータルでは，サービス利用における定型作業を支援し，運用作業を効率化する機能を提供します。

1.1　利用可能な Web ブラウザー

サービスポータルをご利用可能な Web ブラウザーを以下に示します。

- Windows(R) Internet Explorer(R) 11（V01-12 以前）
- Firefox(R) ESR
- Google Chrome
- Microsoft Edge

1.2 機能概要

サービスポータルで提供する機能の一覧を以下に示します。REST API 欄が〇の機能は，サービスポータル画面にてコマンド文を生成して，そのコマンドを利用した REST API での操作が可能です。

カテゴリ	機能	説明	REST API
ユーザー認証と操作権限	ログインとログアウト	不正なユーザーによるアクセスを防止するためにログイン認証を行います。	×
	ログインユーザーの情報表示	ログインしているポータルのユーザーの情報を表示できます。	×
	ログインユーザーのパスワード変更	ログインしているポータルのユーザーのパスワードを変更できます。	×
	連携ユーザーのリンク解除（V02-00 以降）	シングルサインオン連携中の外部 ID プロバイダー上のユーザーとの紐づけ・リンクを解除できます。	×
プラットフォーム	メンテナンスの表示（V02-10 以降）	サービスで予定されているメンテナンスの情報を表示できます。	×
	メンテナンスの日時変更（V02-10 以降）	メンテナンスのスケジュールを変更できます。	×
	提供するファイルの表示，ダウンロード	サービスから共通的に提供するファイルを表示して，ダウンロードできます。ダウンロードできる主なファイルは以下です。 • サービス利用ガイド（マニュアル）	×
	マネージャーの表示	サービスで提供されるマネージャーホストの情報を表示できます。	×
	マネージャーからのジョブ定義のエクスポート	JP1/AJS3（ジョブ管理，V01-12 以前はジョブスケジューラー）のマネージャーからジョブ定義をエクスポートできます。	×
	マネージャーへのジョブ定義のインポート	JP1/AJS3（ジョブ管理，V01-12 以前はジョブスケジューラー）のマネージャーにジョブ定義をインポートできます。	×
	マネージャーのローカル日時の変更（V02-50 以降）	JP1/AJS3（ジョブ管理）のマネージャーについて，スケジューラーサービスのローカル日時を変更できます。	×
	上位ユニット属性継承機能の変更（V02-60 以降）	JP1/AJS3（ジョブ管理）のマネージャーの上位ユニット属性継承機能の設定を変更できます。	×
	マネージャーへの SAP ライブラリの配置（V02-40 以降）	JP1/AJS3（ジョブ管理）のマネージャーに SAP ライブラリやサーバー証明書の配置ができます。	×
	マネージャー表示色の変更（V02-60 以降）	サービスポータル上で表示されるマネージャーの表示色を変更できます。	×
ネットワーク	ルートの表示	サービスで提供されるマネージャーとの閉域通信に利用されるルート（経路）情報を表示できます。	×
	ルートの追加	ルートを追加できます。	×

カテゴリ	機能	説明	REST API
ネットワーク	ルートの削除	ルートを削除できます。	×
	API キーの表示（V02-00 以降）	API キーの情報を表示できます。	×
	API キーの新規作成（V02-00 以降）	API キーを新規に作成できます。	×
	API キーの削除（V02-00 以降）	API キーを削除できます。	×
接続ホストの表示，切り替え	操作対象ホストの表示，切り替え	JP1 関連の機能について，接続して操作対象とするホストを選択して切り替えることができます。	×
利用状況	メトリクスの表示	マネージャーの CPU 使用率やメモリ使用率等の利用状況（メトリクス）をグラフで表示して確認できます。	×
	アラームの表示（V01-11 以降）	各メトリクスに対して設定したしきい値や持続時間等のアラームの情報を表示できます。	×
	アラームの設定（V01-11 以降）	各メトリクスに対して一定のしきい値を超えたときに JP1 イベントを発行可能なアラームを設定できます。	×
	ライセンスの表示（V02-00 以降）	マネージャーに紐づくライセンスの利用状況をグラフで表示して確認できます。	×
JP1 管理基盤	JP1 ユーザーの表示	JP1 ユーザーの情報を表示できます。	×
	JP1 ユーザーの新規作成	JP1 ユーザーを新規に作成できます。	×
	JP1 ユーザーの編集	JP1 ユーザーの操作権限を変更できます。	×
	JP1 ユーザーの削除	JP1 ユーザーを削除できます。	×
	JP1 ユーザーのパスワード変更	JP1 ユーザーのパスワードを変更できます。	×
	ホスト情報の表示（V02-00 以降）	ホスト情報を表示できます。	×
	ホスト情報の新規登録（V02-00 以降）	ホスト情報を新規に登録できます。	○
	ホスト情報の編集（V02-00 以降）	ホスト情報を編集できます。	○
	ホスト情報の削除（V02-00 以降）	ホスト情報を削除できます。	×
	hosts 情報の表示（V01-12 以前）	hosts 情報を表示できます。	×
	hosts 情報の新規登録（V01-12 以前）	hosts 情報を新規に登録できます。	×

カテゴリ	機能	説明	REST API
ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー）	実行エージェントの表示	実行エージェントの情報を表示できます。	×
	実行エージェントの新規作成	実行エージェントを新規に作成できます。	○
	実行エージェントの編集	実行エージェントを編集できます。	○
	実行エージェントの削除	実行エージェントを削除できます。	×
ファイル	ログの表示	サービスから提供可能な以下のログを表示できます。 • 統合トレースログ • 実行操作ログ • ローカルアクション実行履歴ログ（V02-20 以降） • Base 操作ログ（V02-50 以降） • JP1/IM - Manager 操作ログ（V02-50 以降）	×
	ログのエクスポート，ダウンロード	ログの内容をエクスポートしてダウンロードできます。	×
	ホストに紐づくファイルの表示，ダウンロード	サービスから提供する，操作対象のホストに紐づくファイルを表示して，ダウンロードできます。ダウンロードできる主なファイルは以下です。 • エージェントセットアップ支援ツール	×
専用ストレージ	ユーザーファイルの表示（V01-12 以降）	ユーザーファイルの情報を表示できます。	○
	ユーザーファイルのアップロード（V01-12 以降）	ユーザーファイルをアップロードできます。	○
	ユーザーファイルのダウンロード（V01-12 以降）	ユーザーファイルをダウンロードできます。	○
	ユーザーファイルの削除（V01-12 以降）	ユーザーファイルを削除できます。	○
	ユーザーファイル用ディレクトリ作成（V01-12 以降）	ユーザーファイル用のディレクトリを作成できます。	○
	ユーザーファイルのコピー（V01-12 以降）	ユーザーファイルをコピーできます。	×
	ユーザーファイルの移動・名前変更（V01-12 以降）	ユーザーファイルの移動や名前変更ができます。	×
	ユーザーファイルの権限変更（V01-12 以降）	ユーザーファイルの権限を変更できます。	×
	ユーザーファイル操作のコマンド文生成（V02-40 以降）	ユーザーファイルの操作を実行するコマンド文を生成できます。	×
タスク	タスク表示	実行されたタスクの実行状況や実行履歴を表示できます。	×
ユーザー管理	ユーザーの表示	ポータルのユーザーの情報を表示できます。	×
	ユーザーの新規作成	ポータルのユーザーを新規に作成できます。	×

カテゴリ	機能	説明	REST API
ユーザー管理	ユーザーの編集	ポータルのユーザーの情報や権限を編集できます。	×
	ユーザーの削除	ポータルのユーザーを削除できます。	×
	アカウントのロック解除	ロック状態を解除できます。	×
	パスワードのリセット	パスワードをリセットできます。	×
	チームの表示	チームの情報を表示できます。	×
	チームの新規作成	チームを新規に作成できます。	×
	チームの編集	チームの情報を編集できます。	×
	チームのメンバー変更	チームのメンバーを変更できます。	×
	チームの削除	チームを削除できます。	×
ログ管理	管理者向けログの表示	管理者向けにサービスから提供可能な以下のログを表示できます。 • ポータルユーザー操作ログ	×
	管理者向けログのエクスポート，ダウンロード	管理者向けのログの内容をエクスポートしてダウンロードできます。	×
サポートサービス連携	連携情報の表示（V02-00～V02-50）	サポートサービスに関する連携情報を表示できます。	×
	連携情報の変更（V02-00～V02-50）	連携情報のうち，変更可能なものについて変更申請ができます。	×
管理設定	通知先情報の表示（V02-60以降）	お客様のシステムへの通知先情報を表示できます。	×
	通知先情報の変更（V02-60以降）	お客様のシステムへの通知先情報を変更できます。	×
その他，共通	お知らせの表示	サービス提供者からのお知らせを表示できます。	×
	用語集の表示	用語集を表示できます。	×
	フィードバックの送信（V01-11 以降）	サービスに対する評価やメッセージといったフィードバックを送信できます。	×

1.3　利用方法の概要

サービスポータルの利用方法の概要について説明します。

1.3.1　サービスポータルへのログイン

Web ブラウザーを起動して，サービスポータルの URL にアクセスします。

サービスポータルの URL や，初期提供されるユーザー ID，ポータルのユーザーの初期パスワードは，ご契約情報一覧にてお知らせする接続情報でご確認ください。

V02-00 以降で，インターネットからアクセスする場合，ユーザー ID とパスワードに加えてワンタイムパスワードでの認証が必要になります。ポータルのユーザー ID とパスワードを入力して次の画面に進むと，ユーザー ID に紐づく電話番号での SMS 認証か，モバイルアプリケーションによるアプリケーション認証を選択できます。画面に従って認証方法を選択し，ワンタイムパスワードを入力してログインしてください。



補足事項

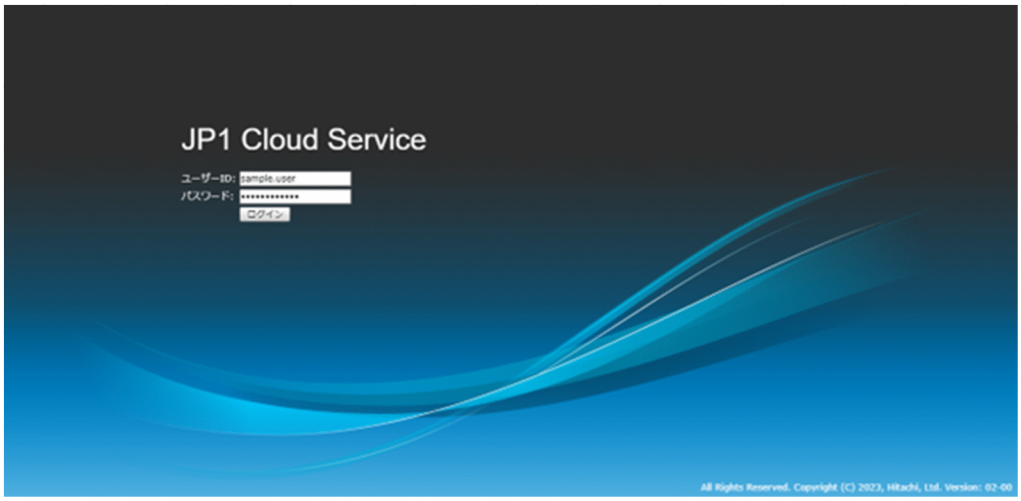
- SMS 認証の送信先は，日本の電話番号のみに対応しています。また，サービスから送信される SMS の送信者名は「JP1Cloud」になります。
- アプリケーション認証のセットアップ時に，ポータルのユーザー ID に紐づく電話番号での SMS 認証が必要になります。
- 機種変更などによりアプリケーション認証のリセットが必要な場合には，アプリケーション認証設定のリセットを選択して実行してください。リセット後，再度セットアップしてください。

- 外部 ID プロバイダー（外部 IdP）と連携している場合，外部 ID とポータルのユーザー ID との紐づけ・リンクのために初回は双方での認証が必要になります。紐づけ完了後は外部 IdP 連携によりシングルサインオンでのログイン（SSO 連携）が可能になります。

閉域（AWS Transit Gateway などによりサービスと接続されているネットワーク）からアクセスする場合，ユーザー ID とパスワードを入力して，ログインします。

注意事項

V01-12 以前の場合，Web ブラウザーの設定で，アクセス先のサーバーである Web サイトを［信頼済みサイト］に追加してください。また，［信頼済みサイト］に「about:blob」を追加してください。追加の際，Internet Explorer では「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする」のチェックを外す必要があります。



初回のログイン時には，ログインユーザーのパスワードの変更が必要です。

ログインやログイン後の画面についての詳細は，「2. ユーザー認証と操作権限」を参照してください。また，サービスポータルのユーザーの権限については，「2.5 提供する機能とユーザーの権限の関係」を参照してください。

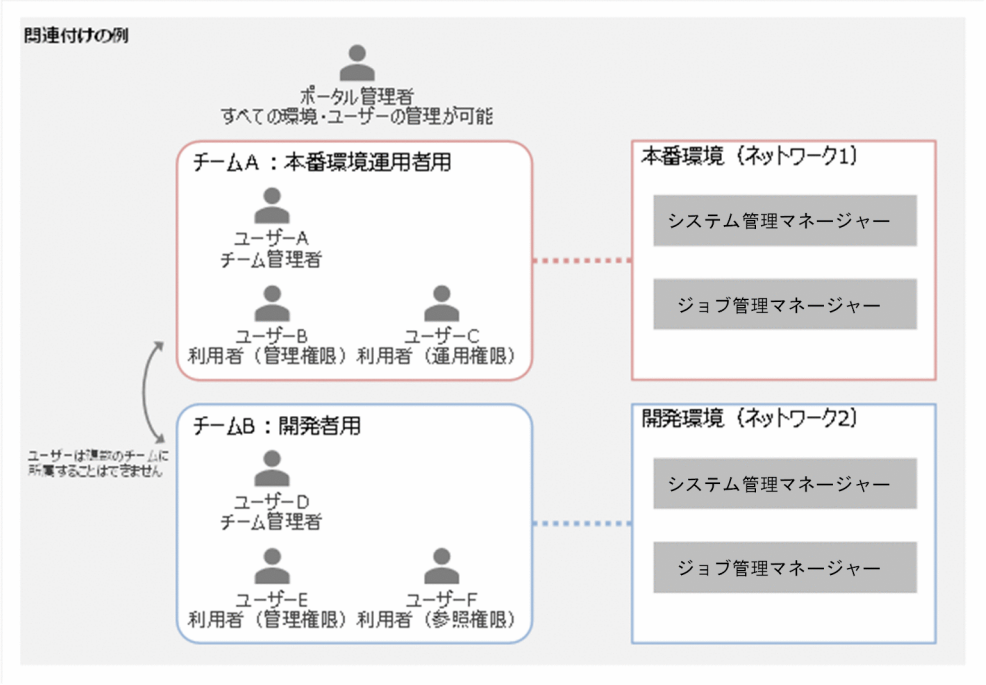
1.3.2　チームの作成

ポータル管理者は，最初にチームを作成します。ポータルのチーム管理者および利用者は，チームの作成はしないため，本節の内容を確認する必要はありません。

チームは，ポータルのユーザーのグルーピングのために利用できます。ポータルのユーザーの一覧画面に表示されるチーム名でフィルタリングやソートをすることで，ポータルのユーザーの絞り込みや検索に利用できます。

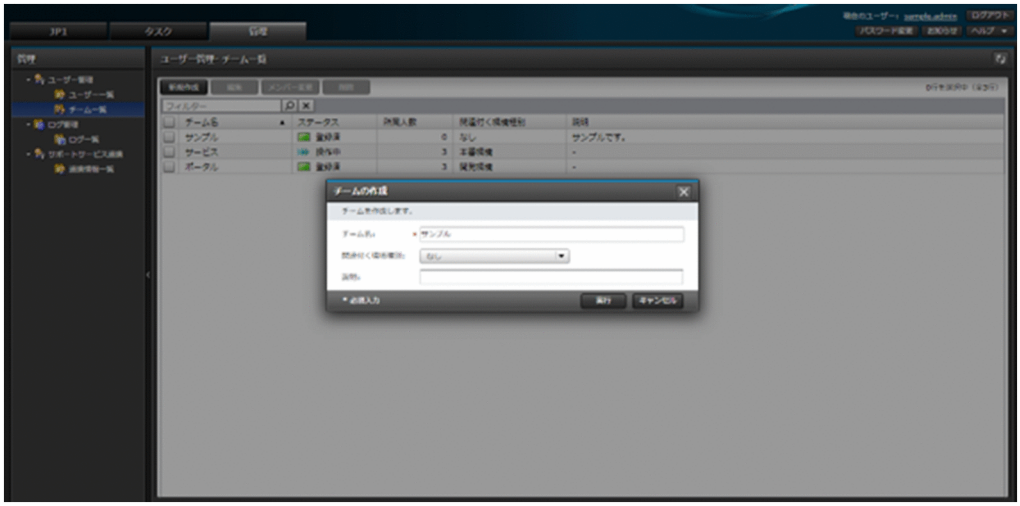
また，チームは，環境種別（開発環境，本番環境など）と関連付けることができます。チーム管理者は，自身が所属するチームの情報表示とチームのメンバーに対するユーザー操作だけを実行できます。加えて，関連付けを行うことで，そのチームのチーム管理者は関連付く環境の管理者としても振る舞うことができ

ます。例えば，チーム A を本番環境に関連付け，チーム B を開発環境に関連付けた場合，チーム A のチーム管理者はユーザー作成・編集時に本番環境のホストに対してだけ権限を設定可能です。一方，チーム B のチーム管理者は開発環境のホストに対してだけ権限を設定できます。このように，チームに環境種別を関連付けることで，扱いが異なる環境ごとにユーザーを分離して運用することができます。なお，この分離の運用において，ポータル管理者が不要な場合にはサービス窓口までお問い合わせください。



［管理］画面に移動し，［管理］画面のナビメニュー［ユーザー管理］−［チーム一覧］のチーム一覧画面から，［新規作成］ボタンをクリックして起動するダイアログに必要な情報を入力してチームを作成してください。

なお，デフォルトで 1 つのチームが作成された状態で提供されます。このチーム名を［編集］ボタンから編集してご利用いただくこともできます。



チームの管理機能として，情報表示，新規作成，編集，メンバー変更，削除があります。

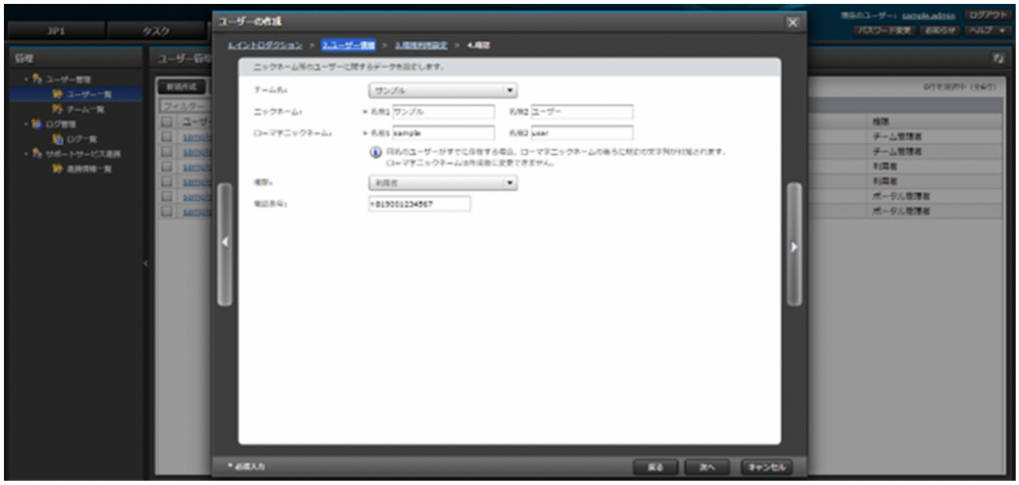
チームの操作方法の詳細は，「12.2 チーム一覧」を参照してください。

1.3.3　ポータルのユーザーの作成

ポータルの管理者は，次にサービスポータルを利用するために必要なポータルのユーザーを作成します。ポータルの利用者は，ポータルのユーザーは作成しないため，本節の内容を確認する必要はありません。

［管理］画面に移動し，［管理］画面のナビメニュー［ユーザー管理］－［ユーザー一覧］のユーザー一覧画面から，［新規作成］ボタンをクリックして起動するウィザードに必要な情報を入力してポータルのユーザーを作成してください。

以下のユーザー情報の入力画面で，チーム名，ユーザー名（ニックネーム，ローマ字ニックネーム），作成するユーザーに与えるサービスポータル上の権限を選択します。V02-00 以降で，インターネットから接続する場合，SMS 認証の送信先となる携帯電話番号を入力します。



次の環境利用設定の入力画面で，提供されるホスト・環境種別ごとに，作成するユーザーに与える権限を選択します。



次の確認画面で，作成前に内容を確認してユーザーを作成します。作成したユーザーや初期パスワードの利用者への通知は，管理者が適切な手段で行ってください。



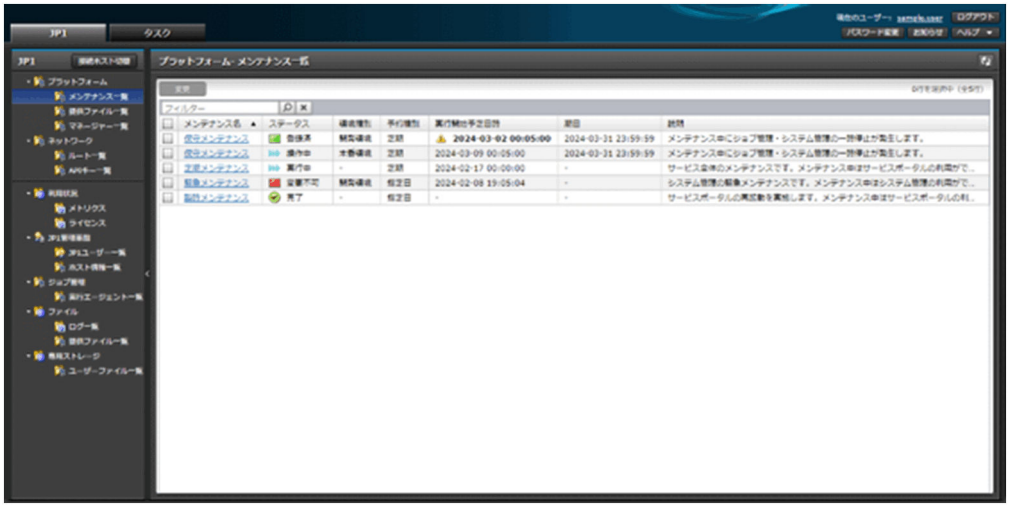
ユーザーの管理機能として，情報表示，新規作成，編集，削除，チームメンバー変更，ロック解除，パスワードリセットがあります。

ポータルのユーザーの操作方法の詳細は，「12.1 ユーザー一覧」を参照してください。また，サービスポータル上の権限や，提供されるホストごとの権限およびネットワークの権限については，「2.5 提供する機能とユーザーの権限の関係」を参照してください。

1.3.4　メンテナンスの表示・日時変更（V02-10 以降）

サービスで予定されているメンテナンスの情報表示，日時変更ができます。サービスの停止を伴う場合があるため，必ずメンテナンスの情報を確認してください。また，日時変更できるメンテナンスについては，必要に応じてお客様の都合のよい日時に変更してください。

［JP1］画面に移動し，［JP1］画面のナビメニュー［プラットフォーム］－［メンテナンス一覧］のメンテナンス一覧画面から，メンテナンスの情報表示や日時変更といった操作ができます。



メンテナンスの表示・日時変更方法の詳細は，「3.1 メンテナンス一覧（V02-10 以降）」を参照してください。

1.3.5　ファイルの取得

サービスから提供するファイルをダウンロードできます。

すべてのポータルのユーザーに共通的に提供するファイルを取得する場合，［JP1］画面に移動し，［JP1 画面］のナビメニュー［プラットフォーム］－［提供ファイル一覧］の提供ファイル一覧画面から，サービス利用ガイド（マニュアル）などを取得することができます。



ファイルの取得方法の詳細は，「3.2 提供ファイル一覧」を参照してください。

また，サービスで提供されるホストに紐づくファイルを取得する場合，［JP1］画面に移動し，［接続ホスト切替］ボタンをクリックして，表示対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後，［JP1 画面］のナビメニュー［ファイル］－［提供ファイル一覧］の提供ファイル一覧画面から，現在選択している表示対象ホストに紐づくファイル（エージェントセットアップ支援ツールなど）を取得することができます。

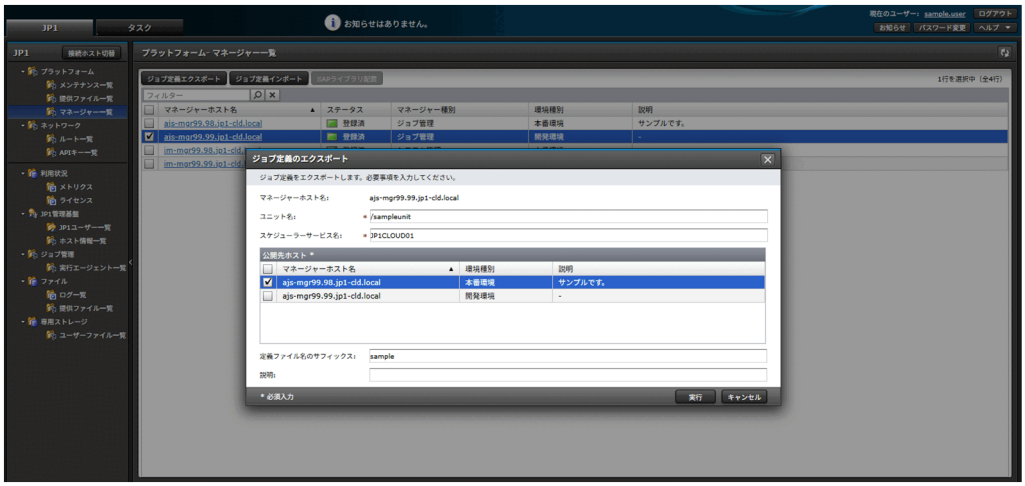


ホストに紐づくファイルの取得方法の詳細は，「9.2 提供ファイル一覧」を参照してください。

1.3.6　マネージャーの操作

サービスで提供されるマネージャーホストについて，情報表示，ジョブ定義のエクスポート，ジョブ定義のインポート，SAP ライブラリの配置（V02-40 以降），ローカル日時の変更（V02-50 以降），上位ユニット属性継承機能の変更（V02-60 以降），サービスポータル上でのマネージャー表示色の変更（V02-60 以降）ができます。例えば，開発環境の JP1/AJS3（ジョブ管理，V01-12 以前はジョブスケジューラー）のマネージャーから開発したジョブ定義をエクスポートし，本番環境の JP1/AJS3（ジョブ管理，V01-12 以前はジョブスケジューラー）のマネージャーにジョブ定義をインポートすることで，マネージャー間でジョブ定義を移行・配布することができます。

［JP1］画面に移動し，［JP1］画面のナビメニュー［プラットフォーム］－［マネージャー一覧］のマネージャー一覧画面から，サービスで提供されるマネージャーホストの情報表示やジョブ定義のエクスポートなどの操作ができます。

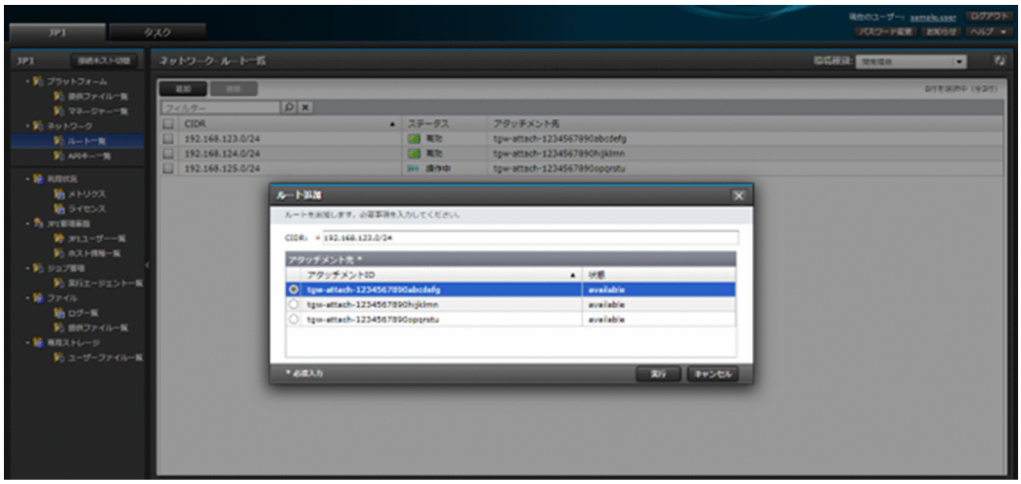


マネージャーの操作方法の詳細は，「3.3 マネージャー一覧」を参照してください。

1.3.7　ネットワークの操作

サービスで提供されるマネージャーとの閉域通信に利用されるルート（経路）情報の表示，追加，削除ができます。ルート情報は，閉域通信においてサービス側のネットワークからお客様環境のネットワークへの通信のルーティングのために設定が必要になります。

［JP1］画面に移動し，［JP1］画面のナビメニュー［ネットワーク］－［ルート一覧］のルート一覧画面から，利用権限がある環境種別のルート情報の表示や追加などの操作ができます。

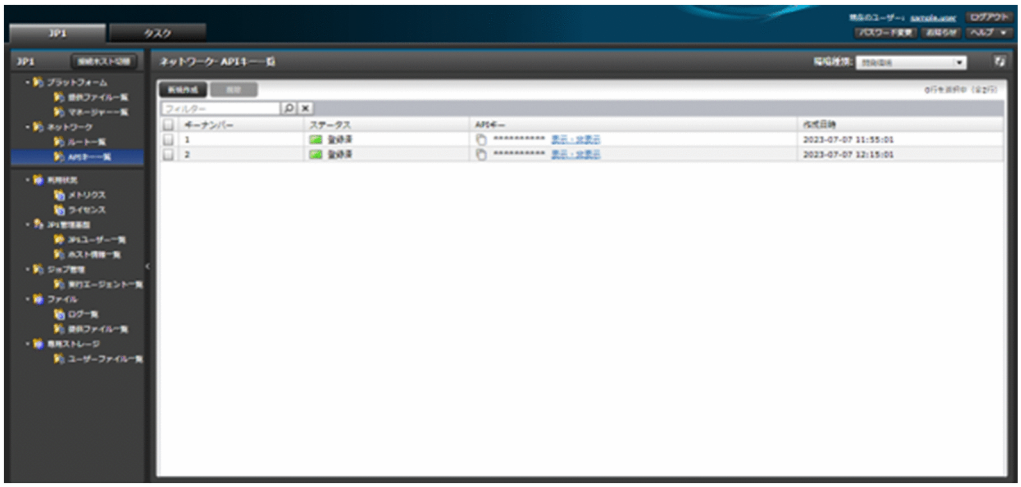


ルートの操作方法の詳細は，「4.1 ルート一覧」を参照してください。

1.3.8　API キーの取得（V02-00 以降）

お客様環境からインターネット経由でサービス内の Web アプリケーションに REST API を発行する場合に設定が必要な API キーの表示，新規作成，削除ができます。

［JP1］画面に移動し，［JP1］画面のナビメニュー［ネットワーク］－［API キー一覧］の API キー一覧画面から，利用権限がある環境種別の API キー情報の表示や新規作成などの操作ができます。

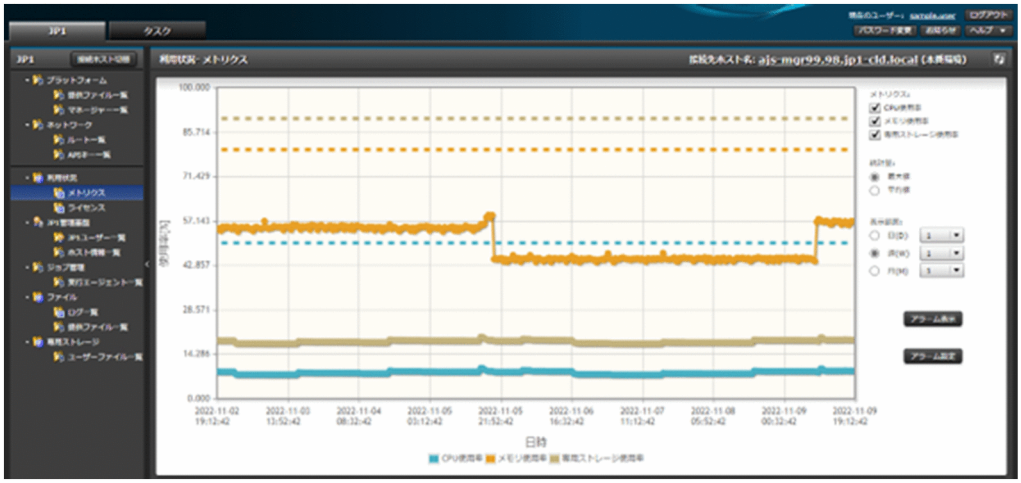


API キーの操作方法の詳細は，「4.2 API キー一覧（V02-00 以降）」を参照してください。

1.3.9　利用状況の表示

サービスで提供されるホストについて，マネージャーの CPU 使用率やメモリ使用率等の利用状況（メトリクス，V02-00 以降ではライセンス）をグラフで表示して確認できます。また，各メトリクスに対してアラームの設定および参照ができます。

［JP1］画面に移動し，［接続ホスト切替］ボタンをクリックして，表示対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後，［JP1］画面のナビメニュー［利用状況］－［メトリクス］のメトリクス画面から，現在選択している表示対象ホストの利用状況（メトリクス）の確認，アラームの表示，アラームの設定といった操作ができます。



メトリクスの表示方法の詳細は，「6.1 メトリクス」を参照してください。

また，V02-00 以降では，［JP1］画面のナビメニュー［利用状況］－［ライセンス］のライセンス画面から，現在選択している表示対象ホストに紐づくライセンスの利用状況の確認ができます。

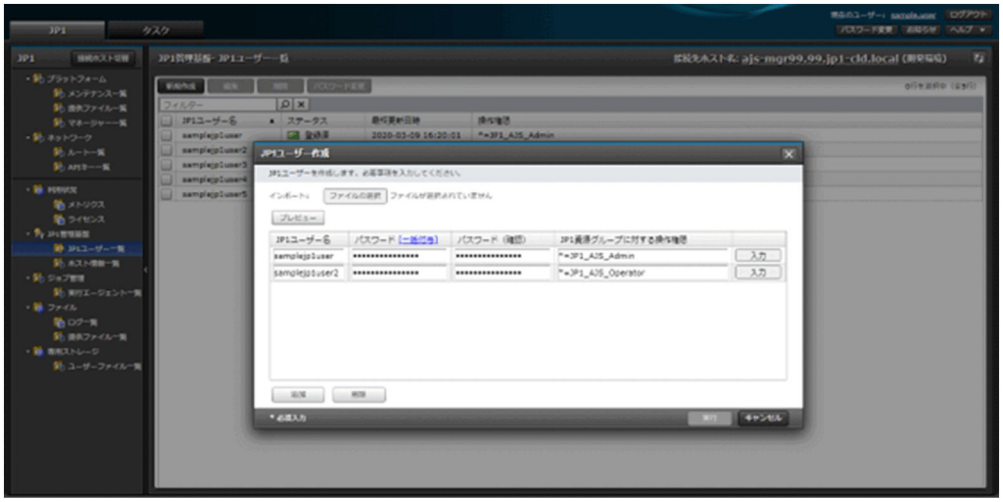


ライセンスの表示方法の詳細は，「6.2 ライセンス（V02-00 以降）」を参照してください。

1.3.10　JP1 ユーザーの操作

サービスで提供されるホストについて，JP1 ユーザーの情報表示，新規作成，編集，削除，パスワード変更ができます。

［JP1］画面に移動し，［接続ホスト切替］ボタンをクリックして，表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後，［JP1］画面のナビメニュー［JP1 管理基盤］−［JP1 ユーザー一覧］の JP1 ユーザー一覧画面から，現在選択している表示・操作対象ホストの JP1 ユーザーの情報表示や新規作成などの操作ができます。

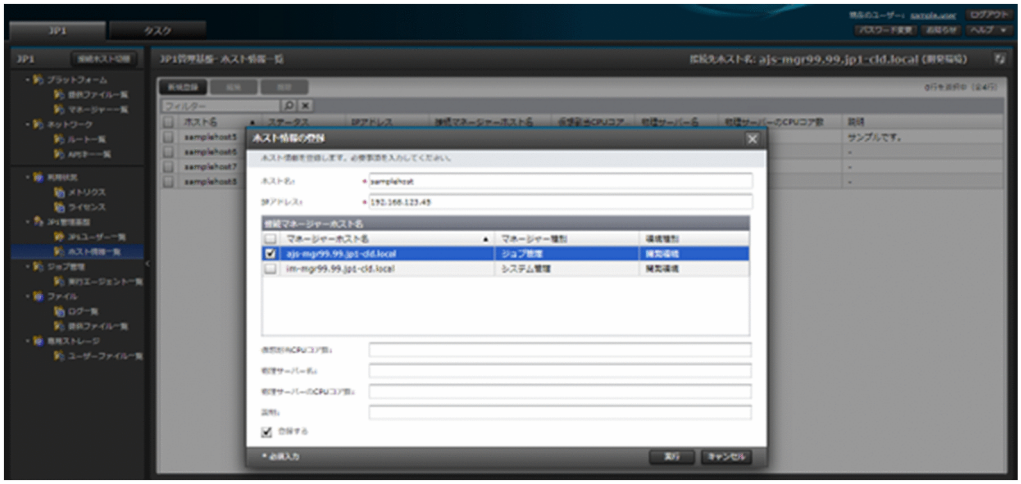


JP1 ユーザーの操作方法の詳細は，「7.1 JP1 ユーザー一覧」を参照してください。

1.3.11　ホスト情報の操作（V02-00 以降）

サービスで提供されるホストについて，エージェント・管理ノード・JP イベント連携先ホストとして使用するためにマネージャーから参照可能なサーバーのホスト情報の表示，新規登録，編集，削除ができます。ホスト情報は，マネージャーとエージェント・管理ノード・JP イベント連携先ホスト間で通信する際の名前解決のために登録が必要になります。

［JP1］画面に移動し，［接続ホスト切替］ボタンをクリックして，表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後，［JP1］画面のナビメニュー［JP1 管理基盤］−［ホスト情報一覧］のホスト情報一覧画面から，現在選択している表示・操作対象ホストのホスト情報の表示や新規登録などの操作ができます。

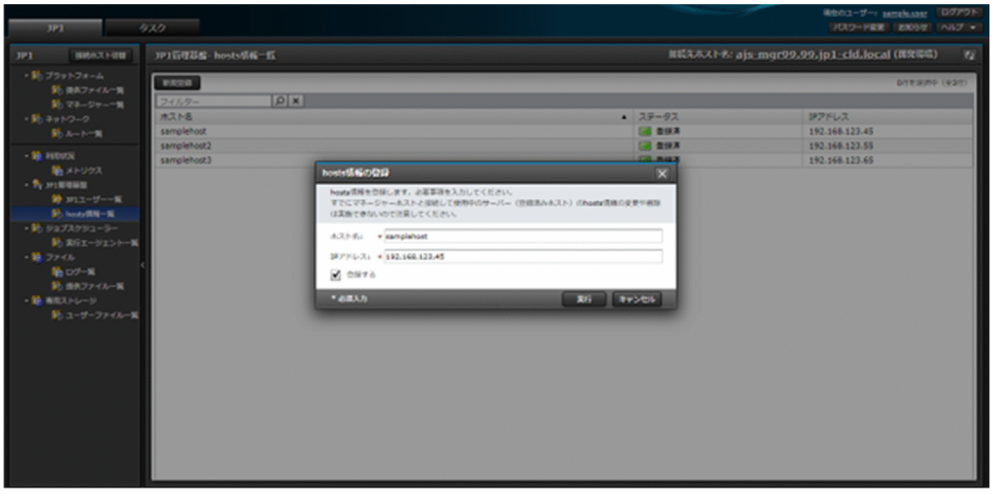


ホスト情報の操作方法の詳細は，「7.2 ホスト情報一覧（V02-00 以降）」を参照してください。

1.3.12　hosts 情報の操作（V01-12 以前）

サービスで提供されるホストについて，エージェントとして使用するためにマネージャーに登録されているサーバーの hosts 情報の表示，新規登録ができます。hosts 情報は，マネージャーとエージェント間で通信する際の名前解決のために登録が必要になります。

［JP1］画面に移動し，［接続ホスト切替］ボタンをクリックして，表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後，［JP1］画面のナビメニュー［JP1 管理基盤］－［hosts 情報一覧］の hosts 情報一覧画面から，現在選択している表示・操作対象ホストの hosts 情報の表示や新規登録の操作ができます。



hosts 情報の操作方法の詳細は，「7.3 hosts 情報一覧（V01-12 以前）」を参照してください。

1.3.13　実行エージェントの操作

サービスで提供される JP1/AJS3（ジョブ管理，V01-12 以前はジョブスケジューラー）のマネージャーホストについて，実行エージェントの情報表示，新規作成，編集，削除ができます。

［JP1］画面に移動し，［接続ホスト切替］ボタンをクリックして，表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後，［JP1］画面のナビメニュー［ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー)］－［実行エージェント一覧］の実行エージェント一覧画面から，現在選択している表示・操作対象ホストの実行エージェントの情報表示や新規作成などの操作ができます。

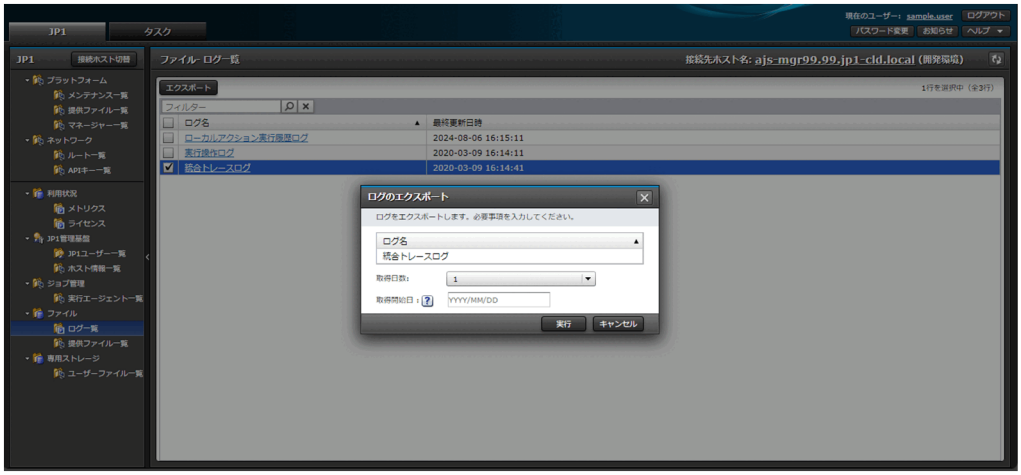


実行エージェントの操作方法の詳細は，「8.1 実行エージェント一覧」を参照してください。

1.3.14　ログの表示・取得

サービスで提供されるホストについて，統合トレースログなどの内容表示やログをエクスポートしてダウンロードできます。

［JP1］画面に移動し，［接続ホスト切替］ボタンをクリックして，表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後，［JP1］画面のナビメニュー［ファイル］－［ログ一覧］のログ一覧画面から，現在選択している表示・操作対象ホストのログの内容表示，取得ができます。

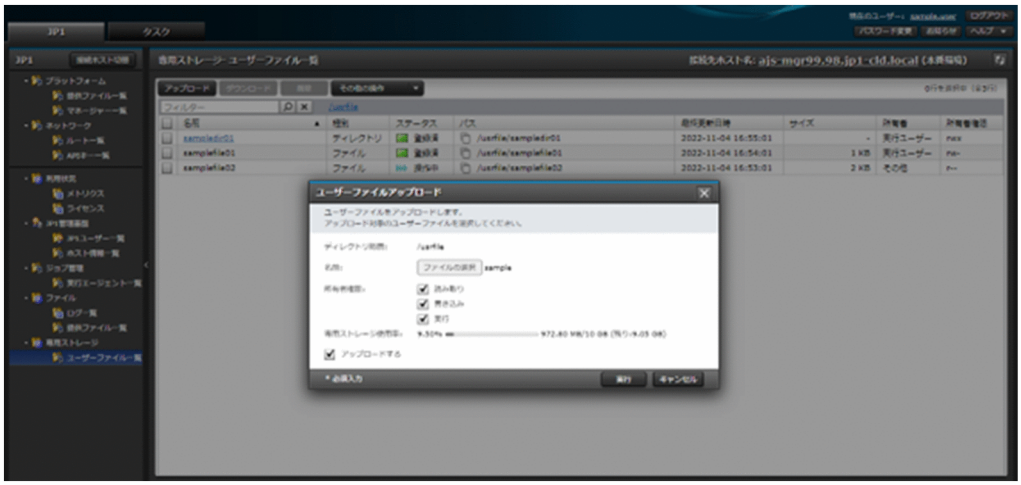


ログの表示・取得方法の詳細は，「9.1 ログ一覧」を参照してください。

1.3.15　ユーザーファイルの操作（V01-12 以降）

サービスで提供されるマネージャーホスト上の専用ストレージに格納されたユーザーファイルについて，ユーザーファイルの情報表示，アップロード，ダウンロード，削除，ディレクトリ作成，コピー，移動，名前変更，権限変更ができます。また，V02-40 以降では，コマンド文を生成してクライアント端末から実行することで，ユーザーファイルのアップロードやダウンロードなどの操作を REST API で実行できます。例えば，マネージャーホスト上に ajsprint コマンドで出力したジョブ定義のダウンロードや，クライアント端末側で編集したジョブ定義のアップロードといった操作を REST API で実行でき，別のマネージャーホストへのジョブ定義の移送といったことも実現できます。

［JP1］画面に移動し，［接続ホスト切替］ボタンをクリックして，表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後，［JP1］画面のナビメニュー［専用ストレージ］－［ユーザーファイル一覧］のユーザーファイル一覧画面から，現在選択している表示・操作対象ホスト上の専用ストレージに格納されたユーザーファイルの情報表示やアップロードなどの操作ができます。

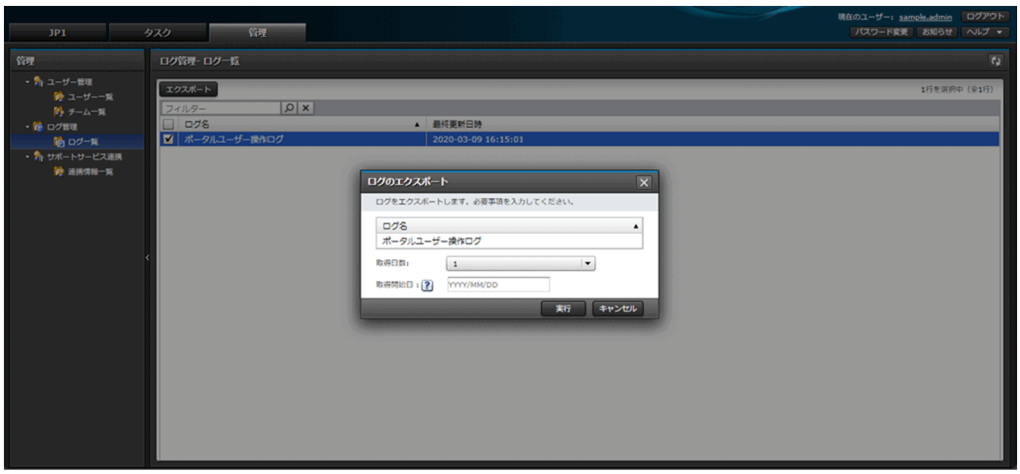


ユーザーファイルの操作方法の詳細は，「10.1 ユーザーファイル一覧（V01-12 以降）」を参照してください。

1.3.16　管理者向けログの取得

ポータルの管理者向けに，ポータルのユーザーの操作履歴が出力されているポータルユーザー操作ログをエクスポートしてダウンロードできます。

［管理］画面のナビメニュー［ログ管理］－［ログ一覧］のログ一覧画面から，ログを取得することができます。

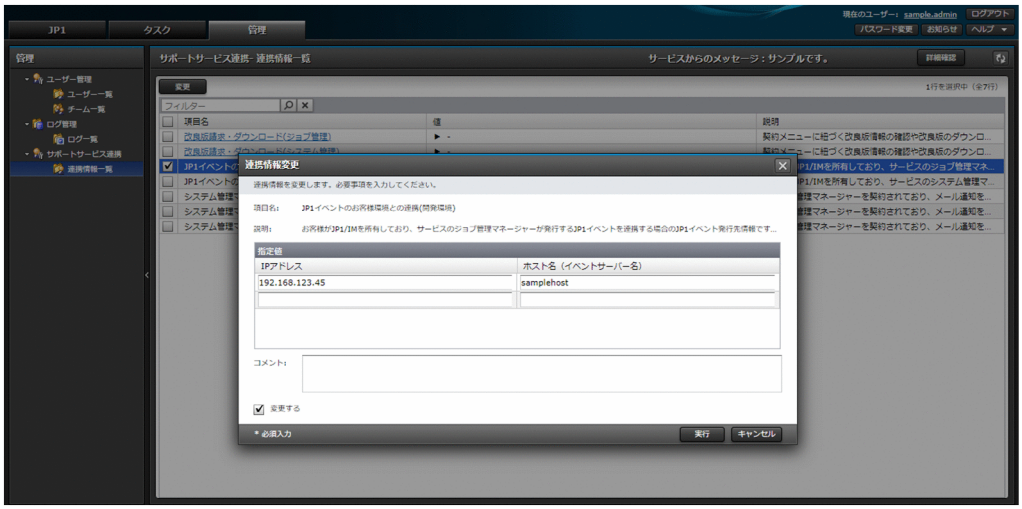


管理者向けログの取得方法の詳細は，「13.1 ログ一覧」を参照してください。

1.3.17　サポートサービス連携情報の表示・変更（V02-00～V02-50）

ポータルの管理者向けに，サポートサービスに関する連携情報の表示，変更申請ができます。

［管理］画面のナビメニュー［サポートサービス連携］－［連携情報一覧］の連携情報一覧画面から，連携情報の表示や変更申請の操作ができます。

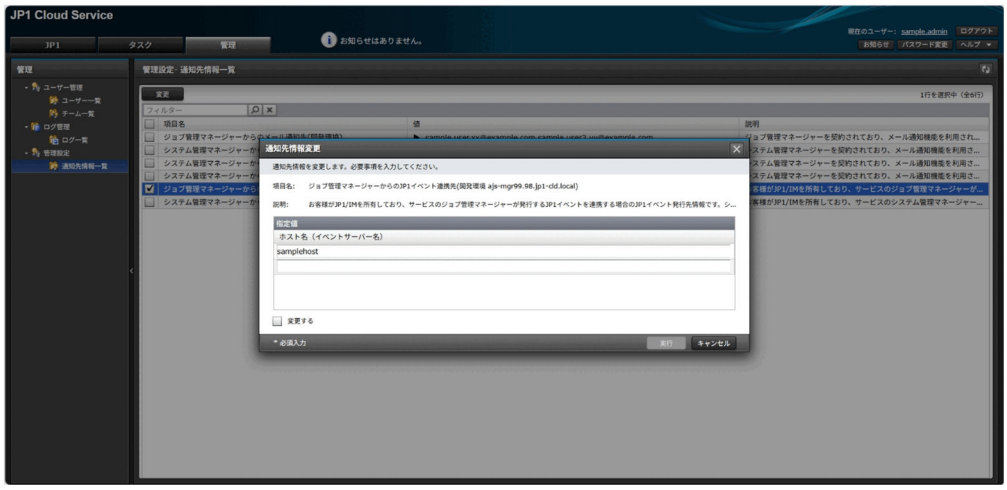


連携情報の表示・変更方法の詳細は，「14.1 連携情報一覧（V02-00～V02-50）」を参照してください。

1.3.18　通知先情報の表示・変更（V02-60 以降）

ポータルの管理者向けに，お客様のシステムへの通知先情報の表示，変更ができます。

［管理］画面のナビメニュー［管理設定］−［通知先情報一覧］の通知先情報一覧画面から，通知先情報の表示や変更の操作ができます。

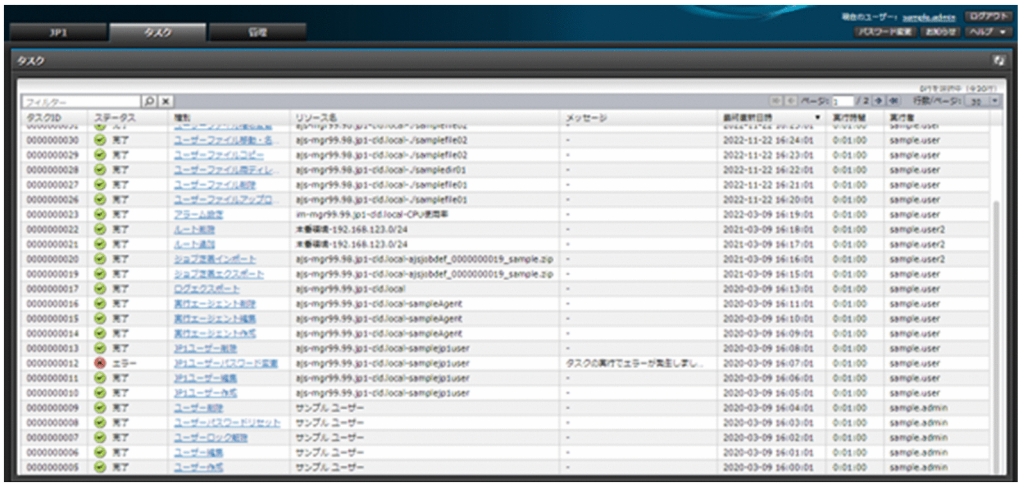


通知先情報の表示・変更方法の詳細は，「15.1 通知先情報一覧（V02-60 以降）」を参照してください。

1.3.19　タスクの表示

ポータルから各種実行操作をしたとき，これら操作はタスクとして登録されます。

［タスク］画面を選択すると表示されるタスク一覧画面から，実行されたタスクの実行状況や実行履歴を参照することができます。



タスクの表示方法の詳細は，「11. タスク」を参照してください。

2 ユーザー認証と操作権限

サービスポータルのユーザー認証と操作権限について説明します

2.1　ログインとログアウト

2.1.1　ログイン手順

ログインする手順を次に示します。

1. Web ブラウザーを起動して，サービスポータルの URL にアクセスします。

2. V02-00 以降で，インターネットからアクセスする場合，ユーザー ID とパスワードに加えてワンタイムパスワードでの認証が必要になります。ログイン画面で，ポータルのユーザー ID とパスワードを入力して次の画面に進むと，ユーザー ID に紐づく電話番号での SMS 認証か，モバイルアプリケーションによるアプリケーション認証を選択できます。画面に従って認証方法を選択し，ワンタイムパスワードを入力してログインしてください。



3. 閉域（AWS Transit Gateway などによりサービスと接続されているネットワーク）からアクセスする場合，ログイン画面で，［ユーザー ID］と［パスワード］を入力したあと，［ログイン］ボタンをクリックします。

   ［ユーザー ID］と［パスワード］には 1～255 バイトの任意文字列（文字種チェックなし）を指定可能です。なお，［ユーザー ID］にはユーザーごとに割り当てられたユーザー ID を指定します。



ログイン画面に表示する各エリアの説明を以下に示します。

項目	説明
通知エリア（V01-12 以前）	システムメンテナンスによるサービス停止など，サービス提供元からのお知らせが表示されます。
エラー詳細エリア	ログイン画面を表示した直後はこのエリアは表示されません。 ログインに失敗したときにこのエリアが表示され，エラーの詳細が表示されます。

4. ログインに成功すると，以下のメイン画面が表示されます。



メイン画面の構成を以下に示します。

画面	説明
共通	画面上部で共通的な以下の機能を提供します。 • お知らせの表示（[お知らせ] ボタン） • 用語集の表示（[ヘルプ（V01-10 以前は用語集）] ボタン） • フィードバックの送信（[ヘルプ] ボタン）（V01-11 以降） • ログインユーザーの情報表示（「現在のユーザー」で示されたユーザー ID のリンク） • ログインユーザーのパスワード変更（[パスワード変更] ボタン）

画面	説明
共通	• ログアウト（[ログアウト］ボタン）
JP1	JP1 関連の以下機能を提供します。接続ホストの表示，切り替え以降の機能は，提供されるホストごとに切り替えて表示できます。 • プラットフォーム • ネットワーク • 接続ホストの表示，切り替え • 利用状況 • JP1 管理基盤 • ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー） • ファイル • 専用ストレージ（V01-12 以降）
タスク	タスク表示の機能を提供します。
管理	ユーザー管理とログ管理，サポートサービス連携（V02-00～V02-50），管理設定（V02-60 以降）の機能を提供します。 ログインユーザーが，チーム管理者またはポータル管理者のときに表示されます。

補足事項

- V01-12 以前の場合，Web ブラウザーの設定で，アクセス先のサーバーである Web サイトを［信頼済みサイト］に追加してください。また，［信頼済みサイト］に「about:blob」を追加してください。追加の際，Internet Explorer では［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする］のチェックを外す必要があります。
- 日時（最終更新日時など）の表示は，Web ブラウザーの環境に応じて表示されます。日時の説明の中でタイムゾーンが指定されている場合は，そのタイムゾーンで表示されます。

2.1.2　ログアウト手順

ログアウトする場合は，メイン画面の右上の［ログアウト］ボタンをクリックします。ログアウトすると，ログイン画面が表示されます。

2.2　サービスポータルのユーザー

2.2.1　ユーザー ID について

ユーザー ID は以下の仕様になります。ローマ字小文字の名前 1 と名前 2（V01-12 以前は姓と名）をピリオドでつなぎます。重複時は前 0 なしの 2 からの連番を付与します。

<ローマ字名前1(小文字)>.<ローマ字名前2(小文字)><2からの連番(重複時のみ。前0なし)>

サービスポータルからユーザーを新規作成した場合，入力情報のローマ字名前 1 およびローマ字名前 2（V01-12 以前はローマ字姓およびローマ字名）から ID を自動生成して登録します。

2.2.2　パスワードについて

ユーザーは新規登録時に固定の初期パスワードを与えられ，サービスポータルへの初回ログイン時にパスワードを変更後，サービスポータルをご利用いただけます。作成したユーザーや初期パスワードの利用者への通知は，チーム管理者またはポータル管理者（ユーザーを作成した管理者）が適切な手段で通知を行ってください。また，利用者が変更後のパスワードを忘れてしまった場合などを考慮し，チーム管理者およびポータル管理者向けに，指定したユーザーのパスワードを初期パスワードにリセットする機能を提供します。

2.2.3　ユーザーのロックアウトについて

ログインするユーザーは，サービスのパスワードポリシーに基づいて，6 回以上間違ったパスワードを入力するとアカウントがロックアウトされます。ロックアウトされると，30 分経過するまでログイン不可の状態となります。このロックアウトをサービスポータルから解除いただくために，チーム管理者およびポータル管理者向けに，指定したユーザーのロックを解除する機能を提供します。

2.3　ログインユーザーの情報表示

ログインユーザーの詳細情報は，メイン画面の右上の「現在のユーザー」で示されたユーザー ID のリンクをクリックすると表示されます。

表示する項目と説明を以下に示します。



注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては，接続ホストの権限設定などの表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

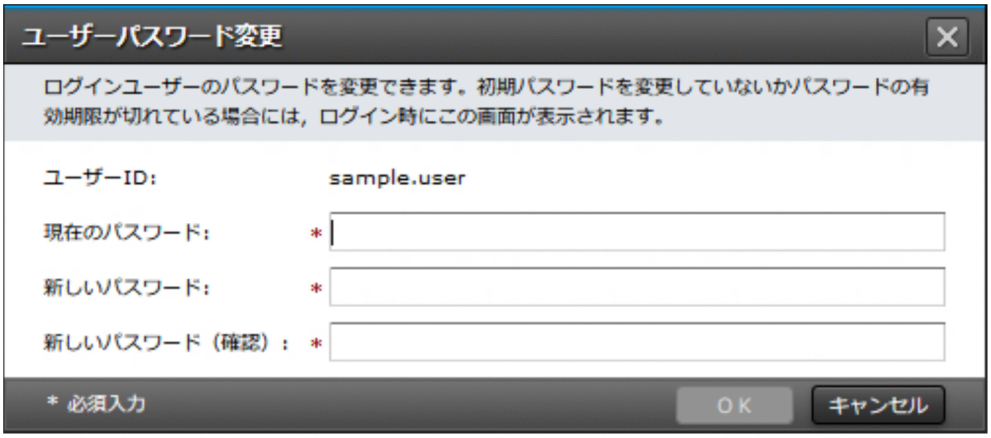
カテゴリ	項目	説明
ユーザー情報	ユーザー ID	ユーザーごとに割り当てられたユーザー ID が表示されます。
	チーム名	ユーザーが所属するチーム名が表示されます。
	ニックネーム	ユーザーのニックネーム（V01-12 以前は氏名）が以下の形式で表示されます。 形式 名前 1△名前 2（V01-12 以前は**姓△名**） （凡例）△：半角空白

カテゴリ	項目	説明
ユーザー情報	ローマ字ニックネーム	ローマ字ニックネーム（V01-12 以前はローマ字氏名）が表示されます。
	権限	サービスポータルでのユーザーの権限が表示されます。 • 利用者 • チーム管理者 • ポータル管理者
	電話番号（V02-00 以降）	SMS 認証の送信先となる電話番号が表示されます。
	連携中のユーザー（V02-00 以降）	シングルサインオン連携中の外部 ID プロバイダー上のユーザー情報が表示されます。 紐づけ・リンクを解除したい場合は，対象の連携中ユーザーに対して，［リンク解除］ボタンをクリックしてください。
環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに設定されている権限を表示します。権限は以下のどれかが表示されます。 • 利用しない • 参照 • 運用 • 管理
	ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに設定されているネットワークの権限を表示します。以下のどれかが表示されます。 • 利用しない • 利用する

2.4　ログインユーザーのパスワード変更

ログインユーザーのパスワード変更は，メイン画面の右上の［パスワード変更］ボタンから行います。［パスワード変更］ボタンをクリックすると表示される以下のダイアログから変更を実施してください。

入力項目には 1～255 バイトの任意文字列（文字種チェックなし）を指定可能です。



新しいパスワードは，サービスのパスワードポリシーを満たしている必要があります。パスワードポリシーの詳細は「12.1.9 ユーザー管理ポリシーに関する注意事項」を参照してください。

2.5　提供する機能とユーザーの権限の関係

ユーザーの権限には，以下の種類があります。

ポータルの権限は，提供されるサービスポータル上の権限になります。

接続ホストごとの権限は，JP1 関連の機能について，サービスから提供されるホストごとに設定できる権限になります。

ネットワークの権限は，ネットワーク関連の機能について，サービスから提供される環境種別ごとに設定できる権限になります。

カテゴリ	権限の種類	説明
ポータルの権限	ポータル管理者	サービスポータルの管理者権限があります。
	チーム管理者	サービスポータルのチーム管理者権限があります。
	利用者	サービスポータルの利用者権限があります。
接続ホストごとの権限	管理	対象ホストについて利用でき，管理権限があります。
	運用	対象ホストについて利用でき，運用権限があります。
	参照	対象ホストについて利用でき，参照権限があります。
	利用しない	対象ホストについて利用できません。
ネットワークの権限	利用する	対象の環境種別に対してネットワーク関連の操作を実施できます。
	利用しない	対象の環境種別に対してネットワーク関連の操作は実施できません。

提供する機能とユーザーの権限の関係を以下に示します。

「ポータルの権限」と「接続ホストごとの権限」および「ネットワークの権限」を足し合わせたものが，そのユーザーでできることになります。

権限がない機能については，非表示や非活性となり，操作できません。

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
ユーザー認証と操作権限	ログインとログアウト	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	ログインユーザーの情報表示	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	ログインユーザーのパスワード変更	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	連携ユーザーのリンク解除（V02-00以降）	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
プラットフォーム	メンテナンスの表示（V02-10以降）	○	△	△	■	■	■	■	■	■	※5
	メンテナンスの日時変更（V02-10以降）	○	△	−	■	■	■	■	■	■	※5
	提供するファイルの表示，ダウンロード	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	マネージャーの表示	■	■	■	○	○	○	−	■	■	
	マネージャーからのジョ	■	■	■	○	○	−	−	■	■	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
プラットフォーム	ブ定義のエクスポート	■	■	■	○	○	−	−	■	■	
	マネージャーへのジョブ定義のインポート	■	■	■	○	○	−	−	■	■	
	マネージャーのローカル日時の変更（V02-50以降）	■	■	■	○	−	−	−	■	■	
	上位ユニット属性継承機能の変更（V02-60以降）	■	■	■	○	−	−	−	■	■	
	マネージャーへの SAP ライブラリの配置（V02-40以降）	■	■	■	○	−	−	−	■	■	
	マネージャー表示色の変更（V02-60以降）	■	■	■	○	−	−	−	■	■	
ネットワーク	ルートの表示	■	■	■	■	■	■	■	○	−	
	ルートの追加	■	■	■	■	■	■	■	○	−	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
ネットワーク	ルートの削除	■	■	■	■	■	■	■	○	–	
	API キーの表示（V02-00 以降）	■	■	■	■	■	■	■	○	–	
	API キーの新規作成（V02-00 以降）	■	■	■	■	■	■	■	○	–	
	API キーの削除（V02-00 以降）	■	■	■	■	■	■	■	○	–	
接続ホストの表示，切り替え	操作対象ホストの表示，切り替え	■	■	■	○	○	○	–	■	■	
利用状況	メトリクスの表示	■	■	■	○	○	○	–	■	■	
	アラームの表示（V01-11 以降）	■	■	■	○	○	○	–	■	■	
	アラームの設定（V01-11 以降）	■	■	■	○	○	–	–	■	■	
	ライセンスの表示（V02-00 以降）	■	■	■	○	○	○	–	■	■	
JP1 管理基盤	JP1 ユーザーの表示	■	■	■	○	○	○	–	■	■	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
JP1 管理基盤	JP1 ユーザーの新規作成	■	■	■	○	–	–	–	■	■	
	JP1 ユーザーの編集	■	■	■	○	–	–	–	■	■	
	JP1 ユーザーの削除	■	■	■	○	–	–	–	■	■	
	JP1 ユーザーのパスワード変更	■	■	■	○	○	–	–	■	■	
	ホスト情報の表示（V02-00 以降）	■	■	■	○	○	○	–	■	■	
	ホスト情報の新規登録（V02-00 以降）	■	■	■	○	–	–	–	■	■	
	ホスト情報の編集（V02-00 以降）	■	■	■	○	–	–	–	■	■	
	ホスト情報の削除（V02-00 以降）	■	■	■	○	–	–	–	■	■	
	hosts 情報の表示（V01-12 以前）	■	■	■	○	○	○	–	■	■	
	hosts 情報の新規登録	■	■	■	○	–	–	–	■	■	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
JP1 管理基盤	（V01-12 以前）	■	■	■	○	−	−	−	■	■	
ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー）	実行エージェントの表示	■	■	■	○	○	○	−	■	■	
	実行エージェントの新規作成	■	■	■	○	−	−	−	■	■	
	実行エージェントの編集	■	■	■	○	△	−	−	■	■	※1
	実行エージェントの削除	■	■	■	○	−	−	−	■	■	
ファイル	ログの表示	■	■	■	○	○	○	−	■	■	
	ログのエクスポート，ダウンロード	■	■	■	○	○	○	−	■	■	
	ホストに紐づくファイルの表示，ダウンロード	■	■	■	○	○	○	−	■	■	
専用ストレージ	ユーザーファイルの表示（V01-12 以降）	■	■	■	○	○	○	−	■	■	
	ユーザーファイルのアップロード（V01-12 以降）	■	■	■	○	○	−	−	■	■	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
専用ストレージ	ユーザーファイルのダウンロード（V01-12以降）	■	■	■	○	○	○	–	■	■	
	ユーザーファイルの削除（V01-12以降）	■	■	■	○	○	–	–	■	■	
	ユーザーファイル用ディレクトリ作成（V01-12以降）	■	■	■	○	○	–	–	■	■	
	ユーザーファイルのコピー（V01-12以降）	■	■	■	○	○	–	–	■	■	
	ユーザーファイルの移動・名前変更（V01-12以降）	■	■	■	○	○	–	–	■	■	
	ユーザーファイルの権限変更（V01-12以降）	■	■	■	○	○	–	–	■	■	
	ユーザーファイル操作のコマンド文生成	■	■	■	○	○	○	–	■	■	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
専用ストレージ	（V02-40以降）	■	■	■	○	○	○	–	■	■	
タスク	タスク表示	○	○	○	■	■	■	■	■	■	※2
ユーザー管理	ユーザーの表示	○	△	–	■	■	■	■	■	■	※3
	ユーザーの新規作成	○	△	–	■	■	■	■	■	■	※3
	ユーザーの編集	○	△	–	■	■	■	■	■	■	※3
	ユーザーの削除	○	△	–	■	■	■	■	■	■	※3
	アカウントのロック解除	○	△	–	■	■	■	■	■	■	※3
	パスワードのリセット	○	△	–	■	■	■	■	■	■	※3
	チームの表示	○	△	–	■	■	■	■	■	■	※3
	チームの新規作成	○	–	–	■	■	■	■	■	■	
	チームの編集	○	–	–	■	■	■	■	■	■	
	チームのメンバー変更	○	–	–	■	■	■	■	■	■	
	チームの削除	○	–	–	■	■	■	■	■	■	
ログ管理	管理者向けログの表示	○	–	–	■	■	■	■	■	■	
	管理者向けログの	○	–	–	■	■	■	■	■	■	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
ログ管理	エクスポート，ダウンロード	○	−	−	■	■	■	■	■	■	
サポートサービス連携	連携情報の表示（V02-00～V02-50）	○	△	−	■	■	■	■	■	■	※4
	連携情報の変更（V02-00～V02-50）	○	△	−	■	■	■	■	■	■	※4
管理設定	通知先情報の表示（V02-60以降）	○	△	−	■	■	■	■	■	■	
	通知先情報の変更（V02-60以降）	○	△	−	■	■	■	■	■	■	
その他，共通	お知らせの表示	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	用語集の表示	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	フィードバックの送信（V01-11以降）	○	○	○	■	■	■	■	■	■	

（凡例）

○：表示・操作できる。

△：一部操作できる。

−：表示・操作できない。

■：他の権限により制御される。

注※1

運用権限では，ジョブの受付配信制限の状態だけを変更できます。

注※2

チーム管理者と利用者は，ログインユーザー自身が実行したタスクだけ表示できます。

注※3

チーム管理者は，自身が所属するチームの情報表示とチームのメンバーに対するユーザー操作だけを実行できます。ただし，ポータル管理者に対する操作（編集・削除・ロック解除・パスワードリセット）は実行できません。

注※4

チーム管理者は，自身が所属するチームに関連付く情報だけを表示・変更できます。チームに関連付く環境種別が設定されていない場合，表示・変更はできません。

注※5

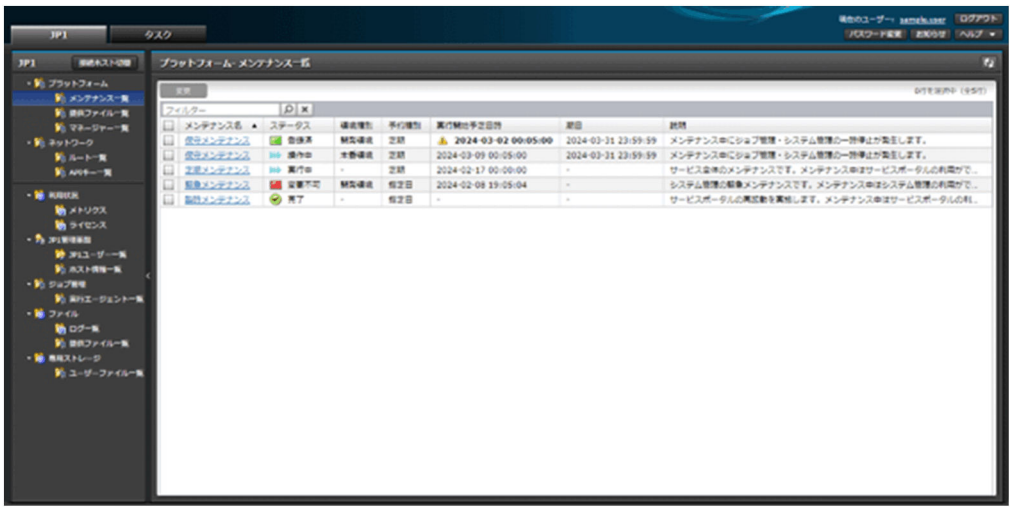
チーム管理者と利用者は，自身が所属するチームに関連付く環境種別が設定されている場合，その他の環境種別の情報は表示されません。チーム管理者は，自身が所属するチームに関連付く情報だけを変更できます。

3 プラットフォーム

プラットフォームのメニューで提供する機能について説明します。

3.1　メンテナンス一覧（V02-10 以降）

［JP1］画面のナビメニュー［プラットフォーム］−［メンテナンス一覧］を選択すると，メンテナンス一覧画面が表示されます。



3.1.1　一覧表示

サービスで予定されているメンテナンスの情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明	備考
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。	
メンテナンス名	メンテナンス名（メンテナンス種別）が表示されます。メンテナンス名のリンクをクリックすると，メンテナンスの詳細情報を参照することができます。	
ステータス	メンテナンスの状態が表示されます。 登録済 次のメンテナンスの予定が存在し，メンテナンスの日時変更も可能な状態です。 変更不可 次のメンテナンスの予定は存在しますが，メンテナンスの日時変更はできない状態です。 実行中 メンテナンスが実行中の状態です。 完了 メンテナンスが完了し，次のメンテナンスの予定も存在しない状態です。 このメンテナンスは完了となってから 30 日後（V02-30 以降は 90 日後）に表示されなくなります。	

項目	説明	備考
ステータス	操作中 　変更操作により，操作中の状態です。 ステータスが登録済のメンテナンスを選択したときにだけ［変更］ボタンが活性化し，操作を行うことができます。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。	
環境種別	メンテナンス対象の環境種別（開発環境，本番環境など）が表示されます。 特定の環境に紐づかない共通的なメンテナンスの場合は，「-」が表示されます。	
予約種別	メンテナンスの予約における種別が表示されます。 指定日 　メンテナンスが特定の日時に 1 回だけ実行される場合の種別です。 定期 　メンテナンスが最小 1 か月単位で繰り返し実行される場合の種別です。	
実行開始予定日時	直近のメンテナンスの実行開始予定日時が表示されます。 次の実行開始予定日時がない場合は，「-」が表示されます。	
期日	このメンテナンスを実行開始しなくてはいけない期日が表示されます。 期日がない場合は，「-」が表示されます。	
説明	メンテナンスの説明が表示されます。	

3.1.2　詳細表示

メンテナンスの詳細情報を表示できます。

メンテナンス一覧画面から，対象のメンテナンス名のリンクをクリックすると，詳細表示のダイアログが起動します。

表示する項目と説明を以下に示します。



項目	説明	備考
メンテナンス名	メンテナンス名が表示されます。	
メンテナンス ID	メンテナンスを一意に識別する ID が表示されます。	
環境種別	メンテナンス対象の環境種別（開発環境，本番環境など）が表示されます。 特定の環境に紐づかない共通的なメンテナンスの場合は，「-」が表示されます。	
説明	メンテナンスの説明が表示されます。	
予約種別	メンテナンスの予約における種別が表示されます。 指定日 メンテナンスが特定の日時に 1 回だけ実行される場合の種別です。 定期 メンテナンスが最小 1 か月単位で繰り返し実行される場合の種別です。	
予約日時	メンテナンスの予約日時・スケジュールが表示されます。 予約種別が指定日の場合は，その日時が表示されます。 予約種別が定期の場合は，繰り返し実行されるスケジュールが表示されます。何か月単位で予定されるか，各月の日付および時刻が表示されます。日付については，曜日指定（何週目の何曜日か），月初指定，月末指定のいずれかの設定内容が表示されます。	

項目	説明	備考
次回メンテナンス実行月	次のメンテナンスが実行される年月が表示されます。予約日時の設定に基づき，表示されている年月以降にメンテナンスが実行されます。	
日時のタイムゾーン	メンテナンスを予約する際のタイムゾーンが表示されます。日本時間として「Asia/Tokyo」が表示されます。	
実行開始予定日時	現在の設定内容で予定されている，メンテナンスの実行開始予定日時が表示されます。	
実行終了予定日時	現在の設定内容で予定されている，メンテナンスの実行終了予定日時が表示されます。	
実行履歴	過去 30 日（V02-30 以降は 90 日）以内のそのメンテナンスの実行履歴として以下の内容が表示されます。 開始日時 メンテナンスが開始された日時が表示されます。 終了日時 メンテナンスが終了した日時が表示されます。 ステータス 成功，失敗もしくは実行中のステータスが表示されます。	

3.1.3 日時変更

メンテナンスのスケジュールを変更できます。

メンテナンス一覧画面から，対象のメンテナンスを 1 つ選択して［変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして変更を実行します。

複数選択した場合やステータスが登録済でない場合，［変更］ボタンが非活性となり，操作できません。

なお，日時変更ができるメンテナンス種別については，JP1 Cloud Service のジョブ管理またはシステム管理のマニュアルを参照してください。



項目	説明	指定要否
メンテナンス名	メンテナンス名が表示されます。	−
メンテナンス ID	メンテナンスを一意に識別する ID が表示されます。	−
環境種別	メンテナンス対象の環境種別（開発環境，本番環境など）が表示されます。 特定の環境に紐づかない共通的なメンテナンスの場合は，「-」が表示されます。	−
説明	メンテナンスの説明が表示されます。	−
期日	このメンテナンスを実行しなくてはいけない期日が表示されます。 期日までにメンテナンスを実行するようにスケジュールする必要があります。	−
予約種別	メンテナンスの予約における種別が表示されます。 指定日 　メンテナンスが特定の日時に 1 回だけ実行される場合の種別です。 定期 　メンテナンスが最小 1 か月単位で繰り返し実行される場合の種別です。	−
予約日時	メンテナンスの予約日時・スケジュールを選択します。 予約種別が指定日の場合は，その日時を指定することができます。	必須

項目	説明	指定要否
予約日時	予約種別が定期の場合は，何か月単位で予定されるかは固定値とし，各月の日付および時刻を指定できます。日付については，曜日指定（何週目の何曜日か），月初指定，月末指定のいずれかで指定します。 制限事項 • 予約種別が定期の場合の曜日指定では，第 1 週～第 4 週の範囲もしくは最終週で指定可能です。 • 第 3 金曜日の 18 時以降や第 3 土曜日等サービス側で予約された日時を指定しようとした場合はエラーとなります。 • 現在から 3 日（72 時間）以内が実行開始予定日時となるスケジュールに変更することはできません。 • 実行開始予定日時が期日を超える予約を設定することはできません。 • 同じ環境種別のメンテナンス同士は重複した時間帯に設定することはできません。	必須
次回メンテナンス実行月	次のメンテナンスが実行される年月を選択します。予約日時の設定に基づき，選択した年月以降にメンテナンスが実行されます。 定期の予約種別において，特定の月のメンテナンスをスキップしたい場合は，この予定の有効化日時を次回以降の月に変更してください。ただし，期日を超えた年月への変更はできません。	必須
日時のタイムゾーン	メンテナンスを予約する際のタイムゾーンが表示されます。日本時間として「Asia/Tokyo」が表示されます。	−
実行開始予定日時	予約日時の設定内容でメンテナンスを日時変更した場合の，メンテナンスの実行開始予定日時が表示されます。	−
実行終了予定日時	予約日時の設定内容でメンテナンスを日時変更した場合の，メンテナンスの実行終了予定日時が表示されます。	−

3.2　提供ファイル一覧

［JP1］画面のナビメニュー［プラットフォーム］－［提供ファイル一覧］を選択すると，提供ファイル一覧画面が表示されます。



3.2.1　一覧表示

サービスから共通的に提供するファイルを表示して，ダウンロードできます。

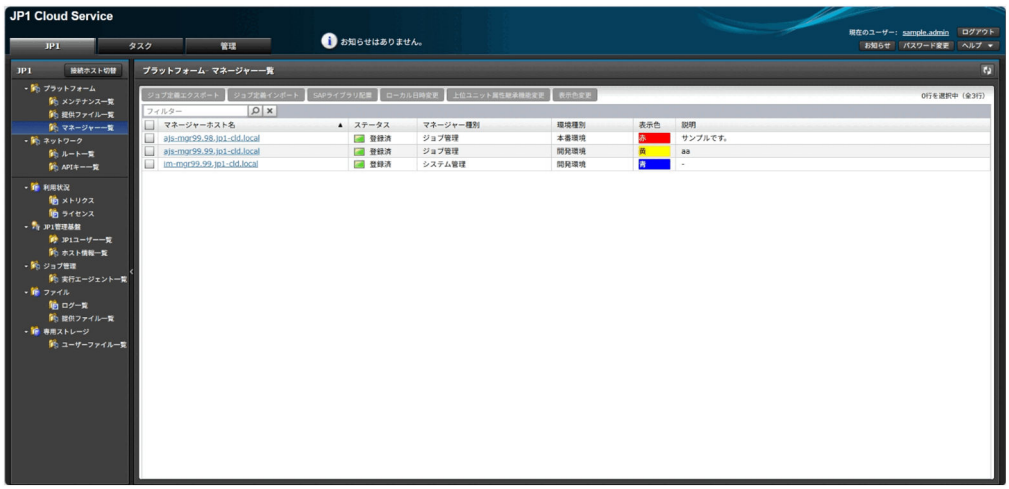
サービス利用ガイド（マニュアル），クラウドサービス連携用サンプルコンテンツなどがダウンロードできます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
ファイル名	ファイル名が表示されます。 ファイル名のリンクをクリックすると，ファイルをダウンロードできます。
説明	ファイルの説明が表示されます。
最終更新日時	ファイルの最終更新日時が表示されます。
サイズ	ファイルのサイズが表示されます。

3.3　マネージャー一覧

［JP1］画面のナビメニュー［プラットフォーム］−［マネージャー一覧］を選択すると，マネージャー一覧画面が表示されます。



3.3.1　一覧表示

サービスで提供されるマネージャーホストの情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
マネージャーホスト名	ログインユーザーが利用できるマネージャーホスト名が表示されます。マネージャーホスト名のリンクをクリックすると，マネージャーホストの詳細情報を参照することができます。
ステータス	マネージャーの状態が表示されます。 登録済 　登録が完了している状態です。 操作中 　変更操作により，操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合，そのマネージャーホストを選択したときに各操作ボタンが非活性になり，それらの操作を行うことができません。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。
マネージャー種別	マネージャーホストの種別が表示されます。 ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー） 　JP1/Automatic Job Management System 3 のことです。

項目	説明
マネージャー種別	システム管理（V01-12 以前は統合オペレーション） JP1/Integrated Management のことです。
環境種別	マネージャーホストの環境種別（開発環境，本番環境など）が表示されます。
表示色（V02-60 以降）	マネージャーホストに設定されている表示色が表示されます。
説明	マネージャーホストの説明が表示されます。

3.3.2　詳細表示

サービスで提供されるマネージャーホストの詳細情報を表示できます。

マネージャー一覧画面から，対象のマネージャーホストの名前のリンクをクリックすると，詳細表示のダイアログが起動します。

表示する項目と説明を以下に示します。



項目	説明
マネージャーホスト名	マネージャーホスト名が表示されます。
マネージャー種別	マネージャーホストの種別が表示されます。 ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー） JP1/Automatic Job Management System 3 のことです。 システム管理（V01-12 以前は統合オペレーション） JP1/Integrated Management のことです。
環境種別	マネージャーホストの環境種別（開発環境，本番環境など）が表示されます。
認証サーバー名	マネージャーホストの認証サーバー名が表示されます。
関連する Web ページ	関連する Web ページの URL がリンク付きで表示されます。
説明	マネージャーホストの説明が表示されます。

3.3.3　ジョブ定義のエクスポート

JP1/AJS3（ジョブ管理，V01-12 以前はジョブスケジューラー）のマネージャーからジョブ定義をエクスポートできます。

マネージャー一覧画面から，対象のマネージャーを 1 つ選択して［ジョブ定義エクスポート］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックしてエクスポートします。

複数選択した場合やステータスが操作中のマネージャーを選択した場合，またはマネージャー種別が「ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー)」以外の場合，［ジョブ定義エクスポート］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

- ジョブ定義のエクスポートを行う際は，対象のすべてのユニットの所有者が空白指定になっていないことを確認してください。所有者が空白指定の場合，インポート先のマネージャーホスト上で正しく定義されない場合があります。



項目	説明	指定要否
マネージャーホスト名	選択したマネージャーホスト名が表示されます。	−
ユニット名	定義内容を出力するジョブ名，ジョブネット名，またはジョブグループ名（ユニット名）を入力します。 1～930 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 ユニット名は先頭スラッシュ（/）の完全名で指定する必要があります。ルートジョブグループからそのユニットまでの名称をスラッシュ（/）で区切って指定したものです。ただし，ルートジョブグループを表す「/」は指定できません。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”’　‘（），：；＝スペース	必須

項目	説明	指定要否
ユニット名	その他，注意事項 任意名を指定する場合に，総称名を表す記号（＊？[ ]）を指定できます。 例えば，ジョブネット（/net1）中にジョブ（job1，job2，job3，job4）が定義されている場合，ジョブネット（/net1）中のすべてのジョブを操作対象にしたいときは，「/net1/*」，「/net1/job?」「/net1/job[1234]」のように指定できます。 また，以下の記号は JP1/AJS3 の前製品（JP1/AJS）からの移行時のために用意されています。 & ＊ < > ? [￥] ^ { | } ~ これらの記号を使用したユニットを指定する場合は，記号の前に「¥」文字を置いてキャストしてください。 また，機種依存文字は使用できません。機種依存文字を使用した場合，文字化けするおそれがあります。	必須
スケジューラーサービス名	対象とするスケジューラーサービスのサービス名を入力します。 1～30 バイトの半角英数字と以下の記号を指定可能です。 使用できる記号 ！＃％＋－．_	必須
公開先ホスト	エクスポートしたジョブ定義を公開するマネージャーホストを選択します。権限に関わらずすべてのジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー）のマネージャーホストが表示され，複数選択することもできます。 選択できるホストの数は，最大 4 つです。	必須
定義ファイル名のサフィックス	エクスポートした定義ファイルにサフィックス（接尾辞）として付与する文字列を入力します。 1～128 バイトの半角英数字と以下の記号を指定可能です。 使用できる記号 ！－_（）	任意
説明	定義ファイルの説明を入力します。 1～128 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および”’｀＄”　’　‘！＃％＆（）＊，；＜＞？[￥] ^ { | } ~ その他，注意事項 日本語などのマルチバイト文字も使用できますが，記号などの指定は避けてください。ASCII 文字を推奨します。	任意

ジョブ定義エクスポートのタスクが完了すると，公開先ホストとして選択したホストに紐づくファイルとして，ナビメニュー［ファイル］－［提供ファイル一覧］に表示され，ダウンロードもできます。ファイル名は，「ajsjobdef_**<タスク ID>**_**<入力したサフィックス>**.zip」（例：ajsjobdef_0000000001_sample.zip）です。ただし，サフィックスを指定しなかった場合，サフィックス前のアンダーバー（_）含めてファイル名には入りません。

zip ファイル中に格納されているジョブ定義のファイル名を以下に示します。

項目	ファイル名	ファイル名の例
ジョブ定義	ajsjobdef_**<タスク ID>_<入力したサフィックス※>**.txt 注※ サフィックスを指定しなかった場合，サフィックス前のアンダーバー（_）含めてファイル名には入りません。	ajsjobdef_0000000001_sample.txt

エクスポートしたジョブ定義の保管期間は 90 日です。最終更新日時（エクスポートした日時）から 90 日を経過したジョブ定義は削除されます。

また，ジョブ定義（ユニット定義ファイル）の出力形式などの内容は，JP1/Automatic Job Management System 3 のマニュアルを参照してください。文字コードは UTF-8，改行コードは LF です。

3.3.4　ジョブ定義のインポート

JP1/AJS3（ジョブ管理，V01-12 以前はジョブスケジューラー）のマネージャーにジョブ定義をインポートできます。

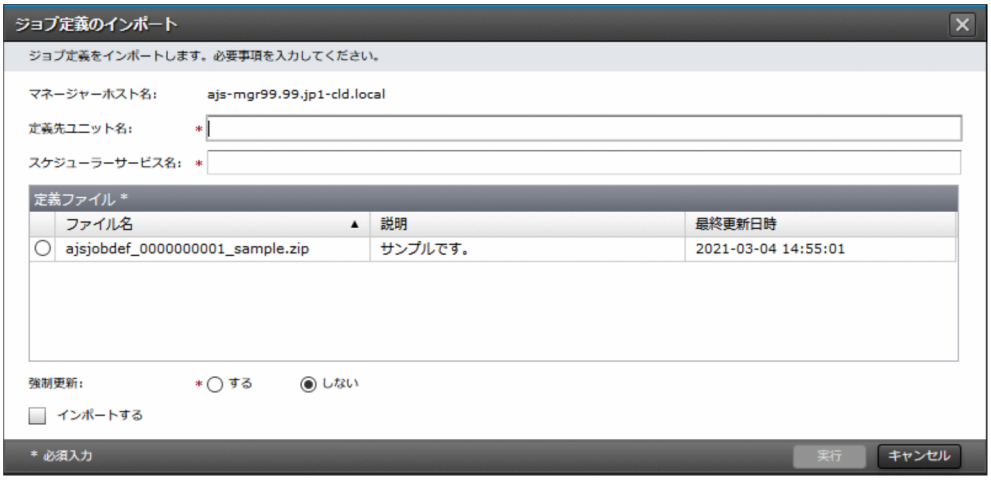
マネージャー一覧画面から，対象のマネージャーを 1 つ選択して［ジョブ定義インポート］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックしてインポートします。

複数選択した場合やステータスが操作中のマネージャーを選択した場合，またはマネージャー種別が「ジョブ管理，V01-12 以前はジョブスケジューラー)」以外の場合，［ジョブ定義インポート］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

- ユニットの定義中にエラーが発生した場合，定義中のユニットを削除し，タスクはエラーで終了します。強制更新する場合，更新対象のユニットを定義したあとにエラーが発生すると，更新対象のユニットが削除された状態でタスクはエラーで終了します。
- ジョブグループやジョブネットを強制更新しても，強制的に更新したジョブグループを参照しているジョブネットや，強制的に更新したジョブネットを排他スケジュールに指定しているジョブネットのスケジュールは再計算されません。
- ユニットを強制更新すると，計画実行登録または未来世代数を指定して確定実行登録したジョブネットが「閉塞」状態になったり，実行予定が作成されなかったりするおそれがあります。対象は，更新するジョブグループを「他のジョブグループのカレンダーを参照する」に指定したジョブネット，更新するジョブネットを「排他スケジュール」に指定したジョブネットです。この場合，計画実行登録または確定実行登録したジョブネットを登録解除したあと，強制更新を指定してインポートを実行してください。

- 定義先ユニット名に指定したジョブネットが「実行登録中でありサスペンド状態でない」または「JP1/AJS3 - View 上で排他編集されている」場合，タスクはエラーで終了します。
- ジョブネットの中にジョブグループを定義できません。
- ジョブ，マネージャージョブグループ，およびマネージャージョブネットにはユニットを定義できません。
- 実行登録済みのルートジョブネットの情報や，そのルートジョブネットを含むジョブグループおよびプランニンググループの情報は更新できません。
- 実行登録済みのジョブネット，そのジョブネットの上位，そのジョブネット中，およびそのジョブネットの下位には，ユニットを定義できません。ただし，ルートジョブネット，そのルートジョブネットを含むジョブグループ，およびリモートジョブネット以外のユニットの場合，操作対象のジョブネットをサスペンド状態にしておいてインポートすれば，ジョブネットの実行登録を解除しなくても，情報を更新できます（操作対象のユニットが実行中の場合，情報は更新できません）。
- 定義先ユニット名に指定したジョブネットがサスペンド状態変更処理中の場合，タスクはエラーで終了します。
- ジョブネットの中にプランニンググループを定義できません。
- プランニンググループの中にはジョブネット，リモートジョブネット以外のユニットを定義できません。
- ジョブネットを定義する際，ユニットの実行順序の整合性はチェックしません。ユニットの実行順序がループするように関連づけたジョブネット，または従属ユニットが関連づけられていない判定ジョブは，実行時に「順序不正」でエラーになります。
- リリース登録されているルートジョブネット（リリース先ジョブネット）にユニットを定義した場合は，「適用中」状態のジョブネット定義中に定義されます。
- リリース登録されているルートジョブネット（リリース先ジョブネット）には，ジョブネットコネクタおよび起動条件は定義できません。
- 定義するユニットにウィンドウ上の位置を指定しなかった場合，JP1/AJS3 - View の［ジョブネットエディタ］ウィンドウの左上から右下方向にかけて空いている場所に自動的に配置されます。



項目	説明	指定要否
マネージャーホスト名	選択したマネージャーホスト名が表示されます。	−
定義先ユニット名	ジョブ定義（ユニット）の定義先となる，ジョブグループ名，またはジョブネット名を入力します。 1〜930 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 ユニット名は先頭スラッシュ（/）の完全名で指定する必要があります。ルートジョブグループからそのユニットまでの名称をスラッシュ（/）で区切って指定したものです。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”’ ‘（），：；=スペース その他，注意事項 機種依存文字は使用できません。機種依存文字を使用した場合，文字化けするおそれがあります。	必須
スケジューラーサービス名	対象とするスケジューラーサービスのサービス名を入力します。 1〜30 バイトの半角英数字と以下の記号を指定可能です。 使用できる記号 ！＃％＋－．_	必須
定義ファイル	インポートに使用できる定義ファイルが表示されます。使用するジョブ定義のファイルを 1 つ選択します。 表示される定義ファイルは，ジョブ定義エクスポートにより出力したプレフィックス「ajsjobdef_」のファイルで，選択したマネージャーホストに公開されているファイルだけが表示されます。	必須
強制更新	ユニットの定義先に，定義ファイルに記述されているユニットと同一名称のユニットがある場合でも，強制的に更新（強制的に更新するユニットおよびその配下ユニットを削除してから，定義ファイルに記述されているユニットを作成）するかどうかを選択します。 デフォルトは「しない」が選択されています。 なお，定義ファイル中の記述で，同一階層に同一名称のユニット名の指定がある場合は，タスクはエラーで終了します。	必須

なお，対象のジョブネットがサスペンド状態の場合，実行登録済みのジョブネットであっても，ネストジョブネットやジョブの定義を更新できます。ただし，ジョブネットがサスペンド状態でも，ルートジョブネットの定義を更新する場合や，ルートジョブネットの定義を含むジョブグループの定義を更新する場合，実行中のジョブネットの場合は定義の更新は行えません。

また，インポート後のジョブ定義の操作やジョブの実行・リリース登録などは，JP1/AJS3 - View などから実施してください。

3.3.5　ローカル日時の変更（V02-50 以降）

JP1/AJS3（ジョブ管理）のマネージャーについて，スケジューラーサービスのローカル日時を変更できます。マネージャー一覧画面から，対象のマネージャーを 1 つ選択して［ローカル日時変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックして変更をスケジュールします。

複数選択した場合やステータスが操作中のマネージャーを選択した場合，またはマネージャー種別が「ジョブ管理」以外の場合，［ローカル日時変更］ボタンが非活性となり，操作できません。

また，ディザスタリカバリオプションを契約されているなど，災対環境で稼働中の際には，この機能は利用できません。

注意事項

- ローカル日時の変更の際に，対象のスケジューラーサービスの停止が発生するため，予約日時を設定し，メンテナンス一覧画面に表示した上でスケジュール実行されます。
- ローカル日時変更の反映・実行は，環境種別単位に 1 つずつになり，複数同時のスケジュール設定・実行はできません。このため，メンテナンス一覧画面からローカル日時変更のメンテナンス実行が完了していることを確認してから，次の変更をスケジュールしてください。
- ローカル日時を過去の時刻に変更する場合は，スケジューラーサービスのローカル日時を変更する前に，リリース登録したジョブネットがないかを確認してください。過去にリリース登録を実施した実績があるジョブネットも含め，リリース登録したジョブネットがある場合は，リリース先ジョブネットを削除してから，時刻を変更してください。リリース先ジョブネットを削除しないで日時を過去の時刻に変更すると，正常に動作しなくなるおそれがあります。その場合，日時を変更前の時刻に戻したあとで，リリース先ジョブネットを削除してから，再度日時を変更してください。



項目	項目	指定要否
マネージャーホスト名	選択したマネージャーホスト名が表示されます。	−
スケジューラーサービス名	対象とするスケジューラーサービスのサービス名を入力します。 1〜30 バイトの半角英数字と以下の記号を指定可能です。 使用できる記号 ！＃％＋－．＿ スケジューラーサービス名を入力してから，［現在のローカル日時の表示］ボタンをクリックすると，指定したスケジューラーサービスのローカル日時が表示されます。 なお，タイムゾーンは JST になります。	必須
変更種別	変更種別を選択し，変更に必要な情報を入力します。 絶対日時 変更後のスケジューラーサービスのローカル日時を指定します。 日付「yyyy/MM/dd」と時刻「HH:mm」の形式でそれぞれ入力します。年（yyyy）で指定できる値は，1997〜2099 です。日付か時刻のいずれか，あるいは両方の指定ができます。 なお，タイムゾーンは JST になります。 リセット 日時を初期値（ホストの現在時刻）に戻します。入力項目はありません。 実行キャンセル 実行予約・スケジュール済みの変更を一度キャンセル・実行中止したい場合に選択してください。	必須

項目	項目	指定要否
変更種別	入力項目はありません。また，実行予約日時の指定もありません。	必須
実行予約日時	指定したスケジューラーサービスへ変更を反映する予約日時・スケジュールを入力します。 なお，タイムゾーンは日本時間（JST）になります。 制限事項 • 第 3 金曜日の 18 時以降や第 3 土曜日等サービス側で予約された日時を指定しようとした場合はエラーとなります。 • 現在から 5 分以内が実行開始予定日時となるスケジュールを指定することはできません。 • 同じ環境種別のメンテナンス同士は重複した時間帯に設定することはできません。	必須

ローカル日時の変更の反映は，メンテナンス一覧画面（ナビメニュー［プラットフォーム］−［メンテナンス一覧］）に表示した上で，ローカル日時変更のメンテナンスとしてスケジュール実行されます。実行状況などについてはメンテナンス一覧画面から確認してください。メンテナンス一覧画面の詳細表示から，実行履歴を確認することができます。

ローカル日時変更のメンテナンス実行が完了すると，対象のマネージャーホストに紐づくファイルとして実行結果のログが出力されます。結果の詳細を確認し，必要に応じて対処を実施してください。このログは，提供ファイル一覧画面（ナビメニュー［ファイル］−［提供ファイル一覧］）に表示され，ダウンロードできます。ファイル名は，「ajslocaldate_**<タスク ID>**_**<ログ出力日時>**.zip」（例：ajslocaldate_0000000001_20260123095432.zip）です。

zip ファイル中に格納されている実行結果ログのファイル名を以下に示します。

項目	ファイル名	ファイル名の例
ローカル日時変更の実行結果ログ	ajslocaldate_**<タスク ID>**_**<ログ出力日時>**.txt	ajslocaldate_0000000001_20260123095432.txt

ローカル日時変更の実行結果ログの保管期間は 90 日です。最終更新日時（ログファイルが出力された日時）から 90 日が経過すると削除されます。

3.3.6　上位ユニット属性継承機能の変更（V02-60 以降）

JP1/AJS3（ジョブ管理）のマネージャーの上位ユニット属性継承機能の設定を変更できます。

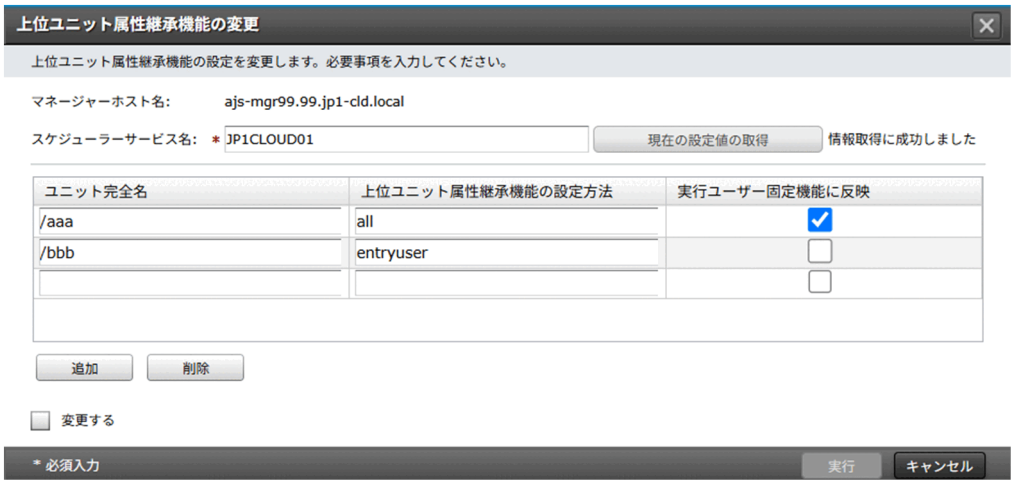
マネージャー一覧画面から，対象のマネージャーを 1 つ選択して［上位ユニット属性継承機能変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに［スケジューラーサービス名］を入力し，［現在の設定値の取得］ボタンをクリックします。その後，必要な情報を入力して内容に誤りがないことを確認（チェッ

ク）し，［実行］ボタンをクリックして変更します。［追加］または［削除］ボタンで入力行を追加または削除することで，複数のユニットを一括で設定することができます。上位ユニット属性継承機能の変更ではスケジューラーサービスの再起動や停止は発生せずに設定が反映されます。

マネージャーを複数選択した場合やステータスが操作中のマネージャーを選択した場合，またはマネージャー種別が「ジョブ管理」以外の場合，［上位ユニット属性継承機能変更］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

- スケジューラーサービスあたりに設定可能なユニットは最大で 20 までです。
- ［現在の設定値の取得］ボタンをクリックせずに，情報を入力して［実行］ボタンをクリックした場合は，現在の設定値が上書きされます。



項目	説明	指定要否
マネージャーホスト名	選択したマネージャーホスト名が表示されます。	−
スケジューラーサービス名	対象とするスケジューラーサービスのサービス名を入力します。 1〜30 バイトの半角英数字と以下の記号を指定可能です。 使用できる記号 ! # % + - . _	必須
ユニット完全名	対象とするユニット完全名（unit_path）を入力します。 1〜930 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 ユニット名は先頭スラッシュ（/）の完全名で指定する必要があります。ルートジョブグループからそのユニットまでの名称をスラッシュ（/）で区切って指定したものです。 使用禁止文字 制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘ ( ) , : ; = スペース その他，注意事項 機種依存文字は使用できません。機種依存文字を使用した場合，文字化けするおそれがあります。	ユニットに対する機能設定をする場合は必須
上位ユニット属性継承機能の設定方法	上位ユニット属性継承機能の設定方法に指定する値を入力します。 entryuser または all を指定可能です。	ユニットに対する機能設定をする場合は必須

項目	説明	指定要否
上位ユニット属性継承機能の設定方法	上位ユニット属性継承機能を設定すると，ユニット完全名で指定したジョブグループまたはジョブネットの配下のユニットが，所有者および JP1 資源グループを上位ユニットから継承します。 entryuser 配下のジョブのうち実行ユーザー種別が所有ユーザーに設定されているジョブについては，それぞれのジョブの所有者が実行ユーザーになります。 all 実行ユーザー種別が所有ユーザーのジョブでも，実行ユーザー固定機能を設定したユニットの所有者で固定します。	ユニットに対する機能設定をする場合は必須
実行ユーザー固定機能に反映	実行ユーザー固定機能の設定方法に，上位ユニット属性継承機能の設定方法に指定した値と同じ値を反映するか否かを，チェックボックスで指定可能です。チェックしない場合，実行ユーザー固定機能は設定・使用されません。 実行ユーザー固定機能を設定すると，ユニット完全名で指定したユニット配下にあるジョブの実行ユーザーを，実行ユーザー固定機能を設定したユニットの所有者で固定します。 entryuser 配下のジョブのうち実行ユーザー種別が所有ユーザーに設定されているジョブについては，それぞれのジョブの所有者が実行ユーザーになります。 all 実行ユーザー種別が所有ユーザーのジョブでも，実行ユーザー固定機能を設定したユニットの所有者で固定します。 制限事項 実行ユーザー固定機能の設定方法は上位ユニット属性継承機能の設定方法とは別の値を設定することはできません。	ユニットに対する機能設定をする場合は必須

3.3.7　SAP ライブラリの配置（V02-40 以降）

JP1/AJS3（ジョブ管理）のマネージャーに SAP ライブラリやサーバー証明書の配置や取得ができます。

マネージャー一覧画面から，対象のマネージャーを 1 つ選択して［SAP ライブラリ配置］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして配置します。入力項目に何も指定されていない場合，［実行］ボタンは活性化しません。

ERP 連携オプションを契約されていないマネージャーの場合，［SAP ライブラリ配置］ボタンが非活性となり，操作できません。複数選択した場合やステータスが操作中のマネージャーを選択した場合，またはマネージャー種別が「ジョブ管理」以外の場合，［SAP ライブラリ配置］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

- 配置する SAP ライブラリなどに誤りがないことを事前に確認してください。サービスで対応するバージョン情報などについては，JP1 Cloud Service ジョブ管理 ERP 連携 利用ガイドを参照してください。
- ディザスタリカバリオプションを契約されていて，災対環境で稼働中の際には，この機能を利用してライブラリ・ファイルの配置や作成を実施しないでください。
- 2 つ以上のサーバー証明書を配置したい場合には，サービス窓口までお問い合わせください。



項目	説明	指定要否
マネージャーホスト名	選択したマネージャーホスト名が表示されます。	–
SAP NetWeaver RFC Library	配置する SAP NetWeaver RFC Library を 1 つ追加します。このファイルは，ERP 連携オプションで提供する機能を利用するために必ず配置が必要になります。 指定するファイルは SAP が提供する解凍ツールで解凍済みのファイルをまとめた zip ファイルとし，ファイル名の長さは 64 バイト以内で，半角英数字と以下の記号から成るファイル名を指定可能です。 使用できる記号 - _ . なお，指定する zip ファイルを作成・圧縮時には，配置対象のファイル一式を格納した lib フォルダを圧縮し，解凍時には解凍先直下に lib フォルダが展開される（この lib フォルダ内にファイル一式が格納される）ように作成してください。	任意
SAP Cryptographic Library	配置する SAP Cryptographic Library を 1 つ追加します。このファイルは，WebSocket RFC(S/4HANA Cloud)との接続を行う場合に配置が必要になります。 指定するファイルは SAP が提供する解凍ツールで解凍済みのファイルをまとめた zip ファイルとし，ファイル名の長さは 64 バイト以内で，半角英数字と以下の記号から成るファイル名を指定可能です。 使用できる記号 - _ . なお，指定する zip ファイルを作成・圧縮時には，配置対象のファイル一式を直接選択・指定して圧縮し，解凍時には解凍先直下にファイル一式が展開されるように作成してください。	任意

項目	説明	指定要否
サーバー証明書	配置するサーバー証明書を 1 つ追加します。このファイルは，WebSocket RFC 接続で TLS による暗号化通信（サーバー認証）を行う場合に配置が必要になります。 指定するファイルのファイル名の長さは 64 バイト以内で，半角英数字と以下の記号から成るファイル名を指定可能です。 使用できる記号 - _ . なお，前提として，SAP Cryptographic Library の配置が必要になります。	任意
クライアント証明書の作成	WebSocket RFC 接続で TLS による暗号化通信（サーバー認証に加えてクライアント認証）を行う場合に選択します。選択して実行した場合，クライアント証明書が作成されます。 デフォルトは「しない」が選択されています。 なお，前提として，サーバー証明書の配置が必要になります。	任意

[ライブラリダウンロード] ボタンをクリックすると，システムに配置されているライブラリ一式を取得できます。ライブラリファイルがない場合には，その旨を知らせるメッセージが表示されます。

また，[証明書ファイルダウンロード] ボタンをクリックすると，システムに配置されているサーバー証明書やクライアント証明書などの証明書ファイルを取得できます。ファイルがない場合には，その旨を知らせるメッセージが表示されます。

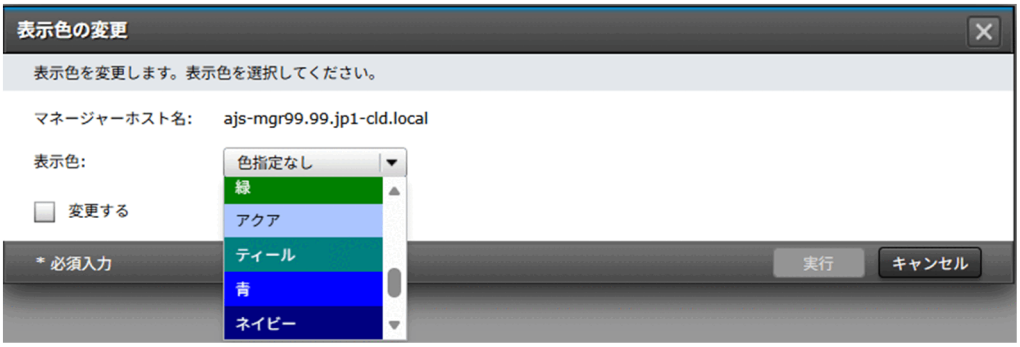
3.3.8 表示色の変更（V02-60 以降）

サービスポータルで選択中の接続ホストの表示色の変更ができます。設定すると操作対象となっている接続ホストを，マネージャーホスト名だけではなく色でも把握しやすくなります。

マネージャー一覧画面から，対象のマネージャーを 1 つ選択して［表示色変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして変更します。

注意事項

表示色は全ユーザーで共通です。他のユーザーの変更を反映させる場合は「5.1 切り替え」より再度接続ホストを選択してください。

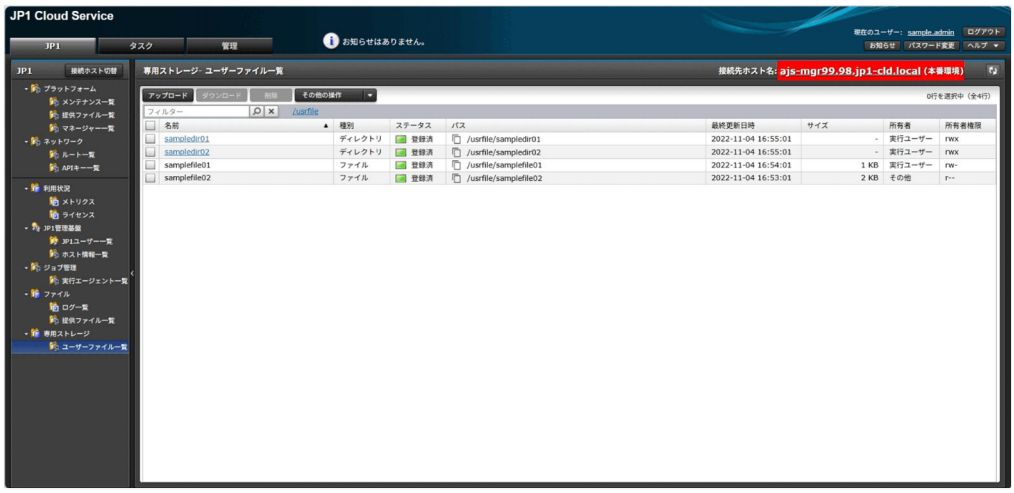


項目	説明	指定要否
マネージャーホスト名	選択したマネージャーホスト名が表示されます。	–
表示色	マネージャーホストのサービスポータル上での表示色を選択します。※	必須

注※　選択可能な表示色を以下に示します。

値	カラーコード
色指定なし	–
白	#FFFFFF
銀	#C0C0C0
灰	#808080
黒	#000000
赤	#FF0000
栗	#800000
黄	#FFFF00
オリーブ	#808000
ライム	#00FF00
緑	#008000
アクア	#00FFFF
ティール	#008080
青	#0000FF
ネイビー	#000080
フクシャ	#FF00FF
紫	#800080

マネージャーホストに表示色を設定した場合，以下の画面のように画面に接続ホスト名が表示される場合は色がついて表示されます。


JP1 Cloud Service
JP1
タスク
管理
お知らせはありません。
現在のユーザー: sample_admin
ログアウト
お知らせ
パスワード変更
ヘルプ
JP1
接続ホスト切替
プラットフォーム
メンテナンス一覧
提供ファイル一覧
マネージャー一覧
ネットワーク
ルート一覧
APIキー一覧
利用状況
メトリクス
ライセンス
JP1管理基盤
JP1ユーザー一覧
ホスト情報一覧
ジョブ管理
実行エージェント一覧
ファイル
ログ一覧
提供ファイル一覧
専用ストレージ
ユーザーファイル一覧
専用ストレージ: ユーザーファイル一覧
接続先ホスト名: ajs-mgr99.98.jp1-cld.local (本番環境)
アップロード
ダウンロード
削除
その他の操作
0行を選択中（全4行）
フィルター
/usrfile
名前
種別
ステータス
パス
最終更新日時
サイズ
所有者
所有者権限
sampledir01
ディレクトリ
登録済
/usrfile/sampledir01
2022-11-04 16:55:01
-
実行ユーザー
rwx
sampledir02
ディレクトリ
登録済
/usrfile/sampledir02
2022-11-04 16:55:01
-
実行ユーザー
rwx
samplefile01
ファイル
登録済
/usrfile/samplefile01
2022-11-04 16:54:01
1 KB
実行ユーザー
rw-
samplefile02
ファイル
登録済
/usrfile/samplefile02
2022-11-04 16:53:01
2 KB
その他
r--

4 ネットワーク

ネットワークのメニューで提供する機能について説明します。

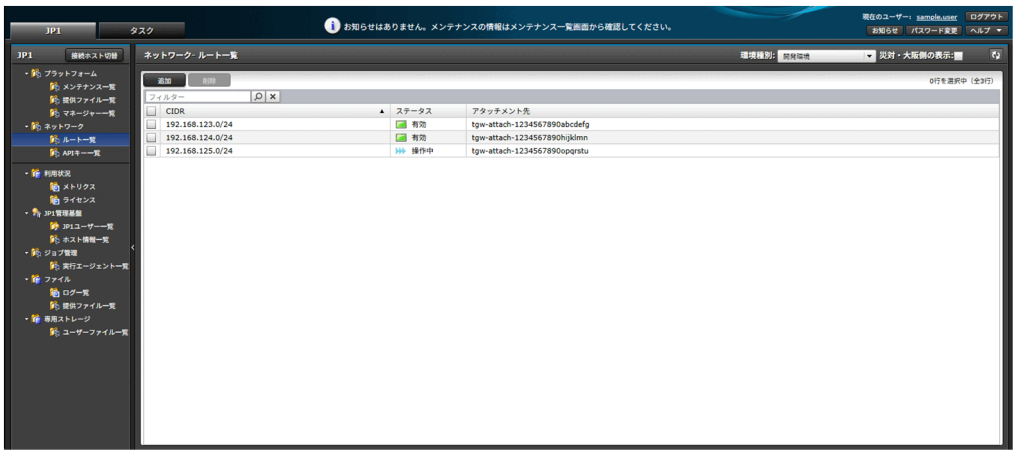
4.1　ルート一覧

［JP1］画面のナビメニュー［ネットワーク］−［ルート一覧］を選択すると，ルート一覧画面が表示されます。

一覧画面の右の「環境種別」で示されたリストにはログインユーザーに利用権限がある環境種別が表示されます。リストから表示対象の環境種別を選択すると，その環境に設定されているルート（経路）情報が表示されます。デフォルトは何も選択されていません。

また，V02-50 以降では，一覧画面の右の「災対・大阪側の表示」のチェックボックスを選択すると，災対環境・大阪リージョン側に設定されているルート（経路）情報が表示されます。デフォルトは何も選択されていません。災対環境・大阪リージョン側にリソースがない場合には，一覧には何も表示されません。

お客様環境が Azure や Google Cloud，OCI の場合，または V02-00 以降においてインターネット経由でのみサービスを利用される場合，このルート一覧画面で提供する機能は利用できません。その他，お客様所有の AWS Transit Gateway を使用して接続されているなど，サービスが所有する AWS Transit Gateway 以外を用いて接続されている場合もこの機能は利用できません。ルートの操作が必要な場合には，サービス窓口までお問い合わせください。



4.1.1　一覧表示

サービスで提供されるマネージャーとの閉域通信に利用されるルート（経路）情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
CIDR	宛先の CIDR ブロックが表示されます。
ステータス	ルートの状態が表示されます。

項目	説明
ステータス	有効 　ルーティングが有効な状態です。 無効 　ルーティングが無効な状態です。 操作中 　変更操作により，操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合，その CIDR を選択したときに［削除］ボタンが非活性になり，操作を行うことができません。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。
アタッチメント先	アタッチメント先（ルーティング先）の ID が表示されます。AWS の Transit Gateway Attachment ID を意味します。

4.1.2　追加

ルートを追加できます。ルート情報は，閉域通信においてサービス側のネットワークからお客様環境のネットワークへの通信のルーティングのために設定が必要になります。

ルート一覧画面から，［追加］ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックして追加します。

すでに存在する CIDR ブロックのルート情報を複数追加することはできません。



項目	説明	指定要否
CIDR	宛先として追加する CIDR ブロックを以下の形式で入力します。 形式 　**W.X.Y.Z（IP アドレス）/サブネットマスク** 　W～Z（IP アドレス）は，それぞれ 0～255 の範囲の数字で入力してください。 　サブネットマスクは，0～32 の範囲の数字で入力してください。	必須

項目	説明	指定要否
アタッチメント先	アタッチメント先（ルーティング先）の候補が表示されます。アタッチ先を 1 つ選択します。	必須

4.1.3　削除

ルートを削除できます。

ルート一覧画面から，対象のルートをすべて選択して［削除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中のルートを選択した場合，［削除］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

サービスポータル接続元を含むルートを削除する場合，他にサービスポータルに接続できるルート情報があることを確認してください。誤ってサービスポータルとの通信に必要なルートをすべて削除してしまった場合には，サービス窓口までお問い合わせください。



4.2　API キー一覧（V02-00 以降）

［JP1］画面のナビメニュー［ネットワーク］−［API キー一覧］を選択すると，API キー一覧画面が表示されます。

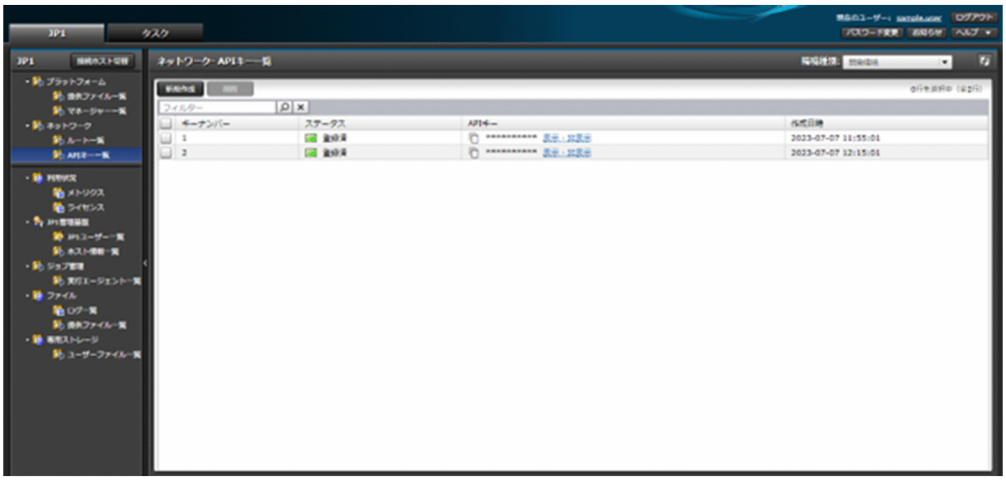
一覧画面の右の「環境種別」で示されたリストにはログインユーザーに利用権限がある環境種別が表示されます。リストから表示対象の環境種別を選択すると，その環境に設定されている API キー情報が表示されます。デフォルトは何も選択されていません。

インターネット経由でのアクセスを許可していない環境種別の場合，この API キー一覧画面で提供する機能は利用できません。

API キーは，お客様環境からインターネット経由でサービス内の Web アプリケーションに REST API を発行する場合に設定が必要になります。REST API 発行時のリクエストヘッダーに「x-jp1cs-api-key」を付与し，値として API キー一覧画面から取得した API キーのいずれかを指定してください。このヘッダーが付与されていない場合や API キーが誤っている場合，API 接続に失敗します。

注意事項

- API キーをお客様のファイル等に記載する場合，安全な方法・場所で管理してください。
- 不要になった API キーは削除してください。
- API キーは定期的にローテーションしてください。
- V02-50 以降において，災対環境・大阪リージョン側で稼働中の際には，API キーの表示・確認だけを実施し，作成・削除の操作は実施しないでください。



4.2.1　一覧表示

API キーの情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
キーナンバー	API キーを識別するためのキーナンバーが表示されます。
ステータス	API キーの状態が表示されます。 登録済 　登録が完了している状態です。 操作中 　変更操作により，操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合，その API キーを選択したときに［削除］ボタンが非活性になり，操作を行うことができません。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。
API キー	API キーが表示されます。表示／非表示のリンクをクリックすることで，値の表示・非表示が切り替わります。デフォルトは非表示です。また，アイコンをクリックすることで，値をクリップボードにコピーすることができます。 作成中の場合は，「-」が表示されます。
作成日時	API キーの作成日時が表示されます。 作成中の場合は，「-」が表示されます。

4.2.2　新規作成

API キーを新規に作成できます。

API キー一覧画面から，［新規作成］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで作成することを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして作成します。

一度に保持できる API キーは最大 2 つです。API キーは，自動で生成され，作成時点で最小の空きキーナンバーに紐づく形で作成されます。

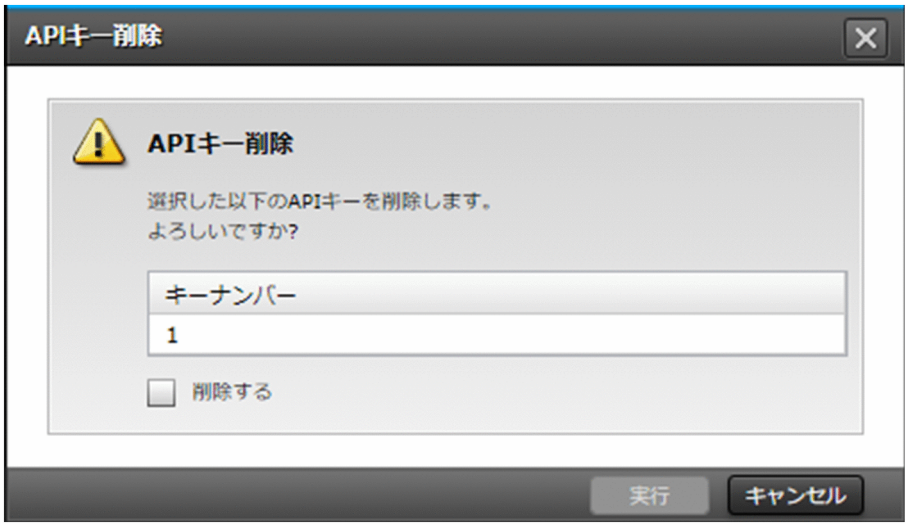


4.2.3　削除

API キーを削除できます。

API キー一覧画面から，対象の API キーを 1 つ選択して［削除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして削除します。

複数選択した場合やステータスが操作中の API キーを選択した場合，［削除］ボタンが非活性となり，操作できません。



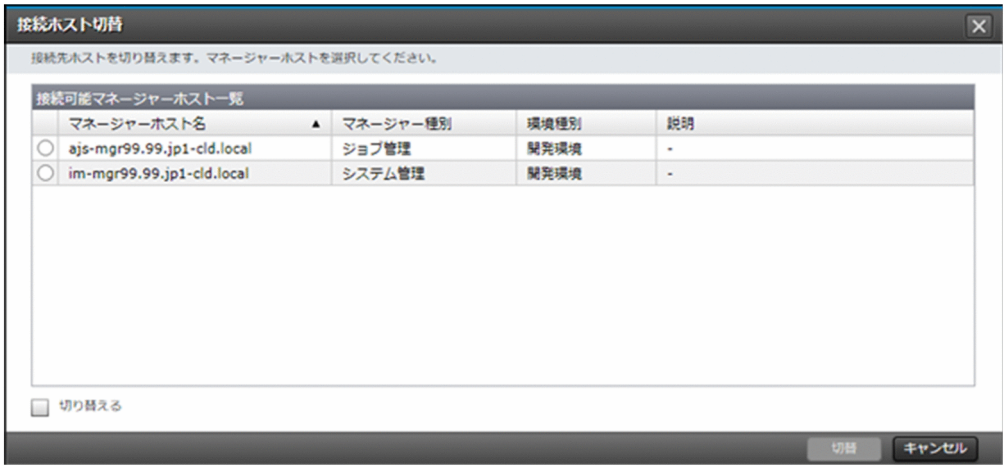
5 接続ホストの表示，切り替え

［JP1］画面で提供される JP1 関連の機能は，サービスで提供されるホストごとに切り替えて表示，操作します。

5.1　切り替え

［JP1］画面の左のナビ上の［接続ホスト切替］ボタンをクリックすると，切り替え用のダイアログが表示されます。ダイアログで表示・操作対象とするホストを選択して，［切替］ボタンをクリックして切り替えます。

ログイン時にも，切り替えダイアログの表示されます。ただし V02-60 以降では，ログインユーザーが利用できるホストが 1 台以下の場合は，切り替え用のダイアログは表示されず，ユーザーが利用可能なホストが登録されている場合は，そのホストが自動的に選択されます。また，前回選択時のキャッシュデータがブラウザに存在し，かつ該当するホストがログインユーザーの利用できるホストである場合は，前回利用したホストが自動的に選択されます。



項目	説明
［ラジオボタン］	表示対象を示すラジオボタンです。
マネージャーホスト名	ログインユーザーが利用できるマネージャーホスト名が表示されます。
マネージャー種別	マネージャーホストの種別が表示されます。 ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー） 　JP1/Automatic Job Management System 3 のことです。 システム管理（V01-12 以前は統合オペレーション） 　JP1/Integrated Management のことです。
環境種別	マネージャーホストの環境種別（開発環境，本番環境など）が表示されます。
説明	マネージャーホストの説明が表示されます。

5.2　詳細表示

［JP1］画面の各一覧右の「接続先ホスト名」で示されたマネージャーホスト名（環境種別）のリンクをクリックすると，現在選択している表示・操作対象ホストの詳細情報が表示されます。



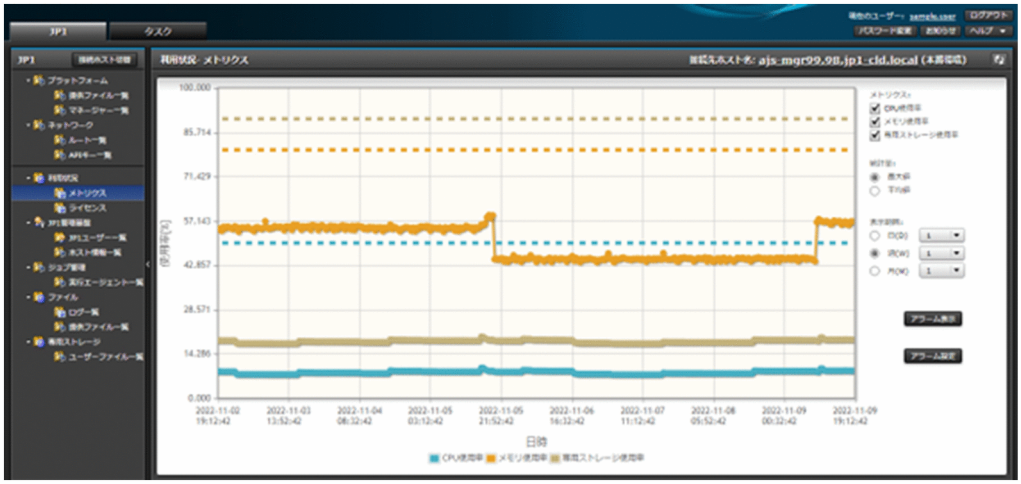
項目	説明
マネージャーホスト名	マネージャーホスト名が表示されます。
マネージャー種別	マネージャーホストの種別が表示されます。 ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー） 　JP1/Automatic Job Management System 3 のことです。 システム管理（V01-12 以前は統合オペレーション） 　JP1/Integrated Management のことです。
環境種別	マネージャーホストの環境種別（開発環境，本番環境など）が表示されます。
認証サーバー名	マネージャーホストの認証サーバー名が表示されます。
関連する Web ページ	関連する Web ページの URL がリンク付きで表示されます。
説明	マネージャーホストの説明が表示されます。

6 利用状況

利用状況のメニューで提供する機能について説明します。

6.1　メトリクス

［JP1］画面のナビメニュー［利用状況］−［メトリクス］を選択すると，メトリクス画面が表示されます。



6.1.1　メトリクス表示

マネージャーの CPU 使用率やメモリ使用率等の利用状況（メトリクス）をグラフで表示して確認できます。

グラフの表示項目の説明を以下に示します。

項目	説明
使用率	グラフの縦軸の値を CPU やメモリ等の使用率として，各データポイントを日時ごとにプロットします。使用率の単位は%で，0%から 100%まで固定された範囲を表示します。 なお，表示する各使用率は，１分に１回取得した使用率のデータに対する，ある期間中の平均使用率または最大使用率となっています。表示する統計量については，後述する統計量の設定によって変更できます。また，各統計量を算出する期間については，後述するグラフ表示の設定項目で選択された表示範囲によって変化するデータポイント間の解像度に対応しています。
日時	グラフの横軸の値を日時として，各データポイントをプロットします。 日時の表示文字列は yyyy-MM-dd hh:mm:ss 形式で表示し，表示範囲はグラフを表示した時点の日時から，後述するグラフ表示の設定項目で選択した表示範囲の日数分を遡った範囲を表示します。
凡例	グラフ下部に，表示している CPU 使用率やメモリ使用率等のグラフの凡例を表示します。グラフ内のデータポイントの色は，凡例の色に対応します。
ハイライト	各データポイント上にマウスポインタをホバーすることで，データポイントの日時及び使用率が詳細表示されます。表示形式は，**日時<改行>使用率**です。
しきい値（V01-11 以降）	CPU 使用率やメモリ使用率等に対して設定されたしきい値がグラフ上の直線として表示されます。しきい値は［アラーム設定］ボタンから設定できます。アラームの設定が未設定または状態が無効の場合，グラフ上には表示されません。

グラフに表示する CPU 使用率やメモリ使用率等のといったメトリクスの種別と，表示する期間の範囲を，グラフ右の設定項目により変更できます。設定項目と説明を以下に示します。

項目	説明	指定要否
メトリクス	下記のメトリクスの種別の中から，選択したメトリクスが表示されます。 初期表示ではすべてのメトリクスが選択されています。 CPU 使用率 選択しているマネージャーの CPU 使用率がグラフ内に表示されます。折れ線グラフの色は，グラフ下部の凡例の色に対応します。 メモリ使用率 選択しているマネージャーのメモリ使用率がグラフ内に表示されます。 専用ストレージ使用率（V01-12 以降） 選択しているマネージャーにマウントされたユーザーファイル専用ストレージの使用率がグラフ内に表示されます。	−
統計量	グラフに表示される使用率は下記の統計量の種類の中から，選択した統計量の使用率が表示されます。初期表示では最大値が選択されています。 最大値 各データポイント間の最大値が表示されます。 平均値 各データポイント間の平均値が表示されます。	必須
表示範囲	メトリクスの表示範囲を，現在時刻からの期間として選択します。 1 日分から選択でき，最大 90 日分まで選択できます。※	必須

注※

表示範囲項目では，リスト横のラジオボタンに対応する期間単位の選択によって，指定できる表示範囲，各データポイント間の解像度が下記のように設定されます。

期間単位	指定できる表示範囲	解像度
日	1〜7 日	10 分
週	1〜4 週間	30 分
月	1〜3 ヶ月 （1 ヶ月=30 日）	120 分

6.1.2　アラームの表示（V01-11 以降）

「アラーム」とは各マネージャーのメトリクス（CPU 使用率，メモリ使用率等）の状態を簡易的に監視し，稼働状況を受動的に把握するための概念になります。各マネージャーのメトリクスに対して，「しきい値」

および「持続時間」を設定しアラーム設定を有効化することで，メトリクスの値が「しきい値」を超過しているかどうか 1 分間隔で評価し始めます。

メトリクスの値が「しきい値」を「持続時間」分超過していたと評価されたときに「アラーム発生」状態となります。また「持続時間」の中で 1 度でも「しきい値」を下回ったと評価された場合には，「アラーム解消」状態となります（なお，評価対象のデータポイントも 1 分間隔の解像度となっています）。

ポータルでは「アラーム発生」状態および「アラーム解消」状態にそれぞれ変化した時点を契機に，アラームの設定対象としたマネージャー上で JP1 イベントを発行します。ポータルから発行する JP1 イベントの形式について以下に示します。なお，JP1 イベントのメッセージ内の時刻のタイムゾーンは JST です。

発行契機	イベント ID	拡張属性	メッセージ形式
アラーム発生時	アラームの設定機能により設定されたイベント ID が指定されます。	SEVERITY アラームの設定機能により設定された重大度の値で発行されます。 JP1CS_PORTAL_ALARM_NOTICE_TYPE サービス専用の拡張属性です。値は「Forward」が設定されます。	[**ホスト名**] **対象メトリクス表示名**がしきい値(**しきい値**%)を超過しました。(時刻=**アラーム発生時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS)**)
アラーム解消時			[**ホスト名**] **対象メトリクス表示名**がしきい値(**しきい値**%)を下回りました。(時刻=**アラーム解消時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS)**)

アラームの表示機能では，各メトリクスに対して設定したアラームの詳細情報を表示できます。

メトリクス画面から，［アラーム表示］ボタンをクリックすると，アラームの表示ダイアログが起動します。

表示する項目と説明を以下に示します。



項目	説明
対象ホスト名	参照するアラームを設定中のホスト名が表示されます。 表示名はメトリクス表示画面にて選択中のホスト名となります。
対象メトリクス	アラームの表示対象のメトリクスを選択します。 選択を切り替える度，現在の設定内容がダイアログ内に表示されます。 CPU 使用率 アラームの表示ダイアログでの対象が CPU 使用率のメトリクスになります。 メモリ使用率 アラームの表示ダイアログでの対象がメモリ使用率のメトリクスになります。 専用ストレージ使用率（V01-12 以降） アラームの表示ダイアログでの対象が専用ストレージ使用率のメトリクスになります。
アラーム設定の状態	参照するアラームに設定中の状態が表示されます。なお，アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。 有効 アラーム設定が有効な状態です。有効な場合，しきい値を持続時間分超えた場合に JP1 イベントが発行されるようになります。 無効 アラーム設定が無効な状態です。無効な場合，JP1 イベントの発行が抑止されます。
しきい値	参照するアラームに設定中のしきい値が表示されます。なお，アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。
持続時間	参照するアラームに設定中の持続時間が表示されます。なお，アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。
イベント ID	参照するアラームの発生時および解消時に発行される JP1 イベントのイベント ID がそれぞれ表示されます。なお，アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。
重大度	参照するアラームの発生時および解消時に発行される JP1 イベントの重大度（SEVERITY）がそれぞれ表示されます。なお，アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。

6.1.3　アラームの設定（V01-11 以降）

各メトリクスに対して，しきい値以上の値となったときにアラームを発生させる設定ができます。アラーム発生時および解消時には，しきい値を超過したマネージャー上にて JP1 イベントが発行されます。

メトリクス画面から，［アラーム設定］ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックして設定します。

選択中のマネージャーで１つのメトリクスにつき 1 つのアラームのみ設定可能です。アラームの設定タスクを実行中のメトリクスに対して設定しようとした場合，［実行］ボタンが非活性となり，操作できません。

また，1 度作成したアラームの設定内容は削除されず，設定内容が保持されます。削除相当の操作として，アラーム発生時の JP1 イベントの発行を抑えたい場合には，アラーム設定の状態を「無効」に設定してください。

アラーム発生時に発行される JP1 イベントは，発行元がジョブ管理マネージャーであれば JP1 イベントの転送先で，発行元がシステム管理マネージャーであればシステム管理マネージャーおよび JP1 イベントの転送先で確認してください。イベント転送の詳細については，JP1 Cloud Service ジョブ管理 利用ガイドまたは JP1 Cloud Service システム管理 利用ガイドを参照してください。



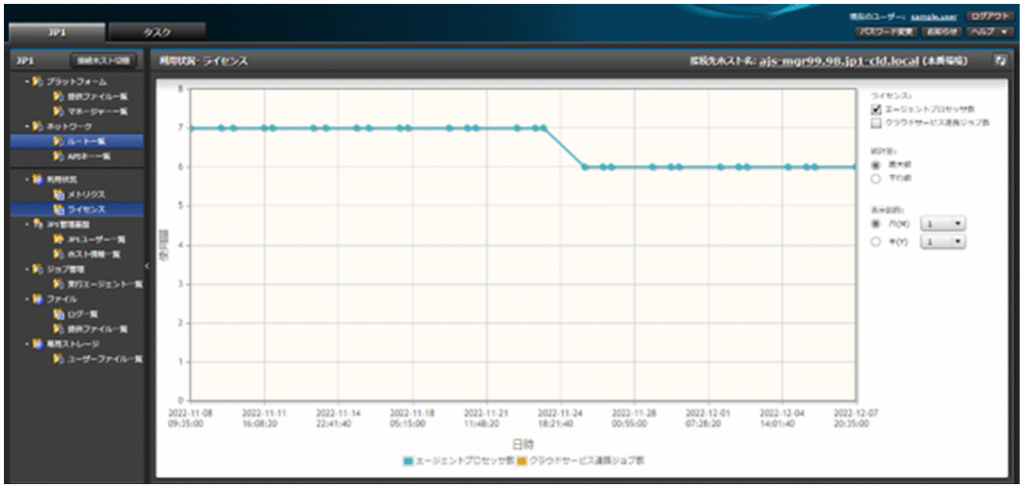
項目	説明	指定要否
対象ホスト名	アラームを設定する対象のホスト名が表示されます。 表示名はメトリクス表示画面にて選択中のホスト名となります。	−
対象メトリクス	アラームを設定する対象のメトリクスを選択します。 設定内容は各メトリクスに対して 1 つのアラームが設定され，選択を切り替える度，現在の設定内容がダイアログ内に表示されます。 CPU 使用率 アラームの設定ダイアログでの設定対象が CPU 使用率のメトリクスになります。 メモリ使用率 アラームの設定ダイアログでの設定対象がメモリ使用率のメトリクスになります。 専用ストレージ使用率（V01-12 以降） アラームの設定ダイアログでの設定対象が専用ストレージ使用率のメトリクスになります。	必須
アラーム設定の状態	表示中のアラーム設定の有効・無効を選択します。 ダイアログ表示時には現在設定中のアラーム設定の状態が表示され，未設定時には無効の状態で表示されます。	必須

項目	説明	指定要否
アラーム設定の状態	有効 アラーム設定を有効にします。これにより，しきい値を持続時間分超えた場合に JP1 イベントが発行されるようになります。 無効 アラーム設定を無効にします。これにより，JP1 イベントの発行が抑止されます。	必須
しきい値	各メトリクスに対するアラームのしきい値を 40%から 100%の間で選択します。 ダイアログ表示時には現在設定中のしきい値が表示され，未設定時にはデフォルト値として 80 が表示されます。	必須
持続時間	各メトリクスに対するアラーム発生を判定するための持続時間を分単位で入力します。 ダイアログ表示時には現在設定中の持続時間が表示され，未設定時にはデフォルト値として 5 が表示されます。 持続時間の入力規則 5〜1440 の範囲の整数	必須
イベント ID	アラーム発生時および，アラーム解消時それぞれで発行する JP1 イベントに設定するイベント ID を入力します。 ダイアログ表示時には現在設定中の各イベント ID が表示され，未設定時には未入力の状態で表示されます。 イベント ID の入力規則 8 桁までの 16 進数で 0〜1FFF，7FFF8000〜7FFFFFFF の範囲	必須
重大度	アラーム発生時および，アラーム解消時それぞれで発行する JP1 イベントの拡張属性である重大度（SEVERITY）を選択します。 ダイアログ表示時には現在設定中の各重大度が表示され，未設定時には未選択の状態で表示されます。 緊急 重大度として緊急（Emergency）を設定します。 警戒 重大度として警戒（Alert）を設定します。 致命的 重大度として致命的（Critical）を設定します。 エラー 重大度としてエラー（Error）を設定します。 警告 重大度として警告（Warning）を設定します。 情報 重大度として情報（Information）を設定します。 通知 重大度として通知（Notice）を設定します。	必須

項目	説明	指定要否
重大度	デバッグ 　重大度としてデバッグ（Debug）を設定します。	必須

6.2　ライセンス（V02-00 以降）

［JP1］画面のナビメニュー［利用状況］−［ライセンス］を選択すると，ライセンス画面が表示されます。



6.2.1　ライセンス表示

マネージャーに紐づくライセンスの利用状況をグラフで表示して確認できます。

注意事項

- 表示される各ライセンスの使用量は，お客様の入力内容やシステムへの定義内容によって変動します。このため，表示される使用量はライセンス利用状況の把握のための目安の値と捉えていただき，ライセンスの購入にあたってはお客様の方でもライセンス数のお見積もりをお願いします。
- システム管理マネージャーの管理ノード数について，REST API 等でのイベント連携の利用数についてはライセンス計算・表示の対象外となります。

グラフの表示項目の説明を以下に示します。

項目	説明
使用量	グラフの縦軸の値を各ライセンスの使用量として，各データポイントを日時ごとにプロットします。使用量の単位はライセンスに応じた数量で，数量に応じて表示範囲は変動して表示されます。 なお，表示する各使用量は，1 日に 1 回取得した使用量のデータに対する，ある期間中の平均使用量または最大使用量となっています。表示する統計量については，後述する統計量の設定によって変更できます。また，各統計量を算出する期間については，後述するグラフ表示の設定項目で選択された表示範囲によって変化するデータポイント間の解像度に対応しています。
日時	グラフの横軸の値を日時として，各データポイントをプロットします。 日時の表示文字列は yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式で表示し，表示範囲はグラフを表示した時点の日時から，後述するグラフ表示の設定項目で選択した表示範囲の日数分を遡った範囲を表示します。
凡例	グラフ下部に，表示している各ライセンスのグラフの凡例を表示します。グラフ内のデータポイントの色は，凡例の色に対応します。

項目	説明
ハイライト	各データポイント上にマウスポインタをホバーすることで，データポイントの日時及び使用量が詳細表示されます。表示形式は，日時<改行>使用量です。

グラフに表示するライセンスの種別と，表示する期間の範囲を，グラフ右の設定項目により変更できます。設定項目と説明を以下に示します。

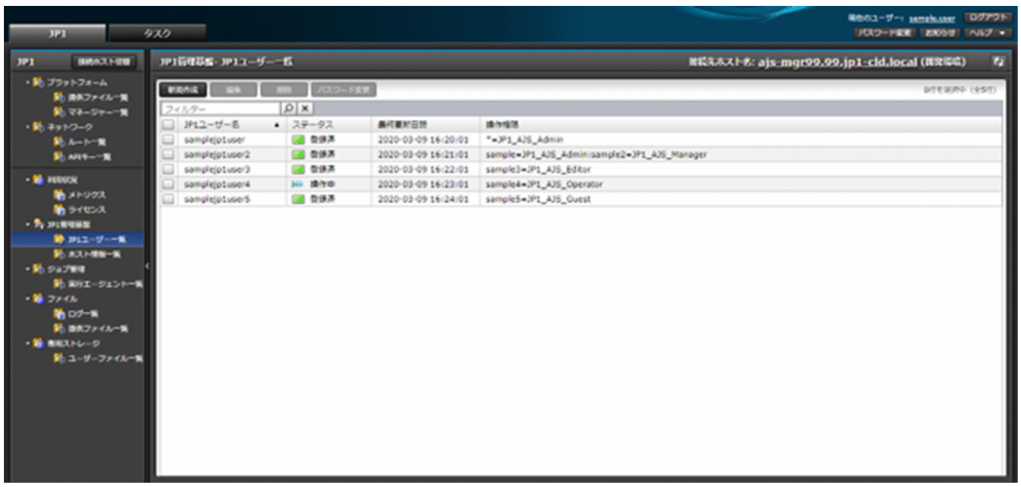
項目	説明	指定要否
ライセンス	下記のライセンス種別のうち，リストから選択したライセンスが表示されます。 初期表示では，ジョブ管理の場合はエージェントプロセッサ数が，システム管理の場合は管理ノード数が選択されています。 エージェントプロセッサ数 選択しているマネージャー（ジョブ管理）のエージェントのプロセッサライセンス数の合計値がグラフ内に表示されます。折れ線グラフの色は，グラフ下部の凡例の色に対応します。 クラウドサービス連携ジョブ数 選択しているマネージャー（ジョブ管理）のクラウドサービス連携ジョブの定義数がグラフ内に表示されます。 管理ノード数 選択しているマネージャー（システム管理）の管理ノード数がグラフ内に表示されます。	−
統計量	グラフに表示される使用量は下記の統計量の種類の中から，選択した統計量の使用量が表示されます。初期表示では最大値が選択されています。 最大値 各データポイント間の最大値が表示されます。 平均値 各データポイント間の平均値が表示されます。	必須
表示範囲	ライセンスの表示範囲を，現在時刻からの期間として選択します。 1 か月から選択でき，最大 1 年分まで選択できます。 リスト横のラジオボタンに対応する期間単位の選択によって，指定できる表示範囲，各データポイント間の解像度が下記のように設定されます。 月 指定できる表示範囲：1〜12 か月（1 か月＝ 30 日） 解像度：1 日 年 指定できる表示範囲：1 年 解像度：3 日	必須

7 JP1 管理基盤

JP1 管理基盤のメニューで提供する機能について説明します。

7.1　JP1 ユーザー一覧

［JP1］画面のナビメニュー［JP1 管理基盤］－［JP1 ユーザー一覧］を選択すると，JP1 ユーザー一覧画面が表示されます。



7.1.1　一覧表示

JP1 ユーザーの情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
JP1 ユーザー名	JP1 ユーザー名が表示されます。
ステータス	JP1 ユーザーの状態が表示されます。 登録済 　登録が完了している状態です。 操作中 　変更操作により，操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合，その JP1 ユーザーを選択したときに［編集］・［削除］・［パスワード変更］ボタンが非活性になり，それらの操作を行うことができません。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。
最終更新日時	最終更新日時が表示されます。最終更新日時は，JP1 ユーザーを登録した日時またはパスワードを変更した日時です。 作成中の場合は，「-」が表示されます。 なお，タイムゾーンは JST になります。
操作権限	JP1 資源グループに対する操作権限が以下の形式で表示されます。

項目	説明
操作権限	形式 **JP1 資源グループ=JP1 権限レベル:JP1 資源グループ=JP1 権限レベル:...** JP1 資源グループに対する JP1 権限レベルが複数ある場合は，コンマ(,)で区切って表示されます。

500 ユーザーまたは 15 資源グループ／ユーザーを超えると，サービスポータルの内部処理でタイムアウトが発生し，ユーザーが表示されないことがあります。

上記を超えて設定をされる場合は，お手数ですがサービス窓口へご連絡ください。タイムアウト時間を調整いたします。ただし，処理の間はサービスポータルへの操作が受け付けられない状態となりますので，あらかじめご承知おきください。

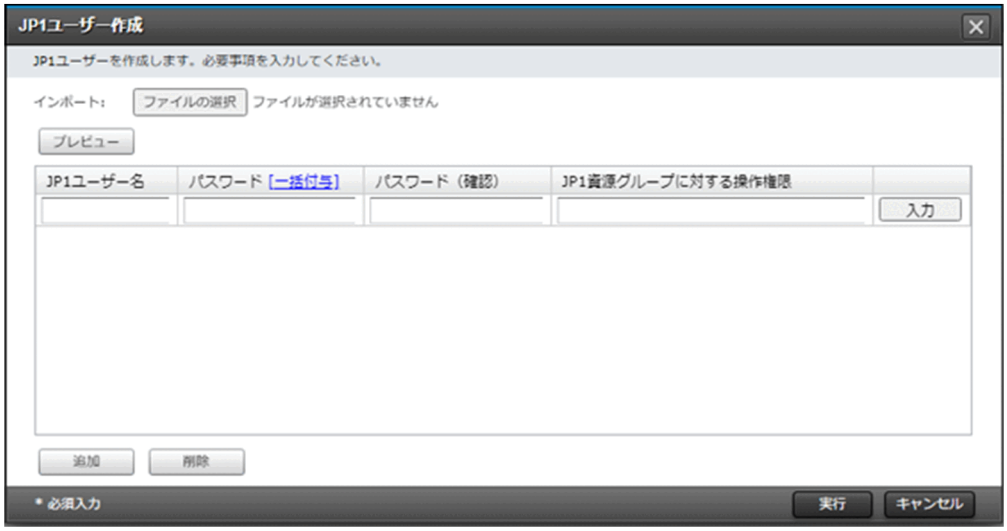
7.1.2　新規作成

JP1 ユーザーを新規に作成できます。

JP1 ユーザー一覧画面から，［新規作成］ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックして作成します。

すでに存在する同名の JP1 ユーザーを複数作成することはできません。

V02-10 以降では，［追加］または［削除］ボタンで入力行を追加または削除することで，複数の JP1 ユーザーを一括で新規に作成することができます。また，他のマネージャー環境から jbslistacl コマンドを実行した結果を保存したファイルをアップロードし，［プレビュー］ボタンをクリックすると，ファイル内の JP1 ユーザー情報がインポート・表示されます。



項目	説明	指定要否
インポート（V02-10 以降）	［ファイルの選択］ボタンを押して，アップロードしたいファイルを選択するか，ファイルを画面内にドラッグアンドドロップすることで，アップロードしたいファイル名が表示されます。 アップロードするファイルについて，以下のように取得します。 ファイル取得環境が Linux の場合，jbslistacl コマンドを実行して取得されたファイルを変更せず（改行コード LF，文字コード UTF-8 として）アップロードします。 ファイル取得環境が Windows の場合，Linux と同じく jbslistacl コマンドを実行して取得された JP1 ユーザーの名前と操作権限の情報を含むファイルについて，改行コードを LF に変更し，文字コードを UTF-8 に変換して，アップロードします。 ファイル名には 1～255 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` $ ” ’ ‘ < > | : * ? ¥ /	任意
JP1 ユーザー名	JP1 ユーザーとして登録したいユーザー名を入力します。 1～31 バイトの ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。なお，英字は小文字だけを指定可能です。 アンダーバー(_)2 つの「__」で始まる名称は，サービス用に予約されているため，指定できません。 使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` $ ” ’ ‘ * / ¥ ^ [ ] { } ( ) : ; | = , + ? < >スペース	必須
パスワード	パスワードを入力します。 8～32 バイトの ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。また，パスワードポリシーとして，パスワードには英大文字・英小文字・数字・記号のうち 3 種類以上を使用する必要があります。 確認用の入力項目には，同じパスワードを再度入力してください。 V02-10 以降では，［一括付与］ボタンからパスワードを指定して，新しく作成する JP1 ユーザーに一括で付与することもできます。付与した後に，パスワードを個別に変更することもできます。 使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` $ ” ’ ‘ ¥ ：スペース	必須
JP1 資源グループに対する操作権限	JP1 資源グループに対する操作権限を JP1 資源グループごとに入力します。 V02-10 以降では，［入力］ボタンをクリックして起動するダイアログで操作権限を入力します。［追加］ボタンまたは［削除］ボタンで，入力行を追加または削除できます。 指定する JP1 資源グループおよび JP1 権限レベルについては，利用する JP1 の機能（製品）のマニュアルで確認してください。 JP1 資源グループの入力規則 • 1～64 バイトの ASCII 文字列	最低 1 行は必須

項目	説明	指定要否
JP1 資源グループに対する操作権限	• 「*」を指定すると，すべての JP1 資源グループにアクセスできるようになります。 • 使用禁止文字を以下に示します。 制御文字および”’ ` $ ” ’ ‘ / ¥ ^ [ ] { } ( ) : ; | = , + ? < > スペース 操作権限の入力規則 • 1～512 バイトの ASCII 文字列 • 形式：**JP1 権限レベル, JP1 権限レベル, . . .** • JP1 権限レベルには 1～64 バイトの ASCII 文字列を指定可能です。JP1 権限レベルとして存在しない任意の文字列を指定可能な点に注意してください。V01-11 以降では，既定のリストから選択して入力（追加）することも可能です。入力したものの削除はテキストボックスから行ってください。 • 使用禁止文字を以下に示します。 制御文字および”’ ` $ ” ’ ‘ * / ¥ ^ [ ] { } ( ) : ; | = + ? < > スペース	最低 1 行は必須

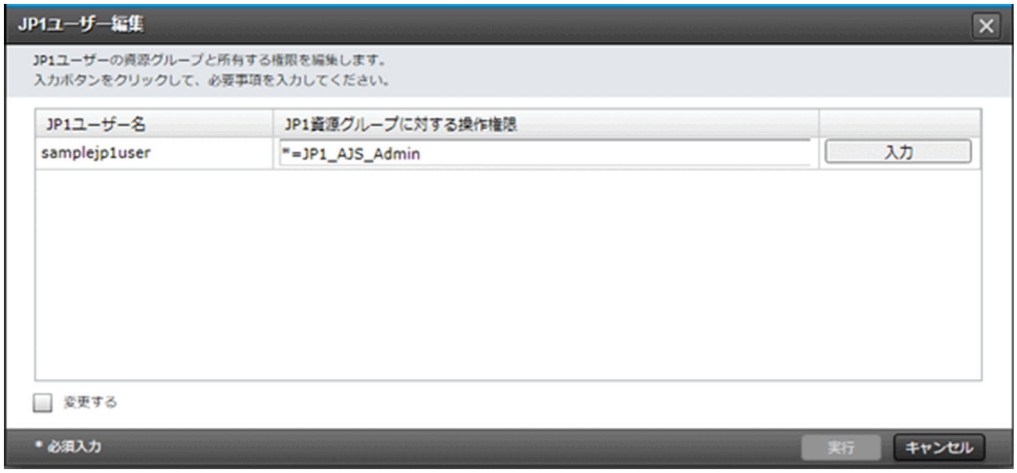
7.1.3 編集

JP1 ユーザーの操作権限を変更できます。

JP1 ユーザー一覧画面から，対象の JP1 ユーザーを 1 つ選択して［編集］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして編集します。

複数選択した場合やステータスが操作中の JP1 ユーザーを選択した場合，［編集］ボタンが非活性となり，操作できません。

なお，V02-10 以降では，複数選択して一括で操作することができます。



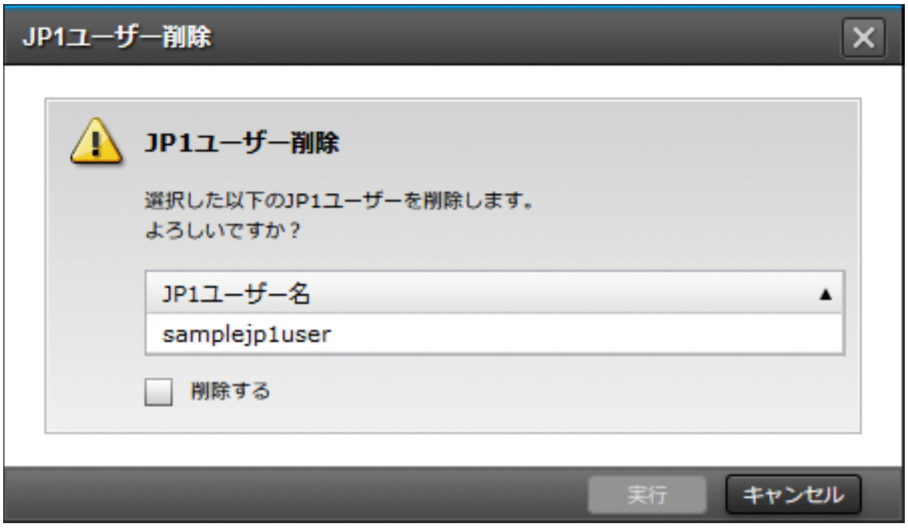
項目	説明	指定要否
JP1 ユーザー名	選択した JP1 ユーザー名が表示されます。	−
JP1 資源グループに対する操作権限	JP1 資源グループに対する操作権限を JP1 資源グループごとに入力します。 V02-10 以降では，［入力］ボタンをクリックして起動するダイアログで操作権限を入力します。［追加］ボタンまたは［削除］ボタンで，入力行を追加または削除できます。 指定する JP1 資源グループおよび JP1 権限レベルについては，利用する JP1 の機能（製品）のマニュアルで確認してください。 JP1 資源グループの入力規則 • 1〜64 バイトの ASCII 文字列 • 「*」を指定すると，すべての JP1 資源グループにアクセスできるようになります。 • 使用禁止文字を以下に示します。 制御文字および”’｀$”　’　‘/¥^[ ]{ }( ):;\|=,+?<>スペース 操作権限の入力規則 • 1〜512 バイトの ASCII 文字列 • 形式：**JP1 権限レベル**,**JP1 権限レベル**,... • JP1 権限レベルには 1〜64 バイトの ASCII 文字列を指定可能です。JP1 権限レベルとして存在しない任意の文字列を指定可能な点に注意してください。V01-11 以降では，既定のリストから選択して入力（追加）することも可能です。入力したものの削除はテキストボックスから行ってください。 • 使用禁止文字を以下に示します。 制御文字および”’｀$”　’　‘*/¥^[ ]{ } ( ):;|=+?<>スペース	最低 1 行は必須

7.1.4　削除

JP1 ユーザーを削除できます。

JP1 ユーザー一覧画面から，対象の JP1 ユーザーをすべて選択して［削除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中の JP1 ユーザーを選択した場合，［削除］ボタンが非活性となり，操作できません。



7.1.5　パスワード変更

JP1 ユーザーのパスワードを変更できます。

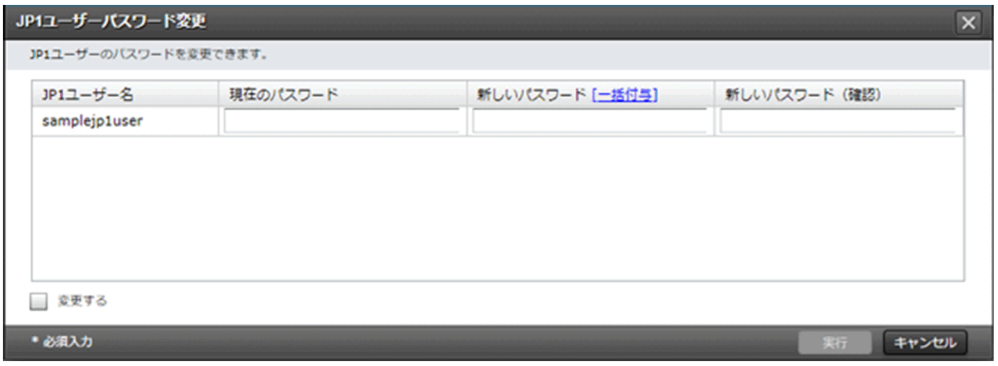
JP1 ユーザー一覧画面から，対象の JP1 ユーザーを 1 つ選択して［パスワード変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックしてパスワードを変更します。

複数選択した場合やステータスが操作中の JP1 ユーザーを選択した場合，［パスワード変更］ボタンが非活性となり，操作できません。

なお，V02-10 以降では，複数選択して一括で操作することができます。

注意事項

現在のパスワードを忘れてしまった場合は，パスワードは変更できません。この場合，当該ユーザーの再作成（削除して新規作成）により対処してください。



項目	説明	指定要否
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。 6～32 バイトの ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。	必須

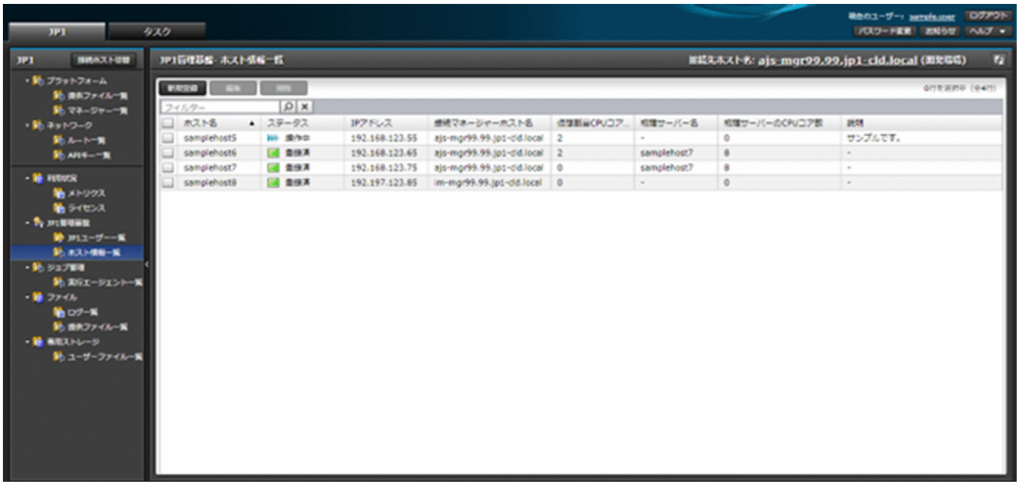
項目	説明	指定要否
現在のパスワード	使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘￥：スペース	必須
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。現在のパスワードと同じものであってもかまいません。 8～32 バイトの ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。また，パスワードポリシーとして，パスワードには英大文字・英小文字・数字・記号のうち 3 種類以上を使用する必要があります。 確認用の入力項目には，同じパスワードを再度入力してください。 V02-10 以降では，［一括付与］ボタンからパスワードを指定して，対象の JP1 ユーザーに一括で付与することもできます。付与した後に，パスワードを個別に変更することもできます。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘￥：スペース	必須

7.2　ホスト情報一覧（V02-00 以降）

［JP1］画面のナビメニュー［JP1 管理基盤］−［ホスト情報一覧］を選択すると，ホスト情報一覧画面が表示されます。

注意事項

V02-40 以降において，お客様環境の DNS 上に登録されているホスト情報も参照して名前解決を行う場合，この一覧画面に登録されているホスト情報が優先されますのでご注意ください。



7.2.1　一覧表示

エージェント・管理ノード・JP イベント連携先ホストとして使用するためにマネージャーから参照可能なサーバーのホスト情報を表示できます。マネージャーから参照可能なホスト情報は環境種別単位に管理されます。このため，同じ環境種別のマネージャーから見えるホスト情報の一覧は同じです。

注意事項

- ホスト情報の変更操作が完了しても，実際に通信する際の名前解決の反映には時間がかかる場合があります。
- ジョブ実行エージェントのライセンス計算時のサポート OS（仮定する OS）は Linux と Windows になります。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
ホスト名	ホスト情報として登録されているホスト名が表示されます。
ステータス	ホスト情報の状態が表示されます。 登録済 　登録が完了している状態です。

項目	説明
ステータス	操作中 　変更操作により，操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合，そのホストを選択したときに［編集］・［削除］ボタンが非活性になり，それらの操作を行うことができません。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。
IP アドレス	ホスト名に対応する IP アドレスが表示されます。
接続マネージャーホスト名	このホストの接続先マネージャーホスト名が表示されます。 複数のマネージャーと接続するホストの場合には，主の接続先として選択されているマネージャーが表示されます。何も選択されていない場合は，「-」が表示されます。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。
仮想割当 CPU コア数	このホストの仮想割り当て CPU コア数が表示されます。 物理サーバーとして登録されている場合や指定値がない場合には，「0」が表示されます。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。
物理サーバー名	このホストの物理サーバー名が表示されます。 クラウド上の仮想環境などのため物理サーバーの構成が把握できない場合など指定値がない場合には，「-」が表示されます。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。
物理サーバーの CPU コア数	このホストの物理サーバーの CPU コア数が表示されます。 指定値がない場合には，「0」が表示されます。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。
説明	マネージャーホストの説明が表示されます。

7.2.2　新規登録

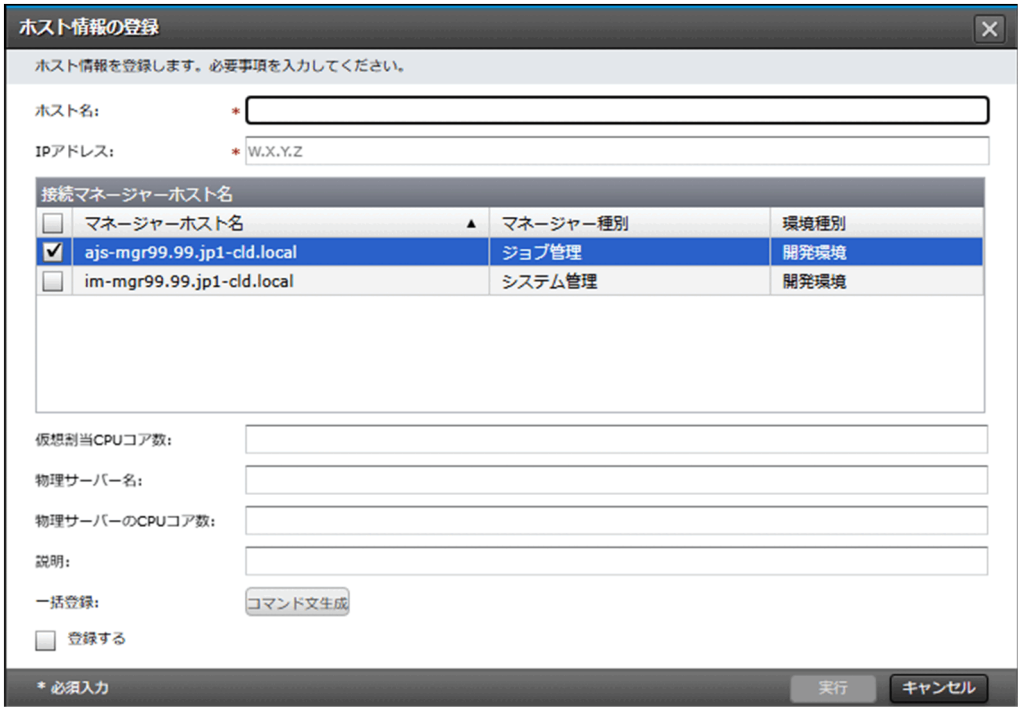
エージェント・管理ノード・JP イベント連携先ホストとして使用するサーバーのホスト情報を新規に登録できます。ホスト情報は，環境種別単位に管理され，マネージャーとエージェント・管理ノード・JP イベント連携先ホスト間で通信する際の名前解決のために登録が必要になります。また，登録した情報はジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。

ホスト情報一覧画面から，［新規登録］ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックして登録します。

すでに登録されている同じホスト名のホスト情報を複数登録することはできません。

注意事項

- V02-30 以降でコマンド文を生成して一括登録する場合，閉域の環境（AWS Transit Gateway などによりサービスと接続されているネットワーク）から接続して，コマンド文の生成と操作を行ってください。インターネット経由での一括操作はできませんのでご注意ください。



項目	説明	指定要否
ホスト名	ホスト情報として登録したいホスト名を入力します。 1～125 バイト（V02-40 以前は 63 バイト）の ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘ スペース その他，注意事項 • 登録対象のサーバーで名前解決ができるホスト名を指定してください。 • 英字はすべて小文字として扱われます。また，ピリオド（.）は区切り文字として扱われるため，ホスト名の先頭と末尾には指定しないでください。 • ホスト名は英数字とハイフン（-）で構成する文字列とすることを推奨します。 • ピリオド（.）で区切られた各ラベルは 63 バイト以内で指定してください。	必須
IP アドレス	ホスト名に対応する IP アドレスを以下の IPv4 形式で入力します。 形式 W.X.Y.Z W～Z は，それぞれ 0～255 の範囲の数字で入力してください。	必須
接続マネージャーホスト名	このホストの接続先マネージャーホスト名を 1 つ選択します。 現在，接続先ホストとして選択しているマネージャーと環境種別が同じマネージャーホストが表示され，選択できます。デフォルトは，現在，接続先ホストとして選択しているマネージャーが選択されています。 複数のマネージャーと接続するホストの場合には，主の接続先とするマネージャーを選択してください。	任意

項目	説明	指定要否
接続マネージャーホスト名	この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。選択したマネージャーに紐づくエージェントとして扱われます。	任意
仮想割当 CPU コア数	このホストの仮想割り当て CPU コア数を入力します。 0～8192 の範囲の数字で入力してください。 ジョブ実行エージェントホストとして登録する場合のみ指定してください。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。物理サーバーとして登録する場合は指定しないでください。指定を省略した場合，0 が仮定されます。	任意
物理サーバー名	このホストの物理サーバー名を入力します。 1～125 バイト（V02-40 以前は 63 バイト）の ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 ジョブ実行エージェントホストとして登録する場合のみ指定してください。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。このホストが物理サーバーの場合か，物理サーバーの構成が把握できる仮想環境の場合に指定してください。また，物理サーバーの CPU コア数（1 以上）と合わせて指定してください。クラウド上の仮想環境などのため，物理サーバーの構成が把握できない場合は指定しないでください。 使用禁止文字 　制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘ スペース その他，注意事項 　ホスト名の大文字小文字は区別されません。	任意
物理サーバーの CPU コア数	物理サーバー名を指定する場合，このホストの物理サーバーの CPU コア数を入力します。 0～8192 の範囲の数字で入力してください。 ジョブ実行エージェントホストとして登録する場合のみ指定してください。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。指定を省略した場合，0 が仮定されます。1 以上を指定する場合，物理サーバー名と合わせて指定してください。	任意
説明	このホストの説明を入力します。 1～255 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 このホストにインストールされている JP1 の製品名やバージョン情報を入力することもできます。 使用禁止文字 　制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘	任意
一括登録（V02-30 以降）	複数のホスト情報を一括で登録するコマンド文を生成できます。 ［コマンド文生成］ボタンをクリックして起動するダイアログで必要な情報を入力（コマンド実行先ホストの OS を Linux か Windows から選択）し，［生成と JSON ファイルのダウンロード］ボタンをクリックすると，一括登録用コマンド文の生成と，リクエストボディとなる JSON ファイルのテンプレートをダウンロードできます。 生成されたコマンド文をコピーしてリクエストボディ（JSON ファイル）※1 を編集し，クライアント端末から JSON ファイルを指定してコマンドを実行することで一括登録の操作ができます。コマンド文を実行すると，サービス	–

項目	説明	指定要否
一括登録（V02-30 以降）	ポータルに対して REST API での通信が発生するため，通信ができるように事前にポートの許可設定などを実施してください。 なお，生成されたコマンド文の有効期限は 60 分になるため，あらかじめテンプレートからリクエストボディとなる JSON ファイルを作成しておき，コマンド文に入力データとして指定することもご検討ください。 システム負荷の軽減のため，複数の一括操作コマンドを同時に実行しないでください。 リクエストボディの例を以下に示します。 `{"hosts":[{"name":"samplehost","address":"192.168.123.45","link_mgrsrv_id":"ajs-mgr99.99.jp1-cld.local","vcpu_num":2,"physsrv_name":"sample","physsrv_cpu_num":8,"description":"サンプルです。","targethost_id":"ajs-mgr99.99.jp1-cld.local"}]}` レスポンスで返却する主なステータスコードを※2 に示します。	−

注※1

リクエストボディの形式を以下に示します。

項目	説明
{	−
"hosts" : [{	−
"name" : **ホスト名**,	ホスト名（文字列）を指定します。
"address" : **IP アドレス**,	IP アドレス（文字列）を指定します。
"link_mgrsrv_id" : **接続マネージャーホスト名**,	接続マネージャーホスト名（文字列）を指定します。
"vcpu_num" : **仮想割当 CPU コア数**,	仮想割当 CPU コア数（数値）を指定します。
"physsrv_name" : **物理サーバー名**,	物理サーバー名（文字列）を指定します。
"physsrv_cpu_num" : **物理サーバーの CPU コア数**,	物理サーバーの CPU コア数（数値）を指定します。
"description" : **説明**,	説明（文字列）を指定します。
"targethost_id" : **操作対象マネージャーホスト名**	操作対象のマネージャーホスト名（文字列）を指定します。このマネージャーホストに紐づくホスト情報に対して操作が行われます。
}, …]	要求ホスト情報分だけ繰り返して指定してください。
}	−

注※2

レスポンスで返却する主なステータスコードを以下に示します。

ステータスコード	説明
202	成功しました。タスク ID を返却します。
400	リクエスト内容が不正です（KBDC10028-E，KBDC10101-E）。

ステータスコード	説明
401	認証情報が無効です（KBDC20102-E，KBDC10104-E）。
403	権限がありません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
404	対象が存在しません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
409	操作中です（KBDC10501-W，KBDC13504-W）。
412	ホスト名が重複しています（KBDC13007-E，KBDC13008-E）。
503	メンテナンス中です（KBDC13016-E，KBDC13017-E）。

7.2.3　編集

エージェント・管理ノード・JP イベント連携先ホストとして使用するサーバーのホスト情報を編集できます。

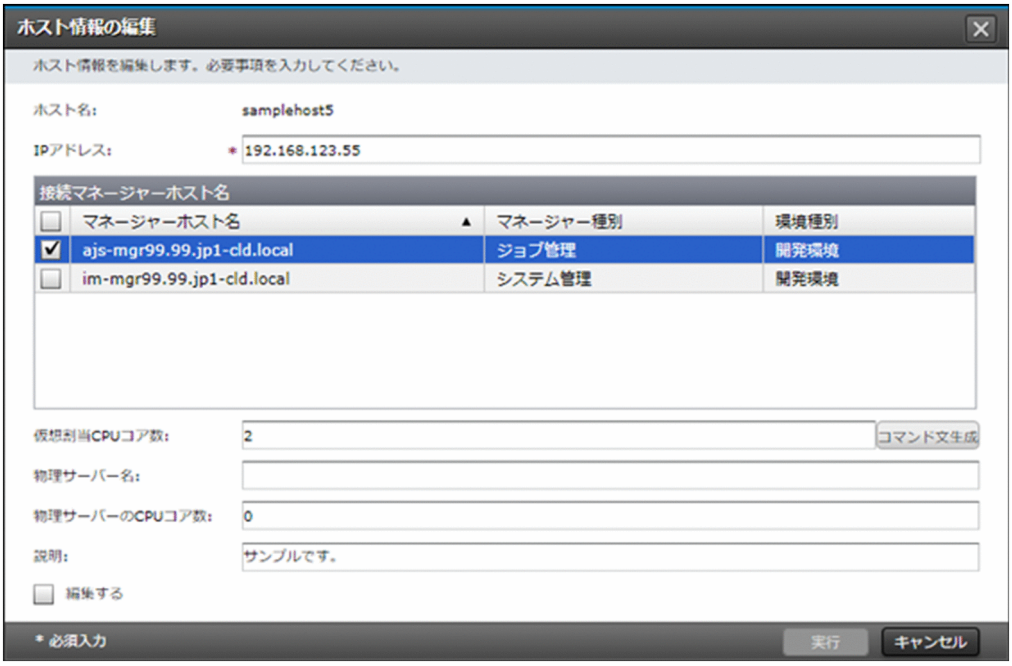
ホスト情報一覧画面から，対象のホストを 1 つ選択して［編集］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして編集します。

複数選択した場合やステータスが操作中のホストを選択した場合，［編集］ボタンが非活性となり，操作できません。

V02-30 以降で複数選択した場合には，一括編集のダイアログが起動します。一括編集については，入力項目の表の「一括編集」の説明を参照してください。

注意事項

仮想割当 CPU コア数について，コマンド文を生成してジョブ実行エージェントで実行する場合，閉域の環境（AWS Transit Gateway などによりサービスと接続されているネットワーク）から接続して，コマンド文の生成と操作を行ってください。インターネット経由での情報収集はできませんのでご注意ください。一括編集についても同様になります。



項目	説明	指定要否
ホスト名	選択したホスト名が表示されます。	–
IP アドレス	ホスト名に対応する IP アドレスを以下の IPv4 形式で入力します。 形式 W.X.Y.Z W～Z は，それぞれ 0～255 の範囲の数字で入力してください。	必須
接続マネージャーホスト名	このホストの接続先マネージャーホスト名を 1 つ選択します。 現在，接続先ホストとして選択しているマネージャーと環境種別が同じマネージャーホストが表示され，選択できます。 複数のマネージャーと接続するホストの場合には，主の接続先とするマネージャーを選択してください。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。選択したマネージャーに紐づくエージェントとして扱われます。	任意
仮想割当 CPU コア数	このホストの仮想割り当て CPU コア数を入力します。 0～8192 の範囲の数字で入力してください。 ジョブ実行エージェントホストとして登録する場合のみ指定してください。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。物理サーバーとして登録する場合は指定しないでください。指定を省略した場合，0 が仮定されます。 また，［コマンド文生成］ボタンをクリックして起動するダイアログで必要な情報を入力（コマンド実行先エージェントホストの OS を Linux か Windows から選択）し，［生成］ボタンをクリックすると，このエージェントからの情報収集用コマンド文を生成できます。生成されたコマンド文をコピーし，エージェントでコマンドを実行することで仮想割当 CPU コア数の収集・編集ができます。コマンド文を実行すると，サービスポータルに対して REST API での通信が発生するため，通信ができるように事前にポートの許可設定などを実施してください。なお，生成されたコマンド文の有効期限は 60 分です。	任意
物理サーバー名	このホストの物理サーバー名を入力します。	任意

項目	説明	指定要否
物理サーバー名	1〜125 バイト（V02-40 以前は 63 バイト）の ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 ジョブ実行エージェントホストとして登録する場合のみ指定してください。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。このホストが物理サーバーの場合か，物理サーバーの構成が把握できる仮想環境の場合に指定してください。また，物理サーバーの CPU コア数（1 以上）と合わせて指定してください。クラウド上の仮想環境などのため，物理サーバーの構成が把握できない場合は指定しないでください。 使用禁止文字 制御文字および“‘`$“‘‘スペース その他，注意事項 ホスト名の大文字小文字は区別されません。	任意
物理サーバーの CPU コア数	物理サーバー名を指定する場合，このホストの物理サーバーの CPU コア数を入力します。 0〜8192 の範囲の数字で入力してください。 ジョブ実行エージェントホストとして登録する場合のみ指定してください。 この項目は，ジョブ実行エージェントのライセンス計算に使用されます。指定を省略した場合，0 が仮定されます。1 以上を指定する場合，物理サーバー名と合わせて指定してください。	任意
説明	このホストの説明を入力します。 1〜255 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 このホストにインストールされている JP1 の製品名やバージョン情報を入力することもできます。 使用禁止文字 制御文字および"'`$”‘‘	任意
一括編集 （V02-30 以降）	複数のホスト情報を一括で編集するコマンド文を生成できます。 起動するダイアログで必要な情報を入力（コマンド実行先ホストの OS を Linux か Windows から選択）し，［生成と JSON ファイルのダウンロード］ボタンをクリックすると，一括編集用コマンド文の生成と，リクエストボディとなる JSON ファイルのテンプレートをダウンロードできます。 生成されたコマンド文をコピーしてリクエストボディ（JSON ファイル）※1 を編集し，クライアント端末から JSON ファイルを指定してコマンドを実行することで一括編集の操作ができます。コマンド文を実行すると，サービスポータルに対して REST API での通信が発生するため，通信ができるように事前にポートの許可設定などを実施してください。 なお，生成されたコマンド文の有効期限は 60 分になるため，あらかじめテンプレートからリクエストボディとなる JSON ファイルを作成しておき，コマンド文に入力データとして指定することもご検討ください。 システム負荷の軽減のため，複数の一括操作コマンドを同時に実行しないでください。 リクエストボディの例を以下に示します。 `{”hosts”:[{”name”:”samplehost”,”address”:”192.168.123.45”,”link_mgrsrv_id”:”ajs-mgr99.99.jp1-cld.local”,”vcpu_num”:1,”physsrv_name”:”sample”,”physsrv_cpu_num”:8,”description”:””,”targethost_id”:”ajs-mgr99.99.jp1-cld.local”}]}` レスポンスで返却する主なステータスコードを※2 に示します。	–

注※1

リクエストボディの形式を以下に示します。

項目	説明
{	–
"hosts" : [{	–
"name" : **ホスト名**,	ホスト名（文字列）を指定します。
"address" : **IP アドレス**,	IP アドレス（文字列）を指定します。
"link_mgrsrv_id" : **接続マネージャーホスト名**,	接続マネージャーホスト名（文字列）を指定します。
"vcpu_num" : **仮想割当 CPU コア数**,	仮想割当 CPU コア数（数値）を指定します。
"physsrv_name" : **物理サーバー名**,	物理サーバー名（文字列）を指定します。
"physsrv_cpu_num" : **物理サーバーの CPU コア数**,	物理サーバーの CPU コア数（数値）を指定します。
"description" : **説明**,	説明（文字列）を指定します。
"targethost_id" : **操作対象マネージャーホスト名**	操作対象のマネージャーホスト名（文字列）を指定します。このマネージャーホストに紐づくホスト情報に対して操作が行われます。
}, …]	要求ホスト情報分だけ繰り返して指定してください。
}	–

注※2

レスポンスで返却する主なステータスコードを以下に示します。

ステータスコード	説明
202	成功しました。タスク ID を返却します。
400	リクエスト内容が不正です（KBDC10028-E，KBDC10101-E）。
401	認証情報が無効です（KBDC20102-E，KBDC10104-E）。
403	権限がありません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
404	対象が存在しません（KBDC10028-E，KBDC10020-E，KBDC13007-E，KBDC13035-E）。
409	操作中です（KBDC10501-W，KBDC13504-W）。
503	メンテナンス中です（KBDC13016-E，KBDC13017-E）。

7.2.4 削除

ホスト情報を削除できます。

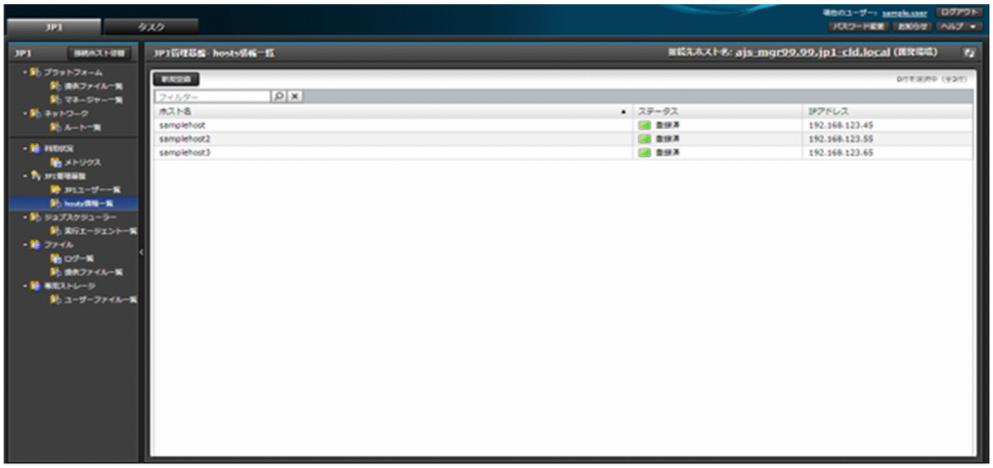
ホスト情報一覧画面から，対象のホストをすべて選択して［編集］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中のホストを選択した場合，［削除］ボタンが非活性となり，操作できません。



7.3　hosts 情報一覧（V01-12 以前）

［JP1］画面のナビメニュー［JP1 管理基盤］−［hosts 情報一覧］を選択すると，hosts 情報一覧画面が表示されます。



7.3.1　一覧表示

エージェントとして使用するためにマネージャーに登録されているサーバーの hosts 情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
ホスト名	hosts 情報として登録されているホスト名が表示されます。
ステータス	hosts 情報の状態が表示されます。 登録済 　登録が完了している状態です。 操作中 　登録操作により，操作中の状態です。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。
IP アドレス	ホスト名に対応する IP アドレスが表示されます。

7.3.2　新規登録

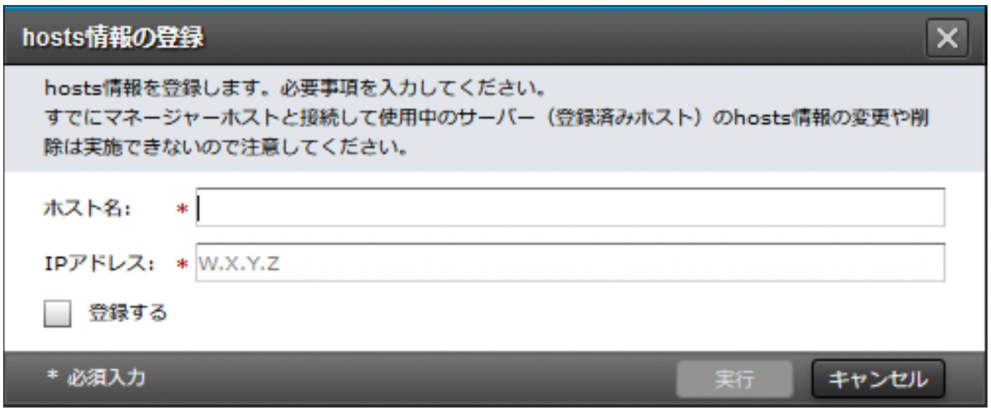
エージェントとして使用するサーバーの hosts 情報をマネージャーホストに新規に登録できます。hosts 情報は，マネージャーとエージェント間で通信する際の名前解決のために登録が必要になります。

hosts 情報一覧画面から，［新規登録］ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，内容に誤りがないことを確認（チェック）してから［実行］ボタンをクリックして登録します。

すでに登録されている同じホスト名の hosts 情報を複数登録することはできません。

注意事項

- V01-01 以前の場合，登録時は対象のサーバーを起動し，通信できる状態にしておいてください。登録時に，マネージャーホストから ping（ICMP）での通信確認が発生します。
- すでにマネージャーホストと接続して使用中のサーバー（登録済みホスト）の hosts 情報の変更や削除（IP アドレスの変更など）は実施できません。誤った情報で登録してしまった場合には，サービス窓口までお問い合わせください。



項目	説明	指定要否
ホスト名	hosts 情報として登録したいホスト名を入力します。 1～255 バイトの ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および”’ ` $ ” ’ ‘ # / ¥ [ ] ; : | = , + ? < > スペース その他，注意事項 • IP アドレスとして認識できる文字列は，ホスト名として利用できません。 • 登録対象のサーバーで名前解決ができるホスト名を指定してください。 • ホスト名の大文字小文字は区別されません。	必須
IP アドレス	ホスト名に対応する IP アドレスを以下の形式で入力します。 形式 **W.X.Y.Z** W～Z は，それぞれ 0～255 の範囲の数字で入力してください。	必須

8 ジョブ管理

ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー）のメニューで提供する機能について説明します。

8.1　実行エージェント一覧

［JP1］画面のナビメニュー［ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー）］－［実行エージェント一覧］を選択すると，実行エージェント一覧画面が表示されます。



8.1.1　一覧表示

実行エージェントの情報を表示できます。

マネージャー種別が「ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー）」以外の場合，情報は表示されません。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
エージェント名	実行エージェント名または実行エージェントグループ名が表示されます。
種類	実行エージェントの種類が表示されます。 エージェント 　実行エージェントのことです。 グループ 　実行エージェントグループのことです。
ステータス	実行エージェントまたは実行エージェントグループのジョブの受付配信制限の状態が表示されます。 有効 　ジョブを受け付け，実行ホストに配信されます。 無効 　ジョブを受け付けません。ただし，すでに受け付けたジョブは実行ホストに配信されます。

項目	説明
ステータス	保留 ジョブを受け付けます。ただし，実行ホストには配信されません。 閉塞 ジョブを受け付けません。また，実行ホストにも配信されません。 操作中 変更操作により，操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合，その実行エージェントを選択したときに［編集］・［削除］ボタンが非活性になり，それらの操作を行うことができません。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。
接続状態	実行エージェントの状態が表示されます。 作成中または実行エージェントグループの場合は，「-」が表示されます。 未確認 実行エージェントの状態が確認されていない状態です。実行エージェントへジョブは配信できます。 接続可 実行エージェントと正常に通信できる状態です。実行エージェントへジョブは配信できます。 接続不可 実行エージェントに通信障害が発生しているため，ジョブを配信できない状態です。 実行エージェントへジョブは配信できません（ジョブはマネージャーホスト上で「キューイング」状態となります）。 使用不可 受付配信制限の状態に合わせて明示的にジョブ配信を抑止している状態です。 実行エージェントへジョブは配信できません（ジョブはマネージャーホスト上で「キューイング」状態となります）。
実行ホスト名	実行ホスト名が表示されます。 実行エージェントグループの場合は，「-」が表示されます。
実行多重度	ジョブ実行多重度が表示されます。 実行エージェントグループの場合は，「-」が表示されます。
キューイング中	キューイング中の UNIX ジョブ，PC ジョブ，フレキシブルジョブ，HTTP 接続ジョブ，アクションジョブ，カスタムジョブ，および引き継ぎ情報設定ジョブの数が表示されます。
実行中	実行中の UNIX ジョブ，PC ジョブ，フレキシブルジョブ，HTTP 接続ジョブ，アクションジョブ，カスタムジョブ，および引き継ぎ情報設定ジョブの数が表示されます。 実行エージェントグループの場合は，「-」が表示されます。
イベントジョブ数	実行中のイベントジョブ数が表示されます。 実行エージェントグループの場合は，「-」が表示されます。
属するエージェントと優先順位	実行エージェントグループに属する実行エージェント名と優先順位が以下の形式で表示されます。 優先順位は，一番低いのが 1，一番高いのが 16 です。

項目	説明
属するエージェントと優先順位	実行エージェントの場合は，「-」が表示されます。 形式 **実行エージェント名:優先順位,実行エージェント名:優先順位,...**
説明	実行エージェントに対するコメントが表示されます。

8.1.2　新規作成

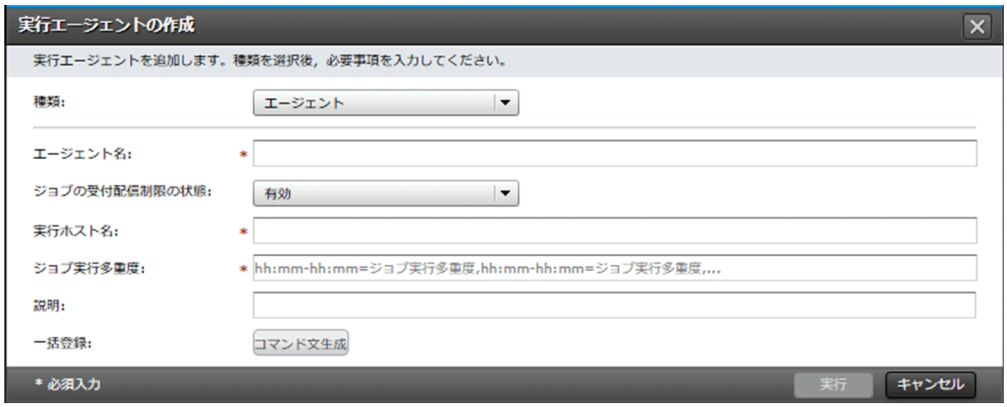
実行エージェントを新規に作成できます。

実行エージェント一覧画面から，［新規作成］ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックして作成します。

すでに存在する同種同名の実行エージェントを複数作成することはできません。また，マネージャー種別が「ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー）」以外の場合，［新規作成］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

- 作成する実行エージェントの実行ホスト名は，作成時点で正しく名前解決できている必要があります。
- V02-30 以降でコマンド文を生成して一括登録する場合，閉域の環境（AWS Transit Gateway などによりサービスと接続されているネットワーク）から接続して，コマンド文の生成と操作を行ってください。インターネット経由での一括操作はできませんのでご注意ください。



項目	説明	指定要否
種類	実行エージェントの種類を選択します。 エージェント 実行エージェントのことです。 グループ 実行エージェントグループのことです。	必須

項目	説明	指定要否
エージェント名	実行エージェントまたは実行エージェントグループとして登録したいエージェント名を入力します。 1～255 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 アンダーバー(_)2 つの「__」で始まる名称は，サービス用に予約されているため，指定できません。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘：,＜＞スペース その他，注意事項 • 大文字小文字は区別されません。 • 日本語などのマルチバイト文字も使用できます。ただし，言語環境によって文字バイト長が異なるため，ASCII 文字を推奨します。エージェント名に環境依存文字を含む場合，実行エージェントの編集に失敗することがあります。この場合，別の文字を指定して再作成（削除して新規作成）により対処してください。 •「@SYS」で始まる名称は使用できません。	必須
ジョブの受付配信制限の状態	実行エージェントまたは実行エージェントグループのジョブの受付配信制限の状態を選択します。 有効 ジョブを受け付け，実行ホストに配信されます。 無効 ジョブを受け付けません。ただし，すでに受け付けたジョブは実行ホストに配信されます。 保留 ジョブを受け付けます。ただし，実行ホストには配信されません。 閉塞 ジョブを受け付けません。また，実行ホストにも配信されません。 「有効」または「無効」を選択した場合，実行エージェントの状態（接続状態）は「未確認」に設定されます。「保留」または「閉塞」を選択した場合，実行エージェントの状態（接続状態）は「使用不可」に設定されます。	必須
実行ホスト名	ジョブの実行先ホスト名を入力します。 1～255 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 マネージャーホスト名は指定しないようにしてください。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘ その他，注意事項 半角空白文字を含む文字列を指定した場合，除去して処理されます。このため，半角空白文字は使用しないでください。	エージェントのみ指定（必須）

項目	説明	指定要否
ジョブ実行多重度	ジョブ実行多重度を設定する時間帯と，その時間帯のジョブ実行多重度を以下の形式で入力します。 なお，タイムゾーンは JST になります。 ジョブ実行多重度により，この実行エージェントで同時に実行できるジョブ数を制限できます。同時実行数が制限されるジョブは，UNIX ジョブ，PC ジョブ，フレキシブルジョブ，HTTP 接続ジョブ，アクションジョブ，カスタムジョブ，および引き継ぎ情報設定ジョブです。同時に実行しようとしたジョブ数が，ジョブ実行多重度に達した場合，それを超えた分のジョブは，実行中のジョブが終了するまでキューイング（実行待ち）の状態になります。 形式 hh:mm-hh:mm=**ジョブ実行多重度**,hh:mm-hh:mm=**ジョブ実行多重度**,... hh に指定できる値は，0～9 または 00～23（単位：時）です。 mm に指定できる値は，0, 00, または 30（単位：分）です。 ジョブ実行多重度に指定できる値は，0～4294967295 です。 時間帯とジョブ実行多重度の組み合わせは，最大 48 まで指定できます。 その他，補足事項 • 時間帯を重複して指定した場合は，あとで指定した値が反映されます。 • ジョブ実行多重度を指定しなかった時間帯には，ジョブ実行多重度 0 が仮定されます。 • 実行した時刻を含む時間帯を指定した場合，ジョブ実行多重度はすぐに変更されます。	エージェントのみ指定（必須）
属するエージェントと優先順位	実行エージェントグループに関連づける実行エージェント名とそのグループ内での優先順位を以下の形式で入力します。 形式 **実行エージェント名**[:**優先順位**],**実行エージェント名**[:**優先順位**],... 実行エージェント名にはすでに登録済みの実行エージェントを指定します。 優先順位に指定できる値は，1～16 です。優先順位が一番低いのが 1，一番高いのが 16 です。優先順位が高いほど，ジョブが優先的に実行されます。省略した場合，16 が仮定されます。 関連づけできる実行エージェントの数は 1,024 までです。 なお，V01-12 以降において，デフォルト実行エージェント（エージェント名が@SYSTEM の実行エージェント）は指定できません。	グループのみ指定（必須）
説明	実行エージェントまたは実行エージェントグループに対するコメントを入力します。 1～80 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。	任意

項目	説明	指定要否
説明	使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘ その他，注意事項 説明文の末尾に連続して設定した半角空白文字は無効になる場合があります。このため，末尾に半角空白文字を使用しないでください。	任意
一括登録（V02-30 以降）	複数の実行エージェントを一括で登録するコマンド文を生成できます。 ［コマンド文生成］ボタンをクリックして起動するダイアログで必要な情報を入力（コマンド実行先ホストの OS を Linux か Windows から選択）し，［生成と JSON ファイルのダウンロード］ボタンをクリックすると，一括登録用コマンド文の生成と，リクエストボディとなる JSON ファイルのテンプレートをダウンロードできます。 生成されたコマンド文をコピーしてリクエストボディ（JSON ファイル）※1 を編集し，クライアント端末から JSON ファイルを指定してコマンドを実行することで一括登録の操作ができます。コマンド文を実行すると，サービスポータルに対して REST API での通信が発生するため，通信ができるように事前にポートの許可設定などを実施してください。 なお，生成されたコマンド文の有効期限は 60 分になるため，あらかじめテンプレートからリクエストボディとなる JSON ファイルを作成しておき，コマンド文に入力データとして指定することもご検討ください。 システム負荷の軽減のため，複数の一括操作コマンドを同時に実行しないでください。 リクエストボディの例を以下に示します。 `{”agents”:[{”type”:”A”,”name”:”sampleAgent”,”status”:”Ef”,”host”:”samplehost”,”con_exe_def”:”00:00-00:00=10”,”link_agent”:””,”description”:”サンプルです。”,”targethost_id”:”ajs-mgr99.99.jp1-cld.local”}]}` レスポンスで返却する主なステータスコードを※4 に示します。	–

注※1

リクエストボディの形式を以下に示します。

項目	説明
{	–
”agents”：[{	–
”type”:**種類**,	実行エージェントの種類（文字列）を指定します。※2
”name”:**エージェント名**,	実行エージェント名または実行エージェントグループ名（文字列）を指定します。
”status”：**ジョブの受付配信制限の状態**,	ジョブの受付配信制限の状態（文字列）を指定します。※3

項目	説明
"host" : **実行ホスト名**,	実行ホスト名（文字列）を指定します。
"con_exe_def" : **ジョブ実行多重度**,	ジョブ実行多重度（文字列）を指定します。
"link_agent" : **属するエージェントと優先順位**,	属する実行エージェント名と優先順位（文字列）を指定します。
"description" : **説明**,	説明（文字列）を指定します。
"targethost_id" : **操作対象マネージャーホスト名**	操作対象のマネージャーホスト名（文字列）を指定します。このマネージャーホストに紐づく実行エージェントに対して操作が行われます。
}, ...]	要求エージェント分だけ繰り返して指定してください。
}	–

注※2

実行エージェントの種類（文字列）を以下に示します。

識別子（値）	**意味**
A	エージェント
G	グループ

注※3

ジョブの受付配信制限の状態（文字列）を以下に示します。

識別子（値）	意味
Ef	有効
In	無効
Hd	保留
Bl	閉塞

注※4

レスポンスで返却する主なステータスコードを以下に示します。

ステータスコード	説明
202	成功しました。タスク ID を返却します。
400	リクエスト内容が不正です（KBDC10028-E，KBDC10101-E，KBDC10301-E，KBDC10318-E）。
401	認証情報が無効です（KBDC20102-E，KBDC10104-E）。
403	権限がありません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
409	操作中です（KBDC10501-W，KBDC10502-W）。
412	エージェント名が重複しています（KBDC10732-E，KBDC13004-E）。
503	メンテナンス中です（KBDC13016-E，KBDC13017-E）。

8.1.3　編集

実行エージェントを編集できます。

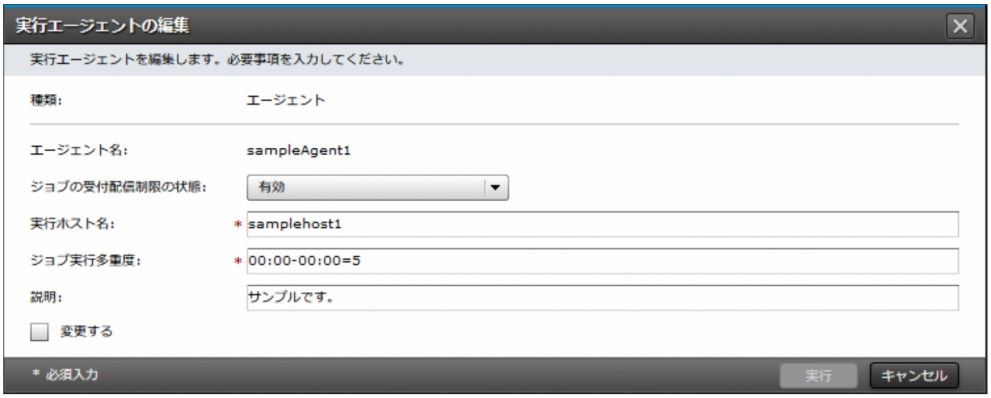
実行エージェント一覧画面から，対象の実行エージェントを 1 つ選択して［編集］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして作成します。

複数選択した場合やステータスが操作中の実行エージェントを選択した場合，［編集］ボタンが非活性となり，操作できません。

V02-30 以降で複数選択した場合，一括編集のダイアログが起動します。一括編集については，入力項目の表の「一括編集」の説明を参照してください。

注意事項

- 実行エージェントの実行ホスト名は，編集時点で正しく名前解決できている必要があります。
- 実行中のジョブ（PC ジョブ，UNIX ジョブ，フレキシブルジョブ，HTTP 接続ジョブ，カスタムジョブ，またはアクションジョブ）がある場合は，実行エージェントグループから実行エージェントを除外できません。
- 実行中のジョブ（PC ジョブ，UNIX ジョブ，フレキシブルジョブ，HTTP 接続ジョブ，カスタムジョブ，アクションジョブ，またはイベントジョブ）がある場合は，実行ホスト名を変更できません。
- V01-10 以前の場合，実行中のジョブ（PC ジョブ，UNIX ジョブ，フレキシブルジョブ，HTTP 接続ジョブ，カスタムジョブ，アクションジョブ，またはイベントジョブ）があるときに実行エージェントのジョブの受付配信制限の状態を変更する場合には，当該ホストに対して運用権限を持つユーザーを用いて操作を行ってください。
- V02-30 以降でコマンド文を生成して一括編集する場合，閉域の環境（AWS Transit Gateway などによりサービスと接続されているネットワーク）から接続して，コマンド文の生成と操作を行ってください。インターネット経由での一括操作はできませんのでご注意ください。



項目	説明	指定要否
種類	選択した実行エージェントの種類が表示されます。	−

項目	説明	指定要否
種類	エージェント 　実行エージェントのことです。 グループ 　実行エージェントグループのことです。	−
エージェント名	選択した実行エージェント名または実行エージェントグループ名が表示されます。	−
ジョブの受付配信制限の状態	実行エージェントまたは実行エージェントグループのジョブの受付配信制限の状態を選択します。 有効 　ジョブを受け付け，実行ホストに配信されます。 無効 　ジョブを受け付けません。ただし，すでに受け付けたジョブは実行ホストに配信されます。 保留 　ジョブを受け付けます。ただし，実行ホストには配信されません。 閉塞 　ジョブを受け付けません。また，実行ホストにも配信されません。 「有効」または「無効」を選択した場合，実行エージェントの状態（接続状態）は「未確認」に設定されます。「保留」または「閉塞」を選択した場合，実行エージェントの状態（接続状態）は「使用不可」に設定されます。 なお，V01-12 以降において，デフォルト実行エージェント（エージェント名が@SYSTEM の実行エージェント）の受付配信制限の状態は変更できません。	必須
実行ホスト名	ジョブの実行先ホスト名を入力します。 1～255 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 マネージャーホスト名は指定しないようにしてください。 なお，V01-12 以降において，デフォルト実行エージェント（エージェント名が@SYSTEM の実行エージェント）の実行ホスト名は変更できません。 使用禁止文字 　制御文字および”’｀$”’　‘ その他，注意事項 　半角空白文字を含む文字列を指定した場合，除去して処理されます。このため，半角空白文字は使用しないでください。	エージェントのみ指定（必須）
ジョブ実行多重度	ジョブ実行多重度を設定する時間帯と，その時間帯のジョブ実行多重度を以下の形式で入力します。 なお，タイムゾーンは JST になります。	エージェントのみ指定（必須）

項目	説明	指定要否
ジョブ実行多重度	ジョブ実行多重度により，この実行エージェントで同時に実行できるジョブ数を制限できます。同時実行数が制限されるジョブは，UNIX ジョブ，PC ジョブ，フレキシブルジョブ，HTTP 接続ジョブ，アクションジョブ，カスタムジョブ，および引き継ぎ情報設定ジョブです。同時に実行しようとしたジョブ数が，ジョブ実行多重度に達した場合，それを超えた分のジョブは，実行中のジョブが終了するまでキューイング（実行待ち）の状態になります。 形式 hh:mm-hh:mm=**ジョブ実行多重度**,hh:mm-hh:mm=**ジョブ実行多重度**,... hh に指定できる値は，0～9 または 00～23（単位：時）です。 mm に指定できる値は，0, 00, または 30（単位：分）です。 ジョブ実行多重度に指定できる値は，0～4294967295 です。 時間帯とジョブ実行多重度の組み合わせは，最大 48 まで指定できます。 その他，補足事項 • 時間帯を重複して指定した場合は，あとで指定した値が反映されます。 • ジョブ実行多重度を指定しなかった時間帯は，変更されません。 • 実行した時刻を含む時間帯を指定した場合，ジョブ実行多重度はすぐに変更されます。	エージェントのみ指定（必須）
属するエージェントと優先順位	実行エージェントグループに関連づける実行エージェント名とそのグループ内での優先順位を以下の形式で入力します。 形式 **実行エージェント名**[:**優先順位**],**実行エージェント名**[:**優先順位**],... 実行エージェント名にはすでに登録済みの実行エージェントを指定します。 優先順位に指定できる値は，1～16 です。優先順位が一番低いのが 1，一番高いのが 16 です。優先順位が高いほど，ジョブが優先的に実行されます。省略した場合，16 が仮定されます。 関連づけできる実行エージェントの数は 1,024 までです。 なお，V01-12 以降において，デフォルト実行エージェント（エージェント名が@SYSTEM の実行エージェント）は指定できません。	グループのみ指定（必須）
説明	実行エージェントまたは実行エージェントグループに対するコメントを入力します。 1～80 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”’　‘	任意

項目	説明	指定要否
説明	その他，注意事項 説明文の末尾に連続して設定した半角空白文字は無効になる場合があります。このため，末尾に半角空白文字を使用しないでください。	任意
一括編集（V02-30 以降）	複数の実行エージェントを一括で編集するコマンド文を生成できます。 起動するダイアログで必要な情報を入力（コマンド実行先ホストの OS を Linux か Windows から選択）し，［生成と JSON ファイルのダウンロード］ボタンをクリックすると，一括編集用コマンド文の生成と，リクエストボディとなる JSON ファイルのテンプレートをダウンロードできます。 生成されたコマンド文をコピーしてリクエストボディ（JSON ファイル）※1 を編集し，クライアント端末から JSON ファイルを指定してコマンドを実行することで一括編集の操作ができます。コマンド文を実行すると，サービスポータルに対して REST API での通信が発生するため，通信ができるように事前にポートの許可設定などを実施してください。 なお，生成されたコマンド文の有効期限は 60 分になるため，あらかじめテンプレートからリクエストボディとなる JSON ファイルを作成しておき，コマンド文に入力データとして指定することもご検討ください。 システム負荷の軽減のため，複数の一括操作コマンドを同時に実行しないでください。 リクエストボディの例を以下に示します。 `{"agents":[{"type":"A","name":"sampleAgent","status":"Bl","host":"","con_exe_def":"00:00-00:00=10","link_agent":"","description":"","targethost_id":"ajs-mgr99.99.jp1-cld.local"}]}` レスポンスで返却する主なステータスコードを※4 に示します。	–

注※1

リクエストボディの形式を以下に示します。

項目	説明
{	–
"agents" : [{	–
"type" :**種類**,	実行エージェントの種類（文字列）を指定します。※2
"name" : **エージェント名**,	実行エージェント名または実行エージェントグループ名（文字列）を指定します。
"status" : **ジョブの受付配信制限の状態**,	ジョブの受付配信制限の状態（文字列）を指定します。※3
"host" :**実行ホスト名**,	実行ホスト名（文字列）を指定します。実行ホスト名を変更しない場合，空文字を指定してください。
"con_exe_def" :**ジョブ実行多重度**,	ジョブ実行多重度（文字列）を指定します。

項目	説明
”link_agent”：**属するエージェントと優先順位**,	属する実行エージェント名と優先順位（文字列）を指定します。
”description”： **説明**,	説明（文字列）を指定します。
”targethost_id”：**操作対象マネージャーホスト名**	操作対象のマネージャーホスト名（文字列）を指定します。このマネージャーホストに紐づく実行エージェントに対して操作が行われます。
}, ...]	要求エージェント分だけ繰り返して指定してください。
}	–

注※2

実行エージェントの種類（文字列）を以下に示します。

識別子（値）	意味
A	エージェント
G	グループ

注※3

ジョブの受付配信制限の状態（文字列）を以下に示します。

識別子（値）	意味
Ef	有効
In	無効
Hd	保留
Bl	閉塞

注※4

レスポンスで返却する主なステータスコードを以下に示します。

ステータスコード	説明
202	成功しました。タスク ID を返却します。
400	リクエスト内容が不正です（KBDC10028-E，KBDC10101-E，KBDC10301-E，KBDC10318-E）。
401	認証情報が無効です（KBDC20102-E，KBDC10104-E）。
403	権限がありません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
404	対象が存在しません（KBDC20102-E，KBDC20204-E）。
409	操作中です（KBDC10501-W，KBDC10502-W）。
503	メンテナンス中です（KBDC13016-E，KBDC13017-E）。

8.1.4　削除

実行エージェントを削除できます。

実行エージェント一覧画面から，対象の実行エージェントをすべて選択して［削除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中，または閉塞状態でない実行エージェントを選択した場合，［削除］ボタンが非活性となり，操作できません。また，V01-12 以降において，デフォルト実行エージェント（エージェント名が @SYSTEM の実行エージェント）を選択した場合，［削除］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

- 削除する実行エージェントに対する新たなイベントジョブおよび起動条件付きジョブネットを実行しないようにしておいてください。
- 実行中のジョブ（PC ジョブ，UNIX ジョブ，カスタムジョブ，フレキシブルジョブ，HTTP 接続ジョブ，アクションジョブ，またはイベントジョブ）がある場合は，実行エージェントを削除できません。削除するには，実行中のジョブを強制終了させる必要があります。
- どれかの実行エージェントグループに属している実行エージェントは削除できません。



9 ファイル

ファイルのメニューで提供する機能について説明します。

9.1　ログ一覧

［JP1］画面のナビメニュー［ファイル］−［ログ一覧］を選択すると，ログ一覧画面が表示されます。



9.1.1　一覧表示

サービスから提供可能な各種ログを表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

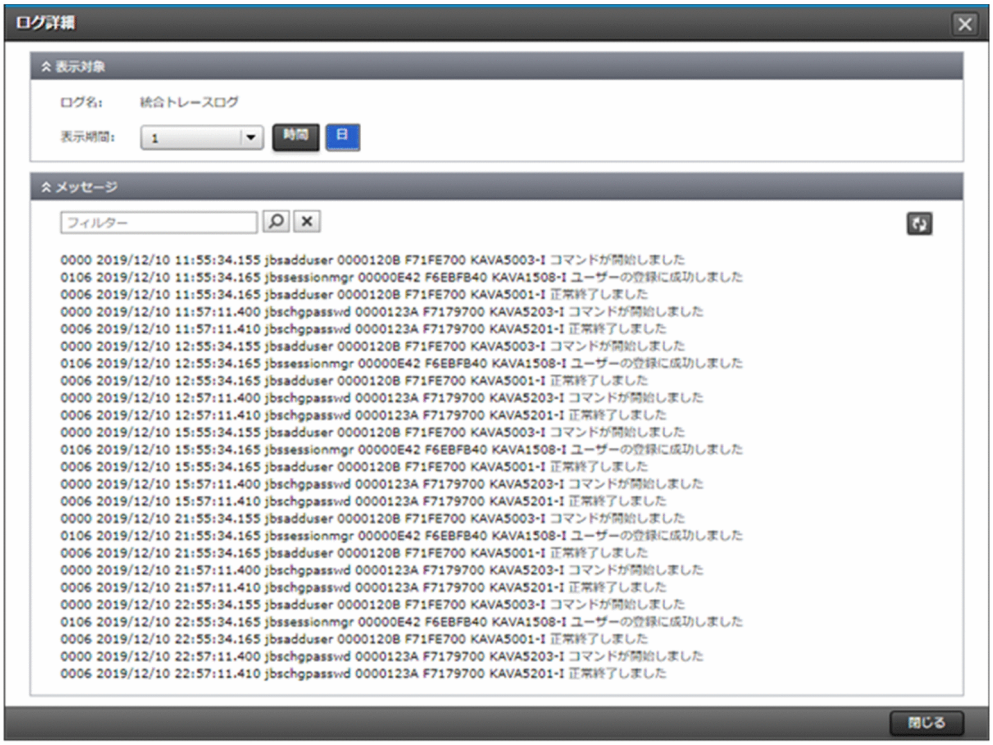
項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
ログ名	ログの種類を表す名称が表示されます。V01-11 以降では，ログ名のリンクをクリックすると，ログの詳細情報を参照することができます。 統合トレースログ JP1 管理基盤の JP1 ユーザーの操作履歴などが出力されています。 実行操作ログ ジョブ管理（V01-12 以前はジョブスケジューラー）のジョブネットやジョブの実行開始履歴・実行終了履歴，コマンドの実行履歴などが出力されています。 ローカルアクション実行履歴ログ（V02-20 以降） ジョブ管理マネージャーからのメール通知・抑止の履歴といったジョブ管理のローカルアクションの実行履歴が出力されています。 Base 操作ログ（V02-50 以降） Base コンポーネント（JP1/Base）の認証サーバーに対しての操作情報の履歴が出力されています。 JP1/IM - Manager 操作ログ（V02-50 以降） システム管理マネージャーに対しての操作情報の履歴が出力されています。
最終更新日時	ログの最終更新日時が表示されます。

9.1.2　詳細表示（V01-11 以降）

サービスから提供可能な各種ログの詳細情報を表示できます。

ログ一覧画面から，対象のログの名前のリンクをクリックすると，詳細表示のダイアログが起動します。

表示する項目と説明を以下に示します。



項目	説明
ログ名	選択したログ名が表示されます。
メッセージ	各ログの出力形式でメッセージが表示されます。出力形式については「9.1.3 エクスポート」を参照してください。 表示期間は 1～24 時間，1～90 日で選択して表示できます。ただし，最大表示期間は 24 時間（1 日）です。例えば，表示期間として 2 日を選択した場合，2 日前から 1 日前までのメッセージが表示されます。 一覧画面と同じく，表示項目のフィルタリングや最新の情報に更新ができます。 なお，ローカルアクション実行履歴ログについては，一度に最大 10000 行まで表示できます。

9.1.3　エクスポート

ログの内容をエクスポートしてダウンロードできます。

ログ一覧画面から，対象のログをすべて選択して［エクスポート］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックしてエクスポートします。



項目	説明	指定要否
ログ名	選択したすべてのログ名が表示されます。	–
取得日数	ログの取得日数を選択します。 1 日分から選択でき，最大 90 日分まで選択できます。 システム負荷の軽減のため，取得が必要な最低日数を選択してください。 なお，ローカルアクション実行履歴ログについては，一度に最大 10000 行まで取得できます。	必須
取得開始日（V02-20 以降）	ログの取得開始日を yyyy/MM/dd の形式で入力します。 13 か月前（V02-30 以降は 5 年前）まで指定でき，指定した日から現在に向かって取得日数分のログがエクスポートの対象になります。サービス利用開始日以降の日付を指定してください。 指定を省略した場合や現在の日を指定した場合，現在から取得日数分（過去分）のログがエクスポートされます。未来の日を指定した場合も，現在から取得日数分（過去分）のログがエクスポートされます。 なお，タイムゾーンは JST になります。	任意

エクスポートしたログは，実行したタスクのタスク詳細ダイアログのファイル名「<タスク ID>.zip」（例：0000000001.zip）のリンクからダウンロードできます。エクスポートを実行したユーザーだけがログをダウンロードできます。

ダウンロードしたファイル中に格納されている各ログのファイル名を以下に示します。

ログ名	ファイル名	ファイル名の例
統合トレースログ	<タスク ID>_hntr2.csv	0000000001_hntr2.csv
実行操作ログ	<タスク ID>_ajslog.csv	0000000001_ajslog.csv
ローカルアクション実行履歴ログ（V02-20 以降）	<タスク ID>_localact.csv	0000000001_localact.csv
Base 操作ログ（V02-50 以降）	<タスク ID>_baselog.csv	0000000001_baselog.csv

ログ名	ファイル名	ファイル名の例
JP1/IM - Manager 操作ログ（V02-50 以降）	<タスク ID>_immoperation.csv	0000000001_immoperation.csv

統合トレースログの出力形式を以下に示します。

出力形式	**メッセージテキスト**
説明	メッセージテキストの出力項目の内容は，Base コンポーネント（JP1/Base）のマニュアルの統合トレースログを参照してください。 • 文字コードは UTF-8 です。 • 改行コードは LF です。 • ヘッダー行はありません。 • 各項目の区切り文字はコンマ(,)です。 • 各項目はダブルクォート(")で囲まれて出力されます。 • メッセージテキスト内の日時のタイムゾーンは JST です。
出力例	”0000 2019/12/11 11:55:34.155 jbsadduser 0000120B F71FE700 KAVA5003-I コマンドが開始しました” ”0106 2019/12/11 11:55:34.165 jbssessionmgr 00000E42 F6EBFB40 KAVA1508-I testuserユーザーの登録に成功しました” ”0006 2019/12/11 11:55:34.165 jbsadduser 0000120B F71FE700 KAVA5001-I 正常終了しました” ”0000 2019/12/11 11:57:11.400 jbschgpasswd 0000123A F7179700 KAVA5203-I コマンドが開始しました” ”0006 2019/12/11 11:57:11.410 jbschgpasswd 0000123A F7179700 KAVA5201-I 正常終了しました”

実行操作ログの出力形式を以下に示します。

出力形式	**メッセージテキスト**
説明	メッセージテキストの出力項目の内容は，JP1/Automatic Job Management System 3 のマニュアルのスケジューラーログ（実行操作ログ）を参照してください。 • 文字コードは UTF-8 です。 • 改行コードは LF です。 • ヘッダー行はありません。 • 各項目の区切り文字はコンマ(,)です。 • 各項目はダブルクォート(")で囲まれて出力されます。 • メッセージテキスト内の日時のタイムゾーンは JST です。
出力例	”A007 Dec 11 12:01:37 [4970] KAVS0534-I c999apajssv99 ;CONNECT jp1user [USER] [10.210.38.11,JP1/AJS2-View] JP1CLOUD” ”A008 Dec 11 12:16:48 [4970] KAVS0535-I c999apajssv99 ;DISCONNECT jp1user [USER] [10.210.38.11,JP1/AJS2-View] JP1CLOUD” ”N001 Dec 11 12:03:47 [4256] KAVS0260-I JP1CLOUD:/test_jobnet:@A100” ”J001 Dec 11 12:03:47 [4256] KAVS0263-I JP1CLOUD:/test_jobnet/test_unit:@A100 c999apajssv99 1” ”J002 Dec 11 12:03:47 [4256] KAVS0264-I JP1CLOUD:/test_jobnet/test_unit:@A100 c999apajssv99 0 1” ”N002 Dec 11 12:03:47 [4256] KAVS0261-I JP1CLOUD:/test_jobnet:@A100”

ローカルアクション実行履歴ログの出力形式を以下に示します。

出力形式	メッセージテキスト
説明	メッセージテキストの出力項目の内容は，Base コンポーネント（JP1/Base）のマニュアルのローカルアクション実行履歴ログを参照してください。 • 文字コードは UTF-8 です。 • 改行コードは LF です。 • ヘッダー行はありません。 • 各項目の区切り文字はコンマ（,）です。 • 各項目はダブルクォート（"）で囲まれて出力されます。 • メッセージテキスト内の日時のタイムゾーンは JST です。 • メッセージテキスト内の一部項目（サービス提供のために使用する OS ユーザー名など）はアスタリスク（*）でマスキングされます。
出力例	”0015 2024/04/04 17:53:51.709 jbslcact 00000B6C F7760700 KNAM3201-I アクション条件が成立しました(actno=0,actnm=mail_notifer,host=cm999apimssv99)” ”0016 2024/04/04 17:53:51.709 jbslcact 00000B6C F7760700 KNAM3203-I アクション実行の開始要求を受け付けました(actno=0,actnm=mail_notifer,host=cm999apimssv99,eventid=1,eventseq=166)” ”0017 2024/04/04 17:53:51.734 jbslcact 00000B6C F7102B40 KNAM3206-I コマンドの実行を開始しました(actno=0,actnm=mail_notifer,host=cm999apimssv99,JP1user=samplejp1user,OSuser=sampleuser,proc-ID=8345,cmd=sample.sh)” ”0018 2024/04/04 17:53:51.783 jbslcact 00000B6C F7102B40 KNAM3208-I コマンドの実行が終了しました(actno=0,actnm=mail_notifer,host=cm999apimssv99,JP1user=samplejp1user,OSuser=sampleuser,proc-ID=8345,rest=sample)” ”0019 2024/04/04 17:53:51.783 jbslcact 00000B6C F7760700 KNAM3210-I アクション実行が完了しました(actno=0,actnm=mail_notifer,host=cm999apimssv99,JP1user=samplejp1user,OSuser=sampleuser,proc-ID=8345,code=0)”

Base 操作ログの出力形式を以下に示します。

出力形式	メッセージテキスト
説明	メッセージテキストの出力項目の内容は，Base コンポーネント（JP1/Base）のマニュアルの操作ログを参照してください。 • 文字コードは UTF-8 です。 • 改行コードは LF です。 • ヘッダー行はありません。 • 各項目の区切り文字はコンマ（,）です。 • 各項目はダブルクォート（"）で囲まれて出力されます。 • メッセージテキスト内の日時のタイムゾーンは JST です。 • メッセージテキスト内の一部項目（サービス提供のために使用する OS ユーザー名など）はアスタリスク（*）でマスキングされます。
出力例	"CALFHM 1.0,seqnum=59,msgid=KAJP6000-I,date=2026-02-10T11:05:23.480+09:00,progid=JP1Base,compid=User_management,pid=4028,ocp:host=cm999apajssv99,ctgry=ConfigurationAccess,result=Success,subj:euid=sampleuser,obj=samplejp1user,op=Add,objloc:authsv=cm999apajssv99,objloc:user=samplejp1user,auth=sampleuser,from:ipv4=192.168.123.45,msg=JP1 ユーザーの登録に成功しました"

JP1/IM - Manager 操作ログの出力形式を以下に示します。

出力形式	メッセージテキスト
説明	メッセージテキストの出力項目の内容は，JP1/Integrated Management 3 のマニュアルの操作ログを参照してください。 • 文字コードは UTF-8 です。 • 改行コードは LF です。 • ヘッダー行はありません。 • 各項目の区切り文字はコンマ（,）です。 • 各項目はダブルクォート（"）で囲まれて出力されます。 • メッセージテキスト内の日時のタイムゾーンは JST です。 • メッセージテキスト内の一部項目（サービス提供のために使用する OS ユーザー名など）はアスタリスク（*）でマスキングされます。
出力例	"CALFHM 1.0, seqnum=2, msgid=KNAN30000-I, date=2026-02-27T14:00:05.155+09:00, progid=JP1IMM, compid=CentralConsole, pid=1452, ocp:host=cm999apimssv99, ctgry=Authentication, result=Success, subj:uid=samplejp1user, obj=Session, op=LOGIN, from:ipv4=192.168.123.45, msg="ログインしました""

9.2　提供ファイル一覧

［JP1］画面のナビメニュー［ファイル］－［提供ファイル一覧］を選択すると，提供ファイル一覧画面が表示されます。



9.2.1　一覧表示

サービスから提供する，操作対象のホストに紐づくファイルを表示して，ダウンロードできます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
ファイル名	ファイル名が表示されます。 ファイル名のリンクをクリックすると，ファイルをダウンロードできます。
説明	ファイルの説明が表示されます。
最終更新日時	ファイルの最終更新日時が表示されます。
サイズ	ファイルのサイズが表示されます。

9.2.2　エージェントセットアップ支援ツール

各マネージャーと接続して利用するエージェントのセットアップを支援するツールやパラメータシートをダウンロードできます。

V02-30 以降では，ナビメニュー［プラットフォーム］－［提供ファイル一覧］からダウンロードできます。

提供するツールやパラメータシートを以下に示します。

製品名（略称）	サポート OS 種別	サポートバージョン	提供するファイル
Base コンポーネント（JP1/Base）	• Linux • Windows	V12 以降	設定パラメータシート
			設定ツールプラグイン
			JP1 パラメータユーティリティ
JP1/AJS3 - Agent	• Linux • Windows	V12 以降	設定パラメータシート
JP1/AJS3 - View	Windows	V12 以降	設定パラメータシート
JP1/IM - View	Windows	V12 以降	設定パラメータシート
JP1/IM - Agent	• Linux • Windows	V13 以降	設定パラメータシート

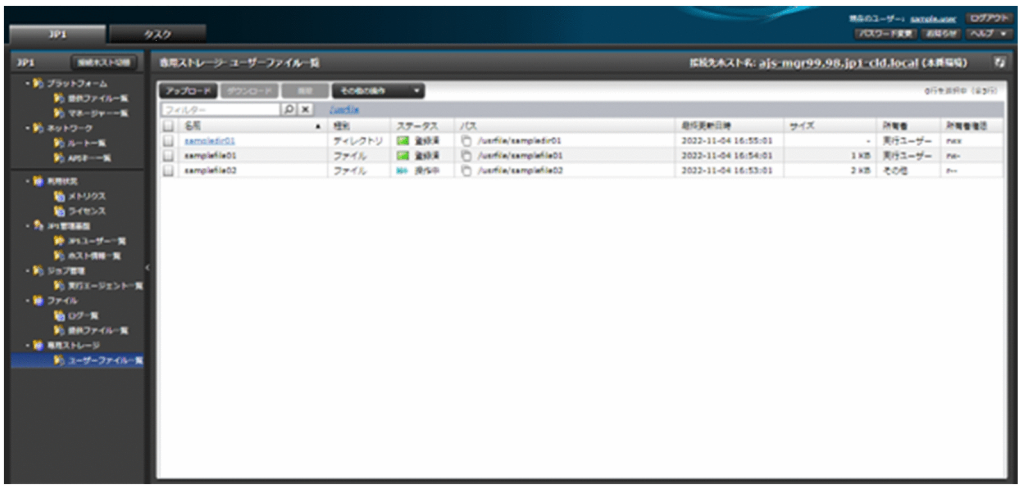
提供するツールやパラメータシートの詳細は，「付録 A 設定パラメータ・ツール」を参照してください。

10 専用ストレージ

専用ストレージのメニューで提供する機能について説明します。

10.1　ユーザーファイル一覧（V01-12 以降）

［JP1］画面のナビメニュー［専用ストレージ］－［ユーザーファイル一覧］を選択すると，ユーザーファイル一覧画面が表示されます。



10.1.1　一覧表示

専用ストレージ内に格納されたユーザーファイルを表示できます。

ユーザーファイル一覧画面では，専用ストレージ内の特定のディレクトリ階層のユーザーファイルを表示します。一覧中のディレクトリ名か一覧上部のディレクトリ階層のリストをクリックすると，表示するディレクトリ階層を変更することができます。なお，一覧上部のリストの先頭が専用ストレージのルートとなるディレクトリ階層の名前（/usrfile）を表しており，末尾のディレクトリ階層が現在表示しているディレクトリ階層を表しています。

注意事項

以下ユーザーファイルはサポート対象外となり，一覧表示および各種操作を実行することはできません。スクリプトの実行により作成されたサポート対象外の不要なファイルについては，同様にスクリプトを実行することにより削除してください。

- 名前がドット（.）1 つもしくは 2 つのみの場合
- 名前に以下の使用禁止文字を含む場合

  使用禁止文字

  制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘ < > | : * ? ¥ /
- ファイルタイプが一般ファイル，ディレクトリ以外の場合（シンボリックリンクやハードリンク等）

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
名前	ユーザーファイルの名称が表示されます。 種別がディレクトリの場合は，名前のリンクをクリックすることで，そのディレクトリ階層のユーザーファイル一覧に移動できます。
種別	ユーザーファイルの種別が表示されます。 ディレクトリ ディレクトリのことです。 ファイル 一般ファイルのことです。
ステータス	ユーザーファイルの状態が表示されます。 登録済 登録が完了している状態です。 操作中 変更操作により，操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合，そのユーザーファイルを選択したときに［削除］・［コピー］・［移動・名前変更］・［権限変更］ボタンが非活性になり，それらの操作を行うことができません。また，操作中のディレクトリ階層についてもリンクが非活性となり，その階層に移動することができません。
パス	ユーザーファイルを指定する際に使用可能なパスが表示されます。アイコンをクリックすることで，パスをクリップボードにコピーすることができます。
最終更新日時	ユーザーファイルの最終更新日時が表示されます。
サイズ	ファイルのサイズが表示されます。ディレクトリの場合は，「-」が表示されます。
所有者	ユーザーファイルの所有者の種類が表示されます。 実行ユーザー 所有者がジョブや自動アクションの実行ユーザーに紐づく OS ユーザーであることを示します。 その他 所有者が実行ユーザー以外であることを示します。
所有者権限	ユーザーファイルの所有者に対する権限が表示されます。 読み取り 権限の 1 文字目に読み取り権限の有無が表示されます。所有者が読み取り可能な場合は「r」，不可能な場合は「-」が表示されます。 書き込み 権限の 2 文字目に書き込み権限の有無が表示されます。所有者が書き込み可能な場合は「w」，不可能な場合は「-」が表示されます。 実行 権限の 3 文字目に実行権限の有無が表示されます。所有者が実行可能な場合は「x」，不可能な場合は「-」が表示されます。

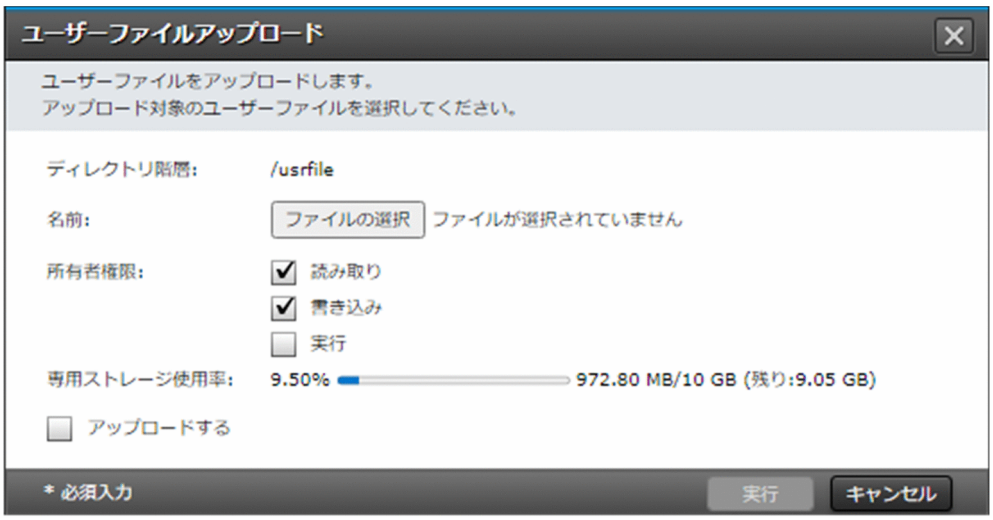
10.1.2　アップロード

ユーザーファイルを専用ストレージ内の表示中のディレクトリにアップロードできます。

ユーザーファイル一覧画面から，［アップロード］ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックしてアップロードします。

すでに同名のファイルが存在した場合は，更に起動されるダイアログにて上書きすることを確認し，［OK］ボタンをクリックします。

アップロード実行中は，アップロードしたファイルのステータスが操作中の状態になります。



項目	説明	指定要否
ディレクトリ階層	一覧画面にて表示中のディレクトリ階層が，アップロード先のディレクトリ階層として表示されます。	−
名前	参照ボタンを押して，アップロードしたいファイルを選択するか，ファイルを画面内にドラッグアンドドロップすることで，アップロードしたいファイル名が表示されます。 ファイル名には 1〜255 バイトかつ絶対パスの長さが 1023 バイト以内の任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。なお，ドット（.）1 つおよび 2 つのみの名称は，指定できません。 また，複数ファイルやフォルダを指定してのアップロードはできません。 使用禁止文字 制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘ < > | : * ? ¥ /	必須
所有者権限	アップロードするファイルの所有者に対する権限を選択します。 権限を有効にしたい属性をチェックして入力します。デフォルトは「読み取り」と「書き込み」が選択されています。 なお，ファイルの所有者は「実行ユーザー」として設定されます。	任意

項目	説明	指定要否
所有者権限	読み取り 　所有者の読み取り権限の有無を設定します。 書き込み 　所有者の書き込み権限の有無を設定します。 実行 　所有者の実行権限の有無を設定します。	任意
専用ストレージ使用率	現在の専用ストレージ使用率が表示されます。アップロード後の使用率が 100%を超える場合はアップロードすることができません。	−

10.1.3　ダウンロード

ユーザーファイルを指定してダウンロードできます。

ユーザーファイル一覧画面から，対象のユーザーファイルをすべて選択して［ダウンロード］ボタンをクリックしてダウンロードします。ディレクトリや複数のユーザーファイルを選択した場合は，ファイル名が「JP1CloudService_<UUID>.zip」の zip ファイルとしてダウンロードされます。種別がファイルのみの場合は，ファイル名を維持したままダウンロードされます。

注意事項

- ディレクトリや複数のユーザーファイルのダウンロード時の zip ファイルは，文字コード UTF-8 で圧縮されています。解凍時の文字コードにご注意ください。同様にアップロードした zip ファイルをマネージャーホスト上で扱う場合も文字コード UTF-8 で扱われます。
- ダウンロード対象が拡張子のない名前や空白を含む名前などを持つ場合には，Web ブラウザーにより名前が変更されてダウンロードされる可能性があります。ファイルの内容に影響はないため適宜名前を変更してご利用ください。

10.1.4　削除

ユーザーファイルを指定して削除できます。

ユーザーファイル一覧画面から，対象のユーザーファイルをすべて選択して［削除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして削除します。

削除実行中は，削除対象のユーザーファイル（種別がディレクトリの場合はその配下含めたユーザーファイル）のステータスが操作中の状態になります。

ステータスが操作中のユーザーファイルを選択した場合，［削除］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

各ユーザーファイルのバージョン管理はされていないため，誤って削除してしまった場合は復元できませんのでご注意ください。



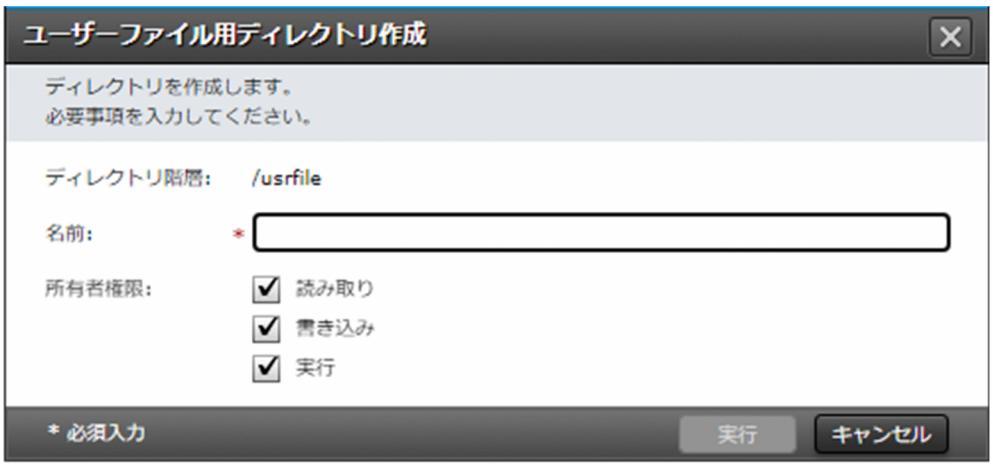
10.1.5　ディレクトリ作成

専用ストレージ内に新たなディレクトリを作成できます。

ユーザーファイル一覧画面から，作成したいディレクトリの階層を開き，［その他の操作］から［ディレクトリ作成］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックして作成します。

すでに存在する同名のディレクトリを複数作成することはできません。

ディレクトリ作成実行中は，作成するディレクトリのステータスが操作中の状態になります。



項目	説明	指定要否
ディレクトリ階層	一覧にて表示中のディレクトリ階層が，作成先のディレクトリ階層として表示されます。	−
名前	作成するディレクトリ名を入力します。ディレクトリ名には 1〜255 バイトかつ絶対パスの長さが 1023 バイト以内の任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。なお，ドット（.）1 つおよび 2 つのみの名称は，指定できません。 使用禁止文字 制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘ < > | : * ? ¥ /	必須
所有者権限	作成するディレクトリの所有者に対する権限を選択します。 権限を有効にしたい属性をチェックして入力します。デフォルトはすべての権限が選択されています。 なお，ディレクトリの所有者は「実行ユーザー」として設定されます。 読み取り 所有者の読み取り権限の有無を設定します。 書き込み 所有者の書き込み権限の有無を設定します。 実行 所有者の実行権限の有無を設定します。	任意

10.1.6　コピー

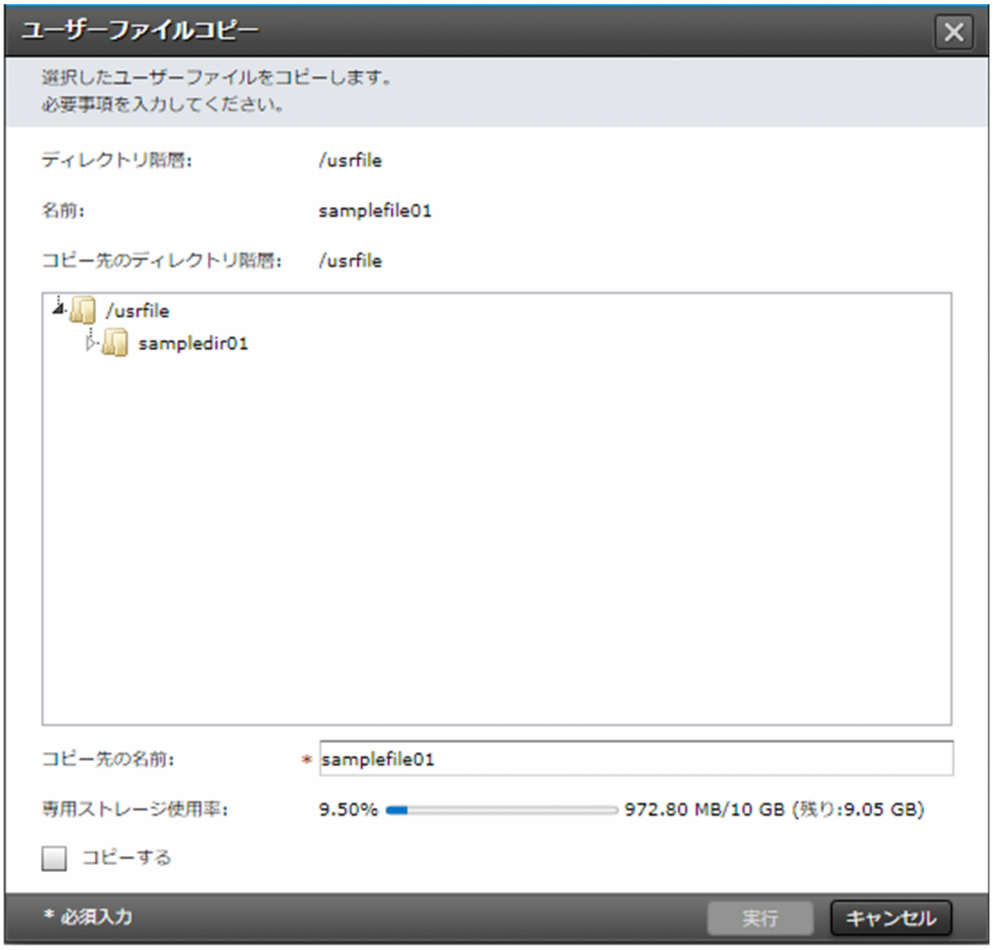
ユーザーファイルを，専用ストレージ内の任意の場所にコピーできます。

ユーザーファイル一覧画面から，対象のユーザーファイルを 1 つ選択して[その他の操作]から［コピー］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックしてコピーします。

すでに存在する同名かつ種別が同じのユーザーファイルがコピー先にある場合は，更に起動されるダイアログにて上書きすることを確認し，［OK］ボタンをクリックします。これにより，種別がファイル同士の場合にはコピー先にそのまま上書きされ，種別がディレクトリ同士の場合には指定したディレクトリ配下がコピー先に追加される形で上書きされます。なお，すでに存在する同名かつ種別が異なるユーザーファイルを指定した場合はコピーすることができません。

コピー実行中は，コピー対象およびコピー先のユーザーファイル（種別がディレクトリの場合はその配下含めたユーザーファイル）のステータスが操作中の状態になります。

複数選択した場合やステータスが操作中のファイルおよびディレクトリを選択した場合，［コピー］ボタンが非活性となり，操作できません。



項目	説明	指定要否
ディレクトリ階層	コピー対象のユーザーファイルが現在格納されているディレクトリ階層が表示されます。	−
名前	コピー対象のユーザーファイルの名称が表示されます。	−
コピー先のディレクトリ階層	コピー先のディレクトリ階層を選択します。ダイアログ内のディレクトリのツリーからコピー先のディレクトリ階層を選択します。 コピー対象として選択したディレクトリ自身はコピー先に選べません。	必須
コピー先の名前	コピー先のユーザーファイルの名称を入力します。 デフォルトで現在の名称が表示されます。 コピー先の名称には 1～255 バイトかつ絶対パスの長さが 1023 バイト以内の任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。なお，ドット（.）1 つおよび 2 つのみの名称は，指定できません。 使用禁止文字 制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘ < > | : * ? ¥ /	必須
専用ストレージ使用率	現在の専用ストレージ使用率が表示されます。コピー後の使用率が 100%を超える場合はコピーすることができません。	−

10.1.7　移動・名前変更

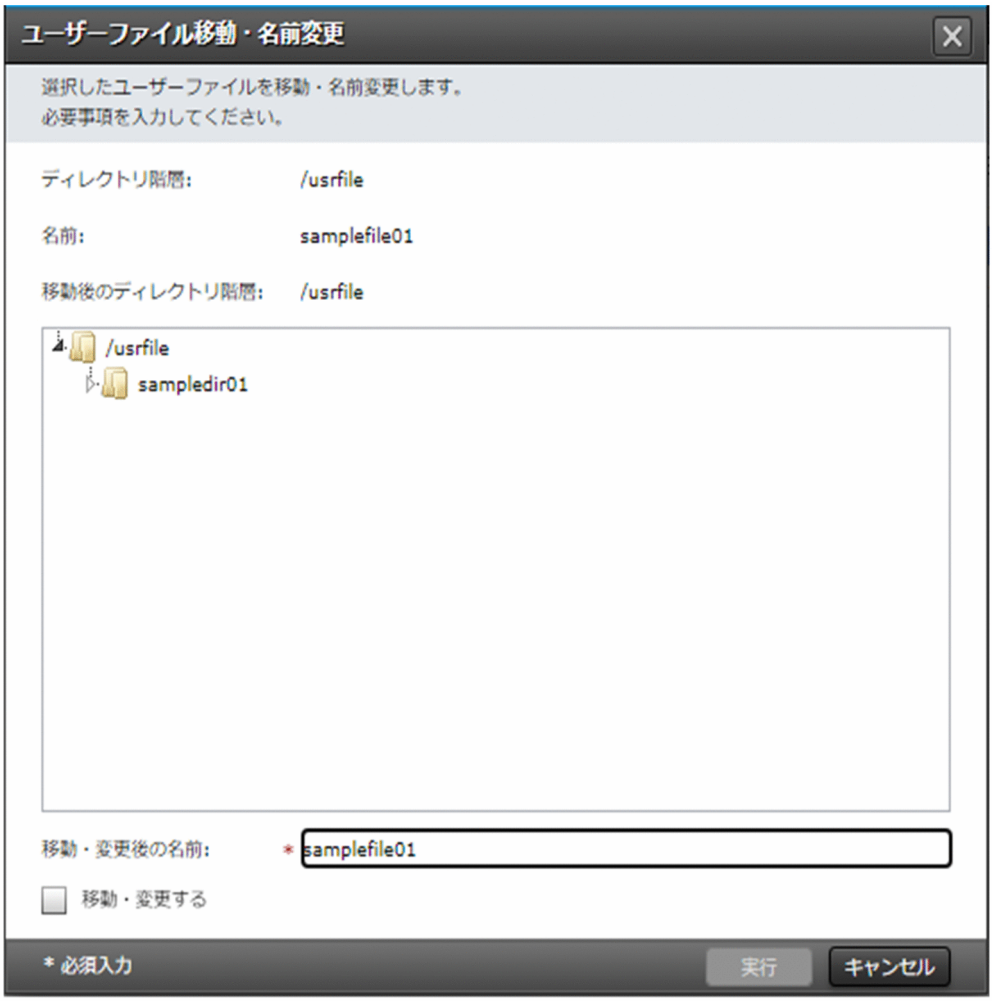
ユーザーファイルを，専用ストレージ内の任意の場所に移動することができます。また，ユーザーファイルの名前変更も可能です。

ユーザーファイル一覧画面から，対象のユーザーファイルを 1 つ選択して[その他の操作]から［移動・名前変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして移動・名前変更を行います。

異なるディレクトリ階層に移動する際，すでに存在する同名かつ種別が同じのユーザーファイルが移動先にある場合は，更に起動されるダイアログにて上書きすることを確認し，［OK］ボタンをクリックします。これにより，種別がファイル同士の場合には移動先にそのまま上書きされ，種別がディレクトリ同士の場合には指定したディレクトリ配下が移動先に追加される形で上書きされます。なお，すでに存在する同名かつ種別が異なるユーザーファイルを指定した場合は移動および名前変更することができません。

移動・名前変更実行中は，移動・変更対象および移動・変更先のユーザーファイル（種別がディレクトリの場合はその配下含めたユーザーファイル）のステータスが操作中の状態になります。

複数選択した場合やステータスが操作中のユーザーファイルを選択した場合，［移動・名前変更］ボタンが非活性となり，操作できません。



項目	説明	指定要否
ディレクトリ階層	移動・名前変更対象のユーザーファイルが現在格納されているディレクトリ階層が表示されます。	−
名前	移動・名前変更対象のユーザーファイルの名称が表示されます。	−
移動後のディレクトリ階層	移動後のディレクトリを選択します。ダイアログ内のディレクトリのツリーから移動先のディレクトリ階層を選択します。名前変更を行う場合は，デフォルト値のまま選択は不要です。 移動対象として選択したディレクトリ自身は移動先に選べません。	必須
移動・変更後の名前	移動・名前変更後のユーザーファイルの名称を入力します。 デフォルトで現在の名称が表示されます。 移動・名前変更後の名称には 1〜255 バイトかつ絶対パスの長さが 1023 バイト以内の任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。なお，ドット（.）1 つおよび 2 つのみの名称は，指定できません。 使用禁止文字 制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘ < > | : * ? ¥ /	必須

10.1.8　権限変更

ユーザーファイルの所有者権限を変更できます。

ユーザーファイル一覧画面から，対象のユーザーファイルを 1 つ選択して［その他の操作］から［権限変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして変更します。

権限変更実行中は，変更対象のユーザーファイルのステータスが操作中の状態になります。

複数選択した場合やステータスが操作中のユーザーファイルを選択した場合，［権限変更］ボタンが非活性となり，操作できません。



項目	説明	指定要否
ディレクトリ階層	変更対象のユーザーファイルが現在格納されているディレクトリ階層が表示されます。	−
名前	変更対象のユーザーファイルの名称が表示されます。	−
所有者権限	変更対象のユーザーファイルの所有者に対する権限が表示されます。 読み取り 権限の 1 文字目に読み取り権限の有無が表示されます。所有者が読み取り可能な場合は「r」，不可能な場合は「-」が表示されます。 書き込み 権限の 2 文字目に書き込み権限の有無が表示されます。所有者が書き込み可能な場合は「w」，不可能な場合は「-」が表示されます。 実行 権限の 3 文字目に実行権限の有無が表示されます。所有者が実行可能な場合は「x」，不可能な場合は「-」が表示されます。	−
変更後の所有者権限	変更後の所有者に対する権限を選択します。 権限を有効にしたい属性をチェックして入力します。デフォルトは変更前の権限が選択されています。 読み取り 所有者の読み取り権限の有無を設定します。 書き込み 所有者の書き込み権限の有無を設定します。 実行 所有者の実行権限の有無を設定します。	任意

項目	説明	指定要否
所有者を実行ユーザーに変更する	選択した場合，所有者を「実行ユーザー」に変更します。	任意

10.1.9　コマンド文生成（V02-40 以降）

ユーザーファイルの操作を実行するコマンド文を生成できます。

ユーザーファイル一覧画面で，［その他の操作］から［コマンド文生成］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［生成と JSON ファイルのダウンロード］ボタンをクリックすると，選択した操作のコマンド文の生成と，リクエストボディとなる JSON ファイルのテンプレートをダウンロードできます。

生成されたコマンド文をコピーしてリクエストボディ（JSON ファイル）などを編集し，クライアント端末から JSON ファイルを指定してコマンドを実行することで選択した操作ができます。コマンド文を実行すると，サービスポータルに対して REST API での通信が発生するため，通信ができるように事前にポートの許可設定などを実施してください。

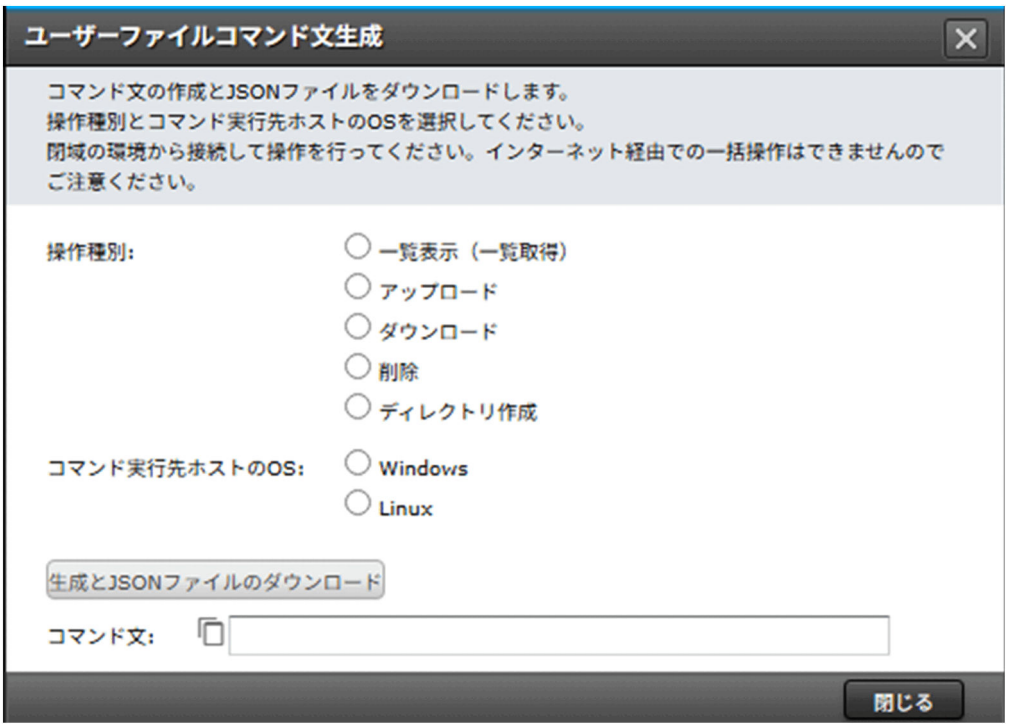
なお，REST API 発行時の認証のために，リクエストヘッダーに「x-jp1cs-portal-auth」を付与し，値として「**ポータルのユーザー ID**:**パスワード**を Base64 エンコードで符号化した文字列」を指定してください。このリクエストヘッダーは，コマンド文中にテンプレートとして埋め込まれています。ユーザー ID・パスワードを指定しなかった場合や誤っていた場合，またはパスワードの有効期限が切れている場合，認証が必要なことを示すステータスコード「401」が返却されます。

システム負荷の軽減のため，複数の操作コマンドを同時に実行しないでください。

注意事項

コマンド文を生成して操作する場合，閉域の環境（AWS Transit Gateway などによりサービスと接続されているネットワーク）から接続して，コマンド文の生成と操作を行ってください。インターネット経由での操作はできませんのでご注意ください。

メンテナンスなどにより操作対象のマネージャーホストが一時的に停止している際に，クライアント端末などからコマンドを実行して操作すると，実行・操作に失敗します。メンテナンスの状態などを確認し，再度実行・操作してください。



項目	説明	指定要否
操作種別	操作種別を選択します。サポートされる操作種別だけが表示されます。 種別 • 一覧表示（一覧取得） • アップロード • ダウンロード • 削除 • ディレクトリ作成	必須
コマンド実行先ホストの OS	Linux か Windows から選択します。	必須

各操作種別のコマンド文について，リクエスト時のパラメーターやレスポンスボディの形式などを以下に示します。

なお，URI で使用できない文字を指定する場合，URL エンコードが必要です。文字コードは，UTF-8 を使用してください。

操作種別	説明
一覧表示（一覧取得）	クエリパラメーターの形式を以下に示します。 `targethost_id` 操作対象のマネージャーホスト名を指定します。このマネージャーホストに紐づくユーザーファイルに対して操作が行われます。

操作種別	説明
一覧表示（一覧取得）	dir_path 一覧表示（一覧取得）するディレクトリのパスを指定します。/usrfile からの相対パス（ドット(.)から始まる文字列）をエンコードして指定します。 ＜使用禁止文字＞ 制御文字および ”’｀$”’ ‘＜＞|：＊？¥ レスポンスボディの形式を※1 に示します。 レスポンスで返却する主なステータスコードを※2 に示します。
アップロード	JSON ファイルとして指定するリクエストボディの形式を※3 に示します。 アップロードするファイルはバイナリファイル（file）として指定しますが，コンマ（,）やセミコロン（;），環境依存文字を含んだファイルは指定できません。 なお，システムにアップロードされるときのファイル名は，リクエストボディ中に指定する名前（name）になります。 レスポンスで返却する主なステータスコードを※4 に示します。
ダウンロード	クエリパラメーターの形式を以下に示します。 targethost_id 操作対象のマネージャーホスト名を指定します。このマネージャーホストに紐づくユーザーファイルに対して操作が行われます。 name ダウンロード対象のファイル名をエンコードして指定します。 dir_path ダウンロード対象のファイルが格納されているディレクトリのパスを指定します。/usrfile からの相対パス（ドット(.)から始まる文字列）をエンコードして指定します。 ＜使用禁止文字＞ 制御文字および ”’｀$”’ ‘＜＞|：＊？¥ ダウンロードしたファイルの内容はレスポンスボディとして標準出力に出力されます。このため，出力先となるファイル名を指定して実行してください。 レスポンスで返却する主なステータスコードを※5 に示します。
削除	リクエストボディの形式を※6 に示します。 レスポンスで返却する主なステータスコードを※7 に示します。
ディレクトリ作成	リクエストボディの形式を※8 に示します。 レスポンスで返却する主なステータスコードを※9 に示します。

注※1

レスポンスボディの形式を以下に示します。

項目	説明
{	-
"userfiles" : [{	-
"id" : **ファイルID**,	ファイルID（文字列）が設定されます。
"name" : **名前**,	ユーザーファイル名（文字列）が設定されます。
"dir_path" : **ディレクトリ階層**,	ファイルが格納されているディレクトリのパス（文字列）が設定されます。/usrfileからの相対パス（ドット(.)から始まる文字列）が設定されます。
"type" : **種別**,	種別（文字列）が設定されます。 識別子（値）の意味を次に示します。 • f：ファイル • d：ディレクトリ
"last_modified" : **最終更新日時**,	最終更新日時（yyyy-MM-dd'T'hh:mm:ss'Z'のISO8601拡張形式）が設定されます。
"size" : **サイズ**,	サイズ（数値，単位：バイト）が設定されます。ファイルの種別がディレクトリの場合はnullが設定されます。
"owner" : **所有者**,	所有者の種類（文字列）が設定されます。 識別子（値）の意味を次に示します。 • exec：実行ユーザー • other：その他
"mode" : **所有者権限**,	所有者権限（数値）が設定されます。読み取り・書き込み・実行権限の有無を10進数表記したときの値が設定されます。
"processing" : **ステータス**	操作中かどうかがtrueまたはfalseで設定されます。
}, ...]	応答ユーザーファイル数分だけ繰り返されます。対象となるユーザーファイルが存在しない場合，空配列となります。
}	-

注※2

レスポンスで返却する主なステータスコードを以下に示します。

ステータスコード	説明
200	成功しました。
400	リクエスト内容が不正です（KBDC10028-E，KBDC10101-E）。
401	認証情報が無効です（KBDC20102-E，KBDC10104-E）。
403	権限がありません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
404	対象が存在しません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。

ステータスコード	説明
503	メンテナンス中です（KBDC13016-E，KBDC13017-E）。

注※3

JSON ファイルとして指定するリクエストボディの形式を以下に示します。

項目	説明
{	−
”userfile” : {	−
”name” : **名前**,	ユーザーファイル名（文字列）を指定します。
”dir_path” : **ディレクトリ階層**,	ファイルを格納するディレクトリのパス（文字列）を指定します。/usrfile からの相対パス（ドット(.)から始まる文字列）を指定します。 ＜使用禁止文字＞ 制御文字および ”’ ` $ ” ’ ‘ < > | : * ? ¥
”mode” : **所有者権限**,	所有者権限（数値）を指定します。読み取り・書き込み・実行権限の有無を 10 進数表記したときの値を指定します。
”overwrite” : **上書き可否**,	同名のファイルが存在した場合に上書きするかどうかを true または false で指定します。false 指定のときに同名のファイルが存在した場合，重複エラーを示すステータスコード「412」が返却されます。
”targethost_id” : **操作対象マネージャーホスト名**	操作対象のマネージャーホスト名（文字列）を指定します。このマネージャーホストに紐づくユーザーファイルに対して操作が行われます。
}	−
}	−

注※4

レスポンスで返却する主なステータスコードを以下に示します。

ステータスコード	説明
202	成功しました。タスク ID を返却します。
400	リクエスト内容が不正です（KBDC10028-E，KBDC10101-E）。
401	認証情報が無効です（KBDC20102-E，KBDC10104-E）。
403	権限がありません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
404	対象が存在しません（KBDC10028-E，KBDC10020-E，KBDC13033-E，KBDC13028-E）。
409	操作中です（KBDC10501-W，KBDC13025-E）。
412	ファイル名が重複しています（KBDC13033-E，KBDC13027-E，KBDC13031-E）。

ステータスコード	説明
413	ファイルサイズが上限を超えています（KBDC13033-E，KBDC13013-E）。
503	メンテナンス中です（KBDC13016-E，KBDC13017-E）。

注※5

レスポンスで返却する主なステータスコードを以下に示します。

ステータスコード	説明
200	成功しました。
400	リクエスト内容が不正です（KBDC10028-E，KBDC10101-E）。
401	認証情報が無効です（KBDC20102-E，KBDC10104-E）。
403	権限がありません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
404	対象が存在しません（KBDC10028-E，KBDC10020-E，KBDC13034-E，KBDC13028-E）。
409	他のダウンロード操作を実行中です（KBDC10501-W，KBDC13025-E）。
413	ファイルサイズが上限を超えています（KBDC13034-E，KBDC13013-E）。
422	サポート対象外のファイルがあります（KBDC13012-E，KBDC13032-E）。
503	メンテナンス中です（KBDC13016-E，KBDC13017-E）。

注※6

リクエリパラメーターの形式を以下に示します。

項目	説明
{	-
”userfile” : {	-
”name” : **名前**,	ユーザーファイル名（文字列）を指定します。
”dir_path” : **ディレクトリ階層**,	ファイルが格納されているディレクトリのパス（文字列）を指定します。/usrfileからの相対パス（ドット(.)から始まる文字列）を指定します。 ＜使用禁止文字＞ 制御文字および ” ’ ` $ ” ’ ‘ < > | : * ? ¥
”type” : **種別**,	種別（文字列）が設定されます。 識別子（値）の意味を次に示します。 • f：ファイル • d：ディレクトリ
”targethost_id” : **操作対象マネージャーホスト名**	操作対象のマネージャーホスト名（文字列）を指定します。このマネージャーホストに紐づくユーザーファイルに対して操作が行われます。

項目	説明
}, ...]	要求ユーザーファイル数分だけ繰り返して指定してください。
}	–

注※7

レスポンスで返却する主なステータスコードを以下に示します。

ステータスコード	説明
202	成功しました。タスク ID を返却します。
400	リクエスト内容が不正です（KBDC10028-E，KBDC10101-E）。
401	認証情報が無効です（KBDC20102-E，KBDC10104-E）。
403	権限がありません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
404	対象が存在しません（KBDC10028-E，KBDC10020-E，KBDC13020-E，KBDC13028-E）。
409	操作中です（KBDC10501-W，KBDC13025-E）。
503	メンテナンス中です（KBDC13016-E，KBDC13017-E）。

注※8

リクエストボディの形式を以下に示します。

項目	説明
{	–
”userfile” : {	–
”name” : **名前**,	ユーザーファイル名（文字列）を指定します。
”dir_path” : **ディレクトリ階層**,	作成先となるディレクトリのパス（文字列）を指定します。/usrfile からの相対パス（ドット(.)から始まる文字列）を指定します。 ＜使用禁止文字＞ 制御文字および ”’ ` $ ” ’ ‘ < > | : * ? ¥
”mode” : **所有者権限**,	所有者権限（数値）を指定します。読み取り・書き込み・実行権限の有無を10進数表記したときの値を指定します。
”targethost_id” : **操作対象マネージャーホスト名**	操作対象のマネージャーホスト名（文字列）を指定します。このマネージャーホストに紐づく専用ストレージに対して操作が行われます。
}	
}	

注※9

レスポンスで返却する主なステータスコードを以下に示します。

ステータスコード	説明
202	成功しました。タスク ID を返却します。
400	リクエスト内容が不正です（KBDC10028-E，KBDC10101-E，KBDC13019-E，KBDC80152-E）。
401	認証情報が無効です（KBDC20102-E，KBDC10104-E）。
403	権限がありません（KBDC10028-E，KBDC10020-E）。
404	対象が存在しません（KBDC10028-E，KBDC10020-E，KBDC13019-E，KBDC13028-E）。
409	操作中です（KBDC10501-W，KBDC13025-E）。
412	ディレクトリ名が重複しています（KBDC13019-E，KBDC13031-E）。
503	メンテナンス中です（KBDC13016-E，KBDC13017-E）。

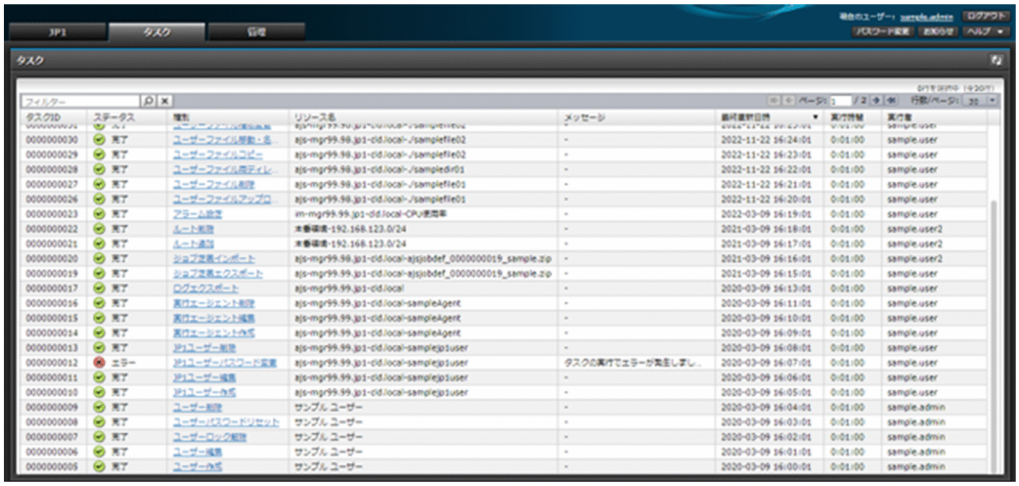
11 タスク

各種実行操作をしたとき，これら操作はタスクとして登録されます。タスクのメニューで提供する機能について説明します。

11.1　タスク一覧

［タスク］画面を選択すると，タスク一覧画面が表示され，タスクの実行状況を参照することができます。

一覧に表示される情報は，ポータルの権限で異なります。ポータル管理者のタスク一覧は，すべてのユーザーが実行したタスクが表示されますが，チーム管理者と利用者のタスク一覧にはログインユーザー自身が実行したタスクだけが表示されます。



一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
タスク ID	タスクごとに割り当てられたタスク ID が表示されます。
ステータス	タスクの状態を示す以下のどれかが表示されます。 • 完了 • 実行中 • エラー
種別	タスクの内容を示す以下のどれかが表示されます。 • メンテナンス日時変更（V02-10 以降） • ジョブ定義エクスポート • ジョブ定義インポート • ローカル日時変更（V02-50 以降） • 上位ユニット属性継承機能変更（V02-60 以降） • SAP ライブラリ配置（V02-40 以降） • 表示色変更（V02-60 以降） • ルート追加 • ルート削除 • API キー作成（V02-00 以降） • API キー削除（V02-00 以降） • アラーム設定（V01-11 以降） • JP1 ユーザー作成 • JP1 ユーザー編集

項目	説明
種別	• JP1 ユーザー削除 • JP1 ユーザーパスワード変更 • ホスト情報登録（V02-00 以降） • ホスト情報編集（V02-00 以降） • ホスト情報削除（V02-00 以降） • hosts 情報登録（V01-12 以前） • 実行エージェント作成 • 実行エージェント編集 • 実行エージェント削除 • ログエクスポート • ユーザーファイルアップロード（V01-12 以降） • ユーザーファイル削除（V01-12 以降） • ユーザーファイル用ディレクトリ作成（V01-12 以降） • ユーザーファイルコピー（V01-12 以降） • ユーザーファイル移動・名前変更（V01-12 以降） • ユーザーファイル権限変更（V01-12 以降） • ユーザー作成 • ユーザー編集 • ユーザー削除 • ユーザーロック解除 • ユーザーパスワードリセット • チーム作成 • チーム編集 • チームメンバー変更 • チーム削除 • 連携情報変更（V02-00～V02-50） • 通知先情報変更（V02-60 以降）
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。※ 操作対象が複数ある場合，対応する複数のリソース名がコンマ(,)で区切って表示されます。
メッセージ	ステータスがエラーの場合，エラーの内容が表示されます。要因や対処方法を示すメッセージが出力されている場合，そのメッセージに従って対処してください。 ステータスがエラー以外の場合，「-」が表示されます。
最終更新日時	タスクの最終更新日時が表示されます。
実行時間	タスク開始からの経過時間が表示されます。
実行者	タスクを実行したユーザーのユーザー ID が表示されます。

注※

操作対象のリソース名を以下に示します。

タスク種別	リソース名
メンテナンス日時変更（V02-10 以降）	メンテナンス名
ジョブ定義エクスポート	マネージャーホスト名-定義ファイル名
ジョブ定義インポート	マネージャーホスト名-定義ファイル名
ローカル日時変更（V02-50 以降）	マネージャーホスト名-スケジューラーサービス名
上位ユニット属性継承機能変更（V02-60 以降）	マネージャーホスト名-スケジューラーサービス名
SAP ライブラリ配置（V02-40 以降）	マネージャーホスト名
表示色変更（V02-60 以降）	マネージャーホスト名
ルート追加	環境種別名-CIDR
ルート削除	環境種別名-CIDR
API キー作成（V02-00 以降）	環境種別名-キーナンバー
API キー削除（V02-00 以降）	環境種別名-キーナンバー
アラーム設定（V01-11 以降）	マネージャーホスト名-メトリクス名
JP1 ユーザー作成	マネージャーホスト名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザー編集	マネージャーホスト名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザー削除	マネージャーホスト名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザーパスワード変更	マネージャーホスト名-JP1 ユーザー名
ホスト情報登録（V02-00 以降）	マネージャーホスト名-登録ホスト名
ホスト情報編集（V02-00 以降）	マネージャーホスト名-登録ホスト名
ホスト情報削除（V02-00 以降）	マネージャーホスト名-登録ホスト名
hosts 情報登録（V01-12 以前）	マネージャーホスト名-登録ホスト名
実行エージェント作成	マネージャーホスト名-実行エージェント名
実行エージェント編集	マネージャーホスト名-実行エージェント名
実行エージェント削除	マネージャーホスト名-実行エージェント名
ログエクスポート	ポータルユーザー操作ログの場合は，「ログ名」。 それ以外は，「マネージャーホスト名」。
ユーザーファイルアップロード（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル削除（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル用ディレクトリ作成（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイルコピー（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル移動・名前変更（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル権限変更（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス

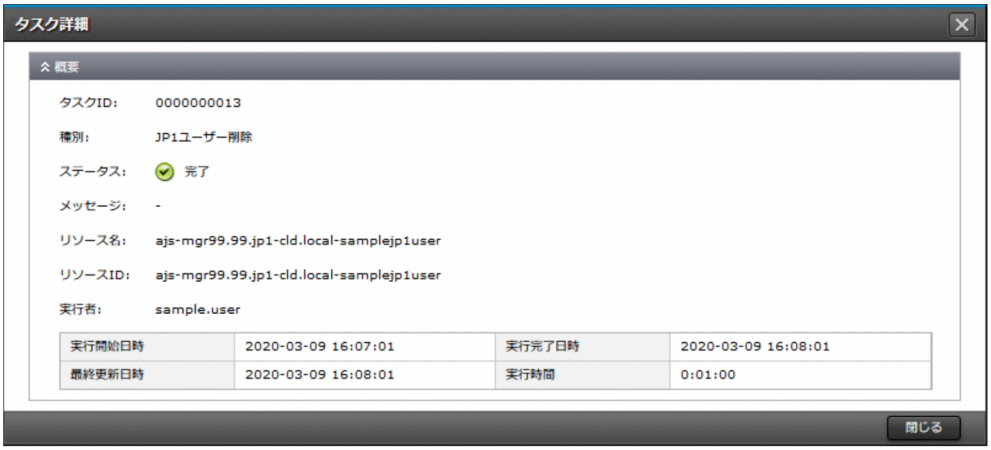
タスク種別	リソース名
ユーザー作成	ユーザー名
ユーザー編集	ユーザー名
ユーザー削除	ユーザー名
ユーザーロック解除	ユーザー名
ユーザーパスワードリセット	ユーザー名
チーム作成	チーム名
チーム編集	チーム名
チームメンバー変更	チーム名
チーム削除	チーム名
連携情報変更（V02-00～V02-50）	連携情報の項目名
通知先情報変更（V02-60 以降）	通知先情報の項目名

11.2　タスク詳細（実行履歴の参照）

タスクの詳細情報を表示できます。

タスク一覧から，対象のタスク種別のリンクをクリックすると，詳細表示のダイアログが起動します。

詳細ダイアログの上部には，すべてのタスク種別に共通して「概要」の情報が表示されます。



「概要」に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
タスク ID	タスクごとに割り当てられたタスク ID が表示されます。
種別	タスクの種別が表示されます。
ステータス	タスクの状態が表示されます。
メッセージ	ステータスがエラーの場合，エラーの内容が表示されます。要因や対処方法を示すメッセージが出力されている場合，そのメッセージに従って対処してください。 ステータスがエラー以外の場合，「-」が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。 操作対象が複数ある場合，対応する複数のリソース名が改行して表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。※ 操作対象が複数ある場合，対応する複数のリソース ID が改行して表示されます。
実行者	タスクを実行したユーザーのユーザー ID が表示されます。
実行開始日時	タスクの実行開始日時が表示されます。
実行完了日時	タスクの実行完了日時が表示されます。
最終更新日時	タスクの最終更新日時が表示されます。
実行時間	タスク開始からの経過時間が表示されます。

注※

操作対象のリソース ID を以下に示します。

タスク種別	リソース ID
メンテナンス日時変更（V02-10 以降）	メンテナンス ID
ジョブ定義エクスポート	マネージャーホスト名-定義ファイル名
ジョブ定義インポート	マネージャーホスト名-定義ファイル名
ローカル日時変更（V02-50 以降）	マネージャーホスト名-スケジューラーサービス名
上位ユニット属性継承機能変更（V02-60 以降）	マネージャーホスト名-スケジューラーサービス名
SAP ライブラリ配置（V02-40 以降）	マネージャーホスト名
表示色変更（V02-60 以降）	マネージャーホスト名
ルート追加	環境種別名-CIDR
ルート削除	環境種別名-CIDR
API キー作成（V02-00 以降）	環境種別名-キーナンバー
API キー削除（V02-00 以降）	環境種別名-キーナンバー
アラーム設定（V01-11 以降）	マネージャーホスト名-メトリクス名
JP1 ユーザー作成	認証サーバー名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザー編集	認証サーバー名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザー削除	認証サーバー名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザーパスワード変更	認証サーバー名-JP1 ユーザー名
ホスト情報登録（V02-00 以降）	環境種別名-登録ホスト名
ホスト情報編集（V02-00 以降）	環境種別名-登録ホスト名
ホスト情報削除（V02-00 以降）	環境種別名-登録ホスト名
hosts 情報登録（V01-12 以前）	マネージャーホスト名-登録ホスト名
実行エージェント作成	マネージャーホスト名-実行エージェント名
実行エージェント編集	マネージャーホスト名-実行エージェント名
実行エージェント削除	マネージャーホスト名-実行エージェント名
ログエクスポート	ポータルユーザー操作ログの場合は，「ログ名」。 それ以外は，「マネージャーホスト名」。
ユーザーファイルアップロード（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル削除（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル用ディレクトリ作成（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイルコピー（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル移動・名前変更（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル権限変更（V01-12 以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス

タスク種別	リソース ID
ユーザー作成	ユーザー ID
ユーザー編集	ユーザー ID
ユーザー削除	ユーザー ID
ユーザーロック解除	ユーザー ID
ユーザーパスワードリセット	ユーザー ID
チーム作成	チーム名
チーム編集	チーム名
チームメンバー変更	チーム名
チーム削除	チーム名
連携情報変更（V02-00～V02-50）	連携情報の項目名
通知先情報変更（V02-60 以降）	通知先情報の項目名

詳細ダイアログの下部には，タスク種別によって「詳細」の情報が表示されます。

タスク種別	詳細情報の表示有無	参照先
メンテナンス日時変更（V02-10 以降）	○	11.2.1
ジョブ定義エクスポート	○	11.2.2
ジョブ定義インポート	○	11.2.3
ローカル日時変更（V02-50 以降）	○	11.2.4
上位ユニット属性継承機能変更（V02-60 以降）	○	11.2.5
SAP ライブラリ配置（V02-40 以降）	○	11.2.6
表示色変更（V02-60 以降）	○	11.2.7
ルート追加	○	11.2.8
ルート削除	○	11.2.9
API キー作成（V02-00 以降）	–	–
API キー削除（V02-00 以降）	–	–
アラーム設定（V01-11 以降）	○	11.2.10
JP1 ユーザー作成	○	11.2.11
JP1 ユーザー編集	○	11.2.12
JP1 ユーザー削除	○	11.2.13
JP1 ユーザーパスワード変更	○	11.2.14

タスク種別	詳細情報の表示有無	参照先
ホスト情報登録（V02-00 以降）	○	11.2.15
ホスト情報編集（V02-00 以降）	○	11.2.16
ホスト情報削除（V02-30 以降）	○	11.2.17
hosts 情報登録（V01-12 以前）	○	11.2.18
実行エージェント作成	○	11.2.19
実行エージェント編集	○	11.2.20
実行エージェント削除（V02-30 以降）	○	11.2.21
ログエクスポート	○	11.2.22
ユーザーファイルアップロード（V01-12 以降）	○	11.2.23
ユーザーファイル削除（V01-12 以降）	○	11.2.24
ユーザーファイル用ディレクトリ作成（V01-12 以降）	○	11.2.25
ユーザーファイルコピー（V01-12 以降）	○	11.2.26
ユーザーファイル移動・名前変更（V01-12 以降）	○	11.2.27
ユーザーファイル権限変更（V01-12 以降）	○	11.2.28
ユーザー作成	○	11.2.29
ユーザー編集	○	11.2.30
ユーザー削除	−	−
ユーザーロック解除	−	−
ユーザーパスワードリセット	−	−
チーム作成	○	11.2.31
チーム編集	○	11.2.32
チームメンバー変更	○	11.2.33
チーム削除	−	−
連携情報変更（V02-00～V02-50）	○	11.2.34
通知先情報変更（V02-60 以降）	○	11.2.35

（凡例）

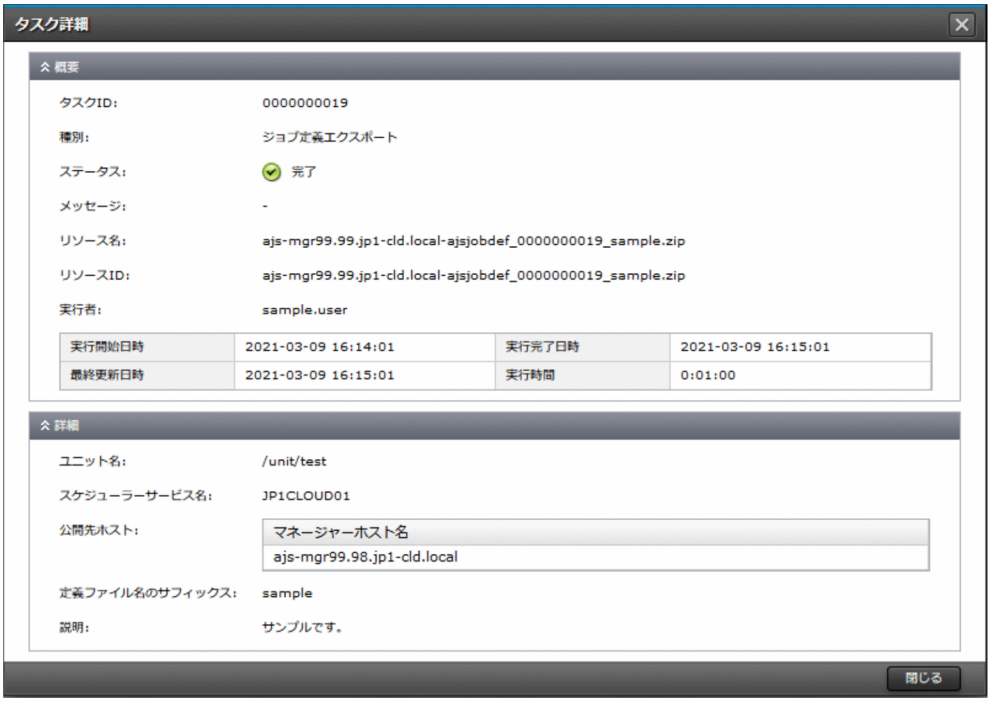
○：あり，−：なし

11.2.1　メンテナンス日時変更（V02-10 以降）



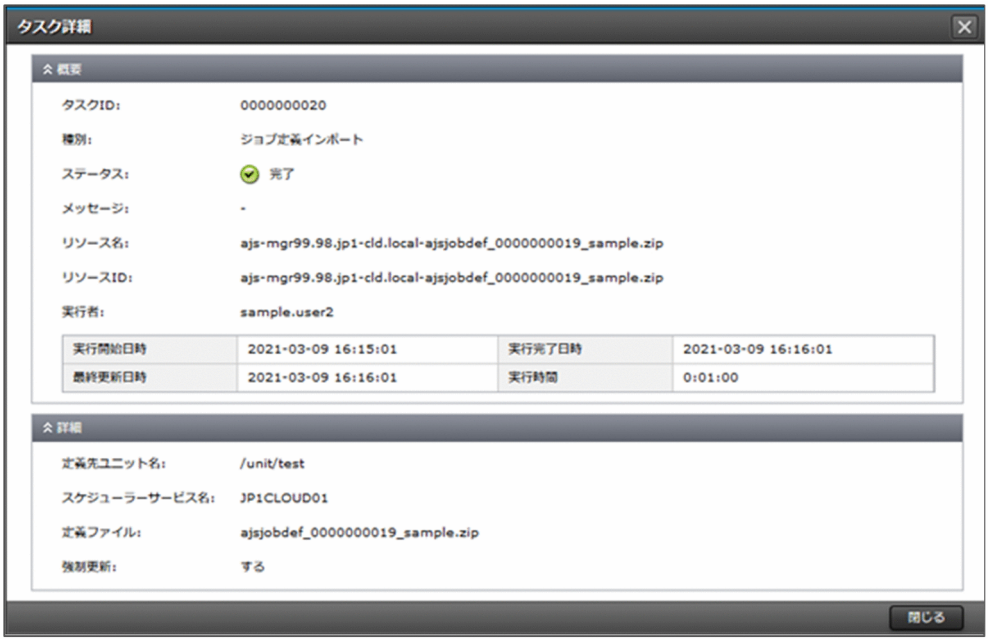
項目	説明
メンテナンス名	メンテナンス名が表示されます。
予約種別	メンテナンスの予約種別が表示されます。
変更内容	変更前と変更後の予約日時，次回メンテナンス実行月がそれぞれ表示されます。

11.2.2　ジョブ定義エクスポート



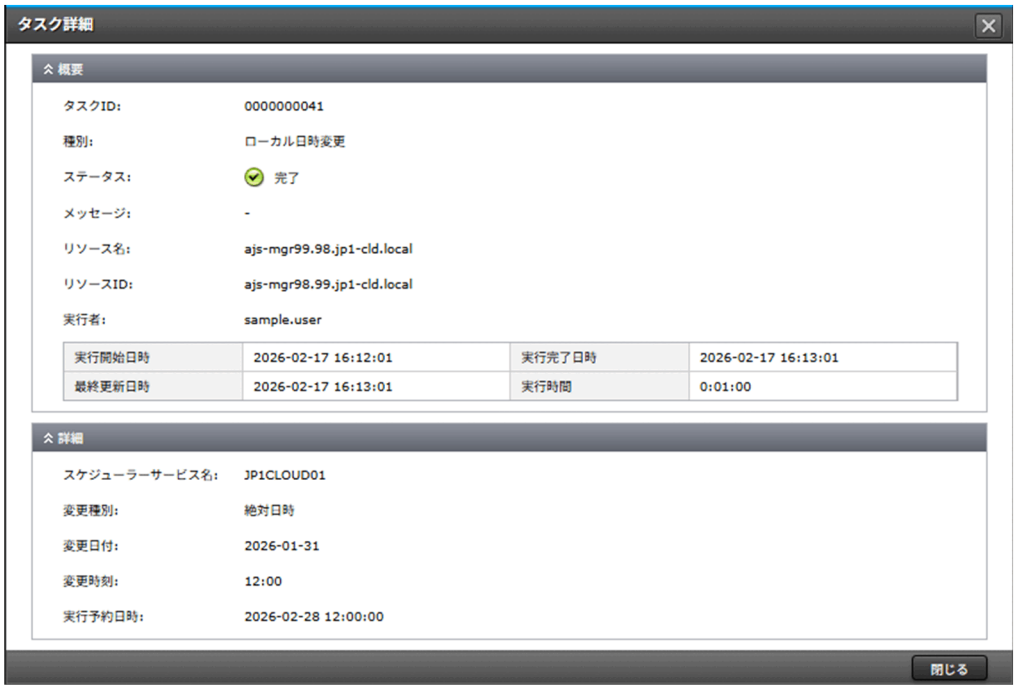
項目	説明
ユニット名	入力したユニット名が表示されます。
スケジューラーサービス名	入力したスケジューラーサービス名が表示されます。
公開先ホスト	選択したすべてのマネージャーホスト名が表示されます。
定義ファイル名のサフィックス	入力した定義ファイル名のサフィックスが表示されます。
説明	入力した定義ファイルの説明が表示されます。

11.2.3　ジョブ定義インポート



項目	説明
定義先ユニット名	入力した定義先ユニット名が表示されます。
スケジューラーサービス名	入力したスケジューラーサービス名が表示されます。
定義ファイル	選択した定義ファイル名が表示されます。
強制更新	選択した強制更新の内容が表示されます。

11.2.4　ローカル日時変更（V02-50 以降）



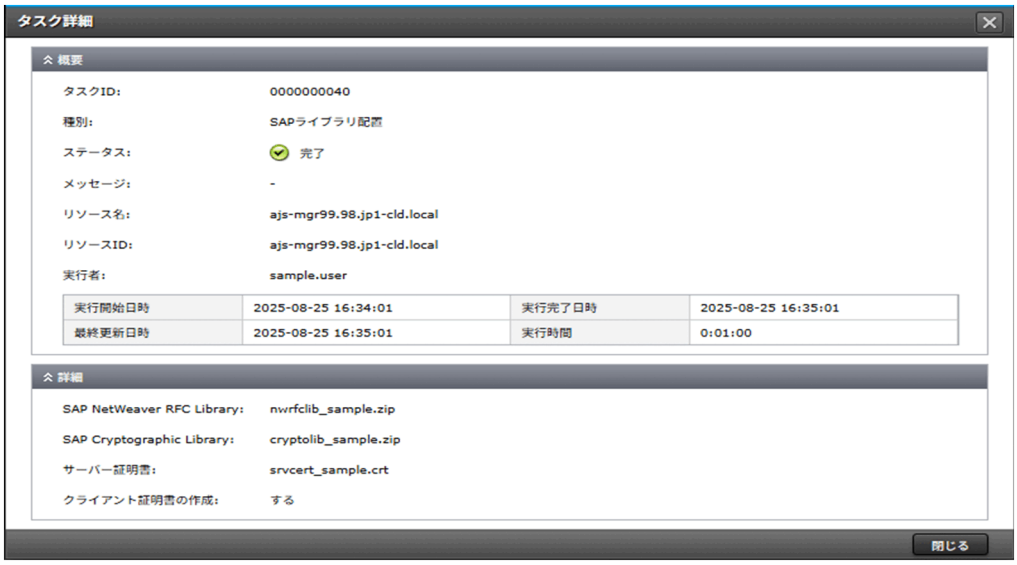
項目	説明
スケジューラーサービス名	入力したスケジューラーサービス名が表示されます。
変更種別	選択した変更種別が表示されます。絶対日時の場合は，指定したローカル日時情報（日付と時刻）も表示されます。
実行予約日時	入力した実行予約日時が表示されます。

11.2.5　上位ユニット属性継承機能変更（V02-60 以降）



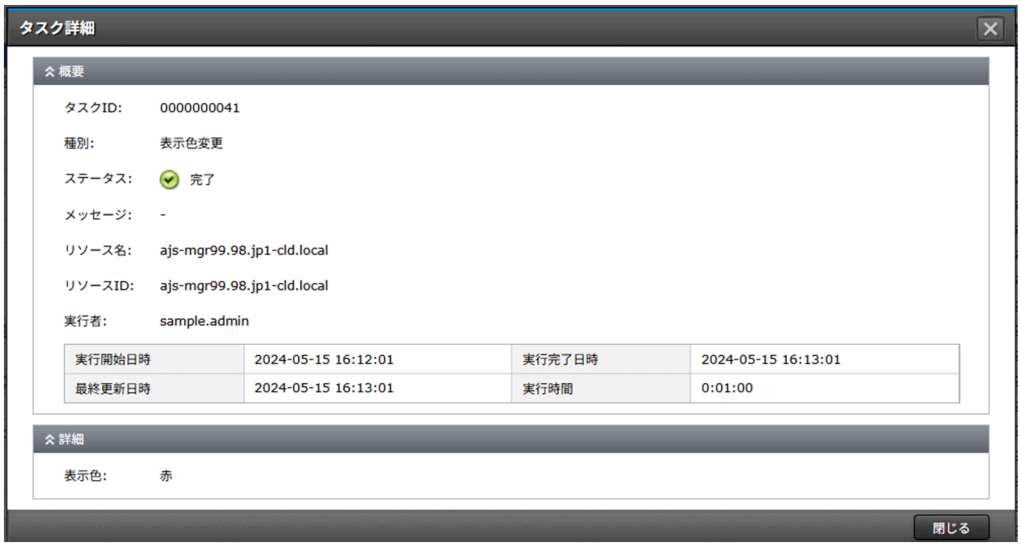
項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
スケジューラーサービス名	入力したスケジューラーサービス名が表示されます。
ユニット完全名	入力したユニット完全名が表示されます。
上位ユニット属性継承機能の設定方法	入力した上位ユニット属性継承機能の設定方法が表示されます。
実行ユーザー固定機能に反映	入力時に実行ユーザー固定機能にも反映にチェックがされたか否かが表示されます。

11.2.6　SAP ライブラリ配置（V02-40 以降）



項目	説明
SAP NetWeaver RFC Library	追加したファイルのファイル名が表示されます。
SAP Cryptographic Library	追加したファイルのファイル名が表示されます。
サーバー証明書	追加したファイルのファイル名が表示されます。
クライアント証明書の作成	選択したクライアント証明書の作成有無が表示されます。

11.2.7　表示色変更（V02-60 以降）



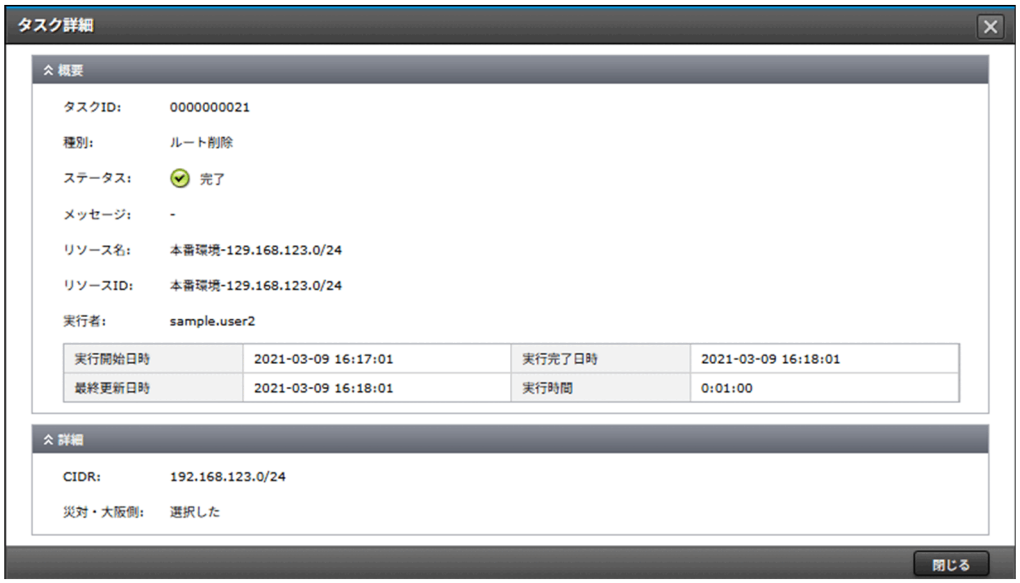
項目	説明
表示色	入力した表示色が表示されます。

11.2.8　ルート追加



項目	説明
CIDR	入力した CIDR ブロックが表示されます。
アタッチメント先	選択したアタッチメント先が表示されます。
災対・大阪側	「災対・大阪側の表示」を選択して操作したかどうかが表示されます。

11.2.9　ルート削除（V02-50 以降）



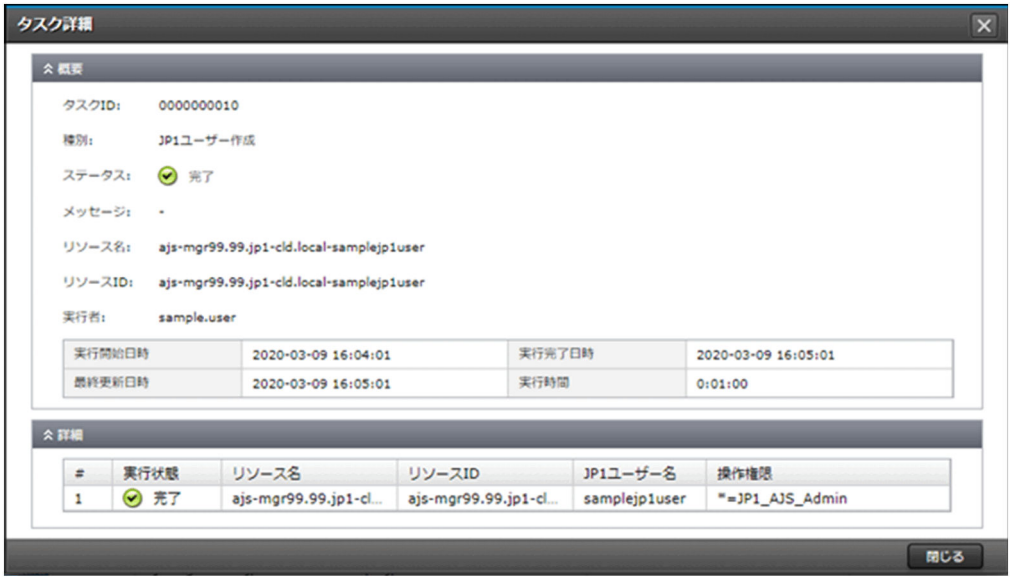
項目	説明
CIDR	選択した CIDR ブロックが表示されます。
災対・大阪側	「災対・大阪側の表示」を選択して操作したかどうかが表示されます。

11.2.10　アラーム設定（V01-11 以降）



項目	説明
対象メトリクス	選択した対象メトリクスが表示されます。
アラームの設定	設定したアラームの変更前と変更後のしきい値，持続時間がそれぞれ表示されます。 新規設定時で設定されていない項目は，「-」が表示されます。
アラーム発生時の JP1 イベント設定	設定したアラーム発生時の JP1 イベント設定の変更前と変更後のイベント ID，重大度がそれぞれ表示されます。 新規設定時で設定されていない項目は，「-」が表示されます。
アラーム解消時の JP1 イベント設定	設定したアラーム解消時の JP1 イベント設定の変更前と変更後のイベント ID，重大度がそれぞれ表示されます。 新規設定時で設定されていない項目は，「-」が表示されます。

11.2.11　JP1 ユーザー作成



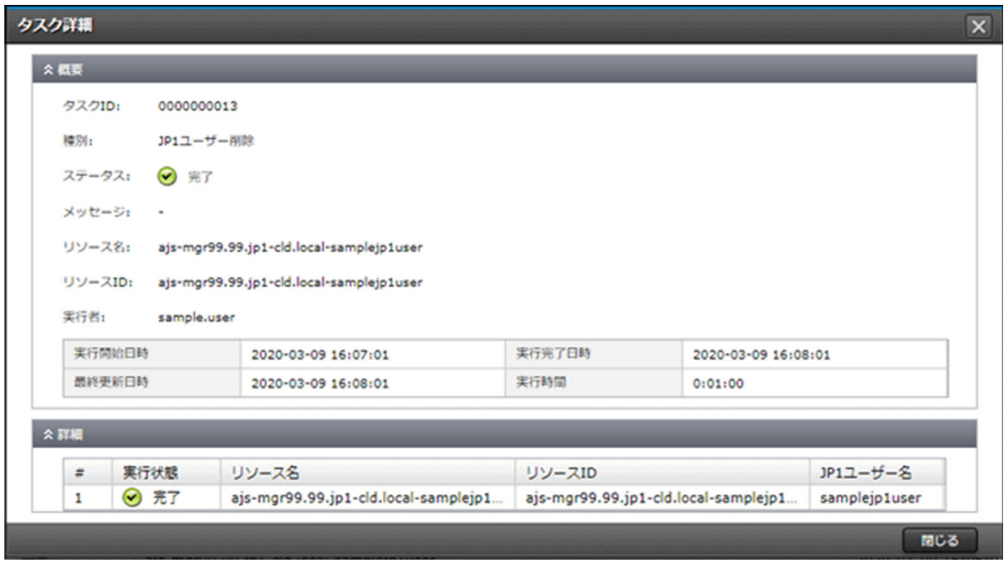
項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
実行状態	操作対象の実行状態（実行中／完了／エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
JP1 ユーザー名	入力した JP1 ユーザー名が表示されます。
JP1 資源グループに対する操作権限	入力した JP1 資源グループに対する操作権限が JP1 資源グループごとに表示されます。

11.2.12　JP1 ユーザー編集



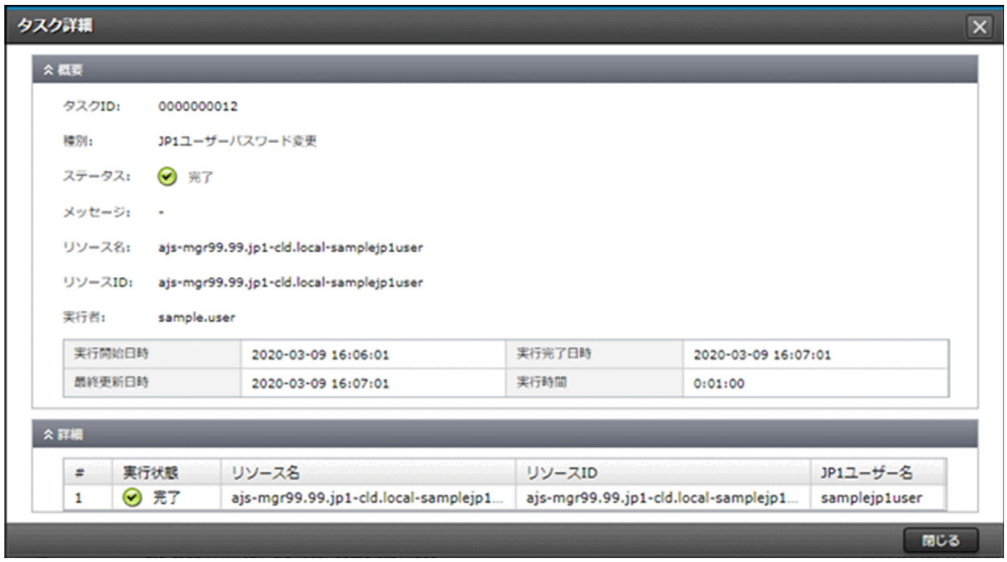
項目		説明
#		1 から順に番号を表示します。
実行状態		操作対象の実行状態（実行中／完了／エラー）が表示されます。
リソース名		操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID		操作対象のリソース ID が表示されます。
JP1 ユーザー名		JP1 ユーザー名が表示されます。
JP1 資源グループに対する操作権限	変更前	変更前の JP1 資源グループに対する操作権限が JP1 資源グループごとに表示されます。
	変更後	変更後の JP1 資源グループに対する操作権限が JP1 資源グループごとに表示されます。

11.2.13　JP1 ユーザー削除（V02-10 以降）



項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
実行状態	操作対象の実行状態（実行中／完了／エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
JP1 ユーザー名	JP1 ユーザー名が表示されます。

11.2.14　JP1 ユーザーパスワード変更（V02-10 以降）



項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
実行状態	操作対象の実行状態（実行中／完了／エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
JP1 ユーザー名	JP1 ユーザー名が表示されます。

11.2.15　ホスト情報登録（V02-00 以降）



項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
実行状態	操作対象の実行状態（実行中/完了/エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
ホスト名	入力したホスト名が表示されます。
IP アドレス	入力した IP アドレスが表示されます。
接続マネージャーホスト名	選択した接続先マネージャーホスト名が表示されます。
仮想割当 CPU コア数	入力した仮想割り当て CPU コア数が表示されます。
物理サーバー名	入力した物理サーバー名が表示されます。
物理サーバーの CPU コア数	入力した物理サーバーの CPU コア数が表示されます。
説明	入力した説明が表示されます。

11.2.16　ホスト情報編集（V02-00 以降）



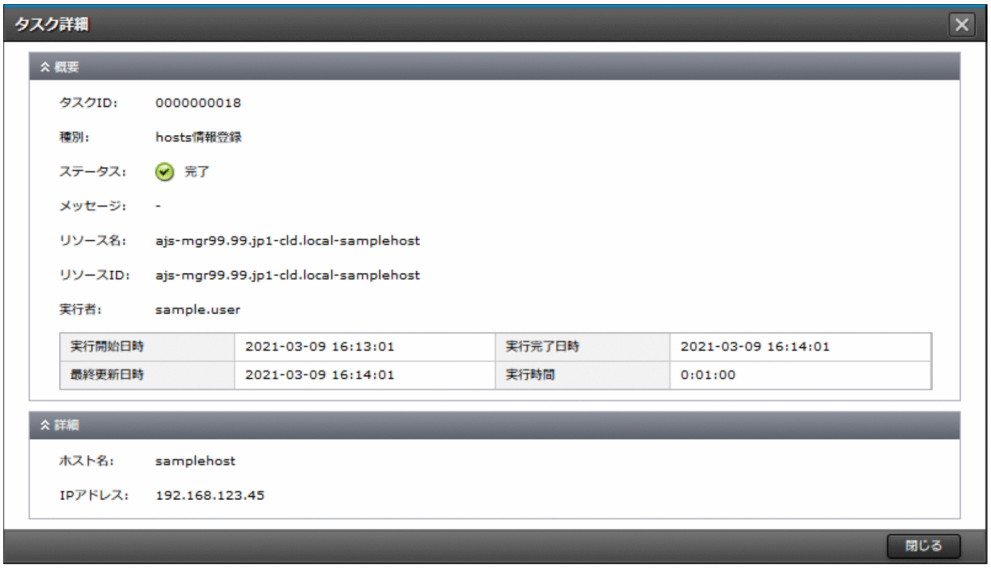
項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
実行状態	操作対象の実行状態（実行中/完了/エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
ホスト名	ホスト名が表示されます。
編集内容	変更前と変更後の IP アドレス，接続マネージャーホスト名，仮想割当 CPU コア数，物理サーバー名，物理サーバーの CPU コア数，説明がそれぞれ表示されます。

11.2.17　ホスト情報削除（V02-30 以降）



項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
実行状態	操作対象の実行状態（実行中/完了/エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
ホスト名	ホスト名が表示されます。

11.2.18　hosts 情報登録（V01-12 以前）



項目	説明
ホスト名	入力したホスト名が表示されます。
IP アドレス	入力した IP アドレスが表示されます。

11.2.19　実行エージェント作成



項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
実行状態	操作対象の実行状態（実行中/完了/エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
種類	選択した実行エージェントの種類が表示されます。
エージェント名	入力した実行エージェント名または実行エージェントグループ名が表示されます。
ジョブの受付配信制限の状態	選択したジョブの受付配信制限の状態が表示されます。
実行ホスト名	入力した実行ホスト名が表示されます。 実行エージェントグループの場合は，「-」が表示されます。
ジョブ実行多重度	入力したジョブ実行多重度が表示されます。 実行エージェントグループの場合は，「-」が表示されます。
属するエージェントと優先順位	入力した実行エージェントグループに属する実行エージェント名と優先順位が表示されます。 実行エージェントの場合は，「-」が表示されます。
説明	入力した実行エージェントの説明が表示されます。

11.2.20　実行エージェント編集



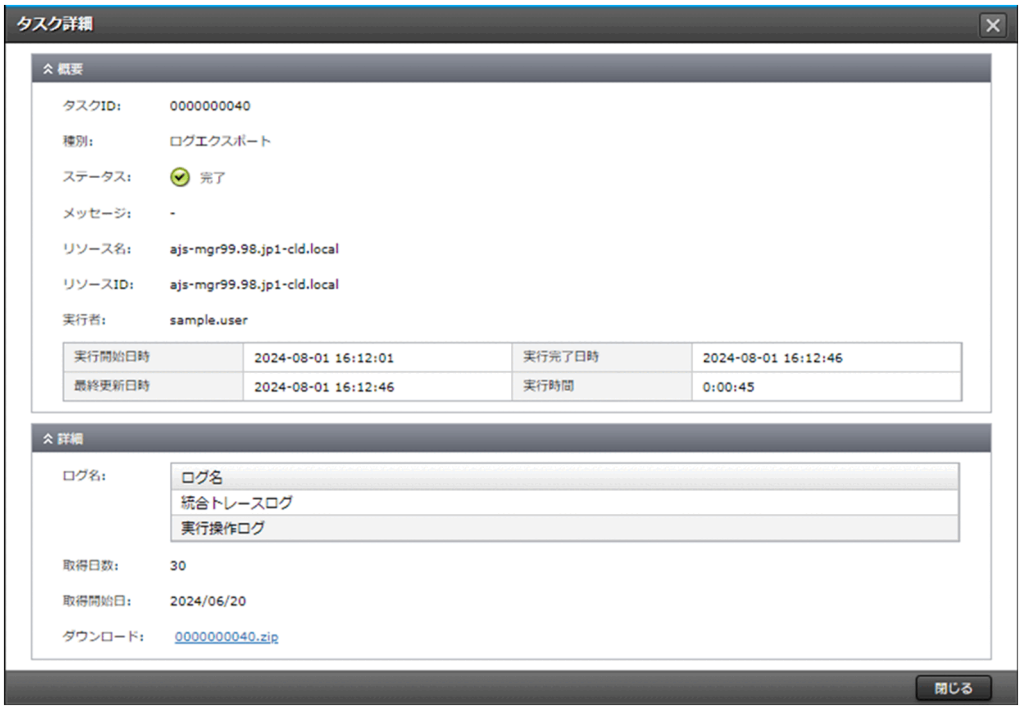
項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
実行状態	操作対象の実行状態（実行中/完了/エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
種類	実行エージェントの種類が表示されます。
エージェント名	実行エージェント名または実行エージェントグループ名が表示されます。
編集内容	変更前と変更後のジョブの受付配信制限の状態，実行ホスト名，ジョブ実行多重度，属するエージェントと優先順位，説明がそれぞれ表示されます。 種類によって指定できない項目は，「-」が表示されます。

11.2.21　実行エージェント削除（V02-30 以降）



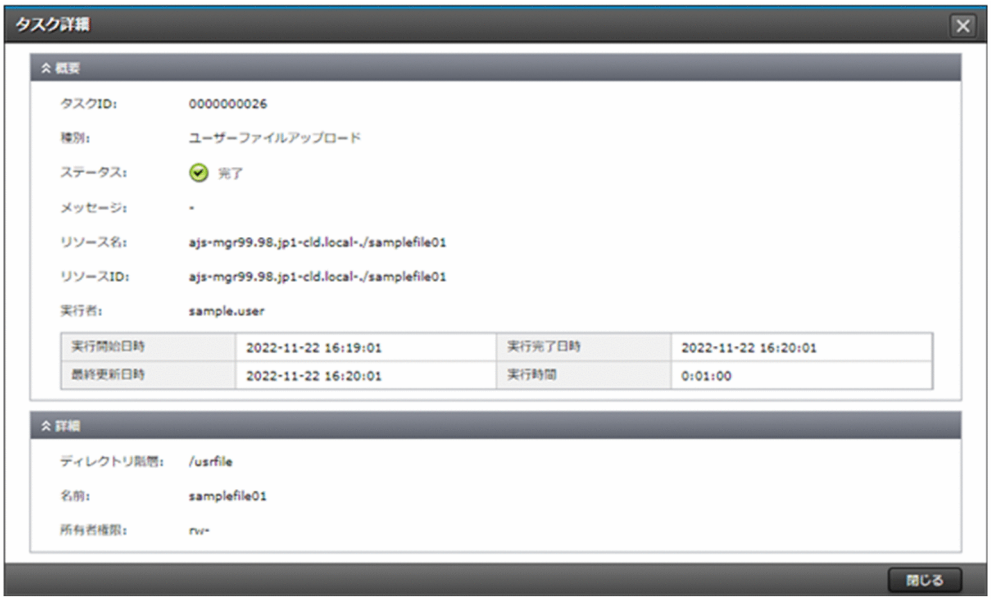
項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。
実行状態	操作対象の実行状態（実行中/完了/エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
種類	実行エージェントの種類が表示されます。
エージェント名	実行エージェント名または実行エージェントグループ名が表示されます。

11.2.22　ログエクスポート



項目	説明
ログ名	選択したすべてのログ名が表示されます。
取得日数	選択したログの取得日数が表示されます。
取得開始日（V02-20 以降）	入力したログの取得開始日が表示されます。
ダウンロード	エクスポートしたログのファイル名が表示されます。タスクのステータスが「完了」状態になるとファイル名がリンク付きで表示されます。ファイル名のリンクをクリックすると，エクスポートしたログをダウンロードできます。

11.2.23　ユーザーファイルアップロード（V01-12 以降）



項目	説明
ディレクトリ階層	アップロード先のディレクトリ階層のパスが表示されます。
名前	アップロードしたファイルの名前が表示されます。
所有者権限	アップロードしたファイルに付与された所有者権限が表示されます。

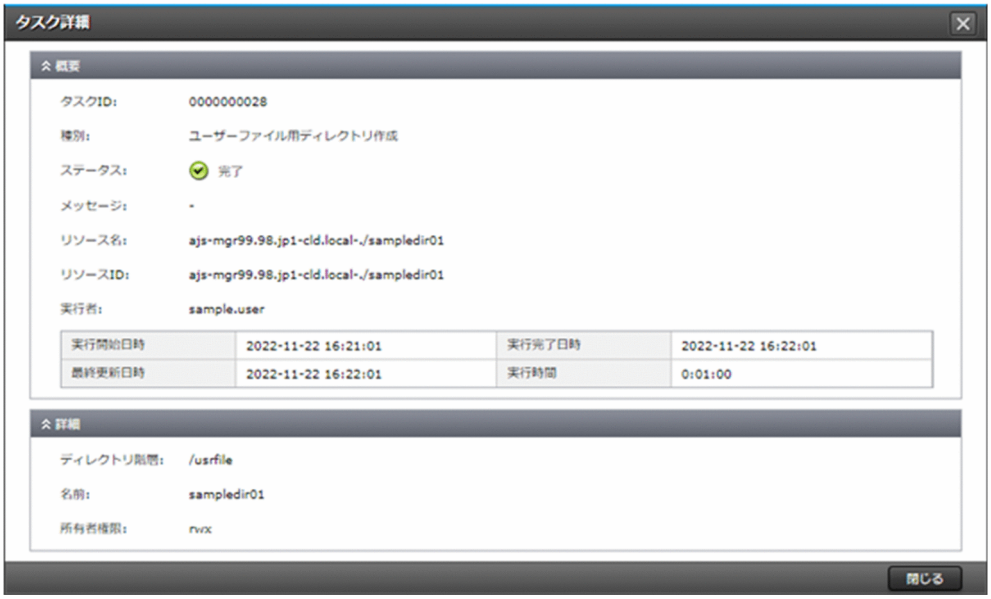
11.2.24　ユーザーファイル削除（V02-40 以降）



項目	説明
#	1 から順に番号を表示します。

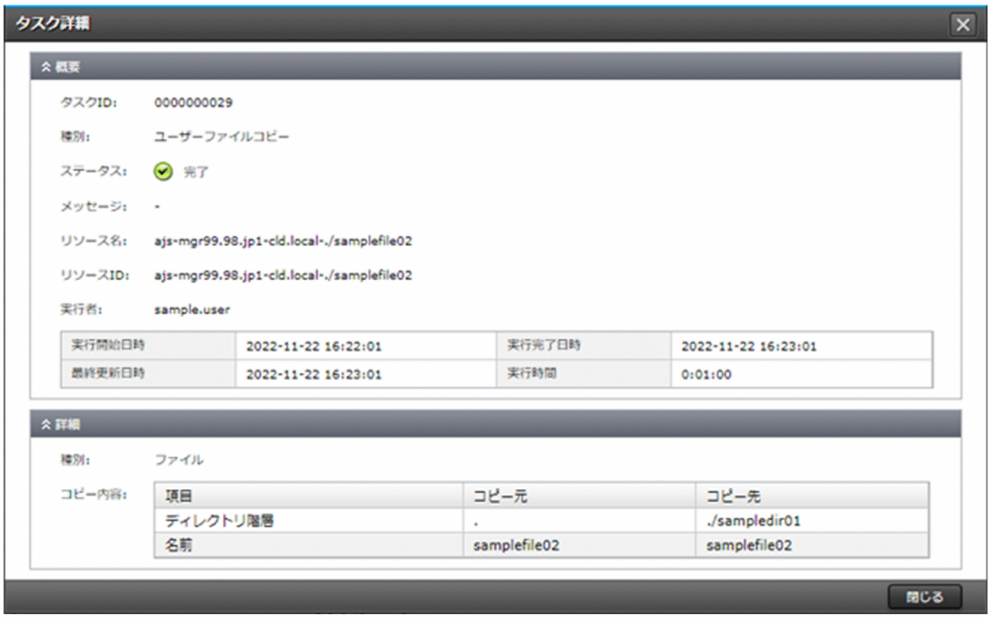
項目	説明
実行状態	操作対象の実行状態（実行中/完了/エラー）が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。
ディレクトリ階層	ディレクトリ階層のパスが表示されます。
名前	ファイルまたはディレクトリの名前が表示されます。

11.2.25　ユーザーファイル用ディレクトリ作成（V01-12 以降）



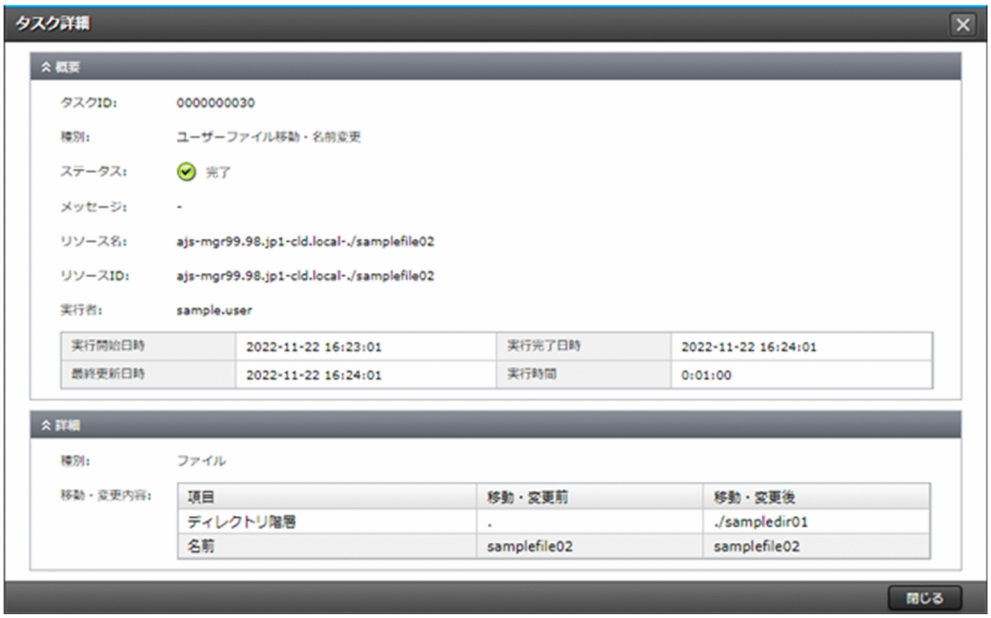
項目	説明
ディレクトリ階層	作成先のディレクトリ階層のパスが表示されます。
名前	作成したディレクトリの名前が表示されます。
所有者権限	作成したディレクトリに付与された所有者権限が表示されます。

11.2.26　ユーザーファイルコピー（V01-12 以降）



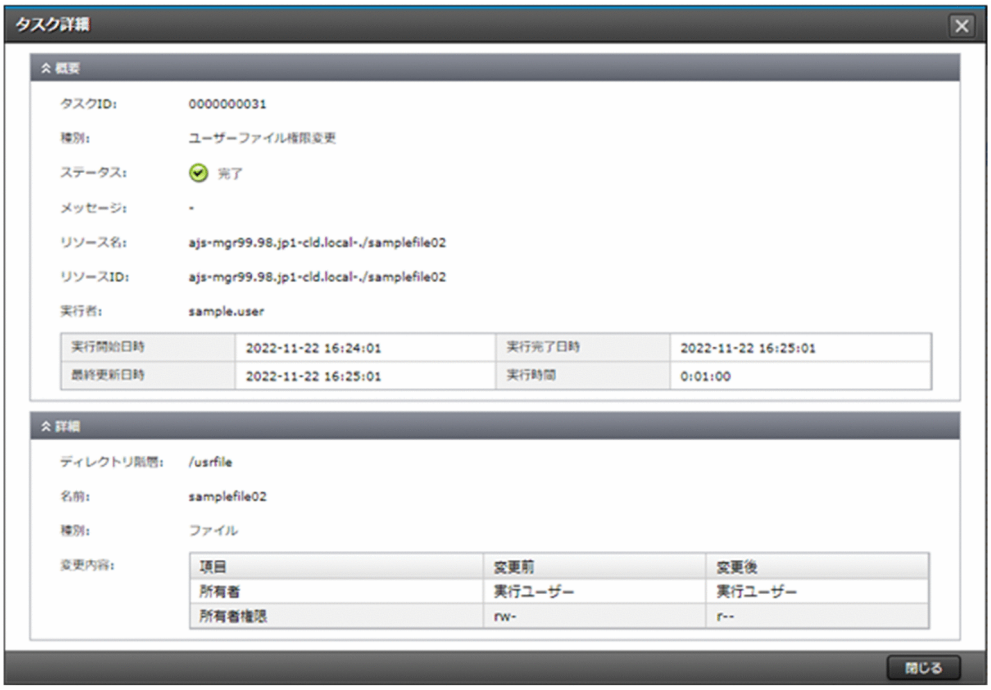
項目	説明
種別	操作対象のユーザーファイルの種別が表示されます。
コピー内容	コピー元とコピー先のユーザーファイルのディレクトリ階層のパス，名前がそれぞれ表示されます。

11.2.27　ユーザーファイル移動・名前変更（V01-12 以降）



項目	説明
種別	操作対象のユーザーファイルの種別が表示されます。
移動・変更内容	移動・変更前と移動・変更後のユーザーファイルのディレクトリ階層のパス，名前がそれぞれ表示されます。

11.2.28　ユーザーファイル権限変更（V01-12 以降）



項目	説明
ディレクトリ階層	操作対象のユーザーファイルのディレクトリ階層のパスが表示されます。
名前	操作対象のユーザーファイルの名前が表示されます。
種別	操作対象のユーザーファイルの種別が表示されます。
変更内容	変更前と変更後のユーザーファイルの所有者，所有者権限がそれぞれ表示されます。

11.2.29　ユーザー作成



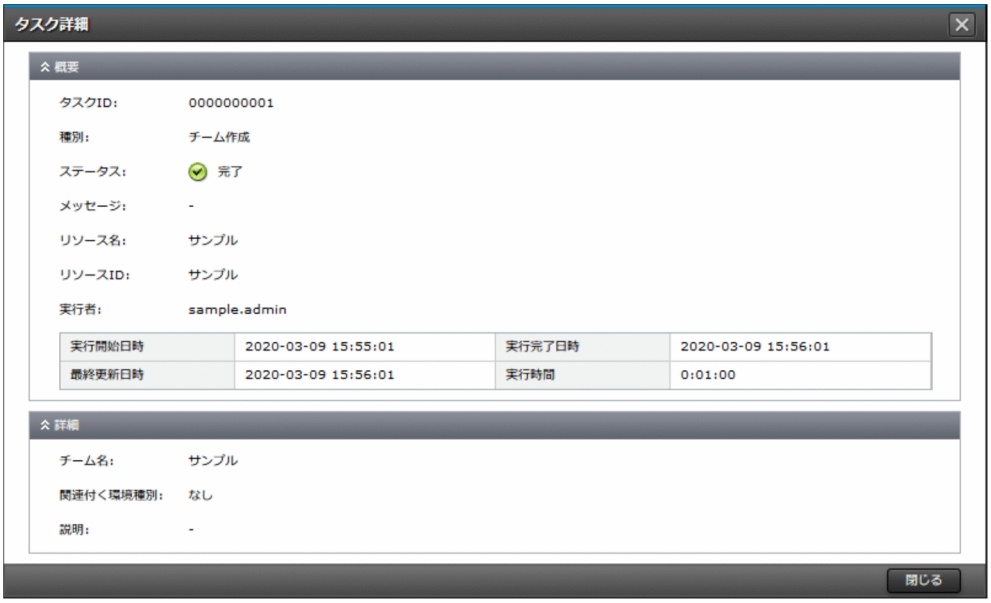
カテゴリ	項目	説明
ユーザー情報	チーム名	選択したチーム名が表示されます。
	ニックネーム	入力したニックネーム（V01-12 以前は氏名）が表示されます。
	ローマ字ニックネーム	入力したローマ字ニックネーム（V01-12 以前はローマ字氏名）が表示されます。
	権限	選択したサービスポータルでの権限が表示されます。
	電話番号（V02-00 以降）	入力した電話番号が表示されます。
環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに，選択した権限が表示されます。
	ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに，選択したネットワークの権限が表示されます。

11.2.30　ユーザー編集



カテゴリ	項目		説明
編集内容	ユーザー情報		変更前と変更後のチーム名，ニックネーム，ローマ字ニックネーム（V01-12 以前は氏名，ローマ字氏名），権限，電話番号（V02-00 以降）がそれぞれ表示されます。
	環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに，変更前と変更後の接続ホストの権限設定の内容が表示されます。
		ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに，変更前と変更後のネットワークの権限設定の内容が表示されます。

11.2.31　チーム作成



項目	説明
チーム名	入力したチーム名が表示されます。
関連付く環境種別	選択したチームに関連付ける環境種別が表示されます。
説明	入力したチームの説明が表示されます。

11.2.32　チーム編集



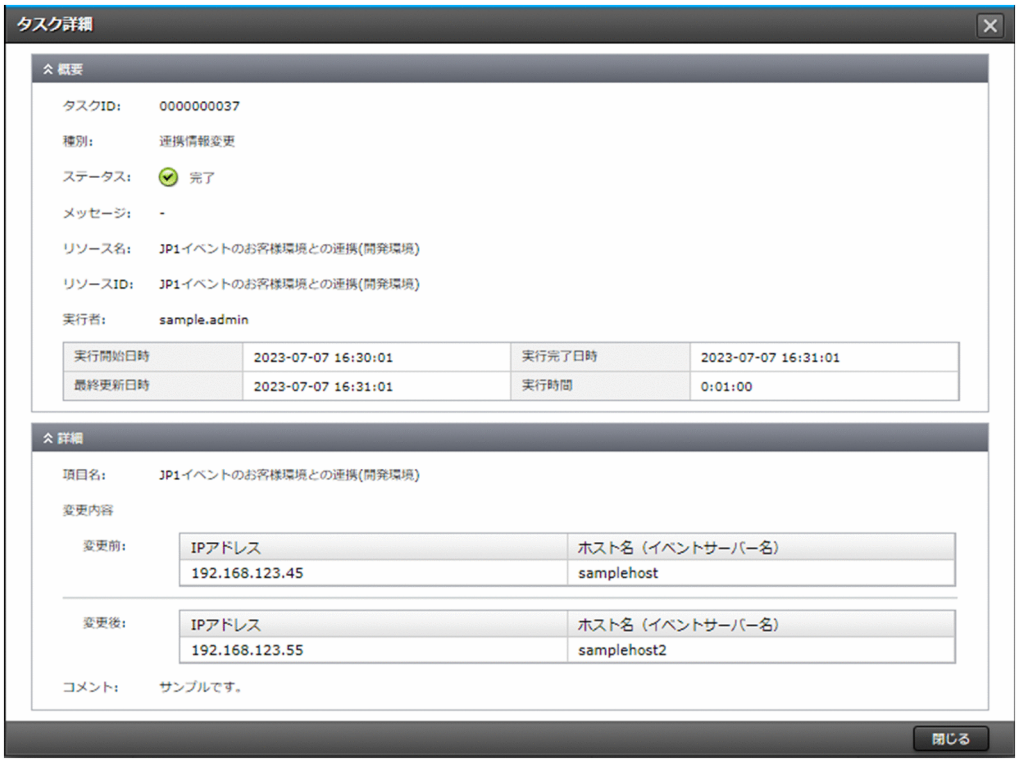
項目	説明
編集内容	変更前と変更後のチーム名，関連付く環境種別，説明がそれぞれ表示されます。

11.2.33　チームメンバー変更



項目	説明
変更後チーム名	変更後のチーム名が表示されます。
変更メンバー	チームを変更した各メンバーのユーザー ID，ニックネーム（V01-12 以前は氏名），変更前チーム名，ステータス（実行中/完了/エラー）が表示されます。

11.2.34　連携情報変更（V02-00～V02-50）



項目	説明
項目名	変更対象の項目名が表示されます。
変更内容	変更前と変更後の項目の指定値が表示されます。
コメント	入力したコメントが表示されます。

11.2.35　通知先情報変更（V02-60 以降）



項目	説明
項目名	変更対象の項目名が表示されます。
変更内容	変更前と変更後の項目の指定値が表示されます。

11.3　タスクの保持期間

タスクのステータスに関係なく，タスクの保持期間は最後にステータスが変化してから 90 日（デフォルト）です。最終更新日時から 90 日を経過したタスクは削除されます。なお，タスクの保持数に実用上の上限はありませんが，タスク ID が最大値に達した場合には 1 から採番し直します。

12 ユーザー管理

ユーザー管理のメニューで提供する機能について説明します。

12.1　ユーザー一覧

［管理］画面のナビメニュー［ユーザー管理］－［ユーザー一覧］を選択すると，ユーザー一覧画面が表示されます。



12.1.1　一覧表示

ポータルのユーザーの情報を表示できます。

チーム管理者の場合，自身が所属するチームのユーザーの情報だけが表示されます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
ユーザー ID	ユーザーごとに割り当てられたユーザー ID が表示されます。ユーザー ID のリンクをクリックすると，ユーザーの詳細情報を参照することができます。参照できる内容は「12.1.2 詳細表示」を参照してください。
ニックネーム	ユーザーのニックネーム（V01-12 以前は漢字氏名）が以下の形式で表示されます。 形式 **名前 1△名前 2（V01-12 以前は姓△名）** （凡例）△：半角空白
ステータス	ユーザーの状態が表示されます。 登録済 登録が完了している状態です。 操作中 変更操作により，操作中の状態です。 ロック アカウントがロックされている状態です。

項目	説明
ステータス	ステータスが操作中の場合，そのユーザーを選択したときに［編集］・［削除］・［チームメンバー変更］・［ロック解除］・［パスワードリセット］ボタンが非活性になり，それらの操作を行うことができません。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。
チーム名	ユーザーが所属するチーム名が表示されます。
権限	サービスポータルでのユーザーの権限が表示されます。 • 利用者 • チーム管理者 • ポータル管理者

12.1.2　詳細表示

ポータルのユーザーの詳細情報を表示できます。

ユーザー一覧画面から，対象のユーザーのユーザー ID のリンクをクリックすると，詳細表示のダイアログが起動します。

表示する項目と説明を以下に示します。



注意

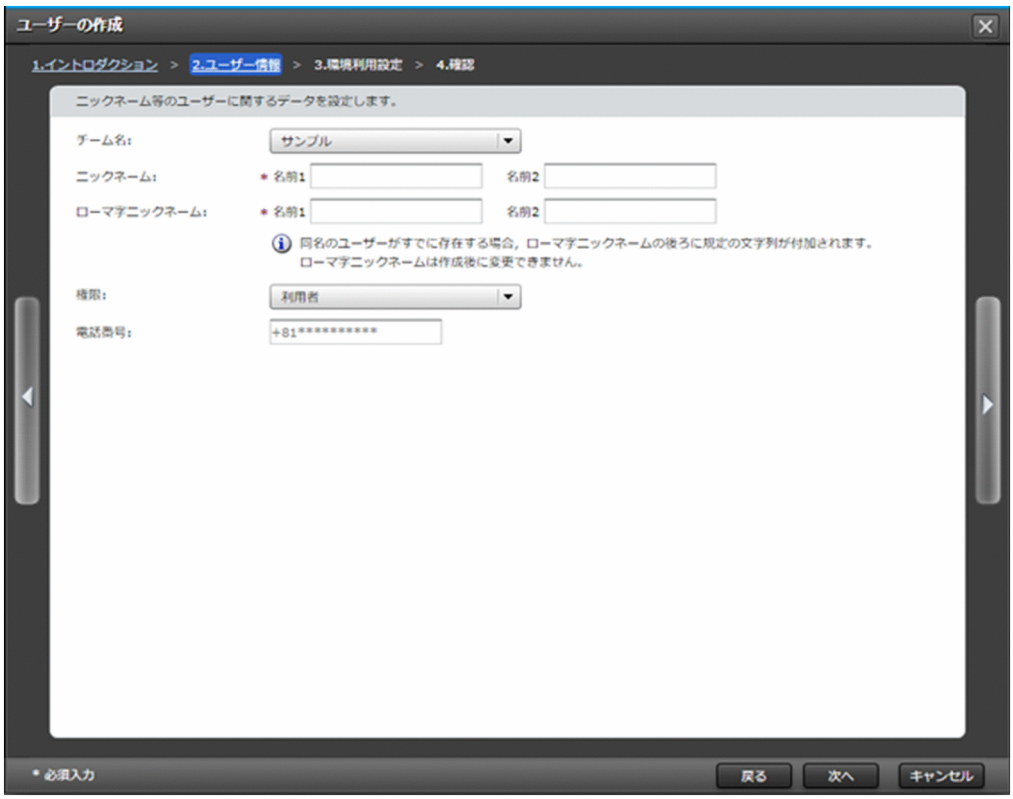
Web ブラウザーの表示倍率によっては，接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

カテゴリ	項目	説明
ユーザー情報	ユーザー ID	ユーザーごとに割り当てられたユーザー ID が表示されます。
	チーム名	ユーザーが所属するチーム名が表示されます。
	ニックネーム	ユーザーのニックネーム（V01-12 以前は氏名）が以下の形式で表示されます。 形式 **名前 1△名前 2（V01-12 以前は姓△名）** （凡例）△：半角空白
	ローマ字ニックネーム	ローマ字ニックネーム（V01-12 以前はローマ字氏名）が表示されます。
	権限	サービスポータルでのユーザーの権限が表示されます。 • 利用者 • チーム管理者 • ポータル管理者
	電話番号（V02-00 以降）	SMS 認証の送信先となる電話番号が表示されます。
環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに設定されている権限を表示します。権限は以下のどれかが表示されます。 • 利用しない • 参照 • 運用 • 管理
	ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに設定されているネットワークの権限を表示します。以下のどれかが表示されます。 • 利用しない • 利用する

12.1.3　新規作成

ユーザーを新規に作成できます。

ユーザー一覧画面から，［新規作成］ボタンをクリックして起動する以下のウィザードに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックして作成します。





注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては，接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。



注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては，接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

カテゴリ	項目	説明	指定要否
ユーザー情報	チーム名	ユーザーが所属するチームを選択してください。 選択できるチーム一覧の表示順は，文字列順です。 ログインユーザーがチーム管理者の場合，自身が所属するチームだけが表示され，選択可能です。	必須
	ニックネーム	ニックネーム（V01-12 以前は氏名）を入力してください。 名前 1，名前 2（V01-12 以前は姓，名）それぞれ 1～30 文字の任意文字列（ただし，半角空白と以下の使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘	必須
	ローマ字ニックネーム	ローマ字ニックネーム（V01-12 以前はローマ字氏名）を入力してください。 名前 1，名前 2（V01-12 以前は姓，名）それぞれ 1～18 バイトの半角英小文字（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。また，「**<ローマ字名前 1>.<ローマ字名前 2>**」（名前 1 と名前 2 をドットで結合した文字列）が 20 バイト以内の範囲で指定可能です。	必須

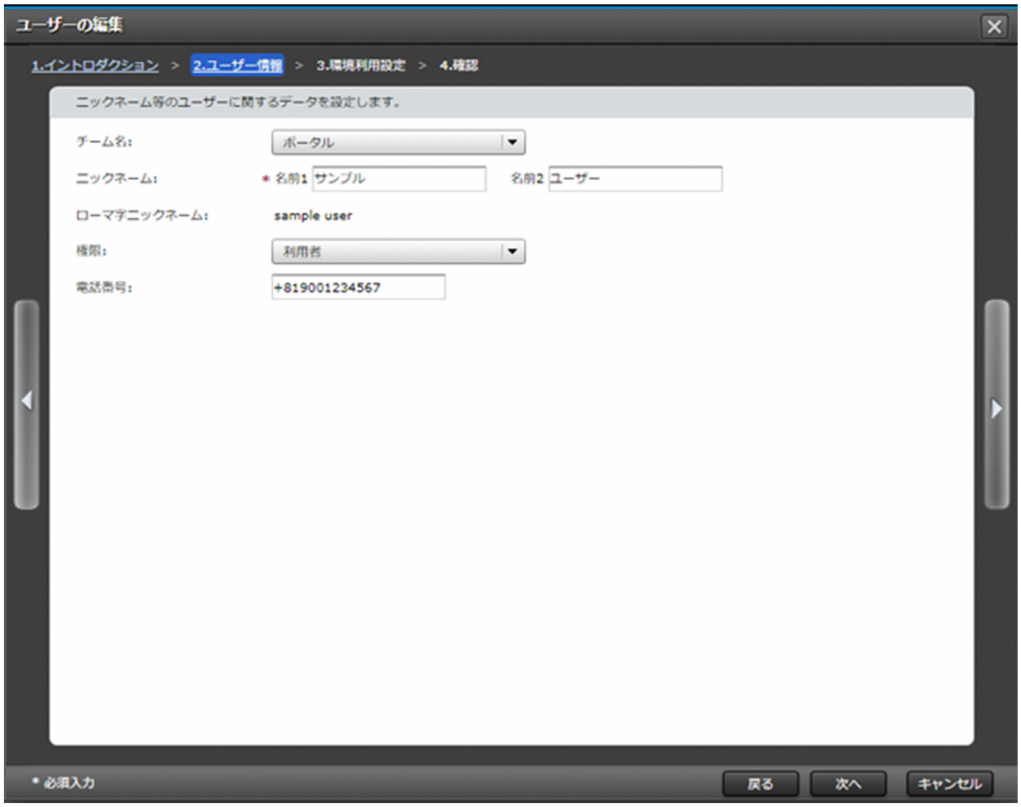
カテゴリ	項目	説明	指定要否
ユーザー情報	ローマ字ニックネーム	使用禁止文字 制御文字および”’｀$”’ ‘	必須
	権限	サービスポータルでの権限を以下より選択してください。デフォルトは「利用者」が選択されています。 • 利用者 • チーム管理者 • ポータル管理者 ログインユーザーがチーム管理者の場合，「ポータル管理者」は選択肢として表示されず，選択できません。	必須
	電話番号（V02-00 以降）	SMS 認証の送信先となる携帯電話番号を入力してください。 +81 から始まる最大 15 桁の数字を指定可能です。 インターネットから接続する場合，認証時にこの電話番号に対してワンタイムパスワードを送信します。	任意
環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに，「参照」「運用」「管理」からユーザーに与える権限をチェックボックスで選択してください。何も選択しない場合，権限は「利用しない」になります。 デフォルトは何も選択されていません。 ログインユーザーがチーム管理者の場合，自身が所属するチームに関連付いている環境種別のホストに対してだけ権限を設定でき，それ以外の環境種別のホストの権限は「利用しない」になります。 関連付く環境種別がない場合，すべてのホストに対して権限を設定できます。	必須
	ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに，ユーザーに利用する権限を与えるかをチェックボックスで選択してください。何も選択しない場合，権限は「利用しない」になります。 デフォルトは何も選択されていません。 ログインユーザーがチーム管理者の場合，自身が所属するチームに関連付いている環境種別に対してだけ権限を設定でき，それ以外の環境種別の権限は「利用しない」になります。 関連付く環境種別がない場合，すべての環境種別に対して権限を設定できます	必須
確認	個人情報の取り扱いについて（V02-00 以降）	入力情報に電話番号といった個人情報が含まれる場合には，個人情報の取り扱いについて事前にご本人から同意を得てください。同意を確認後，管理責任者の法人名または団体名，氏名を入力し，同意確認のチェックボックスにチェックして［実行］ボタンを押してください。	必須
	内容の確認	作成前の確認のために，入力内容が表示されます。	−

12.1.4　編集

ユーザーの情報や権限を編集できます。

ユーザー一覧画面から，対象のユーザーを 1 つ選択して［編集］ボタンをクリックします。起動する以下のウィザードの中で表示される情報を変更し，［実行］ボタンをクリックして編集します。

複数選択した場合やステータスが操作中のユーザーを選択した場合，［編集］ボタンが非活性となり，操作できません。





注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては，接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。



注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては，接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

カテゴリ	項目	説明	指定要否
ユーザー情報	チーム名	ユーザーが所属するチームを選択してください。 選択できるチーム一覧の表示順は，文字列順です。 ログインユーザーがチーム管理者の場合，自身が所属するチームだけが表示され，選択可能です。	必須
	ニックネーム	ニックネーム（V01-12 以前は氏名）を入力してください。 名前 1，名前 2（V01-12 以前は姓，名）それぞれ 1～30 文字の任意文字列（ただし，半角空白と以下の使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘	必須
	ローマ字ニックネーム	ローマ字ニックネーム（V01-12 以前はローマ字氏名）が表示されます。	−
	権限	サービスポータルでの権限を以下より選択してください。 • 利用者 • チーム管理者 • ポータル管理者 ログインユーザーがチーム管理者の場合，「ポータル管理者」は選択肢として表示されず，選択できません。	必須
	電話番号（V02-00 以降）	SMS 認証の送信先となる携帯電話番号を入力してください。 +81 から始まる最大 15 桁の数字を指定可能です。 インターネットから接続する場合，認証時にこの電話番号に対してワンタイムパスワードを送信します。	任意
環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに，「参照」「運用」「管理」からユーザーに与える権限をチェックボックスで選択してください。何も選択しない場合，権限は「利用しない」になります。 ログインユーザーがチーム管理者の場合，自身が所属するチームに関連付いている環境種別のホストに対してだけ権限を設定でき，それ以外の環境種別のホストの権限は変更できません。 関連付く環境種別がない場合，すべてのホストに対して権限を設定できます。	必須
	ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに，ユーザーに利用する権限を与えるかをチェックボックスで選択してください。何も選択しない場合，権限は「利用しない」になります。 ログインユーザーがチーム管理者の場合，自身が所属するチームに関連付いている環境種別に対してだけ権限を設定でき，それ以外の環境種別の権限は変更できません。	必須

カテゴリ	項目	説明	指定要否
環境利用設定	ネットワークの権限設定	関連付く環境種別がない場合，すべての環境種別に対して権限を設定できます	必須
確認	個人情報の取り扱いについて（V02-00 以降）	入力情報に電話番号といった個人情報が含まれる場合には，個人情報の取り扱いについて事前にご本人から同意を得てください。同意を確認後，管理責任者の法人名または団体名，氏名を入力し，同意確認のチェックボックスにチェックして［実行］ボタンを押してください。	必須
	内容の確認	編集前の確認のために，入力内容が表示されます。	－

12.1.5　削除

ユーザーを削除できます。

ユーザー一覧画面から，対象のユーザーをすべて選択して［削除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中のユーザーを選択した場合やログインユーザー自身を選択した場合，［削除］ボタンが非活性となり，操作できません。



12.1.6　ロック解除

ユーザーのロック状態を解除できます。

ユーザー一覧画面から，対象のユーザーをすべて選択して［その他の操作］から［ロック解除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックしてロックを解除します。

ステータスが操作中または登録済のユーザーを選択した場合，［ロック解除］ボタンが非活性となり，操作できません。



12.1.7　パスワードのリセット

ユーザーのパスワードをリセットできます。

ユーザー一覧画面から，対象のユーザーをすべて選択して［その他の操作］から［パスワードリセット］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックしてパスワードをリセットします。

ステータスが操作中のユーザーを選択した場合やログインユーザー自身を選択した場合，［パスワードリセット］ボタンが非活性となり，操作できません。

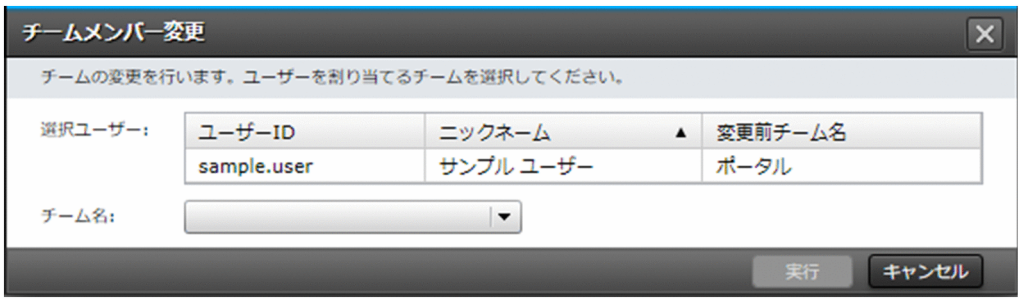


12.1.8　チームメンバーの変更

チームのメンバーを変更できます。

ユーザー一覧画面から，対象のユーザーをすべて選択して［その他の操作］から［チームメンバー変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで変更先のチームを選択し，［実行］ボタンをクリックしてメンバーを変更します。

ステータスが操作中のユーザーを選択した場合，［チームメンバー変更］ボタンが非活性となり，操作できません。



項目	説明
選択ユーザー	選択したユーザーの情報が表示されます。
チーム名	変更先のチームを選択します。

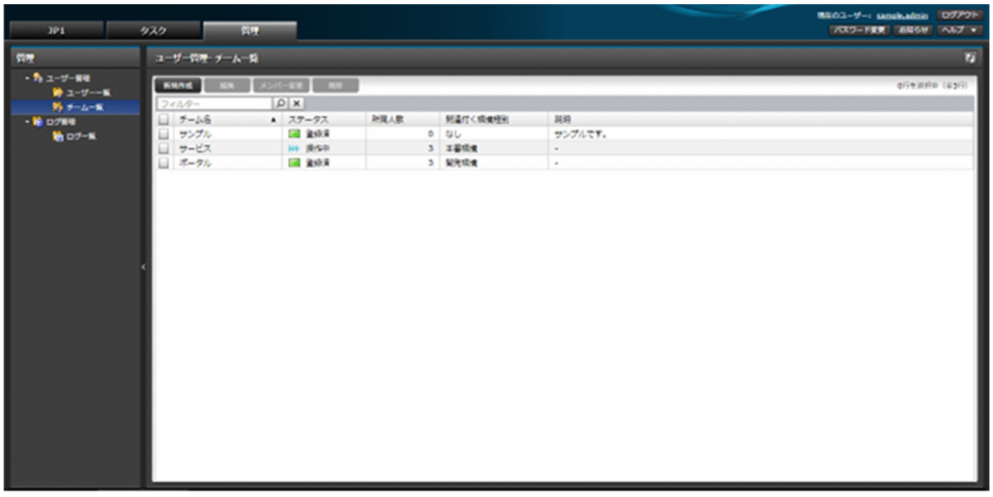
12.1.9　ユーザー管理ポリシーに関する注意事項

サービスポータルのユーザー管理におけるポリシーを以下に示します。

- ポータルのユーザーの新規作成時に ID が重複した場合は，ユーザー ID の末尾に前 0 なしの 2 からの連番を付与して ID を生成します。なお，連番の桁数は可変であり，「連番付与前のユーザー ID の長さ」と「連番の桁数」の合計が 20 バイトの範囲内で ID を生成可能です。
- すでに削除されたポータルのユーザーの情報を編集することはできません。
- ユーザー操作の履歴や設定情報は，管理者のタスクの実行履歴から取得することができます。
- パスワードのポリシーとして，パスワードは英大文字・英小文字・数字・記号のうち 3 種類以上を使用する文字列で，長さは 8 文字以上にする必要があります。パスワードの中にユーザー ID やニックネーム（V01-12 以前は氏名）に含まれる 3 文字以上連続する文字列は使用できません。また，過去 3 回のパスワードは使用禁止で，パスワードの有効期間は 90 日，パスワードのリセット含めて変更後 1 分間はパスワードを再度変更することはできません。

12.2　チーム一覧

［管理］画面のナビメニュー［ユーザー管理］−［チーム一覧］を選択すると，サービスポータルのチーム一覧画面が表示されます。



12.2.1　一覧表示

チームの情報を表示できます。

チーム管理者の場合，自身が所属するチームの情報だけが表示されます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
チーム名	チーム名が表示されます。
ステータス	チームの状態が表示されます。 登録済 　登録が完了している状態です。 操作中 　変更操作により，操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合，そのチームを選択したときに［編集］・［削除］・［メンバー変更］ボタンが非活性になり，それらの操作を行うことができません。 なお，操作中は他ステータスより優先して表示されます。
所属人数	チームの所属人数が表示されます。 サービスポータルに登録されているすべてのユーザーのうち，当該チームに所属しているユーザーの人数が表示されます。
関連付く環境種別	チームと関連付いている環境種別が表示されます。

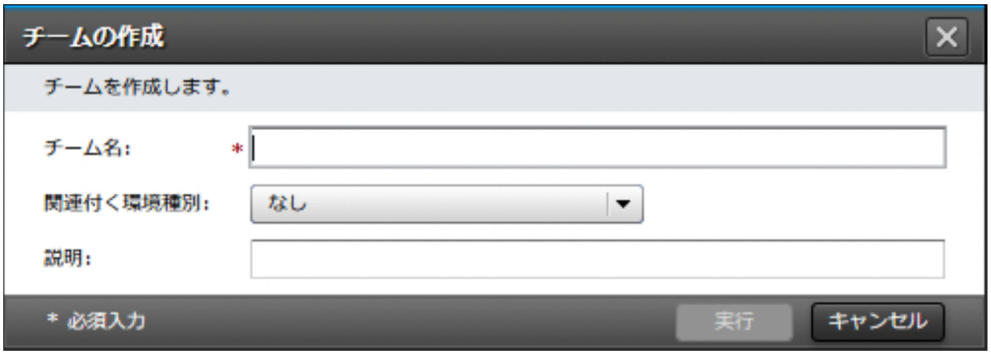
項目	説明
関連付く環境種別	関連付けがされていない場合，「なし」と表示されます。
説明	チームの説明が表示されます。

12.2.2　新規作成

チームを新規に作成できます。

チーム一覧画面から，［新規作成］ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックして作成します。

すでに存在する同名のチームを複数作成することはできません。



項目	説明	指定要否
チーム名	チーム名を入力します。 1～64 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）で存在しないチーム名を指定してください。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘_/¥[]:;|=,+*?<>% また，空白または.だけの文字列，空白と.だけから成る文字列，.で終わる文字列，および¯1 文字だけの名称は指定できません。 注意事項 (1) チーム名は，「半角英大文字／小文字」を区別しません。そのため，例えば以下のような制限がありますのでご注意ください。 例) チーム「abc123」がすでに存在する場合，チーム「ABC123」を作成することはできません。	必須
関連付く環境種別	チームに関連付ける環境種別（開発環境，本番環境など）を選択します。 関連付けをしない場合は，「なし」を選択してください。デフォルトは「なし」が選択されています。	必須
説明	チームの説明を入力します。 1～255 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。	任意

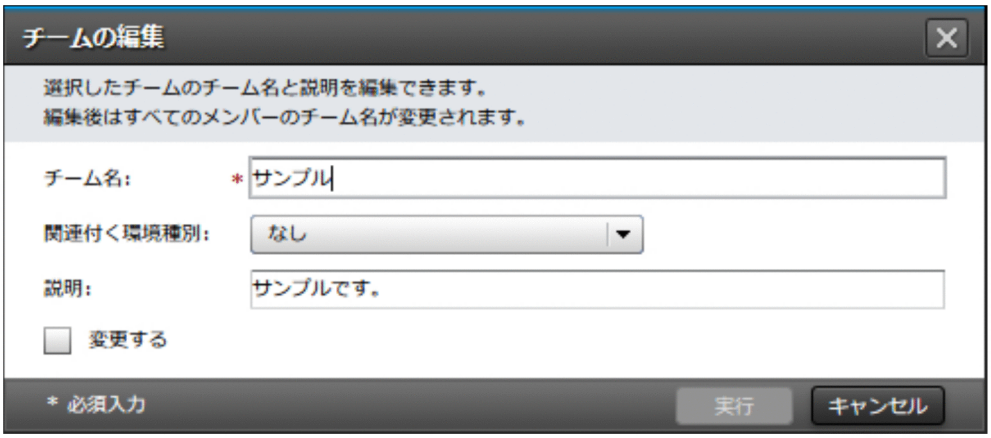
項目	説明	指定要否
説明	使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘	任意

12.2.3　編集

チームの情報を編集できます。

チーム一覧画面から，対象のチームを 1 つ選択して［編集］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして編集します。

複数選択した場合やステータスが操作中のチームを選択した場合，［編集］ボタンが非活性となり，操作できません。



項目	説明	指定要否
チーム名	チーム名を入力します。 1～64 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）で存在しないチーム名を指定してください。すでに存在する同名のチーム名に編集することはできません。 使用禁止文字 制御文字および”’｀$”　’　‘ _ / ¥ [ ] : ; | = , + * ? < > % また，空白または.だけの文字列，空白と.だけから成る文字列，.で終わる文字列，および¯1 文字だけの名称は指定できません。 注意事項 (1) チーム名は，「半角英大文字／小文字」を区別しません。そのため，例えば以下のような制限がありますのでご注意ください。 例) チーム「abc123」がすでに存在する場合，チーム「ABC123」を作成することはできません。	必須
関連付く環境種別	チームに関連付ける環境種別（開発環境，本番環境など）を選択します。 関連付けをしない場合は，「なし」を選択してください。	必須

項目	説明	指定要否
説明	チームの説明を入力します。 1～255 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および”’ ` $ ” ’ ‘	任意

12.2.4 メンバーの変更

チームのメンバーを変更できます。

チーム一覧画面から，対象のチームを 1 つ選択して［メンバー変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログを操作してメンバーを変更し，［実行］ボタンをクリックしてメンバーを変更します。

複数選択した場合やステータスが操作中のチームを選択した場合，［メンバー変更］ボタンが非活性となり，操作できません。



項目	説明
チーム名	選択したチーム名が表示されます。
選択可能ユーザー	他のチームに所属しているユーザーが表示されます。選択したチームに追加するユーザーを選択して［追加］ボタンで追加します。 ステータスが操作中のユーザーは追加することはできません。
選択済みユーザー	すでに選択したチームに所属しているユーザーと選択可能ユーザーから追加したユーザーが表示されます。選択したチームから削除するユーザーを選択して［削除］ボタンで削除します。

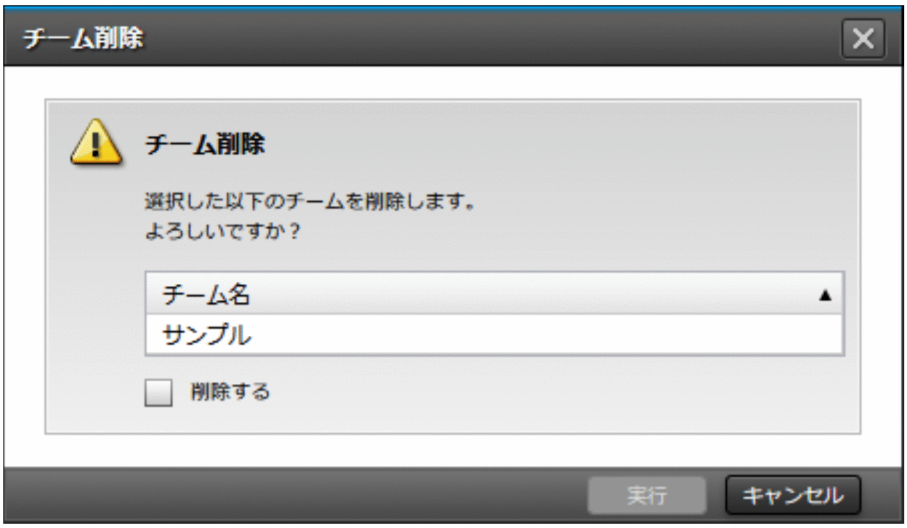
項目	説明
選択済みユーザー	すでに選択したチームに所属しているメンバーは，削除することはできません。

12.2.5　削除

チームを削除できます。

チーム一覧画面から，対象のチームをすべて選択して［削除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中のチームを選択した場合や 1 人以上のユーザーが所属しているチームを選択した場合，［削除］ボタンが非活性となり，操作できません。

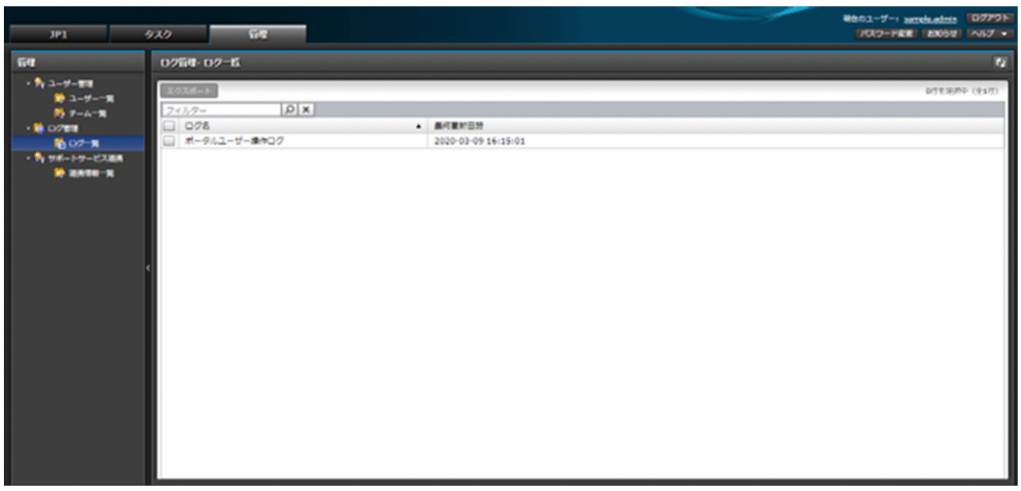


13 ログ管理

ログ管理のメニューで提供する機能について説明します。

13.1　ログ一覧

［管理］画面のナビメニュー［ログ管理］−［ログ一覧］を選択すると，ログ一覧画面が表示されます。



13.1.1　一覧表示

管理者向けにサービスから提供可能な各種ログを表示できます。

チーム管理者の場合，一覧には何も表示されません。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
ログ名	ログの種類を表す名称が表示されます。 ポータルユーザー操作ログ 　ポータルのユーザーの操作履歴が出力されています。
最終更新日時	ログの最終更新日時が表示されます。

13.1.2　エクスポート

管理者向けのログの内容をエクスポートしてダウンロードできます。

ログ一覧画面から，対象のログをすべて選択して［エクスポート］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［実行］ボタンをクリックしてエクスポートします。



項目	説明	指定要否
ログ名	選択したすべてのログ名が表示されます。	–
取得日数	ログの取得日数を選択します。 1 日分から選択でき，最大 90 日分まで選択できます。 システム負荷の軽減のため，取得が必要な最低日数を選択してください。	必須
取得開始日（V02-20 以降）	ログの取得開始日を yyyy/MM/dd の形式で入力します。 13 か月前（V02-30 以降は 5 年前）まで指定でき，指定した日から現在に向かって取得日数分のログがエクスポートの対象になります。 サービス利用開始日以降の日付を指定してください。 指定を省略した場合や現在の日を指定した場合，現在から取得日数分（過去分）のログがエクスポートされます。未来の日を指定した場合も，現在から取得日数分（過去分）のログがエクスポートされます。 なお，タイムゾーンは JST になります。	任意

エクスポートしたログは，実行したタスクのタスク詳細ダイアログのファイル名「<タスク ID>.zip」（例：0000000002.zip）のリンクからダウンロードできます。エクスポートを実行したユーザーだけがログをダウンロードできます。

ダウンロードしたファイル中に格納されている各ログのファイル名を以下に示します。

ログ名	ファイル名	ファイル名の例
ポータルユーザー操作ログ	<タスク ID>_portallog.csv	0000000002_portallog.csv

ポータルユーザー操作ログの出力形式を以下に示します。

出力形式	**日時（dd/MMM/yyyy:hh:mm:ss.SSSSSSSSS ZZZZ）,監査の成功／失敗,ユーザー ID,メッセージテキスト**
説明	• 文字コードは UTF-8 です。 • 改行コードは LF です。 • ヘッダー行はありません。 • 各項目の区切り文字はコンマ(,)です。 • 各項目はダブルクォート(")で囲まれて出力されます。 • 日時のタイムゾーンは JST です。

説明	• 監査の成功／失敗には，内容に応じて「成功の監査」または「失敗の監査」が出力されます。
出力例	”26/Apr/2021:13:37:30.632352081 +0900”,”失敗の監査”,”portal.user”,”ユーザー アカウント認証を実行しました。アカウントがロックアウトされました。” ”26/Apr/2021:13:37:30.632352081 +0900”,”失敗の監査”,”portal.user”,”ユーザー アカウント認証を実行しました。” ”26/Apr/2021:13:41:17.951368985 +0900”,”成功の監査”,”portal.user”,”ユーザー アカウントのロック解除を実行しました。”

ポータルユーザー操作ログの主な出力契機と，対応して出力される内容を以下に示します。

主な出力契機	監査の成功／失敗	出力されるメッセージテキスト （複数メッセージの場合はそれらが連続して出力されます）
ログイン成功， ログイン中， ログアウト， およびログイン時にパスワード変更が必要な場合	成功の監査	ユーザー アカウント認証を実行しました。 注意 本メッセージは，ログイン中にも断続的に出力されます。
ログイン失敗	失敗の監査	ユーザー アカウント認証を実行しました。 注意 存在するユーザーアカウントの場合だけ，出力されます。また，複数回出力される場合があります。
パスワード変更 （成功）	成功の監査	アカウントのパスワード変更を実行しました。
パスワード変更 （失敗）	失敗の監査	アカウントのパスワード変更を実行しました。
アカウントのロックアウト	失敗の監査	ユーザー アカウント認証を実行しました。アカウントがロックアウトされました。
ユーザー作成	成功の監査	ユーザー アカウント作成を実行しました。
ユーザー編集	成功の監査	ユーザー アカウント変更を実行しました。
ユーザー削除	成功の監査	ユーザー アカウント削除を実行しました。
ユーザーロック解除	成功の監査	ユーザー アカウントのロック解除を実行しました。
ユーザーパスワードリセット	成功の監査	アカウントのパスワードリセットを実行しました。

14 サポートサービス連携

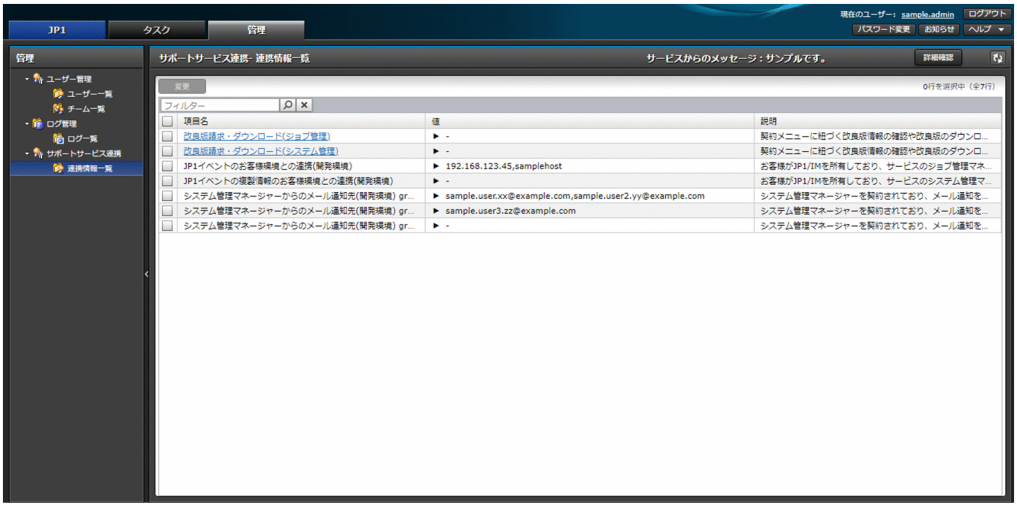
サポートサービス連携のメニューで提供する機能について説明します。

14.1　連携情報一覧（V02-00～V02-50）

［管理］画面のナビメニュー［サポートサービス連携］－［連携情報一覧］を選択すると，連携情報一覧画面が表示されます。

補足事項

V02-60 以降では，改良版請求・ダウンロードは「22.1 改良版請求・ダウンロード一覧」から，JP1 イベントの連携とメール通知先の確認・変更は「15.1 通知先情報一覧（V02-60 以降）」から実施してください。



14.1.1　一覧表示

サポートサービスに関する連携情報を表示できます。

チーム管理者の場合，自身が所属するチームに関連付く環境種別の連携情報だけが表示されます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
項目名	表示対象の以下項目が表示されます。※ 改良版請求・ダウンロードのリンクをクリックすると，契約メニュー種別（ジョブ管理またはシステム管理）に応じた改良版請求サイトが開かれます。改良版請求サイトへはインターネット経由でのアクセスになります。また，改良版請求サイトの画面を閉じる場合は［ログアウト］ボタンからログアウトしてください。
値	表示対象の項目の値が表示されます。 改良版請求・ダウンロードの場合は，「-」が表示されます。 サービス契約時にヒアリングシートに記入いただいた項目の場合は，その値が表示されます。未記入で値なしの項目の場合は，「-」が表示されます。

項目	説明
説明	表示対象の項目の説明が表示されます。

注※

表示対象の以下項目が表示されます。

項目名	項目の表示有無	
	ポータル管理者	チーム管理者
改良版請求・ダウンロード（**契約メニュー種別**）	○	−
JP1 イベントのお客様環境との連携（**ネットワーク区域名**）	○	△
JP1 イベントの複製情報のお客様環境との連携（**ネットワーク区域名**）	○	△
システム管理マネージャーからのメール通知先（**ネットワーク区域名**）group*n*※	○	△
ジョブ管理マネージャーからのメール通知先（**ネットワーク区域名**）（V02-20 以降）	○	△

（凡例）

○：表示される。

△：自身が所属するチームに関連付く情報だけ表示される。チームに関連付く環境種別が設定されていない場合，表示されない。

−：表示されない。

注※

n は 1〜3 のいずれかの値です。

表示対象の項目とその内容を以下に示します。

項目名	値の内容	説明の内容	変更可否
改良版請求・ダウンロード（**契約メニュー種別**）	「-」が表示されます。	この契約メニュー種別に紐づく改良版情報の確認や改良版のダウンロードができます。	−
JP1 イベントのお客様環境との連携（**ネットワーク区域名**）	以下情報がコンマ（,）で区切って表示されます。複数登録されている場合には，複数の連携先が表示されます。 • IP アドレス • ホスト名（イベントサーバー名）	お客様が JP1/IM を所有しており，サービスのジョブ管理マネージャーが発行する JP1 イベントを連携する場合の JP1 イベント発行先情報です。システム管理マネージャーを契約されていない場合に指定が必要です。区域ごとに 2 つの組み合わせまで指定可能です。	○
JP1 イベントの複製情報のお客様環境との連携（**ネットワーク区域名**）	以下情報がコンマ（,）で区切って表示されます。複数登録されている場合には，複数の連携先が表示されます。 • IP アドレス • ホスト名（イベントサーバー名）	お客様が JP1/IM を所有しており，サービスのシステム管理マネージャーが発行する JP1 イベントの複製情報を連携する場合の JP1 イベント発行先情報です。システム管理マネージャーを契約されている場合に指定が必要です。区域ご	○

項目名	値の内容	説明の内容	変更可否
JP1 イベントの複製情報のお客様環境との連携（**ネットワーク区域名**）	以下情報がコンマ（,）で区切って表示されます。複数登録されている場合には，複数の連携先が表示されます。 • IP アドレス • ホスト名（イベントサーバー名）	とに 2 つの組み合わせまで指定可能です。	○
システム管理マネージャーからのメール通知先（**ネットワーク区域名**） group*n*※	通知先メールアドレス（最大 10 個） 複数ある場合は，コンマ（,）で区切って表示されます。	システム管理マネージャーを契約されており，メール通知を利用される場合には指定が必要です。	○
ジョブ管理マネージャーからのメール通知先（**ネットワーク区域名**） （V02-20 以降）	通知先メールアドレス（最大 10 個） 複数ある場合は，コンマ（,）で区切って表示されます。	ジョブ管理マネージャーを契約されており，メール通知を利用される場合には指定が必要です。	○

（凡例）

○：変更できる。 −：変更できない。

注※

n は 1〜3 のいずれかの値です。

14.1.2 変更

連携情報のうち，変更可能なものについて変更申請ができます。

連携情報一覧画面から，対象の連携情報を 1 つ選択して［変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして変更を申請します。

複数選択した場合や他の連携情報変更タスクが実行中の場合，［変更］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

- 変更はサービスポータルを通してサービス窓口が受け付け，システムに反映します。タスクが完了してもシステムへの反映は完了していない点にご注意ください。システムへの反映の完了有無は連携情報一覧画面の右にある「サービスからのメッセージ」からご確認ください。対応状況などについてのお問い合わせは，サービス窓口までお願いします。
- メール通知先として指定するメールアドレスについて，登録可能な数に上限があることに加え，宛先不正などによる通知時の送信失敗や通知先が変わった場合の変更・見直し漏れを低減するために，メーリングリストでの指定を推奨します。



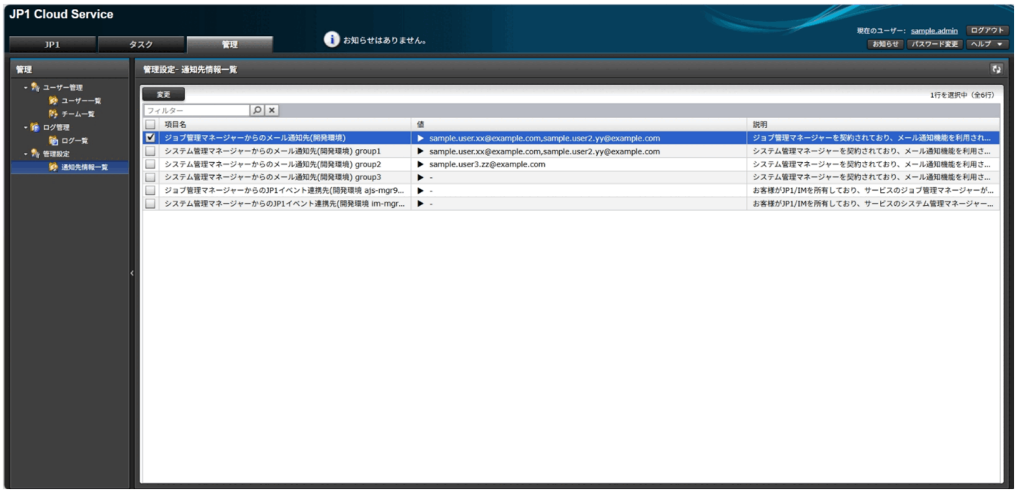
項目	説明	指定要否
項目名	選択した項目名が表示されます。	−
説明	選択した項目の説明が表示されます。	−
指定値	指定値を入力します。 各指定値について，1～512 文字の任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘	任意
コメント	変更内容に関するサービス窓口への補足説明や連絡事項を入力します。 1～1024 文字の任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 例えば，誤った情報で変更申請してしまった場合の指定値の訂正依頼などにこの項目を利用してください。 使用禁止文字 改行を除く制御文字および " ' ` $ ” ’ ‘	任意
個人情報の取り扱いについて	入力情報にメールアドレスといった個人情報が含まれる場合には，個人情報の取り扱いについて事前にご本人から同意を得てください。同意を確認後，管理責任者の法人名または団体名，氏名を入力し，同意確認のチェックボックスにチェックして［実行］ボタンを押してください。	必須

15 管理設定

管理設定のメニューで提供する機能について説明します。

15.1　通知先情報一覧（V02-60 以降）

［管理］画面のナビメニュー［管理設定］−［通知先情報一覧］を選択すると，通知先情報一覧画面が表示されます。



15.1.1　一覧表示

お客様のシステムへの通知先情報を表示できます。

チーム管理者の場合，自身が所属するチームに関連付く環境種別の通知先情報だけが表示されます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
［チェックボックス］	操作対象を示すチェックボックスです。
項目名	表示対象の項目が表示されます。※1
値	表示対象の項目の値が表示されます。値なしの項目の場合は，「-」が表示されます。※2
説明	表示対象の項目の説明が表示されます。

注※1　表示対象項目を以下に示します。

項目名	項目の表示有無	
	ポータル管理者	チーム管理者
ジョブ管理マネージャーからの JP1 イベント連携先（**ネットワーク区域名 マネージャーホスト名**）	○	△
システム管理マネージャーからの JP1 イベント連携先（**ネットワーク区域名 マネージャーホスト名**）	○	△

項目名	項目の表示有無	
	ポータル管理者	チーム管理者
ジョブ管理マネージャーからのメール通知先（**ネットワーク区域名**）	○	△
システム管理マネージャーからのメール通知先（**ネットワーク区域名**） groupn　※：n=1～3	○	△

（凡例）

○：表示される。

△：自身が所属するチームに関連付く情報だけ表示される。チームに関連付く環境種別が設定されていない場合，表示されない。

－：表示されない。

注※2　表示対象の項目とその内容を以下に示します。

項目名	値の内容	説明の内容	変更可否
ジョブ管理マネージャーからの JP1 イベント連携先（**ネットワーク区域名 マネージャーホスト名**）	以下情報がコンマ（,）で区切って表示されます。複数登録されている場合には，複数の連携先が表示されます。 • ホスト名（イベントサーバー名）	お客様が JP1/IM を所有しており，サービスのジョブ管理マネージャーが発行する JP1 イベントを連携する場合の JP1 イベント発行先情報です。システム管理マネージャーを契約されていない場合に指定が必要です。事前にサービスのジョブ管理マネージャーから登録されるホスト名への名前解決ができる必要があります。マネージャーごとに 2 つの組み合わせまで指定可能です。	○
システム管理マネージャーからの JP1 イベント連携先（**ネットワーク区域名 マネージャーホスト名**）	以下情報がコンマ（,）で区切って表示されます。複数登録されている場合には，複数の連携先が表示されます。 • ホスト名（イベントサーバー名）	お客様が JP1/IM を所有しており，サービスのシステム管理マネージャーが発行する JP1 イベントの複製情報を連携する場合の JP1 イベント発行先情報です。システム管理マネージャーを契約されている場合に指定が必要です。事前にサービスのシステム管理マネージャーから登録されるホスト名への名前解決ができる必要があります。マネージャーごとに 2 つの組み合わせまで指定可能です。	○
ジョブ管理マネージャーからのメール通知先（**ネットワーク区域名**）	通知先メールアドレス（最大 10 個） 複数ある場合は，コンマ（,）で区切って表示されます。	ジョブ管理マネージャーを契約されており，メール通知機能を利用される場合には指定が必要です。	○
システム管理マネージャーからのメール通知先（**ネットワーク区域名**） groupn ※：n=1～3	通知先メールアドレス（最大 10 個） 複数ある場合は，コンマ（,）で区切って表示されます。	システム管理マネージャーを契約されており，メール通知機能を利用される場合には指定が必要です。	○

（凡例）○：変更できる。　－：変更できない。

15.1.2　変更

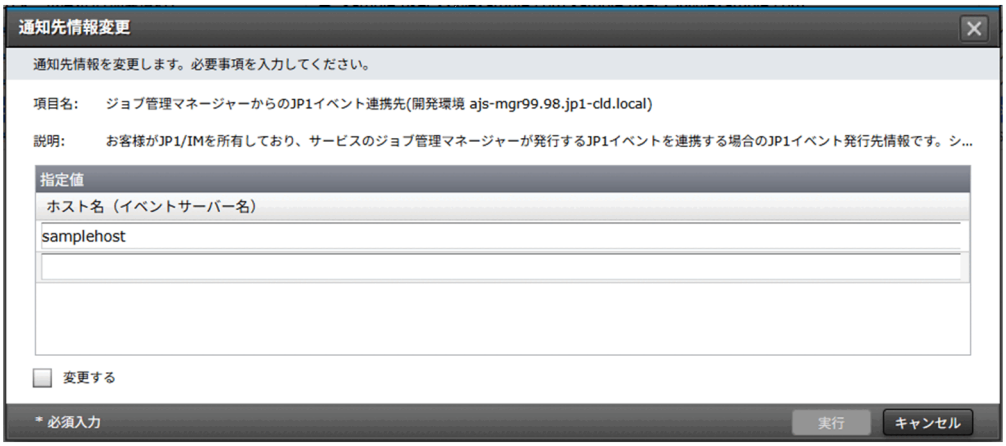
通知先情報の変更ができます。

通知先情報一覧画面から，対象の通知先情報を 1 つ選択して［変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，［実行］ボタンをクリックして変更を申請します。

複数選択した場合や他の通知先情報変更タスクが実行中の場合，［変更］ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

- JP1 イベントのお客様環境との連携と JP1 イベントの複製情報のお客様環境との連携で指定するホスト名（イベントサーバー名）について，登録前にサービス側の JP1 イベントを送信するマネージャーから名前解決ができる必要があります。名前解決の設定は「7.2 ホスト情報一覧（V02-00 以降）」を参照してください。
- メール通知先として指定するメールアドレスについて，登録可能な数に上限があることに加え，宛先不正などによる通知時の送信失敗や通知先が変わった場合の変更・見直し漏れを低減するために，メーリングリストでの指定を推奨します。



項目	説明	指定要否
項目名	選択した項目名が表示されます。	−
説明	選択した項目の説明が表示されます。	−
指定値	指定値を入力します。 各指定値について，以下を指定可能です。 ホスト名（イベントサーバー名） 1〜125 バイトの半角英字，半角数字，ハイフン（-），ドット（.）を指定可能です。先頭にハイフンとドットを置くことはできません。 メールアドレス <アカウント名>@<ドメイン名> の形式（@は全体で 1 つのみ）で，全体が 1〜254 バイト（アカウント名は最大 64 バイト）の ASCII 文字列（以下，使用禁止文字および配置制限を除く）を指定可能です。	任意

項目	説明	指定要否
指定値	• 使用禁止文字 制御文字および”’￥＄”　’　‘（）＜＞［］：；，`スペース • 配置制限 .（ドット）は連続で使用できません。 文字列の先頭，及び@直前に.（ドット）を使用できません。 ドメイン名には 1 つ以上.（ドット）が必要です。	任意
個人情報の取り扱いについて	入力情報にメールアドレスといった個人情報が含まれる場合には，個人情報の取り扱いについて事前にご本人から同意を得てください。同意を確認後，管理責任者の法人名または団体名，氏名を入力し，同意確認のチェックボックスにチェックして［実行］ボタンを押してください。	必須

16 その他，共通

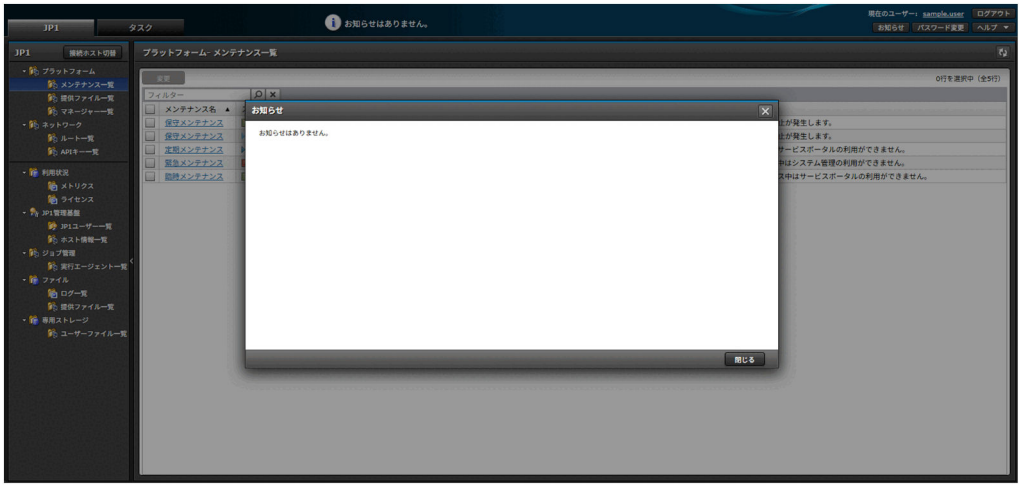
サービスポータルのその他の共通機能について説明します。

16.1　お知らせ

システムメンテナンスによるサービス停止など，サービス提供元からのお知らせを表示できます。

お知らせは，メイン画面右上の［お知らせ］ボタンをクリックすると表示されます。V02-40 以降では，［お知らせ］ボタンをクリックしなくても，メイン画面の上中央にお知らせ内容の一部が表示され，確認できます。

なお，V02-10 以降では，メンテナンスの情報は通常，メンテナンス一覧画面に表示されます。



16.2 用語集

用語集を表示できます。

用語集は，メイン画面右上の［ヘルプ］から［用語集］ボタンをクリックすると表示されます。V01-10 以前はメイン画面右上の［用語集］ボタンをクリックすると表示されます。

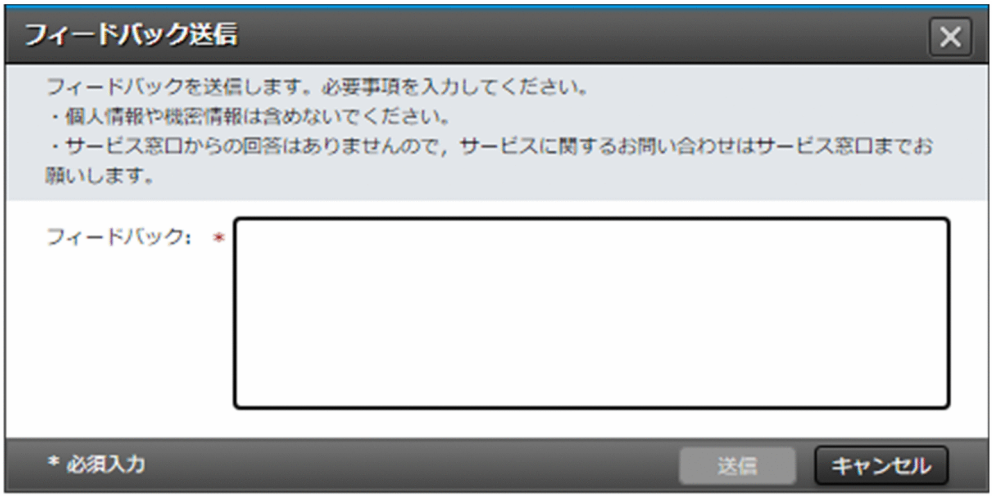
16.3　フィードバックの送信（V01-11 以降）

サービスに対する評価やメッセージといったフィードバックを送信できます。

フィードバックの送信は，メイン画面右上の［ヘルプ］から［フィードバック送信］ボタンをクリックすると起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し，［送信］ボタンをクリックしてください。

注意事項

- 送信する内容に，個人情報や機密情報は含めないでください。また，暴言や卑猥な表現等の公序良俗に反する内容，サービスや他人の名誉を毀損する内容や誹謗中傷する内容も含めないでください。
- 送信された内容は，サービスの改善に役立てさせていただきます。いただいた内容について，サービス窓口からの回答はありませんのでご注意ください。サービスに関するお問い合わせはサービス窓口までお願いします。



項目	説明	指定要否
フィードバック	サービスに対するフィードバックを入力します。 1～1024 文字の任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 　改行を除く制御文字および”’｀$”　’　‘	必須

16.4　一覧画面での共通機能について

以下に示す一覧画面で，共通して利用できる機能を以下に示します。

- メンテナンス一覧
- 提供ファイル一覧
- マネージャー一覧
- ルート一覧
- API キー一覧
- JP1 ユーザー一覧
- ホスト情報一覧
- hosts 情報一覧
- 実行エージェント一覧
- ログ一覧
- ユーザーファイル一覧
- タスク一覧
- ユーザー一覧
- チーム一覧
- 連携情報一覧
- 通知先情報一覧

機能	説明
一覧の表示項目のフィルタリング	1. フィルターのテキストボックスにキーワードを入力します。フィルターには 1〜64 文字の任意文字列（文字種チェックなし）を指定可能です。 2. Enter キーを押すか，虫眼鏡のボタンをクリックします。 3. ×印のボタンを押すと，フィルタリングが解除されます。 なお，フィルターは一覧の中の全項目が検索対象となり，フィルターに入力した文字列を含む行がフィルタリングされて表示されます。フィルターに入力した文字列の大文字／小文字は区別されず，AND 検索や OR 検索，正規表現による検索はできません。
特定のカラムでのソート	1. カラムの見出しをクリックします。 2. クリックするたびに昇順，降順が切り替わります。
最新の情報に更新	一覧の内容を最新の情報に更新します。

16.5　表示言語について

サービスポータルの表示言語は，Web ブラウザーの言語設定により次の通りに決定します。

Web ブラウザーの言語種別	サービスポータルの表示言語	備考
日本語(ja)	日本語	
英語(en)	英語	一部，未対応の画面があります。このため，日本語での利用を推奨します。
上記以外	日本語	

16.6　ユーザー環境情報の保存

ユーザー環境の情報として次の情報が，Web ブラウザー単位にデータ保存されます。

ユーザー環境のデータを削除する場合は，Web ブラウザーで履歴を削除してください。

項目	保存する単位
フィルター履歴	サービスポータルのユーザーごとに，画面単位に履歴情報を保存されます。
タスク画面にあるページバーの［行数/ページ］の選択値	サービスポータルのユーザーごとに保存されます。
接続ホストの切り替えで選択されたマネージャーホスト名	サービスポータルのユーザーごとに保存されます。

17 注意事項・制限事項

サービスポータルの注意事項・制限事項について説明します。

17.1　注意事項

17.1.1　一括操作時のタスク生成について

複数の対象を選択して一括操作した場合，1 件のタスクとして登録するのではなく，それぞれの操作対象ごとの操作を別々のタスクとして登録します。ただし，ログのエクスポートと JP1 ユーザーの操作（V02-10 以降），ホスト情報の操作（V02-30 以降），実行エージェントの操作（V02-30 以降），ユーザーファイルの削除（V02-40 以降）については 1 件のタスクとして登録します。各操作対象のステータスや実行状況はタスク一覧画面から確認してください。

17.1.2　タスクの実行について

システム負荷などの原因により，実行したタスクが長時間経過しても終了しない場合があります。この場合には，サービス窓口までお問い合わせください。

17.1.3　インターネット接続・利用時の通信エラーについて（V02-00 以降）

インターネットから接続して利用する際に，セキュリティ上の理由から各画面の入力値・指定値によっては操作時に通信エラー（通信のブロック）が発生することがあります。通信エラーが発生した場合には，入力値・指定値を変更して再度操作を行っていただくか，閉域（AWS Transit Gateway などによりサービスと接続されているネットワーク）から接続してご利用ください。繰り返しエラーが発生する場合には，サービス窓口までお問い合わせください。

17.2 制限事項

- 新規に作成したチームにユーザーを所属させる前に，チーム作成のタスクが完了していることを確認してください。タスクの完了前にユーザーを当該チームに所属させた場合，そのユーザーでのリソースの操作に失敗することがあります。この場合，他のチームに一度そのユーザーを移動させてから，再度作成したチームに所属させてください。
- 一度に 400 人以上のユーザーに対する操作を実行しないでください。タスクがエラーで終了することがあります。

18 サービスポータル（環境設定・確認画面）概要

サービスポータル（環境設定・確認画面）の概要について説明します。サービスポータルでは，サービス利用における定型作業を支援し，運用作業を効率化する機能を提供します。

18.1　利用可能な Web ブラウザーとワンタイムコード生成アプリケーション

サービスポータルをご利用可能な Web ブラウザーを以下に示します。

- Google Chrome
- Microsoft Edge

また，ご利用可能なワンタイムコード生成アプリケーションを以下に示します。ワンタイムコード生成アプリケーションは多要素認証のために必要になります。

- FreeOTP
- Microsoft Authenticator
- Google Authenticator

18.2 機能概要

サービスポータルで提供する機能の一覧を以下に示します。

カテゴリ	項目	機能	説明	備考
ユーザー管理	ユーザー認証	ログインとログアウト	不正なユーザーによるアクセスを防止するためにログイン認証を行います。	
		ログインユーザーの情報表示	ログインしているポータルのユーザーの情報を表示できます。	
		ログインユーザーのパスワード変更	ログインしているポータルのユーザーのパスワードを変更できます。	
テナント管理	JP1 Cloud Service テナント新規作成	テナント新規作成	新規サービス提供のワークフローを開始できます。	
		Transit Gateway 接続作業	お客様のネットワークと JP1 Cloud Service のネットワークとの接続作業を実施できます。	
		疎通作業	お客様のネットワークと JP1 Cloud Service のネットワーク間の疎通作業を実施できます。	
	構成情報	一覧表示	JP1 Cloud Service の構成情報を一覧で表示します。構築中・提供中のサービスの構成情報や構築ステータスが確認できます。	
	連携サービス	改良版請求・ダウンロード	契約メニューに基づく改良版情報の確認や改良版のダウンロードができます。	
その他	その他，共通	テーマ	テーマを変更できます。	
		言語	言語を設定できます。日本語のみ設定できます。	
		通知	サービスポータルからの通知が確認できます。	
		個人	ログイン中のユーザーについて確認ができます。	

18.3　利用方法の概要

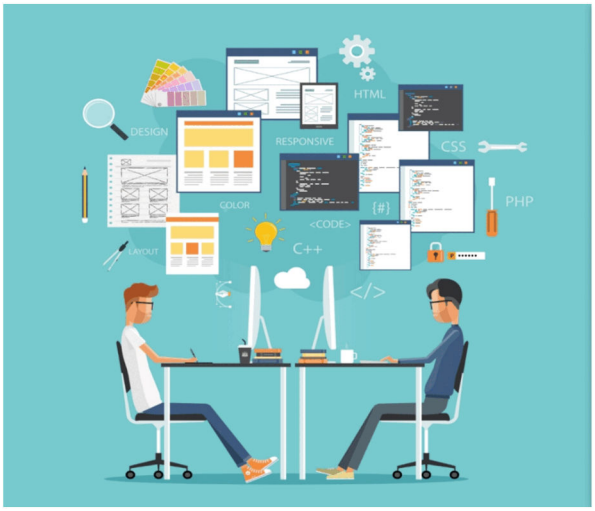
サービスポータルの利用方法の概要について説明します。

18.3.1　サービスポータルへのログイン

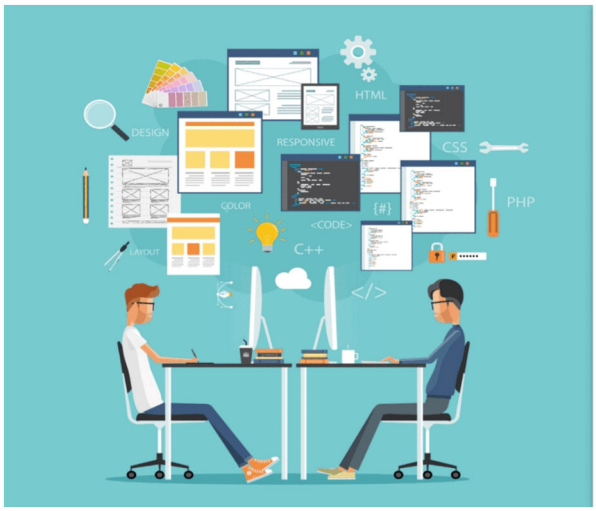
初回ログインの場合は，「noreply.opsi@itg.hitachi.co.jp」から届くパスワード設定メールに記載されたURL をクリックし，画面の指示に従ってワンタイムコードとパスワードを設定します。

2 回目以降のログインの場合は，Web ブラウザーでサービスポータルのログイン URL を開き，「ユーザー名またはメールアドレス」と「パスワード」を入力後に，ワンタイムコードを入力してログインしてください。

サービスポータルのログイン URL は，サービスポータルのサービス提供時に送られる，接続情報でご確認ください。









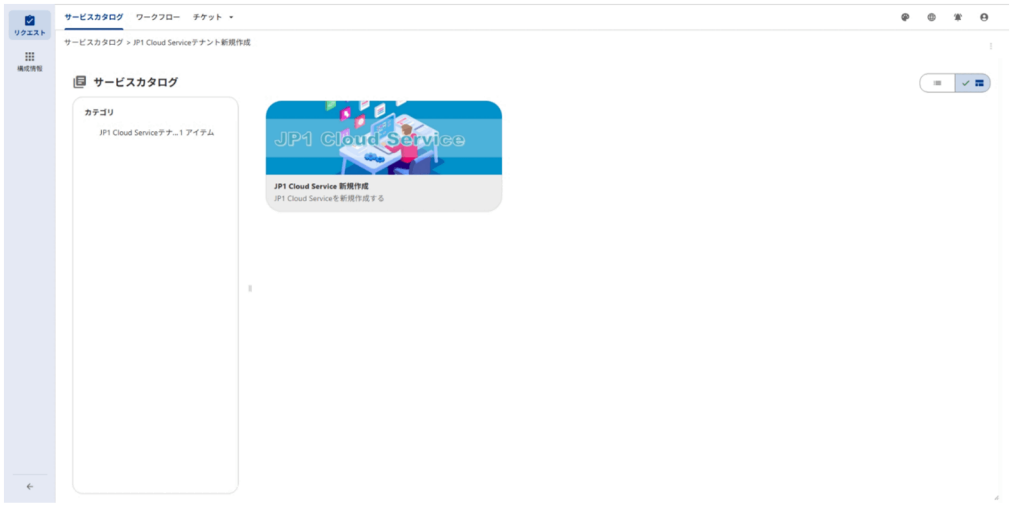
補足事項

- 初回ログイン時のパスワード設定メールには有効期限が設定してあります。有効期限が切れた場合はご利用環境情報に記載のログイン URL を開き「パスワードをお忘れですか？」を押下してください。「ユーザー名またはメールアドレス」を入力して「送信」ボタンを押下するとパスワードリセットメールが送信されます。メールに記載された URL をクリックし，画面の指示に従ってワンタイムコードとパスワードを設定してください。
- 機種変更などによりアプリケーション認証のリセットが必要な場合には，サービス窓口までお問い合わせください。サービス側でリセット処理を実施します。Web ブラウザーでサービスポータルのログイン URL を開き，メールアドレスもしくはユーザー ID とパスワードを入力後に，画面の指示に従いワンタイムコードを設定してください。
- 1 秒以内に 2 回以上パスワードを間違えた場合，アカウントが 1 分間ロックされます。
- パスワードを 10 回以上連続で間違えるとアカウントが無効化されます。この場合はサービス窓口までお問い合わせください。

18.3.2　JP1 Cloud Service テナント新規作成

JP1 Cloud Service のテナント新規作成のリクエストができます。リクエストを実施すると，JP1 Cloud Service 新規作成時に必要な AWS Transit Gateway の共有や疎通確認などの作業を実施するワークフローが開始されます。

画面左部の［リクエスト］タブから［リクエスト］画面に移動し，［サービスカタログ］タブの［JP1 Cloud Service 新規作成］から，JP1 Cloud Service 新規作成のリクエストができます。



JP1 Cloud Service テナント新規作成の詳細は，「20. JP1 Cloud Service テナント新規作成」を参照してください。

18.3.3　構成情報の表示

JP1 Cloud Service の構成情報を表示します。JP1 Cloud Service で提供するマネージャーのホスト名や URL などの情報を確認することができます。

画面左部の［構成情報］タブから，構成情報を確認することができます。



構成情報の詳細は，「21.1 構成情報一覧」を参照してください。

18.3.4　連携サービスの表示

JP1 Cloud Service の契約メニューに紐づく改良版情報の確認や改良版のダウンロードができます。

画面左部の［連携サービス］タブから，確認することができます。



連携サービスの詳細は，「22.1 改良版請求・ダウンロード一覧」を参照してください。

19 ユーザー認証

サービスポータルのユーザー認証について説明します。

19.1　ログインとログアウト

19.1.1　ログイン手順

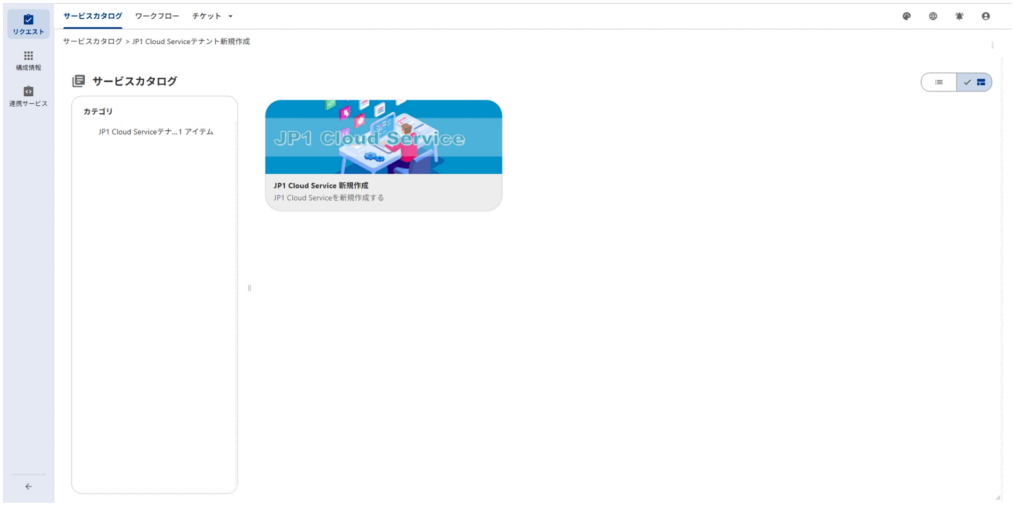
ログインする手順を次に示します。

【初回ログインの場合】

1. 「noreply.opsi@itg.hitachi.co.jp」から届くパスワード設定メールに記載された URL をクリックします。
2. ログイン画面が表示されるので，「>> 続行するにはここをクリックしてください」をクリックします。
3. モバイル・オーセンティケーターのセットアップ画面が表示されるので，モバイル端末でバーコード（QR コード）を読み取り，ワンタイムコードを生成します。生成されたワンタイムコードを入力して［送信］ボタンをクリックします。
4. パスワード設定画面が表示されるので，パスワードを設定します。
5. ログインに成功するとメイン画面が表示されます。

【2 回目以降のログインの場合】

1. Web ブラウザーを起動して，サービスポータルの URL にアクセスします。
2. ログイン画面が表示されるので，「ユーザー名またはメールアドレス」および「パスワード」入力し，ログインをクリックします。
3. ワンタイムコード入力画面が表示されるので，「ワンタイムコード」を入力してください。
4. ログインに成功するとメイン画面が表示されます。



メイン画面の構成を以下に示します。

画面	説明	備考
共通	画面右上部で共通的な以下の機能を提供します。	

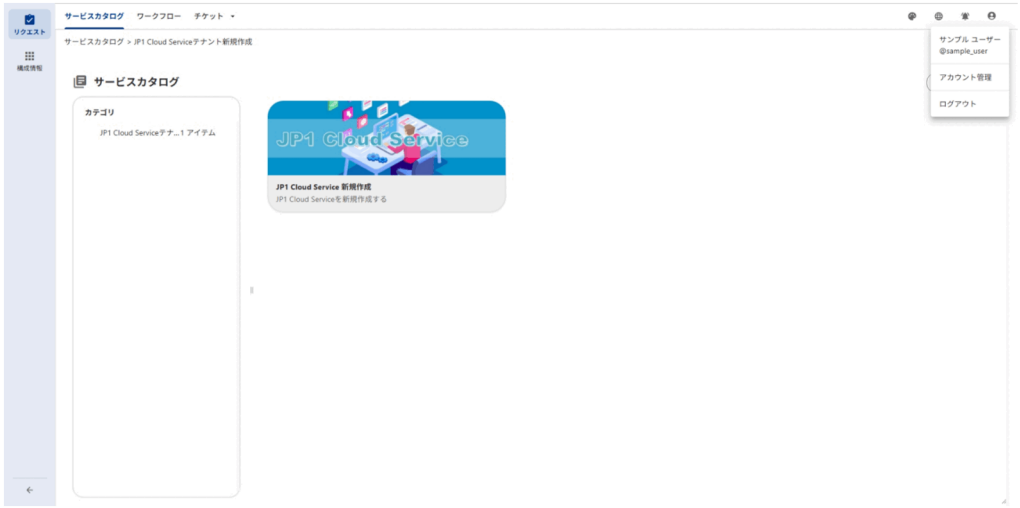
画面	説明	備考
共通	• 画面テーマの変更（[テーマ］ボタン） • 表示言語の変更（[言語］ボタン） • 通知の表示（[通知］ボタン） • アカウントの設定（[個人］ボタン）	
リクエスト	JP1 Cloud Service へのリクエストとして以下の機能を提供します。 • JP1 Cloud Service テナント新規作成	
構成情報	JP1 Cloud Service の構成情報を表示します。	
連携サービス	契約メニュー種別に紐づく改良版情報の確認や改良版のダウンロードができます。	

19.1.2　ログアウト手順

ログアウトする場合は，メイン画面の右上の［個人］ボタンをクリック後に［ログアウト］ボタンをクリックします。ログアウトすると，ログアウト画面が表示されます。

19.2　ログインユーザーの情報表示

画面右上の［個人］ボタンをクリックすると，登録されている氏名とユーザー名（先頭に@が付いたもの）が表示されます。



補足事項

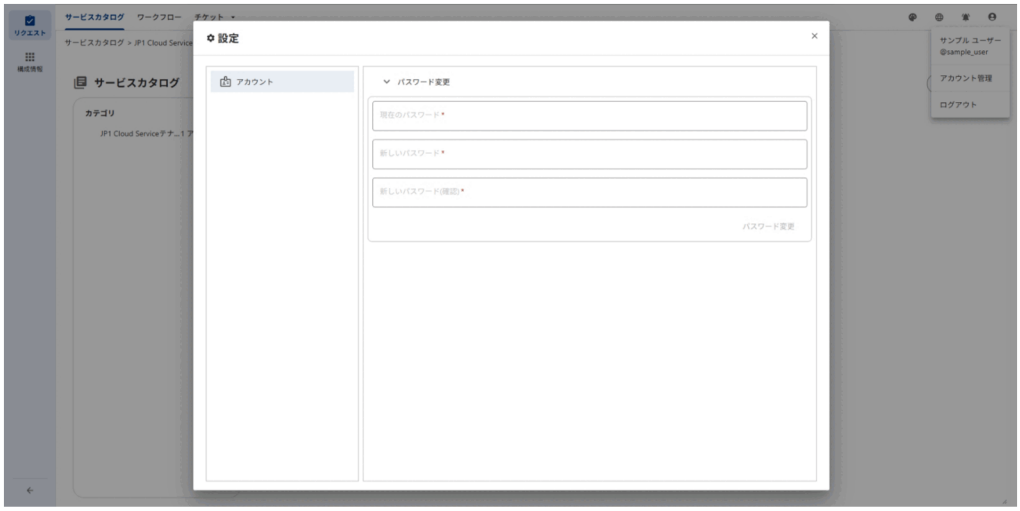
- 登録されている氏名とユーザー名はサービス側で任意の値に設定され，変更することができません。また，実際の氏名とは異なる値で設定されます。

19.3　ログインユーザーのパスワード変更

画面右上の［個人］ボタンから［アカウント管理］をクリックすると，ログインしているユーザーのパスワード変更ができます。パスワードには以下の文字を使用できます。

- 半角英数字（a～z A～Z 0～9）
- 半角の特殊文字（ !”#$%&’()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~）

パスワードは 12 文字以上で小文字，大文字，数字および特殊文字をそれぞれ少なくとも 1 文字以上含める必要があります。また，過去 4 回と同じパスワードを設定することはできません。

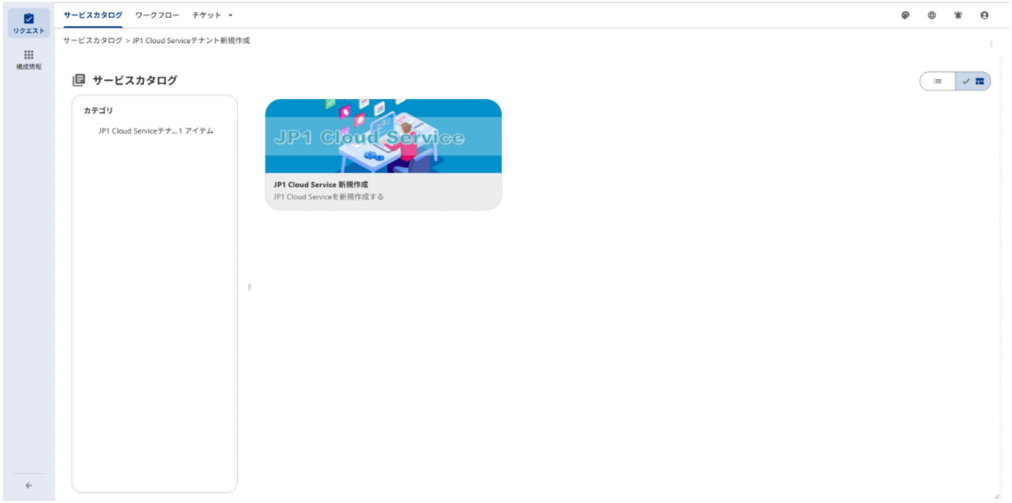


20 JP1 Cloud Service テナント新規作成

テナント新規作成のメニューで提供する機能について説明します。

20.1　テナント新規作成の開始

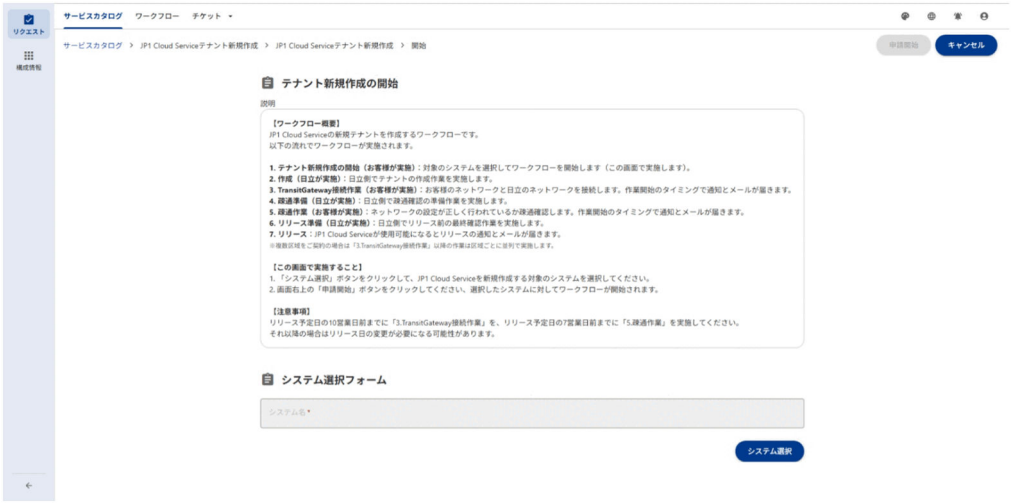
1. ［リクエスト］－［サービスカタログ］を選択します。［JP1 Cloud Service 新規作成］を選択します。

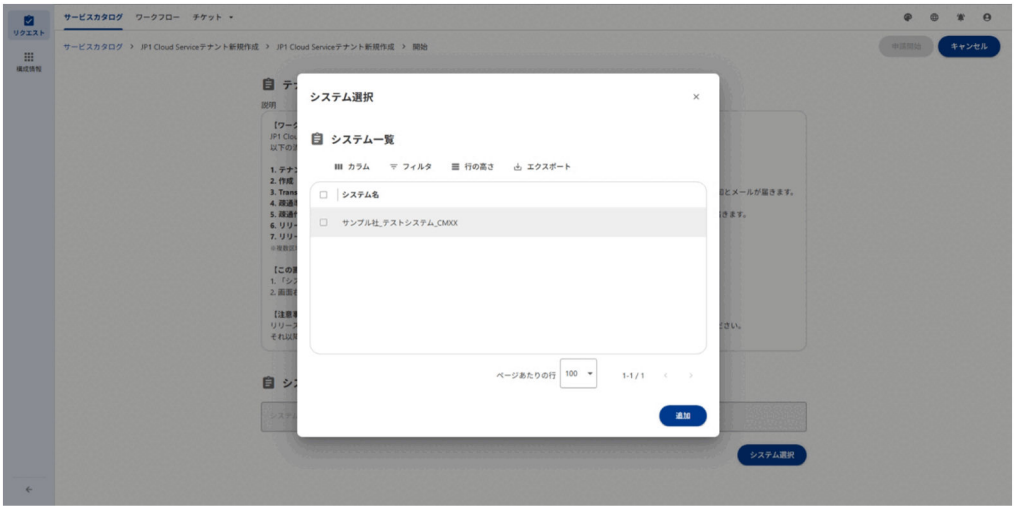


2. ガイダンス画面が表示されます。「システム選択」ボタンを押下し，システム一覧から新規作成の対象システムを選択して，画面右上の［申請開始］を選択します。選択対象は「法人名又は団体名※1_システム名※1_識別子※2」の形式で表示されます。

   注※1　ヒアリングシートに記載頂いた内容で表示されます。試用版の場合はシステム名に「試用版」と表示されます。

   注※2　サービスにより決定された一意の識別子が表示されます。



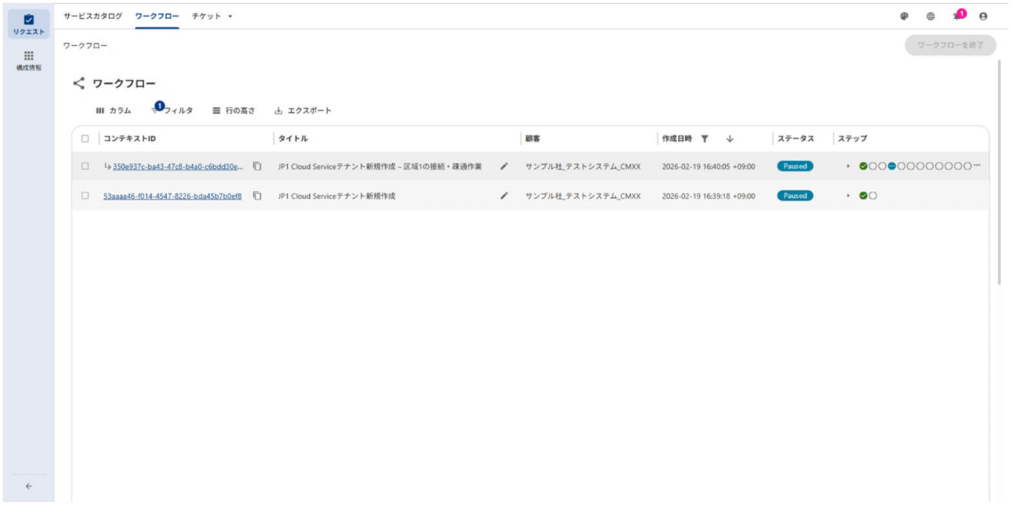


3. JP1 Cloud Service 新規作成のワークフローが開始します。サービス側で JP1 Cloud Service 作成作業が実施されます。サービス側の作業が完了するまで数営業日ほどお待ちください。次の Transit Gateway 接続作業の開始タイミングになりましたら，システムに紐づけられたお客様，パートナー様のユーザー全員宛てに通知とメールが送信されます。通知が届いたらお客様にて後続作業を実施してください。以降の作業は区域ごとに実施が必要となります，複数の区域をご契約の場合はそれぞれの区域で作業を実施してください。

20.2　Transit Gateway 接続作業

1. ［リクエスト］－［ワークフロー］から，対象のコンテキスト ID を選択します。対象のワークフローはタイトルが「JP1 Cloud Service テナント新規作成 - 区域 n※の接続・疎通作業」，顧客がガイダンス画面で選択した値となっているものになります。

   注※　「n」には区域番号が入ります。



2. ネットワーク接続にサービスの Transit Gateway を使用する場合とお客様の Transit Gateway を使用する場合で作業が分岐します。

   サービスの Transit Gateway を使用する場合は「20.2.1 サービスの Transit Gateway を使用する場合」，お客様の Transit Gateway を使用する場合は「20.2.2 お客様の Transit Gateway を使用する場合」を参照してください。

3. 一般版かつ災対環境・大阪リージョンありの構成の場合は，再度［リクエスト］－［ワークフロー］から，同じコンテキスト ID を選択し，災対環境・大阪リージョン側の Transit Gateway 接続作業を実施します。それ以外の場合は，次に進みます。

4. サービス側で後続作業が実施されます，サービス側の作業が完了するまで数営業日ほどお待ちください。次の疎通作業の開始タイミングになりましたら，システムに紐づけられたお客様，パートナー様のユーザー全員宛てに通知とメールが送信されます。通知が届いたらお客様にて後続作業を実施してください。

20.2.1　サービスの Transit Gateway を使用する場合

1. Transit Gateway 接続作業（サービスの Transit Gateway を使用する場合）画面が表示されます。



画面の「1. Transit Gateway 共有の承認」表示に従い，サービスの Transit Gateway のリソース共有を AWS にて承認してください。AWS でリソース共有を承認後に，「承認完了」ボタンを押下してください。サービス側でリソースの状態が確認されます。

Transit Gateway のリソース共有は 1 週間で自動的に取り消されます。サービスのリソース共有が取り消された場合は「TGW 再共有」ボタンを押下すると，再度 Transit Gateway のリソース共有が実施されます。

2. 画面の「2. TGW アタッチメントの共有」表示に従い，お客様環境の AWS にて Transit Gateway アタッチメントをサービスに共有してください。共有は自動で承認されます。リソースを共有後に，「共有完了」ボタンを押下してください。お客様の実施した Transit Gateway アタッチメント共有が，サービス側で承認されているか状態が確認されます。確認に成功すると「次へ」ボタンが押下可能になります。

3. 画面の「3. VPC ルートテーブルの設定」表示に従い，お客様環境の AWS にて VPC ルートテーブルを設定してください。設定が完了したら画面右上の「次へ」ボタンを押下してください。
   災対環境・大阪リージョンありの構成の場合はダイアログが表示されます。「OK」ボタンを押下後，「20.2 Transit Gateway 接続作業」の項番 3.の手順にて災対環境・大阪リージョン側の作業を実施してください。

20.2.2　お客様の Transit Gateway を使用する場合

1. Transit Gateway 接続作業（お客様の Transit Gateway を使用する場合）画面が表示されます。



画面の「1. Transit Gateway の共有」表示に従い，お客様環境の AWS にて Transit Gateway をサービスに共有してください。リソースを共有後に，「TGW リソース共有名」，「所有者 ID」を入力して「共有完了」ボタンを押下してください。サービス側でリソースの状態が確認されます。

2. 画面の「2. サービス側 Transit Gateway アタッチメントの作成・共有」表示に従い，「TGW の ID」を入力して「作成開始」ボタンを押下してください。お客様が共有した Transit Gateway にサービス側のアタッチメントが作成，共有されます。完了まで 4 分ほど時間がかかります。

3. 画面の「3. Transit Gateway アタッチメント共有の承認」表示に従い，サービス側の Transit Gateway アタッチメントのリソース共有を AWS にて承認してください。AWS でリソース共有を承認後に，「承認完了」ボタンを押下してください。サービス側でリソースの状態が確認されます。確認に成功すると「次へ」ボタンが押下可能になります。

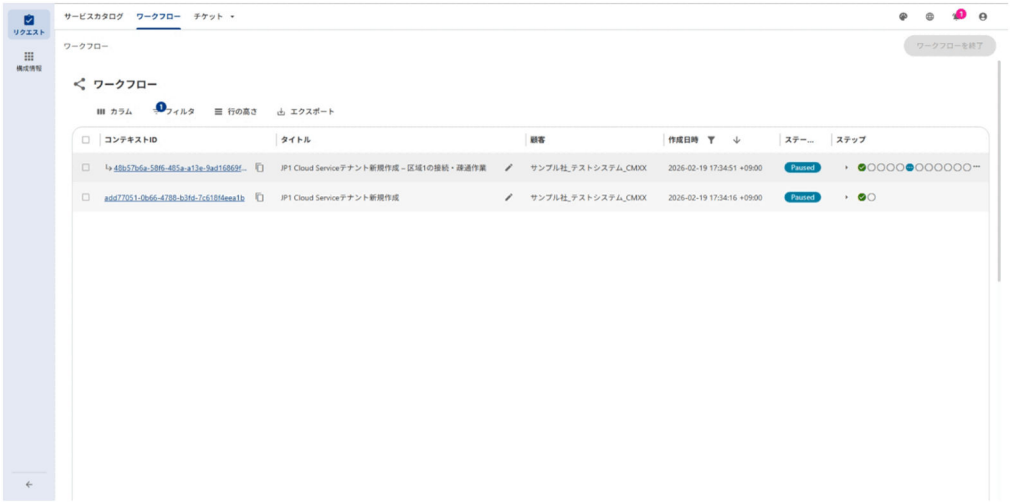
4. 画面の「4. VPC ルートテーブルの設定」表示に従い，お客様環境の AWS にて TGW ルートテーブルと VPC ルートテーブルを設定してください。設定が完了したら画面右上の「次へ」ボタンを押下してください。

   災対環境・大阪リージョンありの構成の場合はダイアログが表示されます。「OK」ボタンを押下後，「20.2 Transit Gateway 接続作業」の項番 3.の手順にて災対環境・大阪リージョン側の作業を実施してください。

20.3　疎通作業

1. ［リクエスト］－［ワークフロー］から，対象のコンテキスト ID を選択します。対象のワークフローはタイトルが「JP1 Cloud Service テナント新規作成 - 区域 n※の接続・疎通作業」，顧客がガイダンス画面で選択した値となっているものになります。

   注※　n には区域番号が入ります。



2. 疎通確認画面が表示されます。画面の「1. 疎通作業画面（お客様→サービス）」表示に従い，お客様ネットワーク→JP1 Cloud Service 向きの疎通確認を実施し，成功したら疎通確認完了を選択してください。次に「2. 疎通作業画面（サービス→お客様）」表示に従い，JP1 Cloud Service→お客様ネットワーク向きの疎通実施のため，契約した JP1 マネージャーごとに「Agent マシンの IP アドレス」を入力し，「疎通開始」ボタンを押下してください。サービス側で疎通確認が実施されます。「疎通確認完了」が選択されているかつ，すべての JP1 マネージャーで「疎通開始」ボタンの押下による疎通が成功すると「次へ」ボタンが押下可能になるので，押下します。

   エンタープライズ構成をご契約されている，または災対環境・大阪リージョンありの構成の場合はダイアログが表示されます。「OK」ボタンを押下後，東京リージョンのエンタープライス構成をご契約されている場合は項番 3.の手順にて待機系の疎通作業を，災対環境・大阪リージョンありの構成の場合は項番 4.の手順にて災対環境・大阪リージョン側の疎通作業を，大阪リージョンのエンタープライズ構成をご契約されている場合は項番 5.の手順にて災対環境・大阪リージョン側の待機系の疎通作業を，それぞれ実施してください。



3. 東京リージョンでエンタープライズ構成をご契約されている場合は，待機系の疎通確認作業を実施する必要があります。項番 2.手順が完了後に，サービス側で系切り替えを実施します。切り替えには 10 分ほど時間がかかります。切り替え完了後，システムに紐づけられたお客様，パートナー様のユーザー全

員宛てに通知が送信されます。通知が届いたら再度［リクエスト］−［ワークフロー］から，同じコンテキスト ID を選択し，待機系の疎通確認作業を実施します。

それ以外の場合は，次に進みます。

4. 災対環境・大阪リージョンありの構成の場合は，再度［リクエスト］−［ワークフロー］から，同じコンテキスト ID を選択し，災対環境・大阪リージョン側の疎通確認作業を実施します。

   それ以外の場合は，手順 6.に進みます。

5. 監視二重化の構成で，大阪リージョンでエンタープライズ構成をご契約されている場合は，待機系の疎通確認作業を実施する必要があります。項番 4.手順が完了後に，サービス側で系切り替えを実施します。切り替えには 10 分ほど時間がかかります。切り替え完了後，システムに紐づけられたお客様，パートナー様のユーザー全員宛てに通知が送信されます。通知が届いたら再度［リクエスト］−［ワークフロー］から，同じコンテキスト ID を選択し，災対環境・大阪リージョン側の待機系の疎通確認作業を実施します。

   それ以外の場合は，次に進みます。

6. サービス側で後続作業が実施されます。サービス側の作業が完了するまで数営業日ほどお待ちください。JP1 Cloud Service が利用可能になりましたら，システムに紐づけられたお客様，パートナー様のユーザー全員宛てに通知とメールが送信されます。通知が届き次第，JP1 Cloud Service を利用していただけます。

21 構成情報

構成情報のメニューで提供する機能について説明します。

21.1　構成情報一覧

［構成情報］を選択すると，構成情報一覧画面が表示されます。



21.1.1　一覧表示

JP1 Cloud Service で提供済みテナントの一覧情報を表示できます。ご契約区域ごとに行が分かれて表示されます。ご契約の情報が無い項目は「-」が表示されます。画面右上の「更新」ボタンを押下すると表示データが最新のものに更新されます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。初期状態では初期表示が〇の項目のみが表示されます。表示する項目は一覧の左上に表示される「カラム」ボタンから変更できます。

項目	説明	初期表示	備考
法人名又は団体名	ヒアリングシートにご記入いただいた法人名又は団体名が表示されます。	〇	
システム名	ヒアリングシートにご記入いただいたシステム名が表示されます。	〇	
販売パートナー様名	ヒアリングシートにご記入いただいた販売パートナー様名が表示されます。	〇	
バージョン	JP1 Cloud Service のバージョンが表示されます。	〇	
区域名称	ヒアリングシートにご記入いただいた区域名称が表示されます。	〇	
リージョン	サービスのリージョンが「東京」または「大阪」で表示されます。	〇	
サービスポータルバージョン	JP1 Cloud Service のサービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）のバージョンが表示されます。	×	

項目	説明	初期表示	備考
サービスポータル内部 URL	内部ネットワーク経由でサービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）に接続するための URL が表示されます。	○	
サービスポータルインターネット URL	インターネット経由でサービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）に接続するための URL が表示されます。	×	
サービスポータル初回提供ユーザー ID	サービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）にログインするための初回提供ユーザー ID が表示されます。初期パスワードについてはご利用環境情報をご確認ください。	×	
サービスポータル論理 IP アドレス	サービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）の論理 IP アドレスが表示されます。	×	
ジョブ管理バージョン	JP1 Cloud Service のジョブ管理のバージョンが表示されます。	×	
ジョブ管理 JP1/AJS バージョン	ジョブ管理マネージャーの JP1/AJS のバージョンが表示されます。	×	
ジョブ管理メニュー	ジョブ管理のご契約されたメニューが表示されます。	○	
ジョブ管理マネージャー接続ホスト	内部ネットワーク経由でジョブ管理マネージャーに接続するためのホスト名が表示されます。	○	
ジョブ管理マネージャーインターネット URL	インターネット経由でジョブ管理マネージャーに接続するための URL が表示されます。	×	
ジョブ管理マネージャー論理ホスト名	ジョブ管理マネージャーの論理ホスト名が表示されます。	×	
ジョブ管理マネージャー論理 IP アドレス	ジョブ管理マネージャーの論理 IP アドレスが表示されます。	×	
ジョブ管理マネージャーサブ機能用 IP アドレス	ジョブ管理マネージャーのサブ機能用の IP アドレスが表示されます。ジョブ管理マネージャーから外部のサービスにアクセスする場合にこちらのアドレスが送信元となる場合があります。災対切替・切り戻しをされた場合（訓練を含む）は値の更新に時間がかかる場合があります。	×	
システム管理バージョン	JP1 Cloud Service のシステム管理のバージョンが表示されます。	×	
システム管理 JP1/IM バージョン	システム管理マネージャーの JP1/IM のバージョンが表示されます	×	
システム管理メニュー	システム管理のご契約されたメニューが表示されます。	○	
システム管理マネージャー接続ホスト	内部ネットワーク経由でシステム管理マネージャーに接続するためのホスト名が表示されます。	○	
システム管理マネージャーインターネット URL	インターネット経由でシステム管理マネージャーに接続するための URL が表示されます。	×	
システム管理マネージャー論理ホスト名	システム管理マネージャーの論理ホスト名が表示されます。	×	

項目	説明	初期表示	備考
システム管理マネージャー論理 IP アドレス	システム管理マネージャーの論理 IP アドレスが表示されます。	×	
システム管理マネージャーサブ機能用 IP アドレス	システム管理マネージャーのサブ機能用の IP アドレスが表示されます。システム管理マネージャーから外部のサービスにアクセスする場合にこちらのアドレスが送信元となる場合があります。	×	
システム管理 JP1/IM バージョン（監視二重化）	システム管理マネージャー（監視二重化）の JP1/IM のバージョンが表示されます。	×	
システム管理メニュー（監視二重化）	システム管理（監視二重化）のご契約されたメニューが表示されます。	×	
システム管理マネージャー接続ホスト（監視二重化）	内部ネットワーク経由でシステム管理マネージャー（監視二重化）に接続するためのホスト名が表示されます。	×	
システム管理マネージャーインターネット URL（監視二重化）	インターネット経由でシステム管理マネージャー（監視二重化）に接続するための URL が表示されます。	×	
システム管理マネージャー論理ホスト名（監視二重化）	システム管理マネージャー（監視二重化）の論理ホスト名が表示されます。	×	
システム管理マネージャー論理 IP アドレス（監視二重化）	システム管理マネージャー（監視二重化）の論理 IP アドレスが表示されます。	×	
システム管理マネージャーサブ機能用 IP アドレス（監視二重化）	システム管理マネージャー（監視二重化）のサブ機能用の IP アドレスが表示されます。システム管理マネージャー（監視二重化）から外部のサービスにアクセスする場合にこちらのアドレスが送信元となる場合があります。	×	
マネージャー環境の IP 範囲	お客様向けのマネージャー環境として使用する環境の IP アドレス範囲を表示します。表示される IP アドレスの範囲は使用しないでください。	×	
ステータス	作成ステータスを「作成中」,「接続待ち」,「疎通準備中」,「疎通待ち」,「リリース準備中」,「作成完了」で表示します。	○	

22 連携サービス

連携サービスのメニューで提供する機能について説明します。

22.1　改良版請求・ダウンロード一覧

［連携サービス］を選択すると，改良版請求・ダウンロード画面が表示されます。



22.1.1　改良版請求・ダウンロード

契約メニュー種別に紐づく改良版情報の確認や改良版のダウンロードができます。

［システム名選択］プルダウンから確認したい対象システム名を選択します。選択対象は「法人名又は団体名※1_システム名※1_識別子※2」の形式で表示されます。選択した対象の契約内容に応じて改良版請求・ダウンロードのリンクが有効化されます。

改良版請求・ダウンロードのリンクをクリックすると，改良版請求サイトが開かれます。改良版請求サイトでは，エージェント等の改良版情報（技術情報，製品リリース情報，エンハンス内容）の確認と媒体のダウンロードが可能です。

改良版請求サイトへはインターネット経由でのアクセスになります。また，改良版請求サイトの画面を閉じる場合は［ログアウト］ボタンからログアウトしてください。

注※1

ヒアリングシートに記載頂いた内容で表示されます。試用版の場合はシステム名に「試用版」と表示されます。

注※2

サービスにより決定された一意の識別子が表示されます。

注意事項

- 「20.1 テナント新規作成の開始」を実行後にサービス側でテナントのリソース作成が完了するまでは，本機能はご利用いただけません。
- 構成変更をされた場合，サービス側で反映作業を実施するまではリンクが有効化されません。

23 その他，共通

サービスポータルのその他の共通機能について説明します。

23.1　テーマ

画面のテーマを「Light - Blue」，「Light - Green」，「Light - Purple」から選択できます。

23.2　言語

表示言語を変更できます。「日本語」と「English」が選択できますが，日本語のみサポートします。

23.3　通知

サービスからの通知が表示されます。



23.4　個人

アカウント情報の表示，パスワードの変更，ログアウトが実施できます。パスワード変更の詳細は「19.3 ログインユーザーのパスワード変更」を，ログアウトの詳細は「19.1.2 ログアウト手順」を参照してください。

23.5　一覧画面での共通機能について

以下に示す一覧画面で，共通して利用できる機能を以下に示します。

- ワークフロー一覧
- 構成情報一覧

機能	説明
カラムの表示，非表示設定	カラムボタンをクリックして，表示したいカラムのスライドボタンを ON にすると，カラムが表示されます。
一覧の表示項目のフィルタリング	フィルタボタンから，フィルタ値と条件（含む，等しいなど）を指定することで，表示項目をフィルタリングできます。
行の高さの設定	行の高さボタンから，行の高さを選択できます。
エクスポート	エクスポートボタンから，一覧表示される情報を CSV でダウンロード，または印刷ができます。
特定のカラムでのソート，ピン留め	タイトルバーの三点リーダーから，カラムの昇順／降順ソートとカラムを左／右側にピン留めができます。

24 注意事項・制限事項

サービスポータルの注意事項・制限事項について説明します。

24.1　注意事項

24.1.1　JP1 Cloud Service テナント作成のタイミングについて

サービス利用開始希望日の 10 営業日前までに Transit Gateway 接続作業を，7 営業日前までに疎通作業を実施してください。それ以降の実施の場合，サービス利用開始日の変更が必要になる可能性があります。

24.2　制限事項

- 表示言語は「日本語」と「English」が選択できますが，日本語のみサポートします。
- お客様の Azure 環境，Google Cloud 環境，OCI 環境と接続される場合は，「20. JP1 Cloud Service テナント新規作成」を実施しないでください。
- 「20.1 テナント新規作成の開始」で同じシステムを選択して複数回実行しないでください。

付録

付録 A　設定パラメータ・ツール

付録 A.1　設定パラメータシート

JP1 の設定パラメータシートには次のような特長があります。

- 設定パラメータシートの作成工数の軽減
  品質が保証された JP1 の設定パラメータシートをお客様が利用することで，パラメータシートを作成する工数を抑えられます。
- 設定パラメータの変更内容の管理
  設定パラメータシートの「変更履歴」でパラメータの追加・削除，値の変更などを管理しています。
  システム更改時には「変更履歴」を基にパラメータを見直したりドキュメントを作成したりすることで，作業工数を削減できます。
- 設定パラメータの絞り込み（一部の製品のみ）
  一部の製品の設定パラメータシートには，項目を絞り込むための「Function select」シートがあり，利用したい項目を選択すると必要な設定パラメータが選択表示されます。必要な項目を絞り込むことによって，構築にかかる工数を削減できます。
- パラメータ設定の自動化，収集および差分比較（一部の製品のみ）
  「JP1 パラメータユーティリティ」を利用することで，製品がインストール済みの環境に設定パラメータシートの情報を適用したり，設定済みのパラメータ情報を Excel 形式のファイルに収集したりできます。
  また，設定値との差分の有無も確認できます。

設定パラメータシートをダウンロードのうえ，パラメータシート（定数設計書）作成時の補助資料としてご活用ください。

(1)　Base コンポーネント（JP1/Base）設定パラメータシート

Base コンポーネントの「設定パラメータシート」と，JP1 パラメータ設定ツールを実行するために必要な「JP1 パラメータ設定ツールプラグイン」について説明します。

Base コンポーネントの設定パラメータシートには，標準版と拡張版があります。用途に応じてご使用ください。

利用用途による設定パラメータシートの選び方について説明します。

設定パラメータシートで定義の設定を行い，手動で定義ファイルを作成する場合，標準版をご使用ください。

設定パラメータシートで定義の設定を行い，JP1 パラメータ設定ツールで一括定義を行う場合，各定義ファイルの繰り返し（複数）定義できる数に上限があります。以下の上限数の違いから選択してください。

各定義ファイル	繰り返し定義の上限数	
	標準版	拡張版
転送設定ファイル ログファイルトラップ動作定義ファイル イベントログトラップ動作定義ファイル	100 回分	100 回分
上記以外の定義ファイル	10 回分	100 回分

拡張版を選択した場合の注意事項

繰り返し定義の上限数が多い分だけ設定する行が増えるのでファイルサイズが大きくなります。そのため，Excel ファイルを開く時間が標準版よりも 5 倍程度遅くなることをご承知ください。

使用上の注意事項

- 設定パラメータシート及び JP1 パラメータ設定ツールを使用する場合は，必ず設定パラメータシートの JSSMT Usage シートにあります注意事項をご確認の上，ご使用ください。
- 設定パラメータシート及び JP1 パラメータ収集ツールを使用する場合は，必ず設定パラメータシートの JPACT Usage シートにあります注意事項をご確認の上，ご使用ください。
- 資料を加工してご使用いただいてもかまいませんが，成果物は利用者の責任の下でご使用ください。
- 利用者が加工された成果物に対して，日立製作所では責任を負いかねます。
- 実際のシステム構築時には，必ず製品のマニュアルやリリースノートなど，最新の製品資料も併せてご確認ください。
- 資料は，予告無く変更される場合があります。
- 絞り込みシートを正常に動作させるために「シートの保護」が設定されている場合がありますが，必要に応じてシートの保護を解除してください（パスワードは設定されていません）。ただし，シートの保護を解除した場合，絞り込み機能の動作は保証できかねますので，ご了承ください。

(2) JP1/AJS3 設定パラメータシート

JP1/AJS3 の「設定パラメータシート」について説明します。

使用上の注意事項

- 資料を加工してご使用いただいてもかまいませんが，成果物は利用者の責任の下でご使用ください。
- 利用者が加工された成果物に対して，日立製作所では責任を負いかねます。
- 実際のシステム構築時には，必ず製品のマニュアルやリリースノートなど，最新の製品資料も併せてご確認ください。
- 資料は，予告無く変更される場合があります。
- 絞り込みシートを正常に動作させるために「シートの保護」が設定されている場合がありますが，必要に応じてシートの保護を解除してください（パスワードは設定されていません）。ただし，シートの保護を解除した場合，絞り込み機能の動作は保証できかねますので，ご了承ください。

(3)　JP1/IM 設定パラメータシート

JP1/IM の「設定パラメータシート」について説明します。

使用上の注意事項

- 資料を加工してご使用いただいてもかまいませんが，成果物は利用者の責任の下でご使用ください。
- 利用者が加工された成果物に対して，日立製作所では責任を負いかねます。
- 実際のシステム構築時には，必ず製品のマニュアルやリリースノートなど，最新の製品資料も併せてご確認ください。
- 資料は，予告無く変更される場合があります。
- 絞り込みシートを正常に動作させるために「シートの保護」が設定されている場合がありますが，必要に応じてシートの保護を解除してください（パスワードは設定されていません）。ただし，シートの保護を解除した場合，絞り込み機能の動作は保証できかねますので，ご了承ください。

付録 A.2　JP1 パラメータユーティリティ

設定作業をサポートするためのツールを提供します（対応製品：JP1/Base）。

- JP1 パラメータ設定ツール
- JP1 パラメータ収集ツール

(1)　JP1 パラメータ設定ツール

このツールを実行すると，入力済みの「設定パラメータシート」から「JP1 設定スクリプト」（設定値を製品に設定するための設定ファイルや，設定するためのコマンドを記述したファイル）を作成できます。

前提条件を以下に示します。

前提 OS	前提ソフトウェア	メモリ所要量
Windows Server 2008 R2 SP1（x64） Windows Server 2012 R2（x64） Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 Windows 7 SP1（x64） Windows 8.1（x64） Windows 10（x64） Windows 11（x64）	Java SE Runtime Environment 8u51 以降	1GiB（標準） 2GiB※ 注※ JP1/Base 設定パラメータシートの拡張版を使用する場合

下記の使用上のご注意をお読みの上，JP1 パラメータ設定ツールをダウンロードしてください。

使用上のご注意

- ご使用前に，同梱されている「取扱説明書」を必ずお読みください。本書および本ツールは改良のため，予告なしに変更されることがあります。
- ツールの実行には，設定値が入力された設定パラメータシートと，それに対応する JP1 パラメータ設定ツールプラグインが必要です（プラグインは，ツール実行前に所定のディレクトリに格納してください）。
- ツールで作成されたスクリプトは各製品のサポートプラットフォームで実行できます。
- 本ツールは Microsoft Excel ファイルを使用しますが，ツール実行の前提としては Microsoft Excel のインストールは不要です。

対応製品は，JP1/Base の V11-10 以降および V12-00 以降，Base コンポーネントの V13-00 以降です。

(2) JP1 パラメータ収集ツール

このツールを実行すると，既存システムの設定値を設定パラメータシートに取り込めます。SI 作業の基本である「設定パラメータシート（設計書）の内容を確実にシステムに反映させる」運用全体をサポートします。

ぜひ JP1 パラメータ設定ツールと併せてご利用ください。

前提条件を以下に示します。

前提 OS	前提ソフトウェア	メモリ所要量
Windows Server 2008 R2（64bit 版のみ） Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 Windows 7（64bit 版のみ） Windows 8.1（64bit 版のみ） Windows 10（64bit 版のみ） Windows 11（x64）	Java SE Runtime Environment 8u51 以降	2GiB（標準） 4GiB※ 注※ JP1/Base 設定パラメータシートの拡張版を使用する場合

下記の使用上のご注意をお読みの上，JP1 パラメータ収集ツールをダウンロードしてください。

使用上のご注意

- ご使用前に，同梱されている「取扱説明書」を必ずお読みください。本書および本ツールは改良のため，予告なしに変更されることがあります。
- 本ツールで利用するパラメータ情報ファイルは，別ホストで出力したファイルを利用可能です。また，本ツールを実行する環境として各 JP1 製品がインストールされている必要はありません。
- 本ツールは Microsoft Excel ブック形式のファイルを扱いますが，本ツールを実行する環境として Microsoft Excel がインストールされている必要はありません。

対応製品は，JP1/Base の V11-00 以降および V12-00 以降，Base コンポーネントの V13-00 以降です。

付録 B　各バージョンの変更内容

各バージョンでの変更点を次に示します。

付録 B.1　02-60 の変更内容

- 上位ユニット属性継承機能の変更についての説明を追加した。
- マネージャー表示色の変更についての説明を追加した。
- 管理設定，通知先情報についての説明を追加した。
- サポートサービス連携について V02-50 以前の機能として記載を追加した。
- 接続ホストの切り替えについて，自動選択に関する説明を追加した。
- お客様環境が OCI 環境である場合の記載を追加した。
- JP1 ユーザーについて，ユーザー数と資源グループ数に関する説明を追加した。
- ジョブ管理エージェントからジョブ実行エージェントに表記を変更した。
- 機能概要の表にサービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）で REST API が利用可能な機能を追加した。
- 連携サービス，改良版請求・ダウンロード機能について追加した。
- 構成情報一覧で表示可能な情報を追加した。
- 章タイトルのサービスポータル概要に（ジョブ管理・システム管理操作画面）と（環境設定・確認画面）をそれぞれ記載を追加した。
- プラットフォームの提供ファイル一覧で提供するファイルについて説明を追加した。
- アラームが発行した JP1 イベントの確認方法を追加した。

付録 B.2　02-50 の変更内容

- マネージャーのローカル日時変更についての説明を追加した。
- サービスから提供可能なログとして Base 操作ログと JP1/IM - Manager 操作ログを追加した。
- ルート一覧画面で提供する機能について，災対・大阪側の表示に関する説明を追加した。
- API キー一覧画面で提供する機能に関する注意事項を追加した。
- ホスト情報の操作で指定するホスト名と物理サーバー名の最大バイト数を変更した。
- ユーザーファイル操作のコマンド文生成に関する注意事項を追加した。
- サービスポータル（環境設定・確認画面）についての説明を追加した。

付録 B.3　02-40 の変更内容

- マネージャーへの SAP ライブラリの配置についての説明を追加した。
- ユーザーファイルの操作について，コマンド文生成の説明を追加した。合わせて，ユーザーファイルの削除について，一括操作の説明を追加した。
- お知らせの表示に関する説明を追加した。
- ルート一覧画面で提供する機能が利用できない場合についての記載を追加した。
- ホスト情報一覧画面で提供する機能に関する注意事項を追加した。
- ホスト情報と実行エージェントの一括操作について，レスポンスで返却するステータスコードの説明を追加した。
- エージェントセットアップ支援ツールについての補足事項を追加した。

付録 B.4　02-30 の変更内容

- ホスト情報の操作と実行エージェントの操作について，一括操作の説明を追加した。
- ログのエクスポートの取得開始日について，指定可能期間を変更した。

付録 B.5　02-20 の変更内容

- サービスから提供可能なログとしてローカルアクション実行履歴ログを追加した。
- ルート一覧画面で提供する機能が利用できない場合についての説明を追加した。
- ログのエクスポートの入力項目として取得開始日を追加した。
- 連携情報一覧画面での表示・操作対象としてジョブ管理マネージャーからのメール通知先を追加した。
- 連携情報の変更に関する注意事項を追加した。

付録 B.6　02-10 の変更内容

- プラットフォームのメニューとして，メンテナンスの表示・日時変更についての説明を追加した。
- JP1 ユーザーの操作について，一括操作の説明を追加した。
- 指定値に関する注意事項を追加した。
- ライセンスの表示期間を最大 1 年に変更した。

付録 B.7　02-01 の変更内容

- 提供するエージェントセットアップ支援ツールに JP1/IM - Agent を追加した。
- 改良版請求サイトについての補足事項を追加した。
- インターネット接続・利用時の通信エラーについての注意事項を追加した。

付録 B.8　02-00 の変更内容

- Internet Explorer をサポート対象外とした。
- サポートサービス連携のメニューとして，連携情報の操作についての説明を追加した。
- 利用状況のメニューとして，ライセンスの表示についての説明を追加した。
- ネットワークのメニューとして，API キーの操作についての説明を追加した。
- JP1 管理基盤のメニューとして，ホスト情報の操作についての説明を追加した。また，hosts 情報の操作については V1 以前の機能として記載を追加した。
- インターネットから接続する場合の操作についての説明を追加した。また，インターネットからの接続を許可することに伴い，ログイン画面での通知・お知らせは表示しないように変更した。
- シングルサインオン連携についての説明を追加した。
- 設定パラメータ・ツールに JP1 V13 の記載を追加した。

付録 B.9　01-12 の変更内容

- Firefox のサポートバージョンを変更した。
- 専用ストレージのメニューとして，ユーザーファイルの操作についての説明を追加した。
- メトリクスの種別として専用ストレージ使用率を追加した。
- 実行エージェントの操作に，デフォルト実行エージェントについての説明を追加した。
- JP1 パラメータユーティリティとして提供するツールの前提 OS を変更した。

付録 B.10　01-11 の変更内容

- メトリクスに対するアラームの表示・設定についての説明を追加した。
- フィードバックの送信についての説明を追加した。
- ログの内容表示についての説明を追加した。
- JP1 ユーザーの作成・編集時に入力する JP1 資源グループに対する操作権限の入力規則についての説明を追加した。

付録 B.11　01-10 の変更内容

- Firefox のサポートバージョンを変更した。
- ルート一覧画面で提供する機能が利用できない場合についての記載を追加した。
- hosts 情報の新規登録時に，ping での通信確認を実施しないように変更した。
- 実行エージェントの編集についての注意事項を追加した。

付録 B.12　01-01 の変更内容

- Microsoft Edge をサポート対象とした。
- エクスポートしてダウンロードできるログの改行コードを変更した。
- ユーザー管理機能の仕様を次の通り変更した。
  - ユーザー作成・編集，チーム作成・編集の入力時の制限事項を一部削除した。
  - パスワードの変更禁止期間を変更した。
  - ポータルユーザー操作ログの出力形式・内容を変更した。

付録 C　このマニュアルの参考情報

付録 C.1　製品名の表記

表記		正式名称
JP1/AJS3		JP1/Automatic Job Management System 3
JP1/IM		JP1/Integrated Management
JP1/IM	JP1/IM2	JP1/Integrated Management 2
	JP1/IM3	JP1/Integrated Management 3

付録 D　用語解説

サービスポータルで使用する用語を以下に示します。

JP1 の用語の詳細については，JP1 のマニュアルを参照してください。

（英字）

JP1 権限レベル

管理対象（資源）に対して JP1 ユーザーがどのような操作ができるかを表した名称です。ジョブ，ジョブネット，イベントなどの管理対象（資源）の種類に応じて，操作項目を定めています。管理対象（資源）の種類と，それに対する操作項目の幾つかを組み合わせた形式で JP1 ユーザーの操作権限を管理します。

JP1 資源グループ

ジョブ，ジョブネット，イベントなどの管理対象（資源）を幾つかのグループに分けて管理するためのグループの名称のことです。JP1 ユーザーがどの JP1 資源にアクセスできるかは，JP1 資源をグループ化した JP1 資源グループに対して設定します。

JP1 ユーザー

サービスで提供される JP1 の機能を利用するときに必要なユーザーです。JP1 ユーザーは，認証サーバーに登録され，アクセス権限は認証サーバーで管理されます。

（カ行）

環境種別

お客様のシステムの環境（開発環境，本番環境など）を区別するための名称のことです。サービスで提供されるマネージャーホストを配置するネットワーク区域の単位になります。

（サ行）

実行エージェント

ジョブやジョブネットの実行先となるエージェントホストの論理的な名称です。マネージャーホストに定義したエージェント情報に従って，ジョブやジョブネットに指定した実行エージェントと実行先ホスト名がマッピングされ，ジョブやジョブネットが実行先のエージェントホストに配信されます。

また，実行エージェントの種類として，実行エージェントをグルーピングして負荷分散を実現させる実行エージェントグループがあります。グルーピングする実行エージェントに優先順位を付けておくことで，ジョブを配信するエージェントホストを決定し，ジョブを配信します。

（タ行）

タスク
　ユーザーがサービスポータル上で行った操作の実行状況や実行履歴を管理する単位です。

チーム
　サービスポータルのユーザーのグルーピングに利用できるチームのことです。チームは環境種別と関連付けることができます。

チーム管理者
　サービスポータルのチーム管理者権限を持つユーザーです。管理画面で提供される機能の一部を利用できます。

テナント
　1 契約あたりに作成される JP1 Cloud Service ジョブ管理，システム管理を指します。

（ハ行）

ポータル管理者
　サービスポータルの管理者権限を持つユーザーです。管理画面で提供される機能を利用できます。

（ヤ行）

ユーザーファイル
　サービスで提供される各マネージャーホストのお客様専用のストレージ領域にて，任意で管理可能なファイルやディレクトリを表した名称です。ユーザーファイルとして，ジョブ実行時や自動アクションを契機に実行可能なスクリプトをアップロードすることができます。

（ラ行）

リソース
　サービスポータルで表示・操作できる資源全般のことを指します。

利用者
　サービスポータルの利用者権限を持つユーザーです。

索引

A

API キー一覧（V02-00 以降） 83
API キーの取得（V02-00 以降） 29

B

Base コンポーネント（JP1/Base）設定パラメータシート 278

H

hosts 情報 32
hosts 情報一覧（V01-12 以前） 117
hosts 情報登録（V01-12 以前） 182

J

JP1/AJS3 設定パラメータシート 279
JP1/IM 設定パラメータシート 280
JP1 Cloud Service テナント作成のタイミングについて 275
JP1 Cloud Service テナント新規作成 244, 251
JP1 管理基盤 99
JP1 権限レベル〔用語解説〕 288
JP1 資源グループ〔用語解説〕 288
JP1 パラメータ収集ツール 281
JP1 パラメータ設定ツール 280
JP1 ユーザー 31
JP1 ユーザー一覧 100
JP1 ユーザー削除（V02-10 以降） 179
JP1 ユーザー作成〔タスク詳細〕 177
JP1 ユーザーパスワード変更（V02-10 以降） 179
JP1 ユーザー編集〔タスク詳細〕 178
JP1 ユーザー〔用語解説〕 288

S

SAP ライブラリの配置（V02-40 以降） 74
SAP ライブラリ配置（V02-40 以降） 174

T

Transit Gateway 接続作業 254

あ

アラーム設定〔タスク詳細〕 176
アラームの設定〔メトリクス〕 93
アラームの表示〔メトリクス〕 91

い

一覧画面での共通機能について 273
一覧表示 56, 83, 107, 221, 226, 263
一覧表示〔hosts 情報〕 117
一覧表示〔JP1 ユーザー〕 100
一覧表示〔実行エージェント〕 120
一覧表示〔チーム一覧〕 211
一覧表示〔提供ファイル一覧〕 140
一覧表示〔ユーザー一覧〕 199
一覧表示〔ログ一覧〕〔ファイル〕 134
一覧表示〔ログ管理〕 217
一括操作時のタスク生成について 238
インターネット接続・利用時の通信エラーについて（V02-00 以降） 238

え

エージェントセットアップ支援ツール 140
エクスポート〔ログ一覧〕〔ファイル〕 135
エクスポート〔ログ管理〕 217

お

お客様の Transit Gateway を使用する場合 256
お知らせ 231

か

改良版請求・ダウンロード 267
改良版請求・ダウンロード一覧 267
環境種別〔用語解説〕 288
管理者向けログ 35

管理設定　225

き

機能概要　18, 242
共通機能　234
切り替え〔接続ホスト〕　87

け

言語　270

こ

構成情報　262
構成情報一覧　263
構成情報の表示　245
個人　272
コマンド文生成（V02-40 以降）　153

さ

サービスの Transit Gateway を使用する場合　254
サービスポータル（環境設定・確認画面）概要　240
サービスポータル（ジョブ管理・システム管理操作画面）概要　16
サービスポータルへのログイン　243
削除　85, 115
削除〔JP1 ユーザー〕　104
削除〔実行エージェント〕　132
削除〔チーム一覧〕　215
削除〔ユーザー一覧〕　208
削除〔ルート〕　82
サポートサービス連携　220
サポートサービス連携情報の表示・変更（V02-00～V02-50）　35

し

実行エージェント　33
実行エージェント一覧　120
実行エージェント削除（V02-30 以降）　185
実行エージェント作成〔タスク詳細〕　183
実行エージェント編集〔タスク詳細〕　184
実行エージェント〔用語解説〕　288
実行履歴の参照　166
上位ユニット属性継承機能の変更（V02-60 以降）　72
上位ユニット属性継承機能変更（V02-60 以降）　173
詳細表示　57
詳細表示〔接続ホスト〕　88
詳細表示〔ユーザー一覧〕　200
詳細表示〔ログ一覧〕〔ファイル〕　135
ジョブ管理　119
ジョブ定義インポート　172
ジョブ定義エクスポート〔タスク詳細〕　171
ジョブ定義のインポート　67
ジョブ定義のエクスポート　65
新規作成　84
新規作成〔JP1 ユーザー〕　101
新規作成〔実行エージェント〕　122
新規作成〔チーム一覧〕　212
新規作成〔ユーザー一覧〕　201
新規登録　108
新規登録〔hosts 情報〕　117

せ

制限事項　239, 276
接続ホスト　86
設定パラメータシート　278
専用ストレージ　142
　アップロード　145
　一覧表示　143
　移動　150
　権限変更　151
　コピー　148
　削除　146
　ダウンロード　146
　ディレクトリ作成　147
　名前変更　150
　ユーザーファイル一覧　143

そ

操作権限　37
疎通作業　259

その他，共通　230, 268

た

タスク　36, 161
タスク一覧　162
タスク詳細　166
タスクの実行について　238
タスクの保持期間　197
タスク〔用語解説〕　289

ち

チーム一覧　211
チーム管理者〔用語解説〕　289
チーム作成〔タスク詳細〕　193
チームの作成　23
チーム編集〔タスク詳細〕　193
チームメンバーの変更　210
チームメンバー変更〔タスク詳細〕　194
チーム〔用語解説〕　289
知先情報の表示・変更（V02-60 以降）　36
注意事項　238, 275
注意事項・制限事項　237, 274

つ

追加〔ルート〕　81
通知　271
通知先情報一覧（V02-60 以降）　226
通知先情報変更（V02-60 以降）　196

て

提供ファイル一覧　62, 140
テーマ　269
テナント新規作成の開始　252
テナント〔用語解説〕　289

に

日時変更　59

ね

ネットワーク　29, 79

は

パスワード　41
パスワードのリセット　209
パスワード変更　44
パスワード変更〔JP1 ユーザー〕　105

ひ

表示言語　235
表示色の変更（V02-60 以降）　76
表示色変更（V02-60 以降）　175

ふ

ファイル　133
ファイルの取得　27
フィードバックの送信（V01-11 以降）　233
プラットフォーム　55

へ

変更　223, 228
編集　112
編集〔JP1 ユーザー〕　103
編集〔実行エージェント〕　127
編集〔チーム一覧〕　213
編集〔ユーザー一覧〕　205

ほ

ポータル管理者〔用語解説〕　289
ホスト情報一覧（V02-00 以降）　107
ホスト情報削除（V02-30 以降）　182
ホスト情報登録（V02-00 以降）　180
ホスト情報の操作（V02-00 以降）　31
ホスト情報編集（V02-00 以降）　181

ま

マネージャー　28
マネージャー一覧　63

め

メトリクス　90
メトリクス表示〔メトリクス〕　90
メンテナンス一覧（V02-10 以降）　56
メンテナンス日時変更（V02-10 以降）　170
メンテナンスの表示・日時変更（V02-10 以降）　26
メンバーの変更　214

ゆ

ユーザー　41
ユーザー ID　41
ユーザー一覧　199
ユーザー環境情報の保存　236
ユーザー管理　198
ユーザー作成〔タスク詳細〕　191
ユーザー認証　37, 246
ユーザーの権限　45
ユーザーの作成　25
ユーザーファイルアップロード〔タスク詳細〕　187
ユーザーファイル移動・名前変更〔タスク詳細〕　189
ユーザーファイル権限変更〔タスク詳細〕　190
ユーザーファイルコピー〔タスク詳細〕　189
ユーザーファイル削除（V02-40 以降）　187
ユーザーファイルの操作　34
ユーザーファイル用ディレクトリ作成〔タスク詳細〕　188
ユーザーファイル〔用語解説〕　289
ユーザー編集〔タスク詳細〕　192

よ

用語集　232

ら

ライセンス（V02-00 以降）　97
ライセンス表示　97

り

リソース〔用語解説〕　289
利用可能な Web ブラウザー　17
利用可能な Web ブラウザーとワンタイムコード生成アプリケーション　241
利用者〔用語解説〕　289
利用状況　30, 89
利用方法の概要　22, 243

る

ルート一覧　80
ルート削除（V02-50 以降）　176
ルート追加　175

れ

連携サービス　266
連携サービスの表示　245
連携情報一覧（V02-00～V02-50）　221
連携情報変更（V02-00～V02-50）　195

ろ

ローカル日時の変更（V02-50 以降）　70
ローカル日時変更（V02-50 以降）　173
ログアウト　38
ログアウト手順　248
ログ一覧〔ファイル〕　134
ログ一覧〔ログ管理〕　217
ログイン　22, 38
ログイン手順　247
ログインとログアウト　247
ログインユーザーの情報表示　42, 249
ログインユーザーのパスワード変更　250
ログエクスポート〔タスク詳細〕　186
ログ管理　216
ログの表示・取得　33
ロックアウト　41
ロック解除　208

株式会社 日立製作所

〒 100–8280　東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号